

令和5年度 第1回 小金井市環境審議会

日 時：令和5年6月15日（木）午後1時30分から
場 所：市民会館萌え木ホール A会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員自己紹介
- 3 事務局紹介
- 4 議題
 - (1) （第1次）小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括【資料1】
 - (2) 小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針について【資料2】
- 5 報告事項
 - (1) 令和4年度環境啓発事業実施結果【資料3】
 - (2) 令和4年度各種環境測定結果について【資料4～9】
 - (3) 市立公園等・環境楽習館の指定管理者の公募について（口頭報告）
 - (4) 令和5年度環境政策課環境系の事業計画について【資料10】
- 6 その他
- 7 次回審議会の日程について

<配布資料>

資 料 1	（第1次）小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括
資 料 2	小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針について
資 料 3	令和4年度環境啓発事業実施結果
資 料 4	ダイオキシン類調査について
資 料 5	自動車騒音常時監視調査結果について
資 料 6	道路交通騒音・振動の要請限度調査結果について
資 料 7	大気質調査について
資 料 8	水質監視測定及び湧水調査について
資 料 9	水質監視測定及び湧水・地下水位調査について
資 料 10	令和5年度環境政策課環境系の事業計画について

【参考資料】

- 参考資料 オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」2020年度温室効果ガス排出量（推計）算定結果について
- 参考資料 小金井市の温室効果ガス排出量の推移
- 参考資料 市施設における自動販売機の削減に関する方針等について（集計）
- 参考資料 報告項目質問票
- 参考資料 市報こがねい（令和5年6月1日号）【環境特集号】

(第1次) 小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括

(第1次) 小金井市地球温暖化対策地域推進計画(以下「地域推進計画」という。)における最終年度(2020年度)の温室効果ガス排出量(推計)算定結果が公表されたため、二酸化炭素排出量及びエネルギー消費量の推計について、以下のとおり報告します。

1 (第1次) 地域推進計画における二酸化炭素排出削減について

(1) 二酸化炭素排出の削減目標について

基準年度である2006年度277kt-CO₂に対して、2020年度までに27%(74kt-CO₂)削減の203kt-CO₂を目標とする。

(2) 結果

3.3%(9kt-CO₂)増の286kt-CO₂だった。

表1 CO₂排出量の推移

	2006年度	2020年度	増減(%)
民生部門計	205kt-CO₂	241kt-CO₂	17.6%増
家庭小計	138kt-CO ₂	158kt-CO ₂	14.5%増
業務小計	67kt-CO ₂	83kt-CO ₂	23.9%増
民生部門以外の計 (産業、運輸等)	72kt-CO ₂	45kt-CO ₂	37.5%減
総合計	277kt-CO₂	286kt-CO₂	3.3%増

(3) 講評(二酸化炭素排出削減について)

計画最終年度(2020年度)の二酸化炭素排出量は、基準年度(2006年度)より3.3%増加し、27%削減するという目標は達成できなかった。

同時期に策定された東京都の計画(2020年までに温室効果ガスの総排出量を2000年比25%削減)においても3.7%削減にとどま

っている実情はあるものの、温室効果ガス排出量全体としては、エネルギー消費量の削減及び電力の二酸化炭素排出係数の改善効果により、2012年度からは減少傾向にある。

表2 各計画のGHG等の削減目標

	計画名	策定 年月日	削減 対象	基準年度	削減目標	結果 (排出量)
市	(第1次)地域推進計画	2015.3	CO ₂	2006年度 277 kt-CO ₂	27%削減	2020年度 286 kt-CO ₂ (3.3%増)
都	「東京都の省エネルギー目標」	2014.3	GHG	2000年度 6,220万 t-CO ₂	25%削減	2020年度 5,990万 t-CO ₂ (3.7%減)
市	第2次地域推進計画	2021.3	GHG	2013年度 352 kt-CO ₂	26%削減	2030年度 (目標 261 kt-CO ₂)
国	地球温暖化対策計画	2021.10	GHG	2013年度 14.08億 t-CO ₂	46%削減	2030年度 (目標 7.60億 t-CO ₂)
都	「2030年カーボンハーフ」	2022.2	GHG	2000年度 6,220万 t-CO ₂	50%削減	2030年度 (目標 3,110万 t-CO ₂)

※GHG…温室効果ガス (CO₂、メタン、一酸化二窒素等)

【参考】

二酸化炭素排出量 (民生部門) について、基準年度を2013年度とした場合、2020年度までに11.4% (272→241 kt-CO₂) 削減されており、減少傾向にある。

2 (第1次) 地域推進計画におけるエネルギー消費量削減について

(1) エネルギー消費量削減目標について

基準年度である2006年度3,737TJに対して、2020年度までに14% (523TJ) 削減の3,214TJを目標とする。

(2) 結果

11.6% (432TJ) 削減の3,305TJだった。

表3 エネルギー消費量の推移

	2006年度	2020年度	増減(%)
産業・業務部門計	1,019TJ	927TJ	9.0%減
家庭部門計	1,942TJ	1,940TJ	0.1%減
運輸部門計	776TJ	438TJ	43.6%減
総合計	3,737TJ	3,305TJ	11.6%減

(3) 講評（エネルギー消費量削減について）

東京都全体を部門別でみた場合、エネルギー消費量削減については以下のとおりとなる。

▶ 産業・業務部門	2000年度比	7.4%減少
▶ 家庭部門	2000年度比	32.9%増加
▶ 運輸部門	2000年度比	50.7%減少

2000年度比であるため単純比較はできないが、エネルギー消費量については東京都全体で家庭部門が増加傾向にあり、家庭部門が大半を占める本市の特徴から、14%の削減目標を達成できなかったものの、目標数値に近い数値となっており、新型コロナウイルスの影響による社会の変容や生活様式の変化等、特異な状況下にならなければ目標を達成できた可能性がある。

表4 各計画のエネルギー消費量の削減目標

	計画名	策定 年月日	基準年度	削減目標	結果 (排出量)
市	(第1次) 地域推進計画	2015.3	2006年度 3,737TJ	14%削減	2020年度 3,305TJ (11.6%減)
都	「東京都の省エネルギー目標」	2014.3	2000年度 801,700TJ	20%削減	2020年度 581,642TJ (27.3%減)
市	第2次地域推進計画	2021.3	2013年度 3,409TJ	17%削減	2030年度 (目標 2,829TJ)

小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針の見直しについて

- 1 多摩26市における削減方針の有無等についての調査実施
本市と同様の削減方針がある自治体はなかった。(25市中21市から回答)

- 2 自動販売機の設置について、工夫している点等 (一部抜粋)
 - (1) 災害時等の非常時に飲料水を提供できるものや地域振興に寄与するパッケージデザインがされたものを提案により設置している。(立川市)
 - (2) 一部施設において入替時点での最新機種を選択し、環境配慮型の機体(LED照明、CO2排出量削減等)を採用している。(武蔵野市)
 - (3) 市役所における取組の中で、ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの削減に係る率先行動として、設置者の協力により市役所本庁舎内の自動販売機では、ペットボトル飲料の販売を廃止。
また、一部自販機においては、新設・交換の際には防災ベンダー、省エネタイプの自動販売機を指定。(調布市)
 - (4) 「省エネルギー、ノンフロン対応等の環境負荷を低減した機種とすること」、「すべての人に使いやすく開発されたユニバーサルデザイン機の導入に努めること」、「市環境マネジメントシステムに基づいた環境配慮の取組に協力すること」等を管理運営上の遵守事項としている。
一部、大規模災害等の発生時において、市の要請に応じて自動販売機内の商品が無償提供できる機種を採用している。(福生市)
 - (5) 災害時に飲料を無償提供する自動販売機の設置に関し、災害ベンダーと協定を結び、設置している。(東大和市)

- 3 市施設において、自動販売機を設置する条件等 (一部抜粋)
 - (1) 青梅市
本庁舎に設置する自動販売機については、飲料の売上高に乗じた貸付料を徴収している。また、本庁舎1階エントランスロビーには無線LANアクセスポイント機能付自動販売機を設置することを条件としている。

なお、次回の本庁舎における設置事業者募集要項に、市の環境に対する事業に寄付を行うことを条件に盛り込む予定である。

(2) 稲城市

- ア 常に商品の衛生管理の徹底と、自販機（内・外部）及び周辺の美化に努め、リサイクル社会の推進のため分別回収の徹底を図ること。
- イ 自販機内の適正な温度管理と省エネ対策の徹底を図ること。
- ウ 夜間においては、節電等省エネ対策を講じること。
- エ 災害時等に、人的操作で自販機内の商品を搬出できること。
- オ 自然環境に配慮したボトル・容器などに努めること。

(3) あきる野市

- ア 簡易トイレ等の救援物資が搭載されている備蓄ボックスを設置すること。
- イ ユニバーサルデザイン機の導入に努めること。

4 今後のスケジュール（案）

		時期	内容
(1)	第2回環境審議会	8月～10月頃	削減方針（案）について検討
(2)	第3回環境審議会	11月～12月頃	削減方針（案）について検討
(3)	市議会定例会	12月	経過報告
(4)	第4回環境審議会	未定	削減方針（案）について検討
(5)	環境基本計画推進本部	令和6年2月	報告
(6)	市議会定例会	令和6年3月	行政報告

令和 4 年度

環境啓発事業実施報告書

令和 5 年 3 月

小金井市環境部環境政策課

特定非営利活動法人 こがねい環境ネットワーク

1. 野川環境フィールドワーク

概要

目的：野川をフィールドに植物および昆虫の観察会、外来植物の駆除、プラスチックごみの回収を通じて野川流域の環境を市民が多角的に見つめる。

日時：2022年9月10日（土）10：00～12：00

雨天順延予備日 2022年9月11日（日）

会場：武蔵野公園くじら山下原っぱ(小金井新橋付近)

清掃区間：野川公園桜橋(三鷹市境)～前原小学校

植物観察会および外来種駆除範囲：

小金井新橋～やまべ橋周辺

昆虫観察会：野川第一調節池

参加者数：150名

主催：小金井市

運営：NPO こがねい環境ネットワーク

後援：東京都北多摩南部建設事務所

協力：野川自然の会、小金井市環境市民会議、一般社団法人 JEAN

実施企画：1) 川のプラスチックごみ回収 (参加者数 80名・ごみ回収量 17.8kg)

2) 植物観察 (参加者数 19名)

3) 外来植物駆除 (参加者数 21名・外来種回収量 40ℓ 袋 35袋)

4) 昆虫観察 (参加者数 30名)

5) 環境啓発展示 (マイクロプラスチック)

6) 記念品の配布



1) 川のごみ回収



2) 植物観察



3) 外来植物駆除



4) 昆虫観察



5) 環境啓発展示



6) バナーの設置

2. こがねい環境フォーラム 2022 ～自然と人の共生をめざして～

概要

目的：自然と人が共生できる社会をめざすために、森林をはじめ、川、海、大気の環境について、まちで暮らす私たちができることは何か？さまざまな角度から考える。

日時：2022年11月13日（日）・11月18日（水）～20日（日）

会場：東京学芸大学 芸術館学芸の森ホール

小金井 宮地楽器ホール

野川クリーンセンター

参加者数：890人(各会場合計)

共催：東京学芸大学環境教育研究センター

協力：・小金井市環境市民会議

- ・オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
- ・(社) JEAN
- ・(公財) 東京都環境公社
- ・(社) 農山漁村文化協会

こがねい環境フォーラム 2022
～自然と人の共生をめざして～

講演会
多種共存の森～森と人のこれから～

【第一部】
11月13日(日) 13:00 開演
13:40 講演
14:50 講演後のお茶会

【第二部】
11月18日(水) 10:00 開演
10:30 講演
11:00 講演後のお茶会

講師 **清和研二さん** (東北大学名誉教授)

定員 **100名** (要申込/先着順)

参加 無料

主催 小金井市
共催 東京学芸大学環境教育研究センター

こがねい環境フォーラム 2022
～自然と人の共生をめざして～

自然と人が共生できる社会をめざすために、森林をはじめ、川、海、大気の環境について、まちで暮らす私たちができることを様々な角度から考えます。

11/13(日) 13:00～15:30
会場：芸術館学芸の森ホール

11/18(水) 10:00～16:00
会場：宮地楽器ホール

11/19(土) 10:00～16:00
会場：野川クリーンセンター

◆ 次年度は、小金井市が主催する「こがねい環境フォーラム」を開催予定です。お申し込みは、お申し込み先にお知らせいたします。

◆ オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の一環として、本フォーラムを開催いたします。

◆ 本フォーラムは、環境教育の推進に貢献することを目的として開催いたします。

◆ 本フォーラムは、環境教育の推進に貢献することを目的として開催いたします。

◆ 本フォーラムは、環境教育の推進に貢献することを目的として開催いたします。

実施報告

○広報

市報掲載のほか、ポスター、チラシを作成し、市内の小中学校の全児童生徒および児童館、公民館に配布した。また、市、および環境楽習館のホームページでも情報を掲載し広く周知をはかり、ワークショップや講座の参加者を募集した。

○企画一覧

会場	企画	日時	
東京学芸大学 芸術館 学芸の森ホール	・環境賞授与式 〈講演〉 ・多種共存の森～森と人のこれから～ 講師：清和研二さん	13日(日)	13:00～15:30

宮地楽器ホール マルチパーパス スペース B	〈展 示〉 ・小金井市環境部 ・小金井市環境賞受賞作品 ・市内小、中学生の間伐材による木工作品 ・市内環境団体の活動紹介	18日(金) く 20日(日)	10:00~16:00 ※18日(金)は 11:00~
宮地楽器ホール マルチパーパス スペース C	〈展 示〉 ・一社) JEAN 「みんなの問題・海のごみ」 ・野川環境フィールドワーク (9/10 開催) で 市民が集めたごみ「野川は海の入りの口」		
野川クリーンセンター	〈試乗会〉 ・燃料電池自動車トヨタ MIRAI 試乗会	19日(土)	9:30~12:10
	〈展 示〉 ・オール東京 62 市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」 ・小金井市ごみ対策課 ・つみきコーナー		10:00~12:00

〈東京学芸大学 芸術館 学芸の森ホール〉 参加者 50 名

東北大学名誉教授の清和研二さんをお招きし、日本の森の現状のお話や、豊かな森とは何か、森と人とのこれからのための講演会を開催した。講演会に先立ち小金井市環境賞授式も行った。市内中学生による間伐活動の報告、清和さんの講演に続いて、全体の振り返りとしてファシリテーターに大熊雅士教育長をむかえ、参加者を交えてディスカッションを行った。講演のコーディネーターとして東京学芸大学の椿研究室に協力をいただいた。



1) 清和研二先生による講演



2) 環境賞授与式

〈小金井 宮地楽器ホール〉 参加者 809 名

○ 「みんなの問題・海のごみ」

海のごみ問題解決のために活動している環境 NGO・一社)

JEAN の写真パネルを展示。

プラスチックごみが生物や環境、経済に与える影響を率直に伝える写真と詳細な解説によって、都市部の幅広い年代の市民へ周知する機会とした。

同時に「野川は海の入りの口」と題し、9月の野川環境フィールドワークの際、市民が集めた野川のプラスチックごみを、環境楽習館で育てた藍で布を染め、川に見立て展示した。



3) 野川で集めたプラスチックごみ

○展 示

小金井市環境賞受賞作品や、市内小・中学生の間伐材による木工作品および、市内さまざまな環境団体の活動を紹介するパネルを展示。

出展団体については、プログラム協力団体等に加え、環境市民会議を通して市内の環境団体に呼びかけ募集した。

〈出展団体〉

小金井市環境市民会議、同部会（地下水測定部会、緑調査部会、環境学習部会、まちづくり部会、エネルギー部会）
一社）JEAN、NPO グリーンネックレス、NPO こがねい子ども遊パーク、NPO こがねい市民発電、トランジションタウン小金井、小金井生活クラブ運動グループ地域協議会、小金井市放射能測定器運営連絡協議会、小金井玉川上水の自然を守る会、小金井市環境部（環境政策課、ごみ対策課）



4) 間伐材による木工作品



5) 市内環境団体による展示

〈野川クリーンセンター〉 参加者 31 名

○燃料電池自動車トヨタ MIRAI 試乗会

○オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による展示とクイズ

○小金井市ごみ対策課展示

○つみきコーナー



6) 野川クリーンセンター

3. 環境施設見学会

概要

目的：多摩地域の身近な樹木を見ながら、森と人との関わりや、身近な緑と水源を守ることの大切さを学び、多摩の森林の生態系について考えることを目的とした。

日時：2023年3月11日（土） 8:30 集合 15:30 解散

施設：多摩森林科学園（独立行政法人 森林総合研究所）

講師：池竹 則夫さん（植物研究家）

定員：10名（新型コロナ対策として募集人数を縮小）

◇タイムスケジュール◇

8:30 小金井市役所本庁舎駐車場集合 → 8:40 出発 → 10:00
多摩森林科学園見学（多摩の樹木ガイドツアー） → 12:00 昼食
（各自） → 13:00 森の科学園の観賞・講話 → 14:00 見学終了・
出発 → 15:20 小金井市役所本庁舎駐車場到着 → 15:30 解散



実施報告

○広報：市報、市 Web サイトおよび環境楽習館ホームページにて
情報を掲載し参加者を募集し、先着順にて受付し、定員に達した。

多摩の水源林が杉檜の放置林になっている現状のお話から、人の暮らしに役立つ食用・薬用植物のお話まで、身近な植物との楽しい付き合いかたを丁寧に解りやすく解説いただいた。



1) 池竹則夫先生



2) 低樹木についてのお話



3) 葉の形やつき方を観察



4) 小さな草花の観察



5) 高樹木についてのお話



6) 葉脈の観察

ダイオキシン類測定委託

報告書

令和4年度

小金井市

目 次

1. 調査目的	1
2. 試料採取日	1
3. 調査項目及び分析方法	1
4. 調査地点及び調査方法	1
5. 調査結果	6
6. ま と め	12

資料

- 小金井市の二重測定の評価詳細
- 大気試料分析法フローシート
- 分析条件
- 同定及び定量
- 採取状況写真

1. 調査目的

ダイオキシン類に係る大気環境調査の実施により、市内の環境濃度を把握する基礎資料とする。

2. 試料採取日

(夏季)

① 小金井市東センター

令和4年8月17日(水)9:40～令和4年8月18日(木)9:40

② 小金井市保健センター

令和4年8月17日(水)8:55～令和4年8月18日(木)8:55

(冬季)

① 小金井市東センター

令和5年2月6日(月)14:28～令和5年2月7日(火)14:28

② 小金井市保健センター

令和5年2月6日(月)13:40～令和5年2月7日(火)13:40

3. 調査項目及び分析方法

大気中のダイオキシン類(ポリ塩化ジベンゾ-*p*-ジオキシン「PCDDs」、ポリ塩化ジベンゾフラン「PCDFs」及びコプラナ「PCBs」)の濃度を測定した。なお、分析項目を表1に示した。

試料採取及び分析方法は、「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」(平成20年3月 環境省 水・大気環境管理局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)に準拠した。

4. 調査地点及び調査方法

(1) 調査地点

① 小金井市東センター

小金井市東町 1-39-1

② 小金井市保健センター

小金井市貫井北町 5-18-18

調査地点図を図1～3に示した。

(2) 調査方法

市内2地点において1日間(24時間)採取を行い、②小金井市保健センターを二重測定とした。また、検体採取はハイボリウムエアサンプラ(石英繊維ろ紙及びポリウレタンフォーム捕集)を使用し、700ℓ/minの一定流量で24時間吸引した。

調査期間中の気象条件(風向・風速・温度・湿度)については、東京都一般環境大気測定局のデータを使用した。小金井市本町のデータ欠測のため小平市小川町の値を使用した。

表1 分析項目

		分析項目	略号
PCDDs		1,3,6,8-Tetrachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,3,6,8-T _c CDD
		1,3,7,9-Tetrachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,3,7,9-T _c CDD
		2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- ρ -dioxin	2,3,7,8-T _c CDD
		Total Tetrachlorodibenzo- ρ -dioxins	Total T _c CDDs
		1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,2,3,7,8-P _c CDD
		Total Pentachlorodibenzo- ρ -dioxins	Total P _c CDDs
		1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,2,3,4,7,8-H _x CDD
		1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,2,3,6,7,8-H _x CDD
		1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,2,3,7,8,9-H _x CDD
		Total Hexachlorodibenzo- ρ -dioxins	Total H _x CDDs
		1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- ρ -dioxin	1,2,3,4,6,7,8-H _p CDD
		Total Heptachlorodibenzo- ρ -dioxins	Total H _p CDDs
		Octachlorodibenzo- ρ -dioxin	OCDD
PCDFs		1,2,7,8-Tetrachlorodibenzofuran	1,2,7,8-T _c CDF
		1,3,6,8-Tetrachlorodibenzofuran	1,3,6,8-T _c CDF
		2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran	2,3,7,8-T _c CDF
		Total Tetrachlorodibenzofurans	Total T _c CDFs
		1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran	1,2,3,7,8-P _c CDF
		2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran	2,3,4,7,8-P _c CDF
		Total Pentachlorodibenzofurans	Total P _c CDFs
		1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,4,7,8-H _x CDF
		1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,6,7,8-H _x CDF
		1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,7,8,9-H _x CDF
		2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran	2,3,4,6,7,8-H _x CDF
		Total Hexachlorodibenzofurans	Total H _x CDFs
		1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran	1,2,3,4,6,7,8-H _p CDF
		1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran	1,2,3,4,7,8,9-H _p CDF
	Total Heptachlorodibenzofurans	Total H _p CDFs	
	Octachlorodibenzofuran	OCDF	
コプラナー-PCBs	ノンオルト	3,4,4',5'-Tetrachlorobiphenyl #81	3,4,4',5'-T _c CB
		3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl #77	3,3',4,4'-T _c CB
		3,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #126	3,3',4,4',5'-P _c CB
		3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl #169	3,3',4,4',5,5'-H _x CB
	モノオルト	2',3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #123	2',3,4,4',5'-P _c CB
		2,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #118	2,3',4,4',5'-P _c CB
		2,3,3',4,4'-Pentachlorobiphenyl #105	2,3,3',4,4'-P _c CB
		2,3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #114	2,3,4,4',5'-P _c CB
		2,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl #167	2,3',4,4',5,5'-H _x CB
		2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl #156	2,3,3',4,4',5'-H _x CB
		2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl #157	2,3,3',4,4',5'-H _x CB
2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl #189	2,3,3',4,4',5,5'-H _p CB		

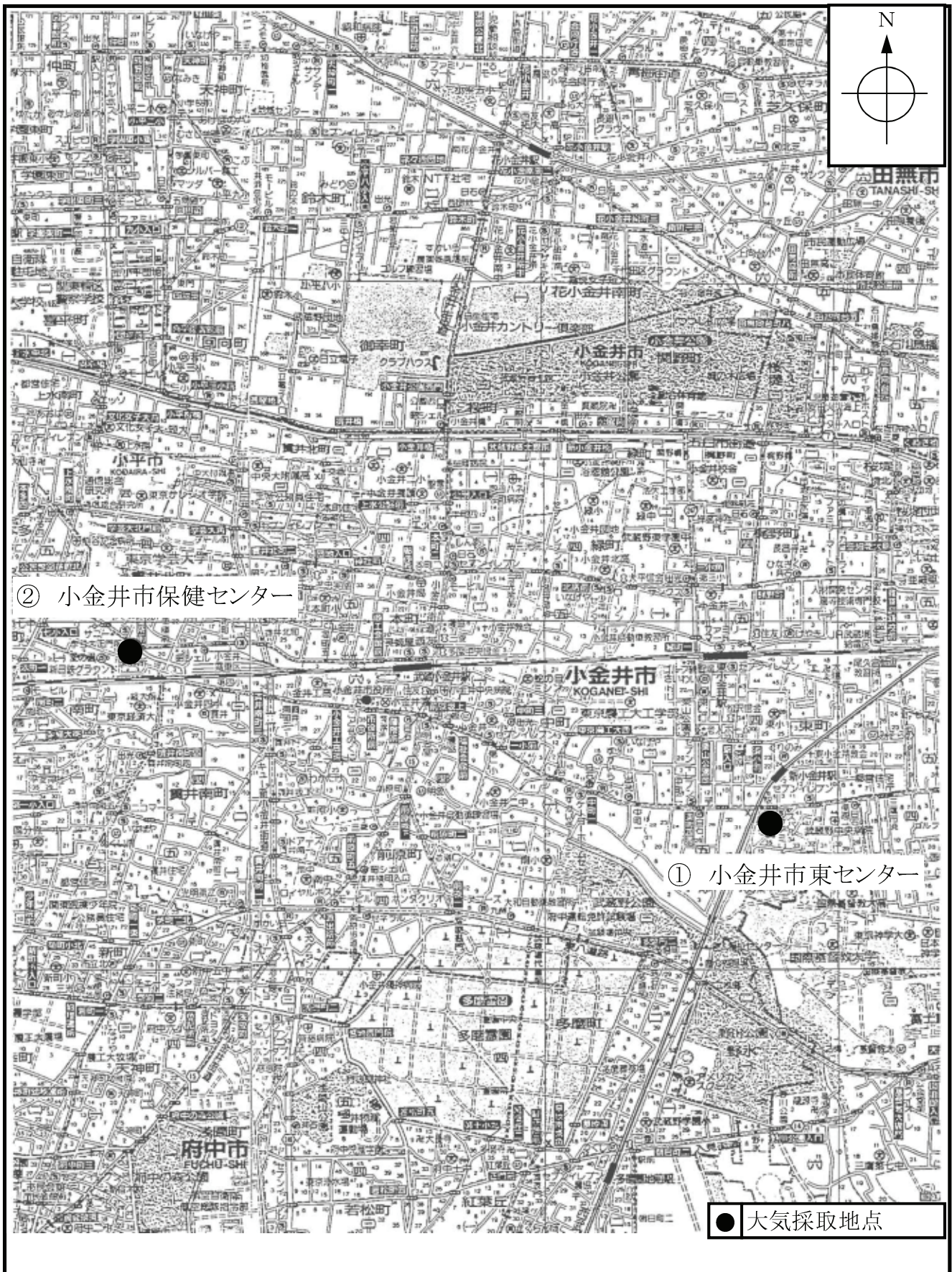


図1 調査地点図

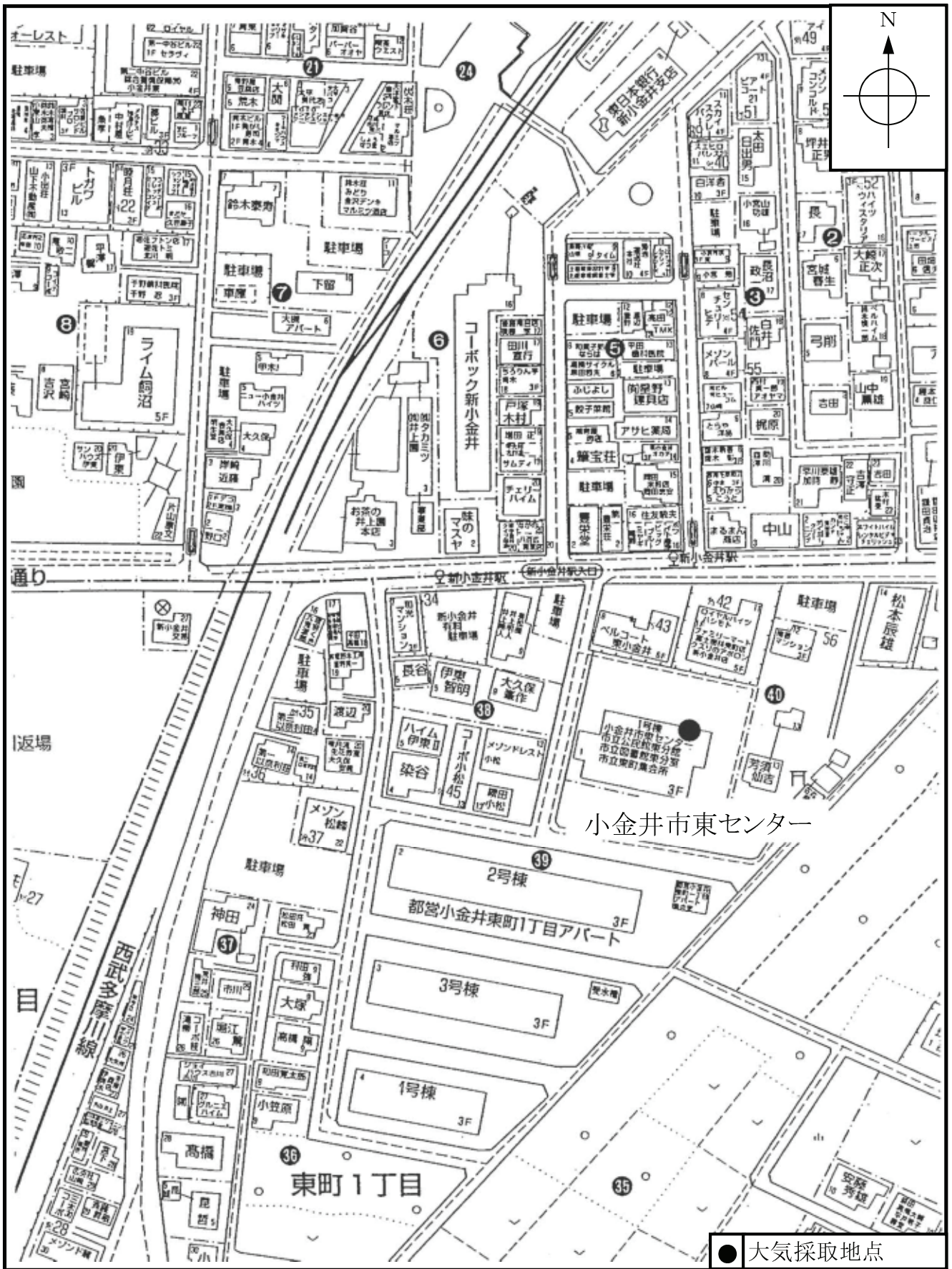


図2 調査地点図

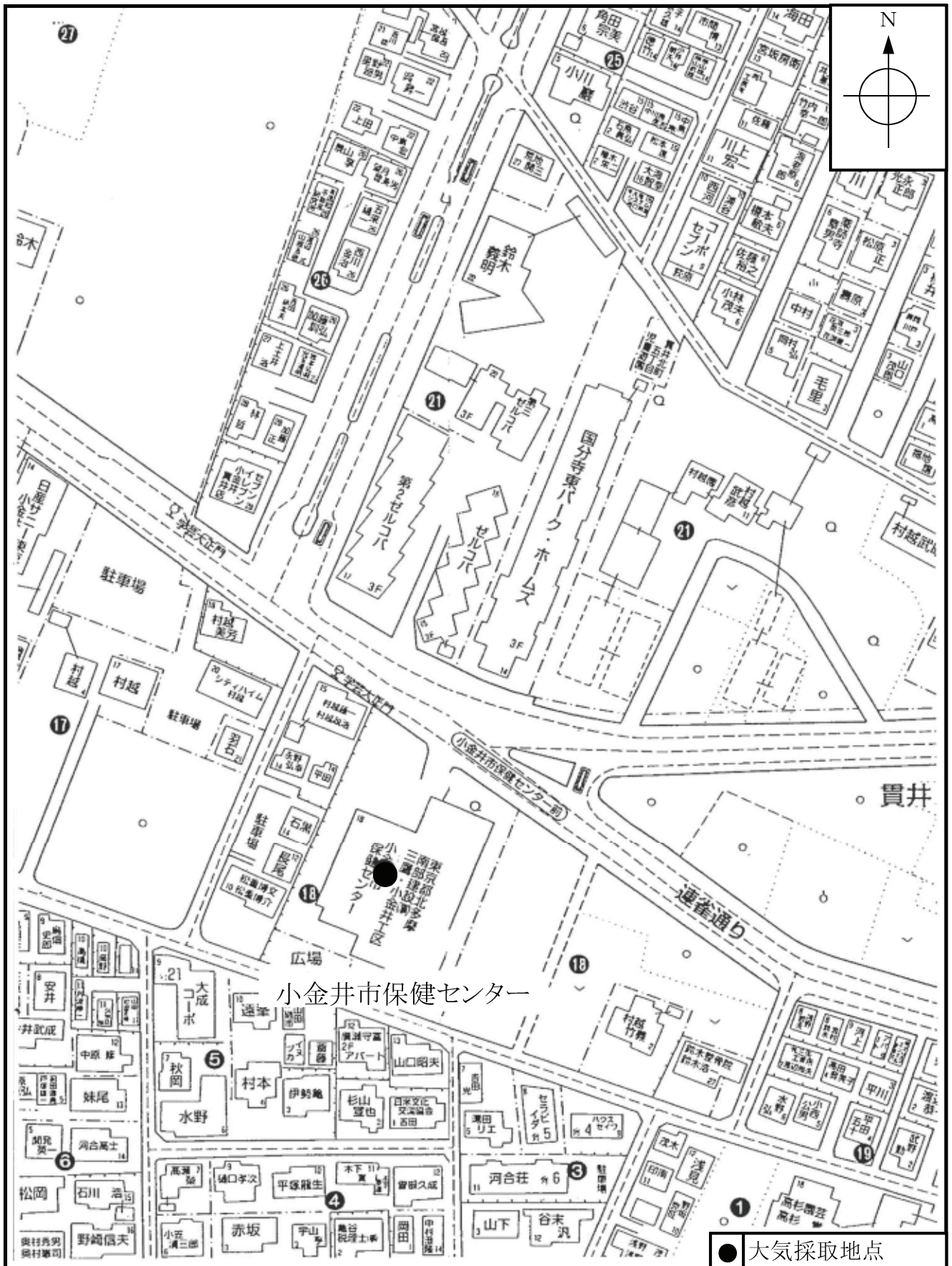


図3 調査地点図

5. 調査結果

調査結果を表 2 に、採取中の気象状況を表 3～4 及び図 4～5 に示し、比較参考データとして都内のダイオキシン類調査結果を表 5 に示した。

表2 調査結果(毒性等量)

(環境基準:0.6pg-TEQ/m³)

調査地点	8/17～8/18	2/6～2/7
	毒性等量(pg-TEQ/m ³)	
① 小金井市東センター	0.016	0.019
② 小金井市保健センター	0.014	0.019
平均値	0.015	0.019
令和4年度平均値	0.017	

二重測定

調査地点	8/17～8/18	2/6～2/7
	毒性等量(pg-TEQ/m ³)	
② 小金井市保健センター	0.013	0.019

注1) 二重測定の詳細結果を資料-1～2に示した。

平均値からの差が30%以内であったため測定の信頼性に問題はなかった。

注2) 二重測定試料の採取は可能であれば一連の試料採取において試料数の10%程度の頻度で行う。

【ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省)】

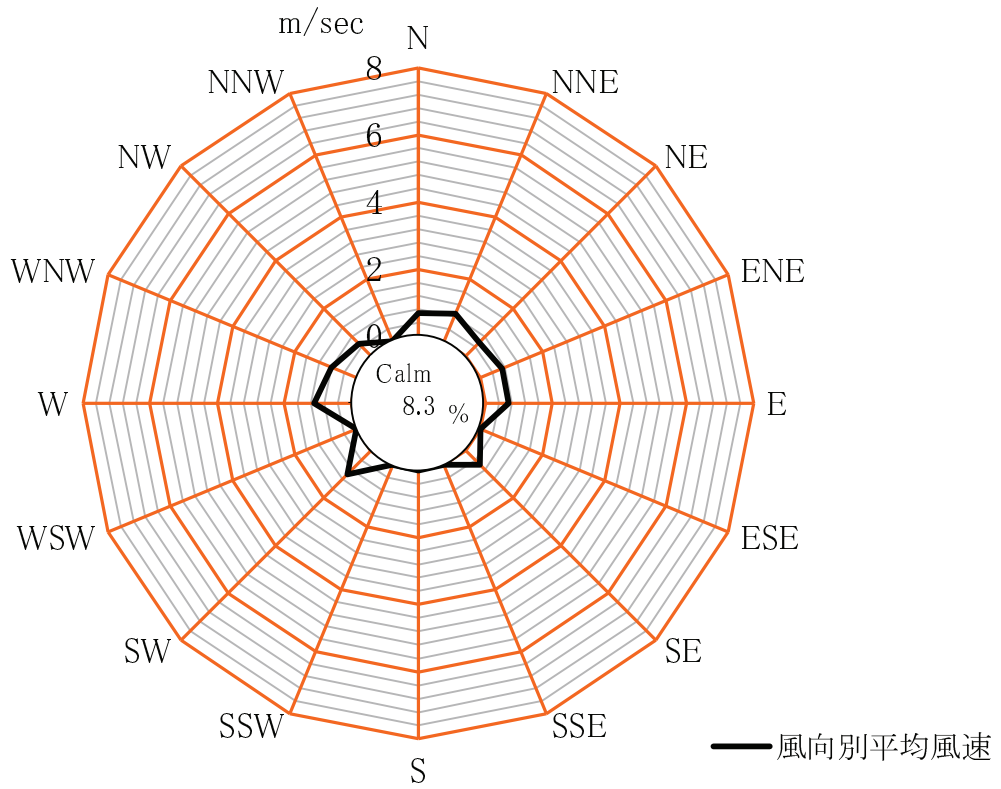
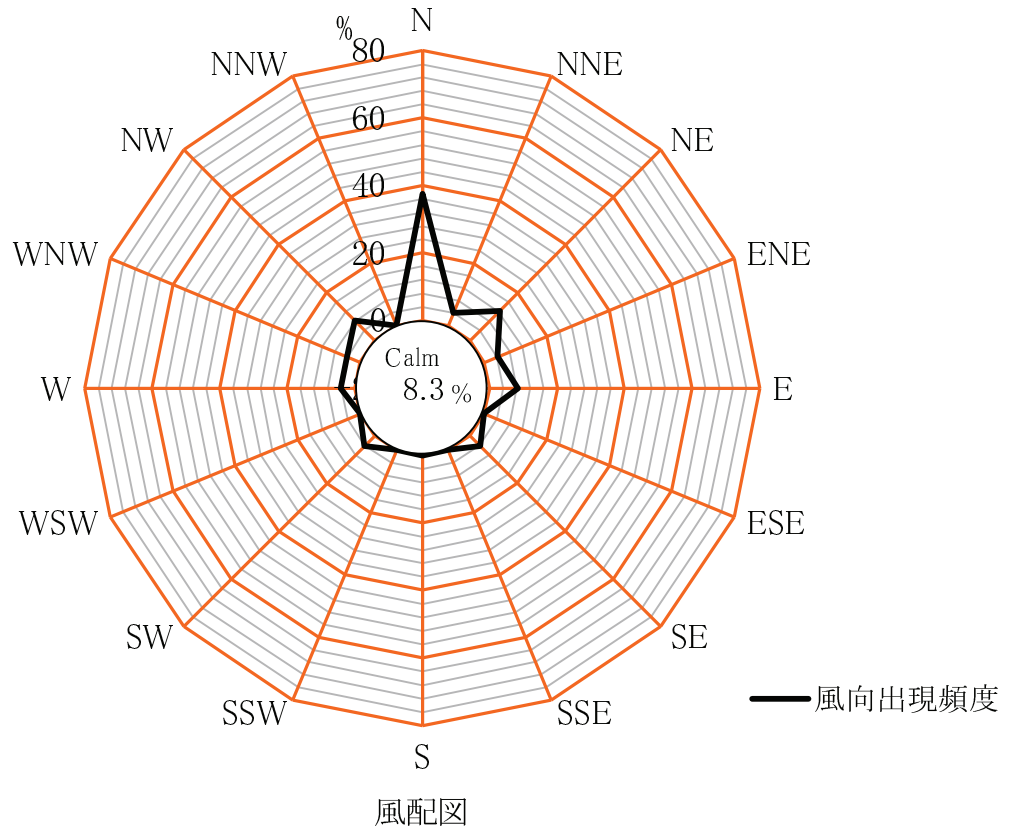
表3 調査期間中の気象データ

令和4年8月17日～18日

月/日	時刻	風向	風速 (m/sec)	気温 (℃)	湿度 (%)
8/17	10:00	N	0.6	26.4	81
	11:00	N	1.1	27.2	78
	12:00	NE	1.0	30.0	68
	13:00	E	0.8	30.6	64
	14:00	N	0.9	31.1	62
	15:00	NNE	0.9	30.5	65
	16:00	N	0.5	28.5	75
	17:00	N	1.1	26.3	87
	18:00	W	1.1	26.3	86
	19:00	SW	1.0	26.4	76
	20:00	WNW	0.8	26.4	76
	21:00	SE	0.6	26.6	74
	22:00	NW	0.3	25.8	80
	23:00	N	0.6	24.2	92
8/18	0:00	N	0.5	23.0	96
	1:00	E	0.6	22.4	97
	2:00	C	0.1	22.8	96
	3:00	ENE	0.7	22.8	96
	4:00	NE	0.3	23.0	96
	5:00	C	0.2	23.0	97
	6:00	N	0.4	22.9	97
	7:00	NW	0.7	23.1	97
	8:00	N	0.4	23.1	99
	9:00	NE	0.4	22.9	99

注) 小金井市本町の都大気環境監視速報データが欠測の為、小平市小川町のデータを使用した。

(速報データのため変更がある場合があります)



平均風速 0.7 m/sec Calm: 静穏(0.2m/sec以下)

図4 風配図及び平均風速

表4 調査期間中の気象データ

令和5年2月6日～7日

月/日	時刻	風向	風速 (m/sec)	気温 (°C)	湿度 (%)
2/6	10:00	NNE	1.1	7.9	45
	11:00	NNE	1.1	9.8	37
	12:00	ESE	1.3	11.3	34
	13:00	NNE	1.9	11.6	29
	14:00	SE	1.7	12.3	27
	15:00	SE	1.3	12.8	25
	16:00	SSE	2.1	12.4	26
	17:00	SW	3.1	10.6	45
	18:00	SW	1.8	9.7	49
	19:00	W	1.5	9.2	52
	20:00	WNW	1.1	8.7	53
	21:00	WNW	0.9	8.0	55
	22:00	WNW	1.6	7.6	53
23:00	WNW	0.4	7.1	53	
2/9	0:00	N	1.4	6.6	55
	1:00	N	1.5	6.4	58
	2:00	NNW	1.9	6.5	52
	3:00	NNW	1.8	6.4	50
	4:00	NNE	0.4	6.4	51
	5:00	N	1.6	6.0	50
	6:00	ENE	0.5	5.8	52
	7:00	NNW	0.4	5.5	55
	8:00	NNW	1.2	5.9	54
	9:00	ENE	0.7	8.0	45

注) 小金井市本町の都大気環境監視速報データが欠測の為、
小平市小川町のデータを使用した。
(速報データのため変更がある場合があります)

令和5年2月6日～7日

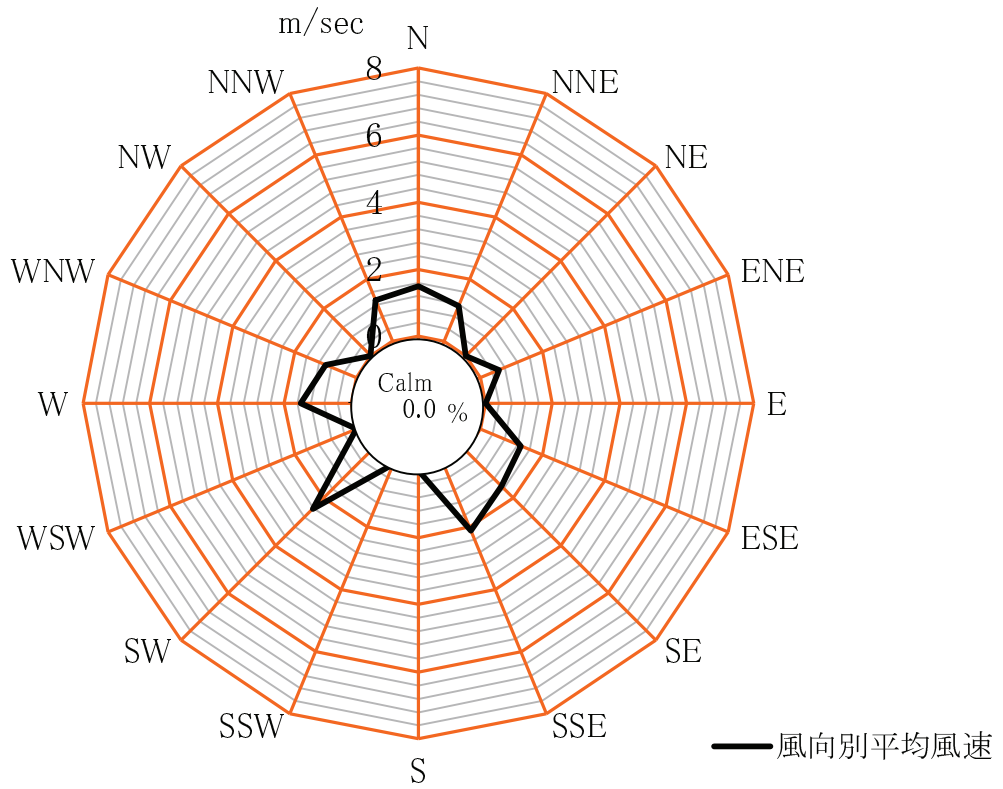
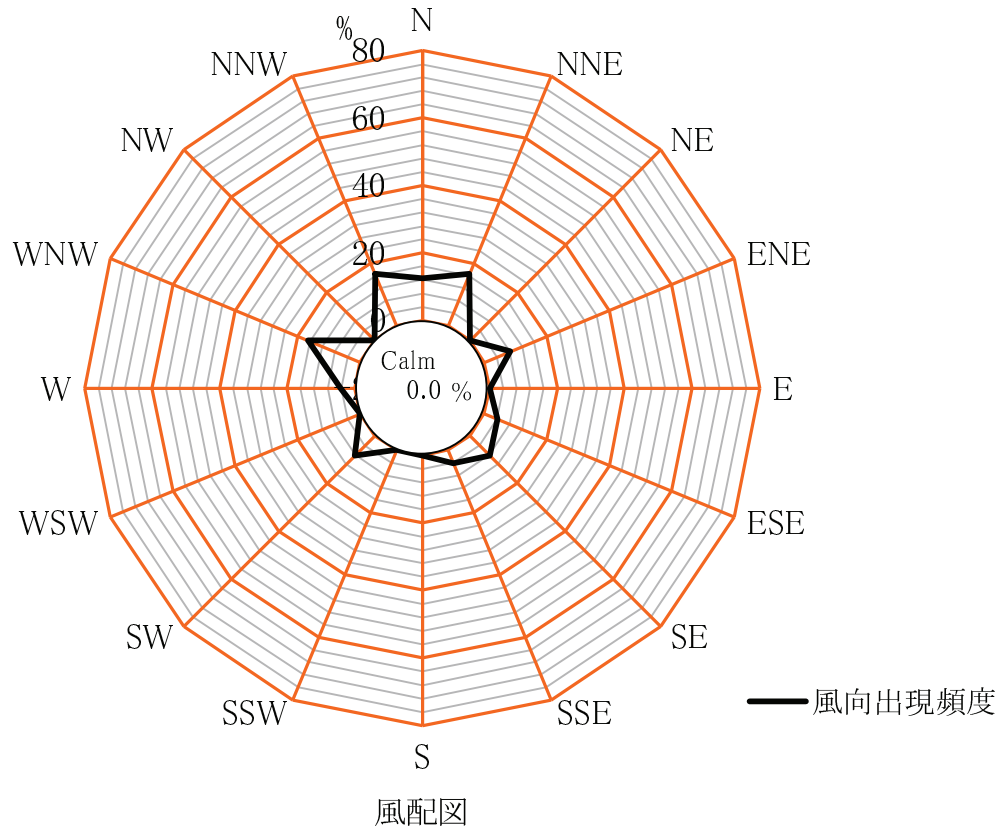


図5 風配図及び平均風速

表5 環境大気中のダイオキシン類調査結果(東京都環境局 令和3年度)

(単位:pg-TEQ/m³)

調査地点	令和3年度結果					令和2年度	令和元年度
	5月19日～5月67日	8月18日～8月25日	11月12日～11月19日	2月3日～2月9日*	平均値	平均値	平均値
1 中央区晴海局	0.013	0.0087	0.032	0.013	0.017	0.018	0.019
2 大田区東糞谷局	0.014	0.011	0.015	0.013	0.013	0.015	0.018
3 世田谷区世田谷局	0.0087	0.0082	0.022	0.012	0.013	0.011	0.016
4 板橋区氷川町局	0.013	0.0093	0.024	0.012	0.015	0.016	0.021
5 練馬区石神井町局	0.0067	0.0065	0.021	0.0095	0.011	0.011	0.014
6 足立区西新井局	0.015	0.016	0.036	0.016	0.021	0.026	0.027
7 葛飾区鎌倉	0.012	0.019	0.041	0.019	0.023	0.020	0.030
8 江戸川区春江町局	0.012	0.011	0.038	0.018	0.020	0.018	0.026
9 八王子市片倉町局	0.012	0.0097	0.0095	0.0076*	0.0097	0.013	0.016
10 八王子市大楽寺町局	0.0091	0.0073	0.0072	0.0072*	0.0077	0.012	0.010
11 立川市錦町	0.0095	0.014	0.017	0.010	0.013	0.021	0.020
12 町田市能ヶ谷局	0.0074	0.0090	0.017	0.0093	0.011	0.011	0.012
13 小金井市貫井北町	0.0087	0.0086	0.014	0.0110	0.011	0.011	0.015
14 福生市本町局	0.012	0.011	0.010	0.0088	0.010	0.023	0.013
15 東大和市奈良橋局	0.0071	0.011	0.010	0.0096	0.0094	0.010	0.011
16 清瀬市下宿	0.011	0.011	0.043	0.022	0.0218	0.012	0.019
17 西多摩郡檜原局	0.031	0.083	0.015	0.0045	0.033	0.0098	0.0061
平均	0.012	0.015	0.022	0.012	0.015	0.015	0.017
最大	0.031	0.083	0.043	0.022	0.033	0.026	0.030
最小	0.0067	0.0065	0.0072	0.0045	0.0077	0.0098	0.0061

備考:(1)毒性等価係数:WHO-TEF 2006。

(2)TEQを換算する際に、分析値が検出下限未満のものについては[検出下限×1/2]として扱った。

(3)測定地点毎の年平均値に対する最大、最小を年平均値欄下方に示した。

* 調査期間は令和4年2月3日(木)～2月10日(木)であったが、2月10日(木)について関東地方に大雪の予報が出たため、安全性を考慮し2月9日(水)に資料回収、調査撤去を行った。但し、八王子市片倉町局及び大楽寺町局は令和4年2月3日(木)～2月10日(木)で試料採取を行った。

出典:東京都環境局「令和3年度東京都内における環境中のダイオキシン類調査結果」令和4年7月25日

6. ま と め

6-1 環境基準及び公表データとの比較

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、環境基準(人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準)が大気 $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下と定められ平成 12 年 1 月 15 日から適用された。(平成 11 年環境庁告示第 68 号)

今年度の調査における大気中のダイオキシン類濃度を、WHO-TEF(2006)で見ると最大値は冬季の小金井市東センターと小金井市保健センターの $0.019\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ で、最小値は夏季の小金井市保健センターの $0.014\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ であり、年間の平均値は $0.017\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ で環境基準を十分満足する値であった(表 2)。

また、今年度の調査結果を東京都環境局が行った令和 3 年度の調査結果(表 5)の都内 17 箇所の年平均値($0.015\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)と比較すると、少し高い値であった。

6-2 地域住民への環境評価

今回の調査地点周辺住民の一日呼吸量を 15m^3 、体重を 50kg と仮定し、大気からのダイオキシン類の曝露量を、本年度の調査結果 $0.017\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ を用いて計算すると $0.0051\text{pg-TEQ}/\text{kg}/\text{日}$ となる。

これをダイオキシン類の「ダイオキシンの耐容一日摂取量(TDI)について」(平成 11 年 6 月「環境庁」)である $4\text{pg-TEQ}/\text{kg}/\text{日}$ と比較すると 0.13% の寄与率であった。

6-3 年間平均値の経年変化(毒性等量)

年間平均値の経年変化を表 6 及び図 6 に示した。

平成 14 年度は環境基準の約 $1/9$ ($0.064\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)の濃度であったが、徐々に下降傾向を示し、令和 4 年度は環境基準の約 $1/35$ ($0.017\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)の濃度であった。

表6 年間平均値の経年変化(毒性等量)

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
8月	0.077	0.045	0.045	0.033	0.024	0.020	0.024	0.017	0.022	0.020	0.017	0.015	0.020	0.016	0.015	0.013	0.009	0.016	0.018	0.013	0.015
2月	0.051	-	0.030	0.019	0.038	0.054	0.055	0.025	0.052	0.024	0.038	0.011	0.017	0.017	0.016	0.017	0.025	0.019	0.019	0.024	0.019
年間	0.064	0.045	0.038	0.026	0.031	0.037	0.039	0.021	0.037	0.022	0.027	0.013	0.019	0.017	0.016	0.015	0.017	0.018	0.018	0.018	0.017

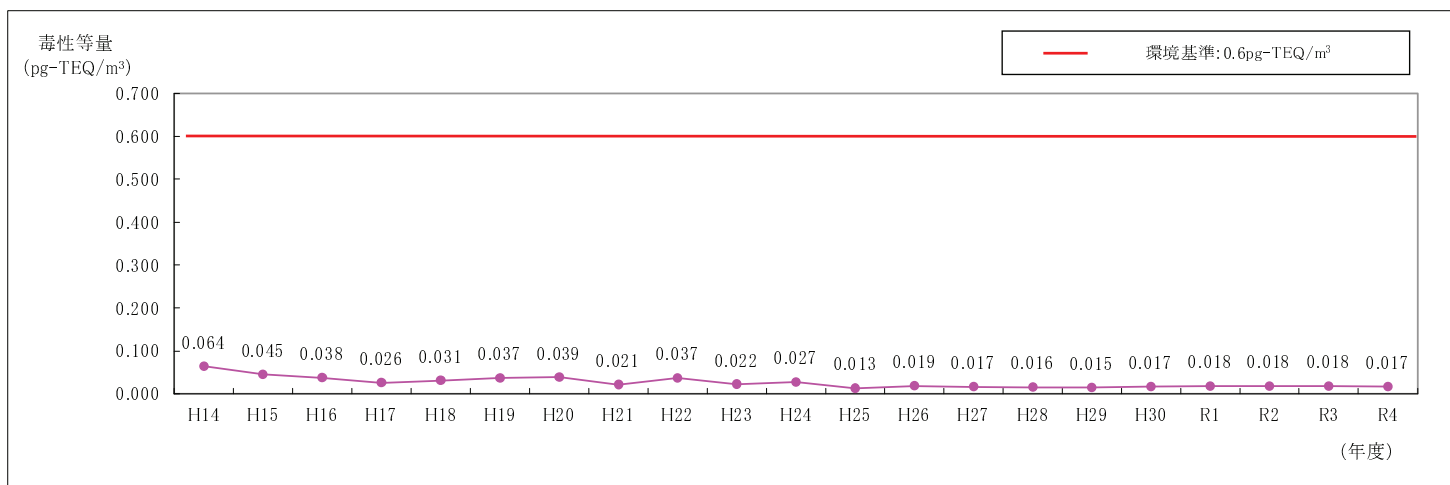


図6 年間平均値の経年変化(毒性等量)

資料

資料-1 小金井市の二重測定の評価詳細

依頼者	小金井市長
試料名	小金井市保健センター
調査開始年月日 (時刻)	令和4年8月17日 (8:55)
調査終了年月日 (時刻)	令和4年8月18日 (8:55)

		実測濃度 東 二重測定 (pg/m ³)	実測濃度 西 (pg/m ³)	検出下限 (pg/m ³)	平均値	平均値か らの差 (%)	
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.12	0.12	0.003	0.11735	-0.3	
	1,3,7,9-TeCDD	0.041	0.042	0.003	0.04171	-1.3	
	2,3,7,8-TeCDD	ND	ND	0.003	-	-	
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	ND	0.003	-	-	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.031	0.029	0.007	0.03068	2.7	
	OCDD	0.09	0.07	0.01	0.08648	8.3	
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	0.012	0.012	0.003	0.01256	0.8	
	2,3,7,8-TeCDF	(0.006)	(0.006)	0.003	0.00639	-4.3	
	1,2,3,7,8-PeCDF	(0.004)	(0.005)	0.003	0.0053	-8.6	
	2,3,4,7,8-PeCDF	(0.008)	(0.007)	0.003	0.00814	2.9	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	(0.008)	(0.009)	0.007	0.00869	-5.0	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	(0.007)	(0.008)	0.007	0.00835	-5.5	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	ND	0.007	-	-	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.020)	(0.018)	0.007	0.01949	5.9	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.055	0.059	0.007	0.05751	-2.8	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	(0.008)	(0.008)	0.007	0.00859	3.9	
	OCDF	0.04	0.04	0.01	0.04459	7.6	
PCBs	ノンオルト	3,4,4',5-TeCB #81	0.025	0.027	0.007	0.02635	-5.1
		3,3',4,4'-TeCB #77	0.25	0.30	0.007	0.2734	-10.2
		3,3',4,4',5-PeCB #126	(0.012)	(0.016)	0.007	0.01451	-11.9
		3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	ND	ND	0.007	-	-
	モノオルト	2',3,4,4',5-PeCB #123	0.028	0.036	0.007	0.03258	-11.7
		2,3',4,4',5-PeCB #118	1.4	1.7	0.007	1.5743	-10.4
		2,3,3',4,4'-PeCB #105	0.43	0.48	0.007	0.45389	-6.1
		2,3,4,4',5-PeCB #114	0.039	0.045	0.007	0.04246	-7.5
		2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	0.025	0.029	0.007	0.02774	-7.4
		2,3,3',4,4',5-HxCB #156	0.053	0.052	0.007	0.05292	0.3
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	(0.012)	(0.014)	0.007	0.01337	-6.2
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	ND	ND	0.007	-	-

- (備考) 1. 表中の“ND”は検出下限未満であることを示す。
2. 二重測定の誤差は、実測濃度 (検出下限以上)について、下記の数式で±30%以内であること。

$$\{ \text{測定結果1} - (\text{測定結果1} + \text{測定結果2}) / 2 \} \div (\text{測定結果1} + \text{測定結果2}) / 2 \times 100$$
3. 平均値と平均値からの差の計算に使用する実測濃度は丸める前の数字を使っている。
 そのため、表示上の数値が一致しないことがある。
4. 検証の結果、二重測定の誤差は、±30%以内にあることを確認できた。

資料-2 小金井市の二重測定の評価詳細

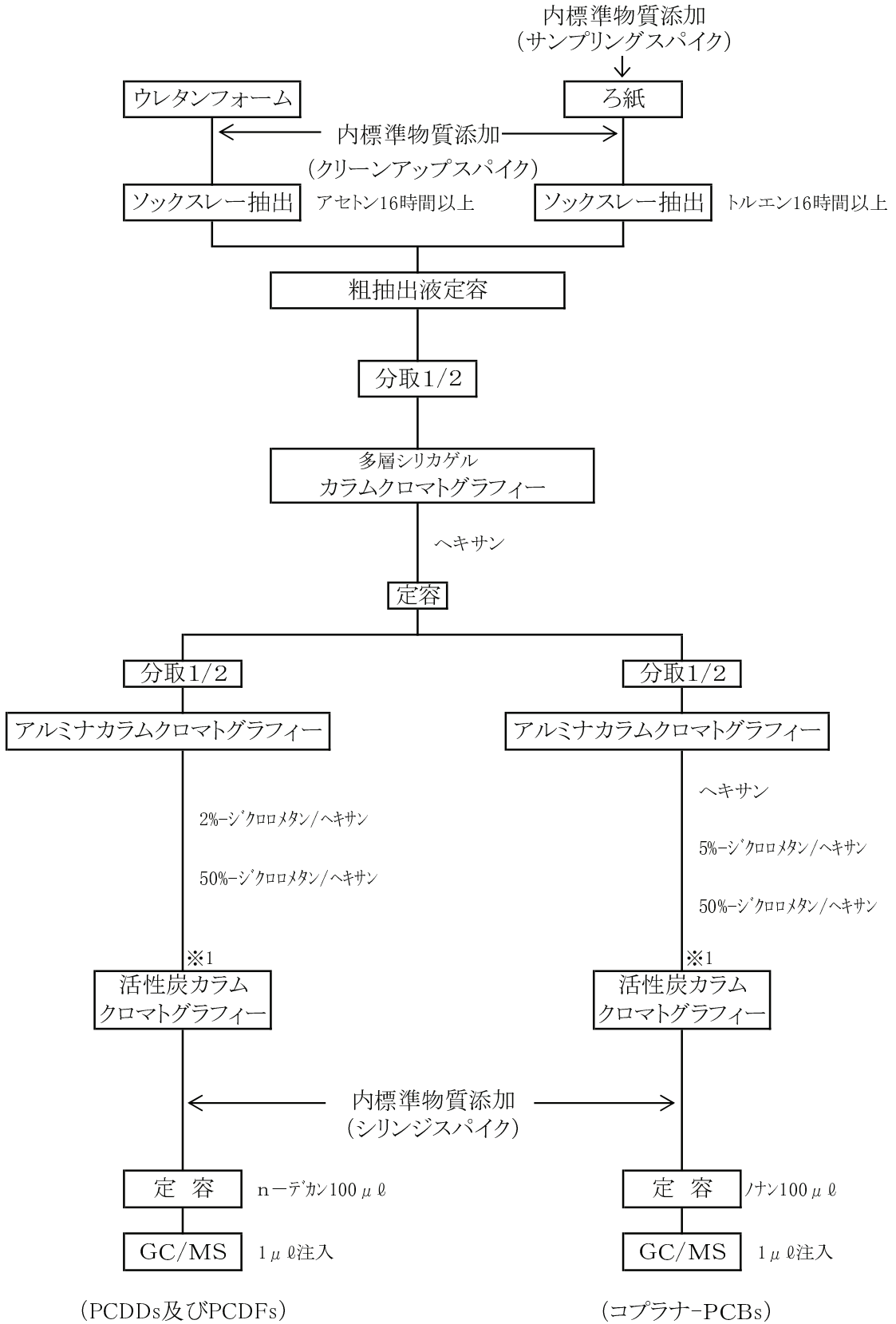
依頼者	小金井市長
試料名	小金井市保健センター
調査開始年月日 (時刻)	令和5年2月6日 (13:40)
調査終了年月日 (時刻)	令和5年2月7日 (13:40)

		実測濃度 西 二重測定 (pg/m ³)	実測濃度 東 (pg/m ³)	検出下限 (pg/m ³)	平均値	平均値か らの差 (%)	
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.088	0.090	0.003	0.08935	-1.1	
	1,3,7,9-TeCDD	0.030	0.030	0.003	0.03056	1.2	
	2,3,7,8-TeCDD	ND	ND	0.003	-	-	
	1,2,3,7,8-PeCDD	(0.008)	(0.007)	0.003	0.00758	6.3	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	(0.009)	(0.009)	0.007	0.00927	-1.1	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.028	0.034	0.007	0.03143	-10.9	
	OCDD	0.07	0.11	0.01	0.09658	-17.4	
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	(0.009)	(0.008)	0.003	0.00907	1.1	
	2,3,7,8-TeCDF	(0.004)	(0.004)	0.003	0.00458	3.9	
	1,2,3,7,8-PeCDF	(0.005)	(0.004)	0.003	0.00506	2.7	
	2,3,4,7,8-PeCDF	(0.006)	(0.008)	0.003	0.00756	-10.2	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	(0.008)	(0.008)	0.007	0.00883	1.1	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	(0.008)	(0.008)	0.007	0.00853	-0.5	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	ND	0.007	-	-	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.010)	(0.015)	0.007	0.01274	-19.3	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.029	0.040	0.007	0.0354	-15.5	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	ND	0.007	-	-	
	OCDF	(0.02)	0.04	0.01	0.03544	-18.8	
コブラナー-PCBs	ノンオルト	3,4,4',5-TeCB #81	(0.018)	(0.013)	0.007	0.01597	12.8
		3,3',4,4'-TeCB #77	0.17	0.14	0.007	0.15335	10.0
		3,3',4,4',5-PeCB #126	(0.016)	(0.015)	0.007	0.01589	4.9
		3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	ND	ND	0.007	-	-
	モノオルト	2',3,4,4',5-PeCB #123	0.023	(0.019)	0.007	0.02149	8.8
		2,3',4,4',5-PeCB #118	0.88	0.76	0.007	0.8198	7.0
		2,3,3',4,4'-PeCB #105	0.27	0.24	0.007	0.25524	7.2
		2,3,4,4',5-PeCB #114	0.028	(0.022)	0.007	0.02552	10.7
		2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	(0.017)	(0.015)	0.007	0.01669	7.7
		2,3,3',4,4',5-HxCB #156	0.034	0.031	0.007	0.03274	4.0
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	(0.010)	(0.010)	0.007	0.01018	1.0
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	ND	(0.007)	0.007	0.0071	-12.3

- (備考) 1. 表中の“ND”は検出下限未満であることを示す。
2. 二重測定の誤差は、実測濃度 (検出下限以上)について、下記の数式で±30%以内であること。

$$\frac{\{測定結果1 - (測定結果1と測定結果2の平均値)\}}{(測定結果1と測定結果2の平均値)} \times 100$$
3. 平均値と平均値からの差の計算に使用する実測濃度は丸める前の数字を使っている。
 そのため、表示上の数値が一致しないことがある。
4. 検証の結果、二重測定の誤差は、±30%以内にあることを確認できた。

大気試料分析法フローシート



※1 必要に応じて処理を実施

PCDDs及びPCDFs分析条件

分析機器名 日本電子株式会社 ガスクロマトグラフ-質量分析計
Mstation JMS-800D GC部 Agilent Technologies Agilent 7890A

GC部操作条件

分離カラム(1) BPX-DXN 60m × 0.25mm(id)
カラム温度(1) 130°C $\xrightarrow{(1.0\text{min hold})}$ 210°C $\xrightarrow{(15^\circ\text{C}/\text{min})}$ 310°C $\xrightarrow{(3.0^\circ\text{C}/\text{min})}$ 320°C $\xrightarrow{(5.0^\circ\text{C}/\text{min})}$ (hold)

分離カラム(2) RH-12ms fused silica capillary column 60m × 0.25mm(id)
カラム温度(2) 130°C $\xrightarrow{(1.0\text{min hold})}$ 210°C $\xrightarrow{(15^\circ\text{C}/\text{min})}$ 310°C $\xrightarrow{(3.0^\circ\text{C}/\text{min})}$ 320°C $\xrightarrow{(5.0^\circ\text{C}/\text{min})}$ (14.3min hold)

MS部 条件		
イオン化方法	EI	
イオン化電圧	38V	
イオン化電流	500 μ A	
加速電圧	10kV	
インターフェース温度	BPX-DXN 300°C	RH-12ms 300°C
イオン源温度	BPX-DXN 280°C	RH-12ms 280°C
分解能	M/ Δ M > 10,000(10% valley)	

設定質量数	M ⁺	(M+2) ⁺	(M+4) ⁺
TeCDDs	319.8965	321.8936	
PeCDDs		355.8546	357.8516
HxCDDs		389.8157	391.8127
HpCDDs		423.7766	425.7737
OCDD		457.7380	459.7350
TeCDFs	303.9016	305.8987	
PeCDFs		339.8597	341.8567
HxCDFs		373.8208	375.8178
HpCDFs		407.7818	409.7788
OCDF		441.7431	443.7400
¹³ C ₁₂ -TeCDDs	331.9368	333.9339	
¹³ C ₁₂ -PeCDD		367.8949	369.8919
¹³ C ₁₂ -HxCDDs		401.8559	403.8530
¹³ C ₁₂ -HpCDD		435.8169	437.8140
¹³ C ₁₂ -OCDD		469.7779	471.7753
¹³ C ₁₂ -TeCDF	315.9419	317.9389	
¹³ C ₁₂ -PeCDFs		351.9000	353.8970
¹³ C ₁₂ -HxCDFs		385.8610	387.8580
¹³ C ₁₂ -HpCDFs		419.8220	421.8191
¹³ C ₁₂ -OCDF		453.7830	455.7801

CO-PCB分析条件

分析機器名 日本電子株式会社 ガスクロマトグラフ-質量分析計
Mstation JMS-800D GC部 Agilent Technologies Agilent 7890A

GC部 操作条件

分離カラム RH-12ms fused silica capillary column 60m × 0.25mm(id)
カラム温度 130°C → 210°C → 310°C
(1.0min hold) (15°C/min) (3.0°C/min)
→ 320°C
(5.0°C/min) (14.3min hold)

MS部 条件	
イオン化方法	EI
イオン化電圧	38V
イオン化電流	500 μA
加速電圧	10kV
インターフェース温度	300°C
イオン源温度	280°C
分解能	M/ΔM>10,000(10% valley)

設定質量数	M ⁺	(M+2) ⁺	(M+4) ⁺
TeCBs	289.9224	291.9194	
PeCBs		325.8804	327.8775
HxCBs		359.8415	361.8385
HpCBs		393.8025	395.7995
¹³ C ₁₂ -TeCBs	301.9626	303.9597	
¹³ C ₁₂ -PeCBs		337.9207	339.9178
¹³ C ₁₂ -HxCBs		371.8817	373.8788
¹³ C ₁₂ -HpCBs		405.8428	407.8398

同定及び定量

各PCDDs, PCDFs及びPCBsのイオン強度の強い M^+ , $(M+2)^+$, $(M+4)^+$ のイオンの内、各塩化物ごとに標準物質と $^{13}C_{12}$ -内標準物質について各々2つをモニターし、各2つのイオンの面積比率が標準品とほぼ同じで、塩素原子の天然同位体比の理論値に対しても $\pm 15\%$ 以内のもの(検出下限の3倍以下の濃度では $\pm 25\%$ 以内)をPCDDs, PCDFs及びPCBsとして同定する。さらに同定されたPCDDs, PCDFsの中の2,3,7,8位塩素置換化合物、並びに同定されたPCBsの中のコプラナーPCBsを、クロマトグラム上のピークの保持時間が標準物質とほぼ同じである事と、対応する内標準物質との相対保持時間が標準物質と一致することで同定し、内標準法によりS/N 3以上のピーク的面積を用いて定量した。

同定、定量に用いた標準品はWellington Laboratories 製で以下に示す。

標準物質	
T _e CDD	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
P _e CDD	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
H _x CDDs	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
H _p CDD	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
OCDD	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
T _e CDF	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran
P _e CDFs	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran
	2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran
H _x CDFs	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran
	2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
H _p CDFs	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran
	1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran
OCDF	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzofuran

内標準物質	
$^{13}C_{12}$ -T _e CDDs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -P _e CDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -H _x CDDs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -H _p CDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -OCDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -T _e CDF	$^{13}C_{12}$ -2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -P _e CDFs	$^{13}C_{12}$ -2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -H _x CDFs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -H _p CDFs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzofuran

標準物質		
T _e CBs	3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl	#77
	3,4,4',5-Tetrachlorobiphenyl	#81
P _e CBs	2,3,3',4,4'-Pentachlorobiphenyl	#105
	2,3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#114
	2,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#118
	2',3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#123
	3,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#126
H _x CBs	2,3,3',4,4',5-Hexachlorobiphenyl	#156
	2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl	#157
	2,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#167
	3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#169
H _p CBs	2,2',3,3',4,4',5-Heptachlorobiphenyl	#170
	2,2',3,4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#180
	2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#189

内標準物質		
¹³ C ₁₂ -T _e CBs	¹³ C ₁₂ -2,3',4',5-Tetrachlorobiphenyl	#70
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl	#77
	¹³ C ₁₂ -3,4,4',5-Tetrachlorobiphenyl	#81
¹³ C ₁₂ -P _e CBs	¹³ C ₁₂ -2,3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#114
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#118
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#126
¹³ C ₁₂ -H _x CBs	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl	#157
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#169
¹³ C ₁₂ -H _p CBs	¹³ C ₁₂ -2,2',3,3',4,4',5-Heptachlorobiphenyl	#170
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#189

採取状況写真

夏季



① 小金井市東センター



② 小金井市保健センター

(写真 左: 東 右: 西)

冬季



① 小金井市東センター



② 小金井市保健センター

(写真 左：東 右：西)

小金井市大気質調査報告書
(ダイオキシン類)

令和5年3月発行

小金井市環境部環境政策課
〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号
ダイヤル 042(387)9817

※古紙を配合しています。

令和4年度
自動車騒音常時監視調査委託
自動車騒音の常時監視に係る調査

報告書

令和5年3月

小金井市

目 次

1. 業務概要	1
1.1 件名	1
1.2 目的	1
1.3 履行期限	1
1.4 準拠する法令等	1
1.5 実施機関	1
2. 業務内容	2
2.1 評価対象路線について	2
2.2 調査日時	5
2.3 調査項目	5
2.4 調査方法	6
2.4.1 騒音測定	6
2.4.2 交通量測定	7
2.4.3 平均走行速度測定	8
3. 関係法令	9
3.1 騒音に係る環境基準	9
4. 調査結果	10
4.1 道路調査および沿道調査	10
4.2 騒音等調査	11
4.2.1 道路近傍騒音レベル	11
4.2.2 背後地騒音	14
4.3 交通量・平均走行速度の調査結果	15
5. 面的評価支援システムによる評価	16
5.1 初期設定	16
5.2 道路設定	16
5.3 沿道設定	16
5.4 騒音設定	17
5.5 騒音推計前	18
5.6 騒音推計	19
5.7 指定出力	20
6. 環境基準の地域評価結果	21
6.1 環境基準の達成状況(今年度評価区間)	21
6.2 環境基準の達成状況(全体)	23
6.3 環境基準の達成状況(道路種別)	25
6.4 環境基準の達成状況(路線別)	26

資料編

- ・実測時間別騒音レベル一覧表
- ・令和4年度 自動車騒音常時監視結果報告(環境省提出資料)
常時監視フォーマット
詳細図(騒音測定地点の位置図・断面図)
- ・騒音暴露状況の住居等別の一括表示
- ・環境基準達成状況の評価区間別の一括評価
- ・現場写真

1. 業務概要

1.1 件名

自動車騒音常時監視調査委託
自動車騒音の常時監視に係る調査

1.2 目的

騒音規制法第 18 条第1項の規定に基づき、小金井市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施した。また、自動車騒音常時監視報告書および環境省への報告資料を作成した。なお、環境省が配布する面的評価支援システムを用いて、「自動車騒音常時監視マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日付け環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)に沿った評価対象路線の環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策への反映を図る資料とすることを目的とした。

1.3 履行期限

契約締結日から令和 5 年 3 月 31 日まで

1.4 準拠する法令等

本業務は発注仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとした。

- (1) 環境基本法(平成 5 年 11 月 19 日 法律第 91 号)
- (2) 騒音規制法(昭和 43 年 6 月 10 日 法律第 98 号)
- (3) 騒音に係る環境基準(平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号)
- (4) 「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日 環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)
- (5) 自動車騒音常時監視マニュアル(平成 27 年 10 月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課以下「常時監視マニュアル」という。)
- (6) その他関係法令等

1.5 実施機関

株式会社 CTI ウイング 東京事務所
計量証明事業所登録 大阪府知事登録 第 10404 号(音圧レベル)
第 10405 号(振動加速度レベル)
〒135-0016 東京都江東区東陽 6 丁目 5-6
TEL 03-6666-4780 FAX 03-6666-3958

2. 業務内容

2.1 評価対象路線について

本業務の業務対象は、表 2.1 に示す路線とし、評価対象とする区間の両側の道路端から各 50m の範囲を対象とした。また各路線のうち表 2.2 に示す 2 地点で道路騒音等の調査を行った。調査地点の全体図を図 2.1 に、調査地点ごとの詳細を図 2.2(1)～(2)に示す。

表 2.1 調査対象路線

一連 番号	路 線			起終点住所		車 線 数	調査単位※ ² 区間番号	区間 延長 (km)
	道路※ ¹ 種別	路線 番号	路線名	起点側	終点側			
1	4	7	杉並あきる野線	小金井市・武蔵野市境	小金井市桜町3-6	2	40370	1.7
2	4	15	府中清瀬線	小金井市・府中市境	小金井市中町4-14	2	40830	1.7
総区間延長								3.4

※1 道路種別 4:主要地方道

※2 調査単位区間番号は、平成27年道路交通センサス番号を示す。

表 2.2 騒音等調査地点

地点 番号	路線名	調査単位 区間番号	調査地点 住所
地点1	杉並あきる野線	40370	小金井市関野町1-6
地点2	府中清瀬線	40830	小金井市前原町5-14



● 騒音等調査地点

図 2.1 調査対象路線・騒音等調査地点

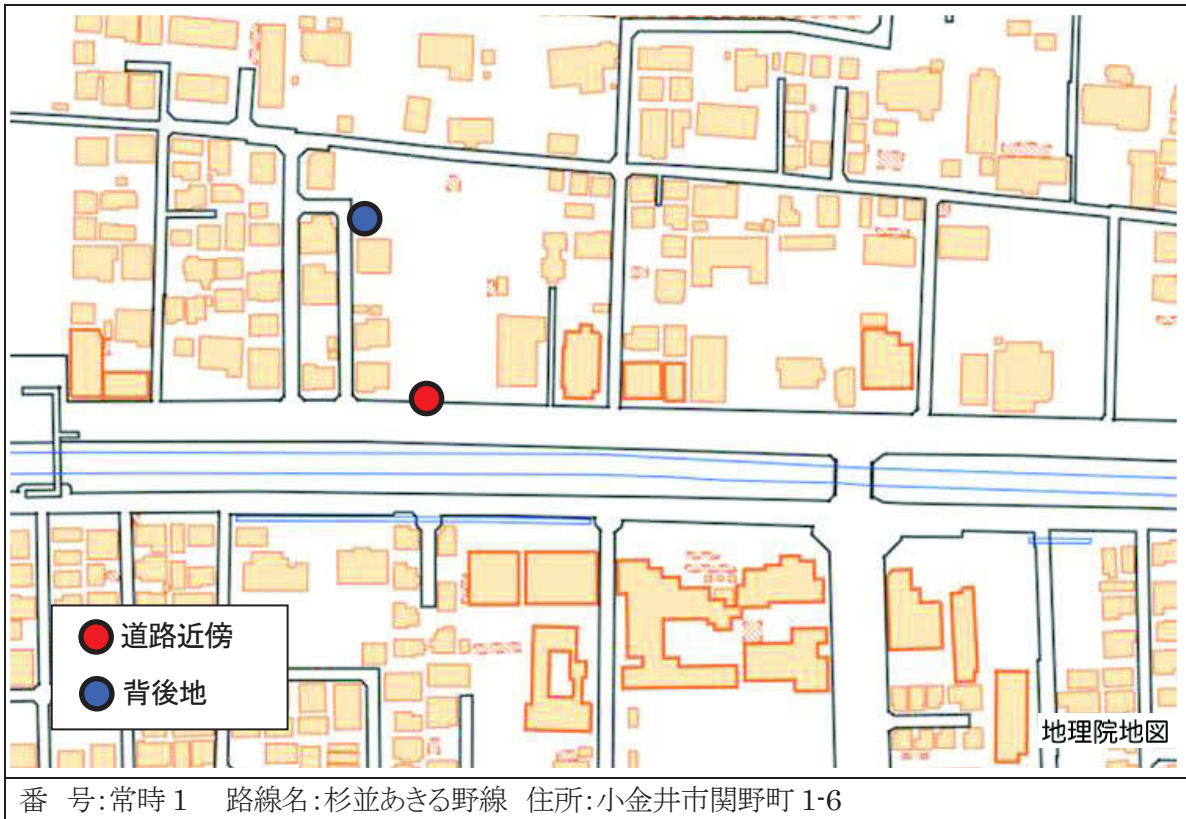


図 2.2(1) 調査地点の詳細図 地点1 杉並あきる野線(40370) 小金井市関野町1-6 付近

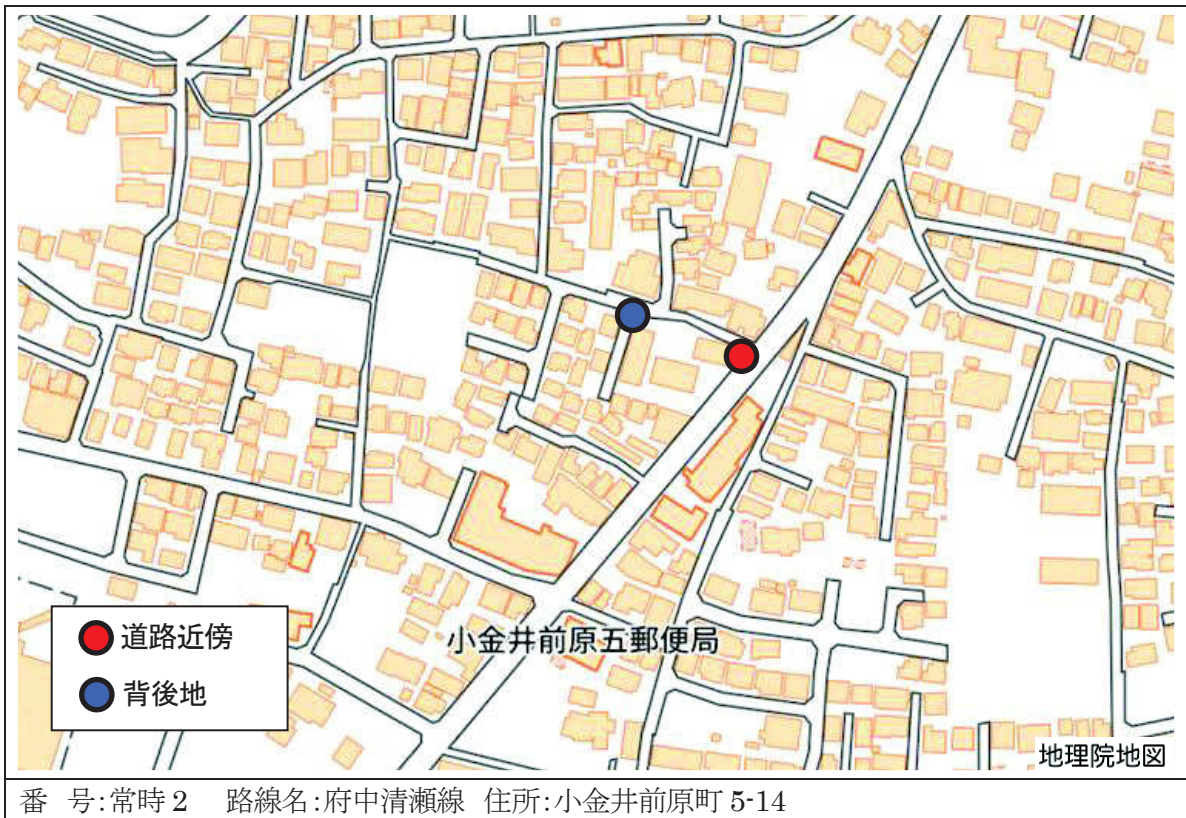


図 2.2(2) 調査地点の詳細図 地点2 府中清瀬線(40830) 小金井市前原町5-14 付近

2.2 調査日時

令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

2.3 調査項目

調査項目を表 2.3 に示す。

表 2.3 調査項目の一覧

項目		調査の内容
騒音測定	道路近傍騒音レベル	測定項目：昼間等価騒音レベル($L_{Aeq,16h}$) 夜間等価騒音レベル($L_{Aeq,8h}$) 時間率騒音レベル(L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95}) 騒音レベルの最大値(L_{Amax}) 測定頻度：24 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)
	背後地騒音レベル	測定項目：昼間等価騒音レベル($L_{Aeq,16h}$) 夜間等価騒音レベル($L_{Aeq,8h}$) 時間率騒音レベル(L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95}) 騒音レベルの最大値(L_{Amax}) 測定頻度：昼間(6~22 時)・夜間(22~6 時)にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)
交通量・平均走行速度測定	交通量測定	測定項目：方向別・車種別・時間別の走行車両台数 車種分類：4 車種分類(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車) 測定頻度：昼間(6~22 時)・夜間(22~6 時)にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)
	平均走行速度測定	測定項目：方向別・時間帯別の平均走行速度(各 10 台) 測定頻度：車種別交通量の調査と同時

2.4 調査方法

2.4.1 騒音測定

①測定項目

- 昼間等価騒音レベル($L_{Aeq,16h}$)
- 夜間等価騒音レベル($L_{Aeq,8h}$)
- 時間率騒音レベル(L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95})
- 騒音レベルの最大値(L_{Amax})

②測定方法

騒音レベルの測定は、「環境基準の表示・測定方法」(JIS Z 8731-2019)及び「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1509-1 に定める積分型普通騒音計(周波数重み特性:A 時間重み特性:F)を地上高さ 1.2m に設置し、100m 秒間隔の瞬時値を騒音計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、騒音レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の等価騒音レベル、時間率騒音レベル、騒音レベルの最大値を算出した。

③測定頻度

- 道路近傍 24 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)
- 背後地 昼間・夜間にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)

④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.4 に示す。測定機器の構成を図 2.3 に示す。

表 2.4 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
普通騒音計	(株) ソーテック	TYPE 1010	適合規格:JIS C 1509-1 クラス 2 測定レベル範囲:A 特性 28~138dB 測定周波数範囲:20 Hz ~ 8 kHz 周波数重み特性:A 時間重み特性:F サンプリング間隔:100m 秒

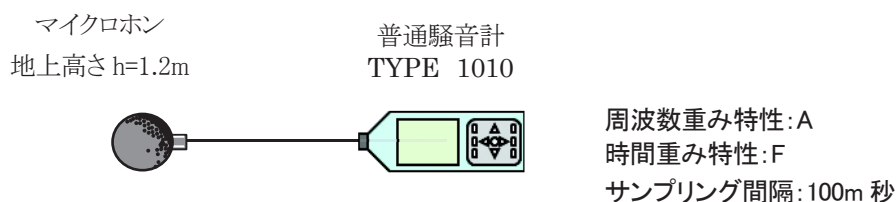


図 2.3 測定機器の構成図(騒音レベル)

2.4.2 交通量測定

①測定項目

交通量 方向別(上り方向・下り方向)
車種別(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車)

②測定方法

ビデオカメラにて対象道路を撮影し、社内にて撮影データから、対象道路を走行する車両の台数を方向別、車種別、時間別に、マニュアルカウンターを用いて計測した。なお、車種の分類は表 2.5 に示すとおりとする。

③測定頻度

昼間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回
夜間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

表 2.5 車種分類表

区 分		ナンバープレート	その他の特徴	代表的な車種
大型車Ⅰ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(大型番号標)	車両総重量 8 トン以上 最大積載量 5 トン以上 車両前部上部に速度表示灯(バスを除く) ※1999 年以降、速度表示灯は廃止された	キャブオーバーハットトラック ダンプ トラック
	特種用途自動車	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(大型番号標)		コンクリートミキサー車 タンク車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(大型番号標)		観光バス 路線バス
大型車Ⅱ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(小型番号標)	車両総重量 8 トン未満 最大積載量 5 トン未満	キャブオーバーハットトラック バン型トラック
	特種用途自動車※	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(小型番号標)		冷蔵冷凍車 塵芥車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(小型番号標)		乗車定員 11 人以上 29 人以下
小型車	大型車Ⅰ及び大型車Ⅱ、二輪車を除く自動車			
二輪車	二輪自動車、原動機付自転車			

※大型車Ⅱの特種用途自動車には、改造前の自動車(乗用車、小型貨物)と同程度の大きさのものは含めない。それらは小型車にカウントするものとした。

2.4.3 平均走行速度測定

①測定項目

平均走行速度 方向別(上り方向・下り方向)

②測定方法

ビデオカメラにて対象道路を撮影し、社内にて撮影データから、自動車が一定区間を走行するときの所要時間をストップウォッチで計測し、以下に示す計算式により求めた。

$$\text{走行速度(km/h)} = \text{区間距離(m)} \div \text{通過時間(s)} \times 3.6$$

③測定頻度

昼間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

夜間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

3. 関係法令

3.1 騒音に係る環境基準

◆ 道路に面する地域以外の地域(一般地域)

地域の類型	時間の区分(L _{Aeq} (dB))	
	昼間	夜間
AA	50 以下	40 以下
A 及び B	55 以下	45 以下
C	60 以下	50 以下

備考 環境基本法では、騒音に係る環境基準の地域類型をあてはめる地域を知事が指定することとなっており、東京都での指定状況は次のとおりである。

(次表以下同じ)

① 地域の類型該当地域

AA:清瀬市の区域のうち、松山3丁目1番、竹丘1丁目17番、竹丘3丁目1番から3番まで及び竹丘3丁目10番の区域(療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域)

A :第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域(専ら住居の用に供する地域)

B :第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域(主として住居の用に供する地域)

C :近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

② 時間の区分

昼間:午前6時から午後10時まで

夜間:午後10時から翌日午前6時まで

◆ 道路に面する地域^{*1}(この地域には、上表によらず次表の基準値が適用される)

道路に面する地域の環境基準については、平成12年度から、一定地域内の住居等のうち騒音レベルが環境基準を超過する戸数及び超過する割合により評価(面的評価)することとなっている。「騒音に係る環境基準について」環境庁告示 平成11年4月施行)

地域の区分	時間の区分(L _{Aeq} (dB))	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線 ^{*2} を有する道路に面する地域	60 以下	55 以下
B地域のうち2車線以上の車線 ^{*2} を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線 ^{*2} を有する道路に面する地域	65 以下	60 以下

※1 「道路に面する地域」とは、道路騒音が支配的な音源である地域のことである。「騒音に係る環境基準の改正について」(平成10年9月30日 環大企第257号)

※2 車線とは、1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な一定の復員を有する帯状の車道部をいう。

◆ 幹線交通を担う道路^{*}(この地域には、特例として次表の基準値が適用される)

昼間	夜間
70 以下	65 以下

備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれているときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては45dB以下、夜間にあっては40dB以下)によることができる。

※ 「幹線交通を担う道路」とは、高速自動車国道・都市高速道路・一般国道・都道府県道・4車線以上の市町村道のことをいう。「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離により範囲が特定される。

- ・ 2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15m
- ・ 2車線を越える車線を有する幹線交通を担う道路 20m

4. 調査結果

4.1 道路調査および沿道調査

表 4.1 の評価対象路線について道路構造条件・騒音対策状況・交通流条件、沿道の土地利用状況等を調査した。

① 道路調査

評価対象路線について、現地道路調査により、道路構造条件・騒音対策状況・交通流条件を調査し、騒音の影響が一定とみなせる区間に細分化し、評価区間を設定した。

本年度業務における評価区間の設定を表 4.1 に示す。

表 4.1 評価区間の設定

一連 番号	路線 番号	路線名	令和4年度の評価区間						測定地点
			区間番号	起点側住所	終点側住所	車 線 数	舗装 種別	区間※ 延長 (km)	
1	7	杉並あきる野線	40370-1	小金井市・武蔵野市境	小金井市桜町3-6	2	低騒音	1.7	小金井市関野町1-6
2	15	府中清瀬線	40830-1	小金井市・府中市境	小金井市中町4-14	2	低騒音	1.7	小金井市前原町5-14

※ 区間延長は面的評価支援システムの集計による

② 道路横断面調査

道路近傍騒音を測定した位置において、道路横断面情報を現地計測もしくは既存資料により調査し整理した。

計測結果は、添付資料「詳細図(騒音測定地点の平面図・横断面図)」に示した

③ 建物調査

「5.3 沿道設定」と合わせてデジタル住宅地図より建物情報を取得する。

4.2 騒音等調査

4.2.1 道路近傍騒音レベル

道路近傍の騒音レベルは、1時間あたり6回実施した結果の中から、改造バイクや緊急自動車のサイレン等の影響を受けていると思われるデータを除外し、残りのデータをエネルギー的に平均して観測時間帯別、基準時間帯別の等価騒音レベル(L_{Aeq})を算出した。

道路近傍における騒音レベル調査結果を表 4.2、観測時間別の騒音レベル調査結果を表 4.3(1)～(2)および図 4.1(1)～(2)に示す。また、実測時間別の騒音調査結果を資料編に示す。

昼間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点 2 府中清瀬線(40830)であり、65dB であった。夜間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点 1 杉並あきる野線(40370)であり、62dB であった。

環境基準達成状況は、地点 1 杉並あきる野線(40370)、地点 2 府中清瀬線(40830)で昼間、夜間ともに環境基準・要請限度を達成した。

表 4.2 道路近傍騒音レベルの調査結果

調査日：令和4年6月23日(木)9:00～6月24日(金)9:00

地点 番号	路線名	調査単位 区間番号	調査地点	時間 区分 ^{※1}	等価騒音レベル L _{Aeq} (dB)				
					調査結果	環境基準		要請限度	
						基準値	適合状況 ^{※2}	基準値	適合状況 ^{※2}
地点1	杉並あきる野線	40370	小金井市関野町1-6	昼間	64	70	○	75	○
				夜間	62	65	○	70	○
地点2	府中清瀬線	40830	小金井市前原町5-14	昼間	65	70	○	75	○
				夜間	61	65	○	70	○

※1 時間区分の昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00

※2 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

表 4.3(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 1

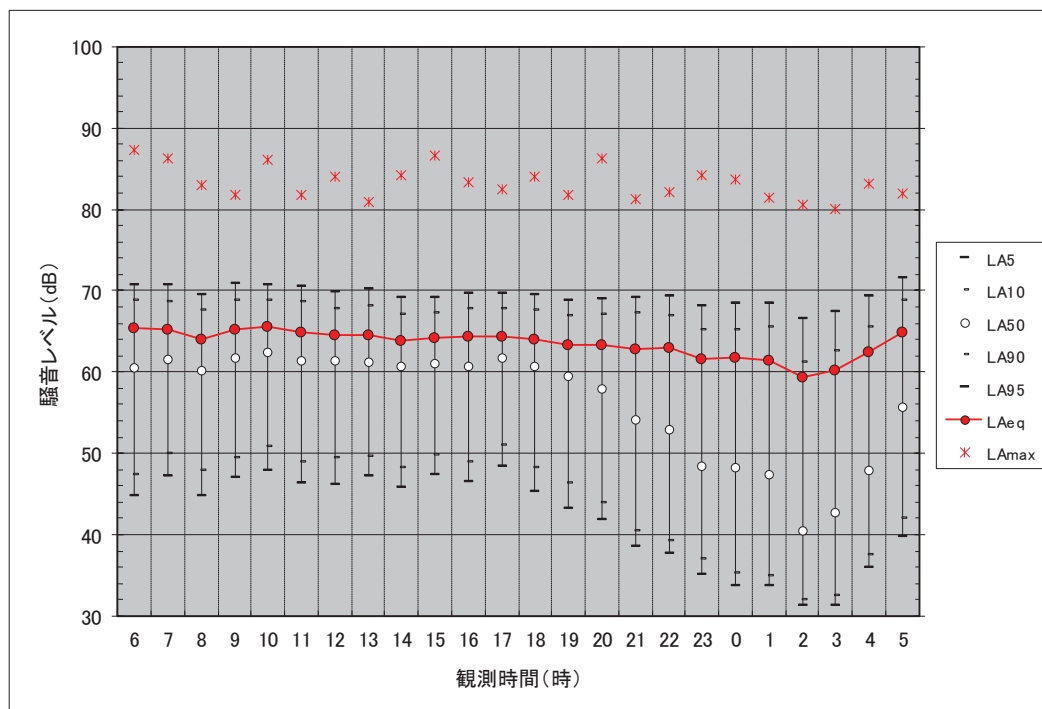
調査日時: 令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

路線名: 杉並あきる野線

調査地点: 小金井市関野町1-6

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					最大値 (dB)	
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}		L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	65.4	70.8	68.8	60.5	47.4	44.9	87.4	
	7:00~8:00		65.3	70.8	68.7	61.6	50.1	47.2	86.3	
	8:00~9:00		64.1	69.6	67.7	60.3	47.9	44.9	83.1	
	9:00~10:00		65.2	71.0	68.9	61.8	49.5	47.0	81.8	
	10:00~11:00		65.6	70.8	68.9	62.4	50.8	47.9	86.1	
	11:00~12:00		64.9	70.6	68.7	61.5	49.0	46.4	81.8	
	12:00~13:00		64.6	69.9	67.9	61.4	49.5	46.2	84.0	
	13:00~14:00		64.6	70.3	68.2	61.3	49.7	47.2	81.0	
	14:00~15:00		63.9	69.2	67.2	60.8	48.3	45.9	84.3	
	15:00~16:00		64.2	69.2	67.3	61.0	49.9	47.5	86.6	
	16:00~17:00		64.3	69.7	67.8	60.7	48.9	46.6	83.3	
	17:00~18:00		64.4	69.8	67.9	61.7	51.0	48.4	82.6	
	18:00~19:00		64.1	69.6	67.7	60.8	48.3	45.3	84.1	
	19:00~20:00		63.3	68.8	67.0	59.5	46.4	43.3	81.8	
20:00~21:00	63.4	69.0	67.1	58.0	44.0	41.9	86.3			
21:00~22:00	62.8	69.2	67.3	54.2	40.6	38.6	81.3			
夜間	22:00~23:00	65	63.0	69.4	67.0	53.0	39.3	37.8	82.2	
	23:00~0:00		61.6	68.2	65.2	48.5	37.0	35.2	84.3	
	0:00~1:00		61.8	68.5	65.3	48.3	35.4	33.8	83.7	
	1:00~2:00		61.4	68.6	65.5	47.5	35.0	33.7	81.4	
	2:00~3:00		59.3	66.6	61.3	40.5	32.0	31.3	80.6	
	3:00~4:00		60.2	67.5	62.7	42.8	32.6	31.3	80.1	
	4:00~5:00		62.4	69.3	65.6	47.9	37.6	36.0	83.2	
	5:00~6:00		64.8	71.7	68.8	55.8	42.0	39.9	82.0	
基準時間帯 平均値*・最大値		昼間	70	64	70	68	60	48	46	87
		夜間	65	62	69	65	48	36	35	84

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 1

調査日時: 令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

路線名: 杉並あきる野線

調査地点: 小金井市関野町1-6

図 4.1(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 2

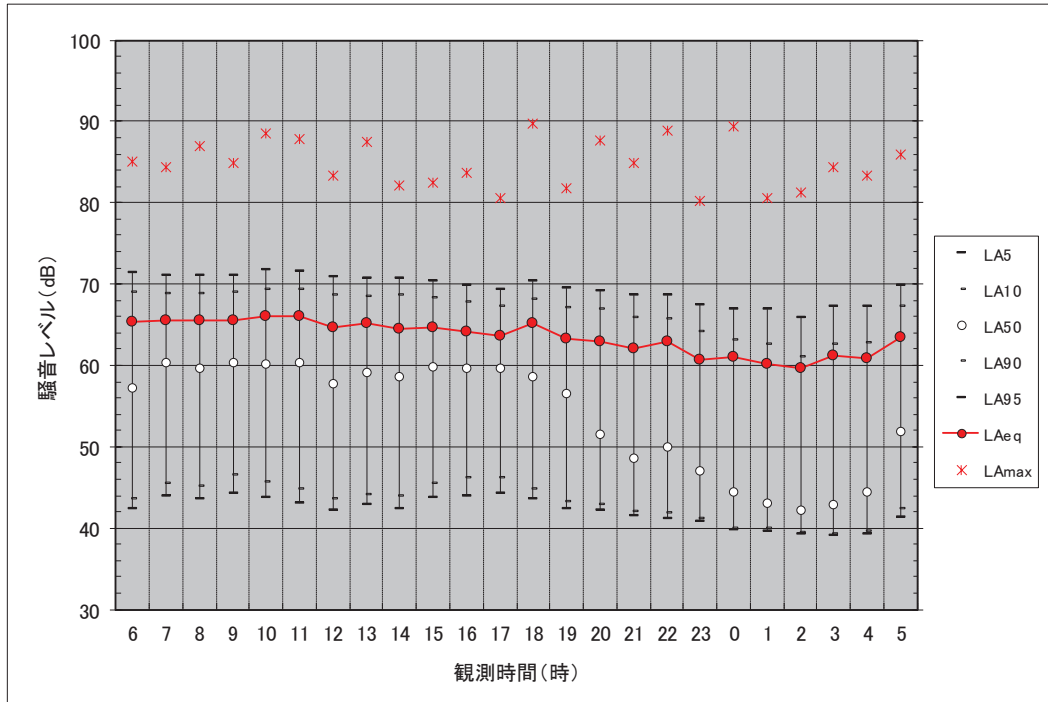
調査日時: 令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

路線名: 府中清瀬線

調査地点: 小金井市前原町5-14

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					最大値 (dB)	
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}		L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	65.4	71.4	69.0	57.2	43.5	42.3	85.1	
	7:00~8:00		65.5	71.1	68.8	60.4	45.4	43.9	84.3	
	8:00~9:00		65.5	71.0	68.8	59.6	45.1	43.5	86.9	
	9:00~10:00		65.6	71.1	69.0	60.4	46.5	44.2	84.8	
	10:00~11:00		66.1	71.8	69.4	60.2	45.6	43.8	88.5	
	11:00~12:00		66.1	71.5	69.3	60.4	44.7	43.0	87.8	
	12:00~13:00		64.7	70.9	68.7	57.8	43.5	42.2	83.3	
	13:00~14:00		65.1	70.7	68.5	59.1	44.1	42.9	87.4	
	14:00~15:00		64.5	70.7	68.6	58.6	43.9	42.3	82.1	
	15:00~16:00		64.7	70.4	68.3	59.8	45.5	43.7	82.5	
	16:00~17:00		64.2	69.8	67.8	59.7	46.1	44.0	83.7	
	17:00~18:00		63.6	69.4	67.3	59.7	46.2	44.3	80.5	
	18:00~19:00		65.1	70.4	68.1	58.6	44.8	43.6	89.7	
	19:00~20:00		63.2	69.5	67.1	56.5	43.2	42.4	81.7	
20:00~21:00	62.9	69.1	66.9	51.5	42.8	42.2	87.6			
21:00~22:00	62.1	68.7	65.9	48.6	42.0	41.5	84.8			
夜間	22:00~23:00	65	62.9	68.7	65.7	50.0	41.8	41.1	88.9	
	23:00~0:00		60.6	67.4	64.1	47.0	41.2	40.8	80.2	
	0:00~1:00		61.0	66.9	63.1	44.4	40.0	39.7	89.4	
	1:00~2:00		60.2	66.9	62.5	43.0	39.9	39.6	80.5	
	2:00~3:00		59.7	65.8	61.0	42.1	39.5	39.3	81.3	
	3:00~4:00		61.2	67.2	62.5	42.9	39.3	39.1	84.4	
	4:00~5:00		60.9	67.2	62.8	44.4	39.6	39.3	83.3	
	5:00~6:00		63.5	69.8	67.2	51.9	42.3	41.4	86.0	
基準時間帯		昼間	70	65	70	68	58	45	43	90
平均値*・最大値		夜間	65	61	67	64	46	40	40	89

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 2

調査日時: 令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

路線名: 府中清瀬線

調査地点: 小金井市前原町5-14

図 4.1(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

4.2.2 背後地騒音

測定点近傍を通過する自動車や歩行者等、等価騒音レベルに影響する特異騒音を除外した後、実測時間 10 分間の等価騒音レベル(L_{Aeq})及び時間率騒音レベル(L_{Ax})を算出した。また、基準時間帯ごとの L_{A95} の算術平均値を残留騒音レベルとした。

背後地における騒音レベルの調査結果を表 4.4 に示す。

各調査地点の残留騒音レベルは昼間の時間区分が地点 1 は 43dB、地点 2 は 33dB、夜間の時間区分が地点 1 は 33dB、地点 2 は 32dB であった。

表 4.4 背後地における騒音レベル調査結果

調査日：令和4年6月23日(木)9:00～6月24日(金)9:00

地点番号	調査単位 区間番号	路線名 調査地点名	時間 区分	測定 開始 時刻	等価騒音 レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					最大値 (dB)	残留騒音	
					L_{Aeq}	L_{Aeq} 平均	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Amax}		L_{A95} 平均
地点1	40370	杉並あきる野線 小金井市関野町1-6	昼間	9:40	46.6	46	50.7	47.9	44.8	43.7	43.5	58.9	43	
				14:40	44.6		46.7	46.0	44.1	43.2	43.0	55.1		
			夜間	22:30	39.0	39	44.7	42.2	32.3	29.9	29.5	59.2		29
				2:30	37.9		43.8	41.8	31.7	29.8	29.2	57.7		
地点2	40830	府中清瀬線 小金井市前原町5-14	昼間	9:00	46.9	45	53.8	51.3	41.7	35.5	34.8	60.3	33	
				14:00	40.9		44.8	43.1	37.6	32.4	31.9	63.1		
			夜間	22:00	37.0	37	42.0	39.5	34.4	32.1	31.8	57.9		32
				2:00	37.0		42.2	40.0	34.5	32.4	32.1	51.4		

4.3 交通量・平均走行速度の調査結果

交通量・平均走行速度の調査結果を表 4.5(1)～(2)に示す。

表 4.5(1) 交通量・平均走行速度の調査結果

路線名：杉並あきる野線 40370
測定日：令和4年6月23日（木）9:00～6月24日（金）9:00

時間区分	測定開始時刻	下り 西行き（測定点側）							上り 東行き（反対車線側）							合計						
		車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度	車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度	車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度
		大型車		小型車	二輪車				大型車		小型車	二輪車				大型車		小型車	二輪車			
		I	II			I	II	I	II													
		(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)
昼間	9:40	1	4	51	2	58	8.9	40.3	0	2	55	1	58	3.5	39.4	1	6	106	3	116	6.2	39.9
昼間	14:40	0	1	73	2	76	1.4	41.2	1	3	71	1	76	5.3	41.9	1	4	144	3	152	3.4	41.6
夜間	22:30	0	1	12	2	15	7.7	48.9	0	0	30	5	35	0.0	46.4	0	1	42	7	50	2.3	47.7
夜間	2:30	0	1	6	1	8	14.3	46.9	0	1	11	0	12	8.3	47.8	0	2	17	1	20	10.5	47.4
平均	昼間	1	3	62	2	67	4.6	40.8	1	3	63	1	67	4.5	40.7	1	5	125	3	134	4.6	40.7
	夜間	0	1	9	2	12	10.0	47.9	0	1	21	3	24	2.4	47.1	0	2	30	4	35	4.8	47.5

※1 車種分類の大型車I は大型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車 大型車II は小型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車
小型車 は大型車Iおよび大型車II、二輪車を除く自動車 二輪車 は二輪自動車、原動機付自転車

※2 時間区分の昼間は 6:00～22:00、夜間は 22:00～6:00

表 4.5(2) 交通量・平均走行速度の調査結果

路線名：府中清瀬線 40830
測定日：令和4年6月23日（木）9:00～6月24日（金）9:00

時間区分	測定開始時刻	下り 北行き（測定点側）							上り 南行き（反対車線側）							合計						
		車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度	車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度	車種分類 ^{※1}				車両合計	大型車混入率	平均速度
		大型車		小型車	二輪車				大型車		小型車	二輪車				大型車		小型車	二輪車			
		I	II			I	II	I	II													
		(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)
昼間	9:00	2	4	34	1	41	15.0	40.8	2	2	42	1	47	8.7	38.5	4	6	76	2	88	11.6	39.7
昼間	14:00	1	4	48	1	54	9.4	39.2	3	6	50	2	61	15.3	39.1	4	10	98	3	115	12.5	39.2
夜間	22:00	1	0	22	2	25	4.3	46.2	2	1	14	1	18	17.6	44.8	3	1	36	3	43	10.0	45.5
夜間	2:00	0	0	8	0	8	0.0	46.5	0	3	10	0	13	23.1	48.8	0	3	18	0	21	14.3	47.7
平均	昼間	2	4	41	1	48	11.8	40.0	3	4	46	2	54	12.4	38.8	4	8	87	3	102	12.1	39.4
	夜間	1	0	15	1	17	3.2	46.4	1	2	12	1	16	20.0	46.8	2	2	27	2	32	11.5	46.6

※1 車種分類の大型車I は大型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車 大型車II は小型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車
小型車 は大型車Iおよび大型車II、二輪車を除く自動車 二輪車 は二輪自動車、原動機付自転車

※2 時間区分の昼間は 6:00～22:00、夜間は 22:00～6:00

5. 面的評価支援システムによる評価

騒音・交通量等の測定結果等に基づき、常時監視対象路線について、面的評価支援システム[※]へのデータ入力、更新及び演算処理を行った。その結果より、環境省へ報告する「令和 4 年度自動車騒音常時監視結果」等の各種資料の作成を行った。

※ 環境省が配布する「面的評価支援システム Ver.5.0.0」を使用した。

5.1 初期設定

使用者の登録をし、各種オブジェクトの表示色・範囲等の初期設定は、原則としてシステムのデフォルト設定をそのまま活用した。ただし、初期設定項目のうち「都道府県・市区町村コード」、「基準年度」については以下のとおりとした。

都道府県コード	13:東京都
市区町村コード	210:小金井市
評価基準年度	2022 年度
道路交通センサ調査年度	2015 年度
騒音データ測定年度	2022 年度

5.2 道路設定

(1)道路平面線形要素の設定

調査対象区間の道路平面線形オブジェクトについて、平成 27 年度道路交通センサ情報を基に道路種別・路線名・路線番号等の情報を入力した。

(2)標準断面の作成

調査対象区間の道路横断面図について、車線数・道路構造・道路種級・道路種別等の情報を平成 27 年度道路交通センサ情報に基づいて入力した。

(3)道路交通センサ区間の設定

調査対象区間の道路平面線形オブジェクトを区切って道路交通センサ区間オブジェクトを作成し、センサ区間番号・センサ調査結果等の道路交通センサ情報を入力した。

5.3 沿道設定

(1)市区町村エリアの設定

市区町村エリアオブジェクトを設定した。

(2)都市計画用途地域の設定

調査対象区間の道路に面する地域をカバーする範囲に、都市計画用途地域オブジェクトを用途地域別に作成した。

(3)環境基準類型指定地域の設定

調査対象区間の道路に面する地域をカバーする範囲に、環境基準類型指定地域オブジェクトを自動作成させた。

(4)評価区間の設定

道路交通センサス線形オブジェクトを分割して評価区間線形オブジェクトを作成し、評価区間番号・道路構造・車線数・騒音対策状況等の評価区間情報を入力した。

(5)道路端の設定

道路端オブジェクトを作成し、評価区間線形オブジェクトと関連付けた。

(6)道路に面する地域の設定

評価区間ごとに道路に面する地域オブジェクトを自動作成させ、評価区間情報と関連付けた。

(7)距離帯の設定

道路に面する地域(道路端～50m)を0～10m、10～20m、20～30m、30～40m、40～50mの5つの距離帯に分割する距離帯オブジェクトを自動作成させた。

(8)近接空間の設定

近接空間(道路端～15mもしくは20m)を表す近接空間オブジェクトを自動作成させた。

(9)街区の設定

評価区間区オブジェクトを建物立地密度がほぼ均一とみなせる区間で区切って、街区オブジェクトを作成し、地表面種類・街区延長等の情報を入力した。

(10)建物の設定

街区オブジェクト上に建物オブジェクトを作成し、建物の番号・用途・構造等の建物情報を入力した。また、建物の立地面積・用途・構造・階数・都市計画用途地域・環境基準類型指定地域等の建物属性を自動取得した。

(11)立地密度の設定

評価区間・街区ごとの立地密度を計算した。

(12)印刷用メッシュ作成

印刷用のメッシュを自動作成させた。

(13)現地調査用データ作成

沿道建物の現地調査用データ(建物チェックシート・建物図)を作成した。

5.4 騒音設定

(1)騒音測定地点

本年度の騒音調査地点位置に騒音測定地点オブジェクトを作成し、定点/準定点の種別等の情報を入力した。また、騒音測定地点の断面図を作成し、情報を入力した。

(2)騒音測定データ

騒音測定地点オブジェクトに関連付けて測定地点の情報及び騒音・交通量等調査結果を入力した。

5.5 騒音推計前

(1)騒音基準位置の設定

騒音推計を行うために評価区間ごとに騒音基準位置(騒音基準点位置オブジェクト)を上り側・下り側それぞれに設定し、騒音測定データとの関連付けを行った。

(2)騒音レベルの設定

推計の諸元とする基準点騒音レベル、残留騒音レベルを設定した。残留騒音レベルは、背後地測定点による調査結果(90%時間率騒音レベルの下端値:LA95 を基準時間帯ごとに算術平均した値)より設定した。本年度の調査対象区間の基準点騒音レベル及び残留騒音レベルは、表 5.1 に示すとおりである。

表 5.1 基準点騒音レベル及び残留騒音レベルの設定

路線名	評価区間番号	基準点騒音レベル(dB)				残留騒音レベル(dB)				備考
		上り (昼間)	上り (夜間)	下り (昼間)	下り (夜間)	上り (昼間)	上り (夜間)	下り (昼間)	下り (夜間)	
杉並あきる野線	2015-40370-1	64.0	62.0	63.0	61.0	43	29	43	29	
府中清瀬線	2015-40830-1	65.0	61.0	65.0	61.0	33	32	33	32	

(3)表示用レイヤの作成

評価区間ごとの道路近傍騒音レベル、残留騒音レベル、騒音観測・非観測区間分のレイヤをそれぞれ作成した。

5.6 騒音推計

(1) データチェック

推計前に、要素設定にて設定したデータのチェックを行った。

(2) 沿道情報

設定した沿道情報(評価区間・街区・都市計画用途地域等)を画面上で確認した。

(3) データ照査・諸元

評価区間・街区などの立地密度と、騒音レベルの分布を表示し沿道状況を確認した。

(4) 推計

騒音レベルの距離減衰計算・建物群による減衰計算、残留騒音との合成、交差道路の騒音予測値との合成等を行い、各住居位置の騒音レベルを推計した。

(5) 常時監視フォーマット作成

① 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数整理表集計

推計から得られた結果を元に、騒音レベル別住居等戸数整理表を作成した。

② 常時監視フォーマット作成

推計から得られた結果を元に、令和4年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する常時監視フォーマット(環境基準を超過する住居等戸数及びその割合等)を作成した。

(6) 一括表示用レイヤ作成

推計結果を基に、騒音暴露状況、環境基準達成状況・騒音レベル等高線図・減衰横断図などの一括表示用レイヤをそれぞれ作成した。

5.7 指定出力

(1)常時監視フォーマット

令和4年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する常時監視フォーマットを出力した。常時監視フォーマットの内容は、表5.2に示すとおりである。

表 5.2 常時監視フォーマット

項目	内容
常時監視フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ・常時監視フォーマット ・位置図(騒音測定地点・評価区間) ・詳細図(騒音測定地点の平面図・横断図)

(2)環境 GIS フォーマット

令和4年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する環境 GIS フォーマットを出力した。環境 GIS フォーマットのファイル構成は、表5.3に示すとおりである。

表 5.3 環境 GIS フォーマットのファイル構成

データ種類	ファイル名*	ファイル内容	備考
騒音測定地点	souonYYYYPPQQQ.shp	メインファイル	Point 属性で作成
	souonYYYYPPQQQ.shx	インデックスファイル	
	souonYYYYPPQQQ.dbf	属性ファイル	
評価区間	hyoka.PPQQQ.shp	メインファイル	Polygon 属性で作成
	hyoka.PPQQQ.shx	インデックスファイル	
	hyoka.PPQQQ.dbf	属性ファイル	

※ ファイル名の英記号は、それぞれ以下のデータを表す。

YYYY : 騒音測定データ年度(西暦:2022)

PP : 都道府県コード(東京都:13)

QQQ : 市区町村コード(小金井市:210)

6. 環境基準の地域評価結果

小金井市内の評価対象区間における道路に面する地域に立地している住居等 15,063 戸を対象に自動車騒音の常時監視として面的評価を行った。

6.1 環境基準の達成状況(今年度評価区間)

今年度評価区間の環境基準の達成状況を表 6.1、図 6.1 および平成 29 年度との比較を図 6.2 に示す。

今年度評価区間の環境基準の達成状況は、昼夜とも基準値以下であった戸数は 2,288 戸(98.9%)で、昼のみ基準値以下であった戸数は 11 戸(0.5%)、夜のみ基準値以下であった戸数は 0 戸(0%)、昼夜とも基準値を超過した戸数は 15 戸(0.6%)であった。

また、前回同区間を評価した平成 29 年度との比較については、環境基準の達成状況は昼夜とも基準値以下の割合が増えた。

表 6.1 面的評価結果(今年度評価区間)

		昼夜とも基準値以下		昼のみ基準値以下		夜のみ基準値以下		昼夜とも基準値超過	
		戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
本年度	全戸数 (2,314戸)	2,288	98.9	11	0.5	0	0.0	15	0.6
	近接空間 (872戸)	865	99.2	4	0.5	0	0.0	3	0.3
	非近接空間 (1,442戸)	1,423	98.7	7	0.5	0	0.0	12	0.8
平成29年度	全戸数 (2,314戸)	2,098	90.7	76	3.3	0	0.0	140	6.1

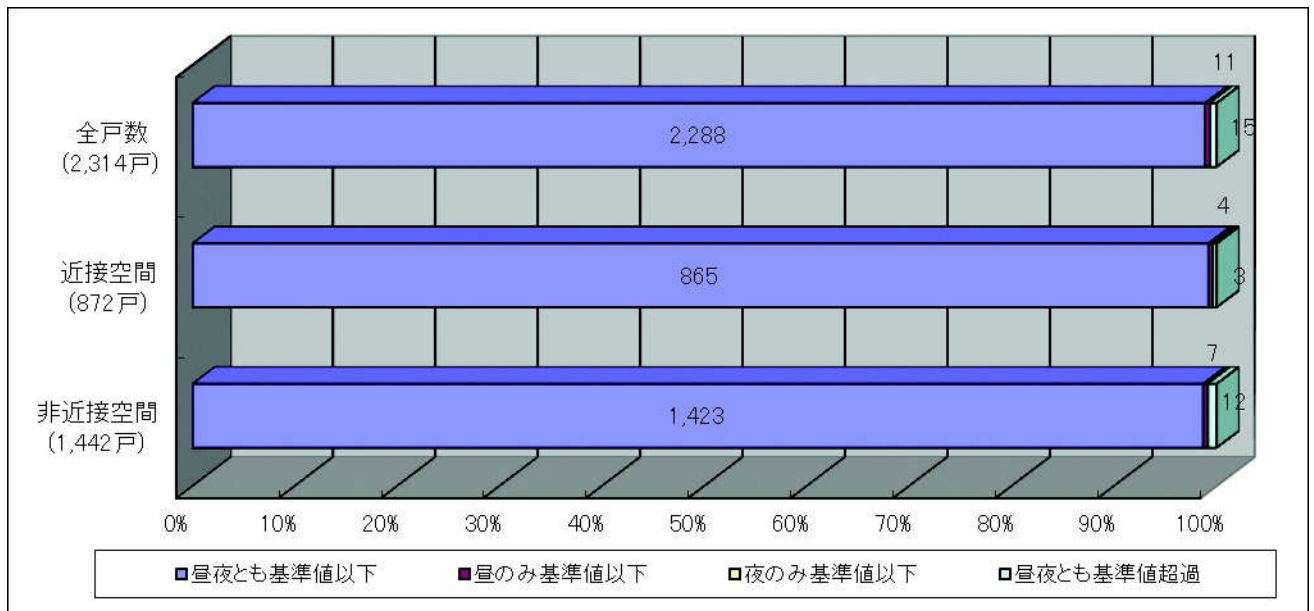


図 6.1 面的評価結果(今年度評価区間)

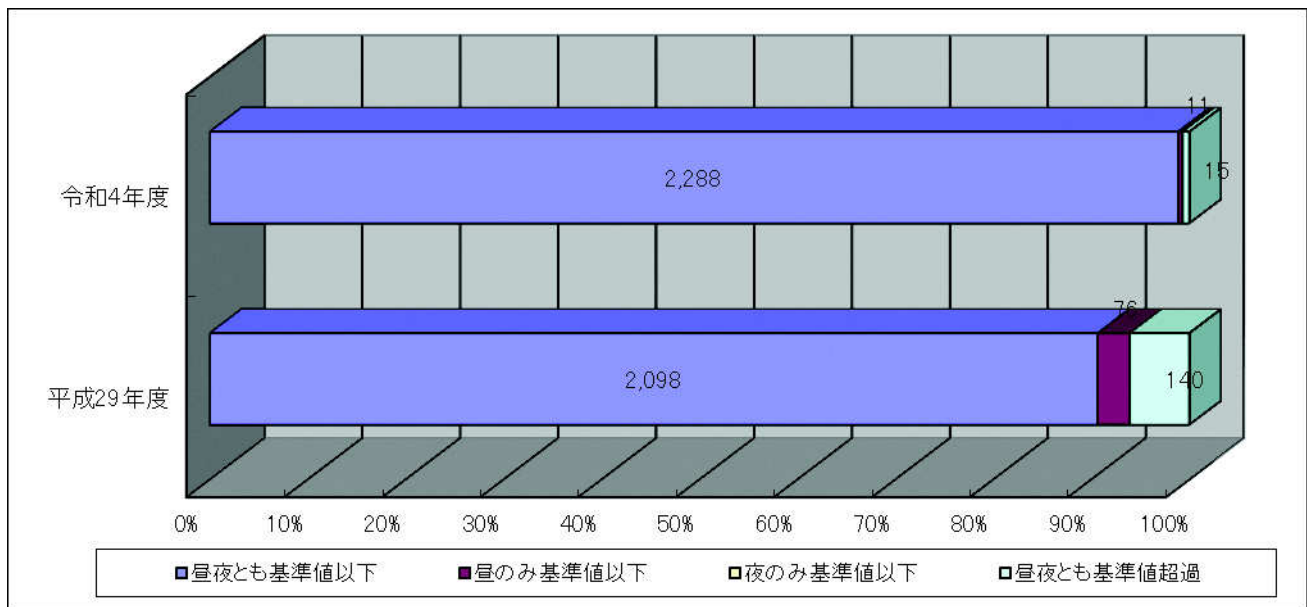


図 6.2 過年度との比較

6.2 環境基準の達成状況(全体)

小金井市全体の環境基準の達成状況を表 6.2、図 6.3 および令和 3 年度(昨年度)との比較を図 6.4 に示す。

小金井市全体の環境基準の達成状況は、昼夜とも基準値以下であった戸数は 14,599 戸(96.9%)で、昼のみ基準値以下であった戸数は 261 戸(1.7%)、夜のみ基準値以下であった戸数は 0 戸(0%)、昼夜とも基準値を超過した戸数は 203 戸(1.3%)であった。

また、令和 3 年度との比較については、環境基準の達成状況は昼夜とも基準値以下の割合が増えた。

表 6.2 面的評価結果(小金井市全体)

		昼夜とも 基準値以下		昼のみ 基準値以下		夜のみ 基準値以下		昼夜とも 基準値超過	
		戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
本年度	全戸数 (15,063戸)	14,599	96.9	261	1.7	0	0.0	203	1.3
	近接空間 (7,110戸)	6,772	95.2	196	2.8	0	0.0	142	2.0
	非近接空間 (7,953戸)	7,827	98.4	65	0.8	0	0.0	61	0.8
令和3年度	全戸数 (15,063戸)	14,407	95.6	327	2.2	0	0.0	329	2.2

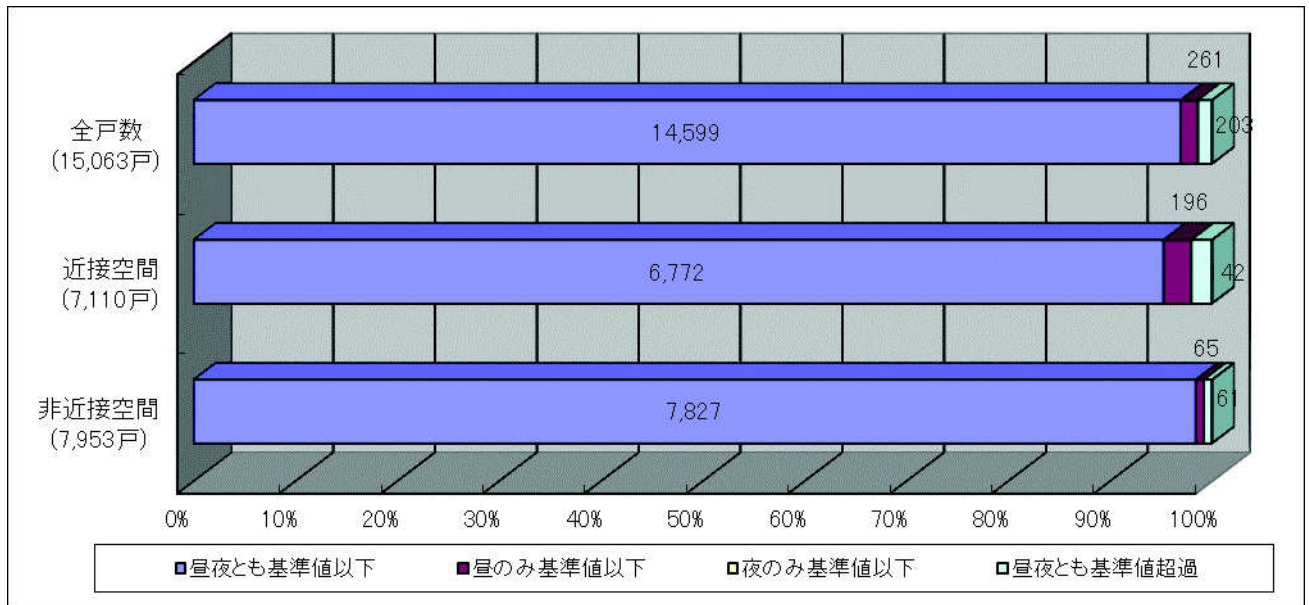


図 6.3 面的評価結果(小金井市全体)

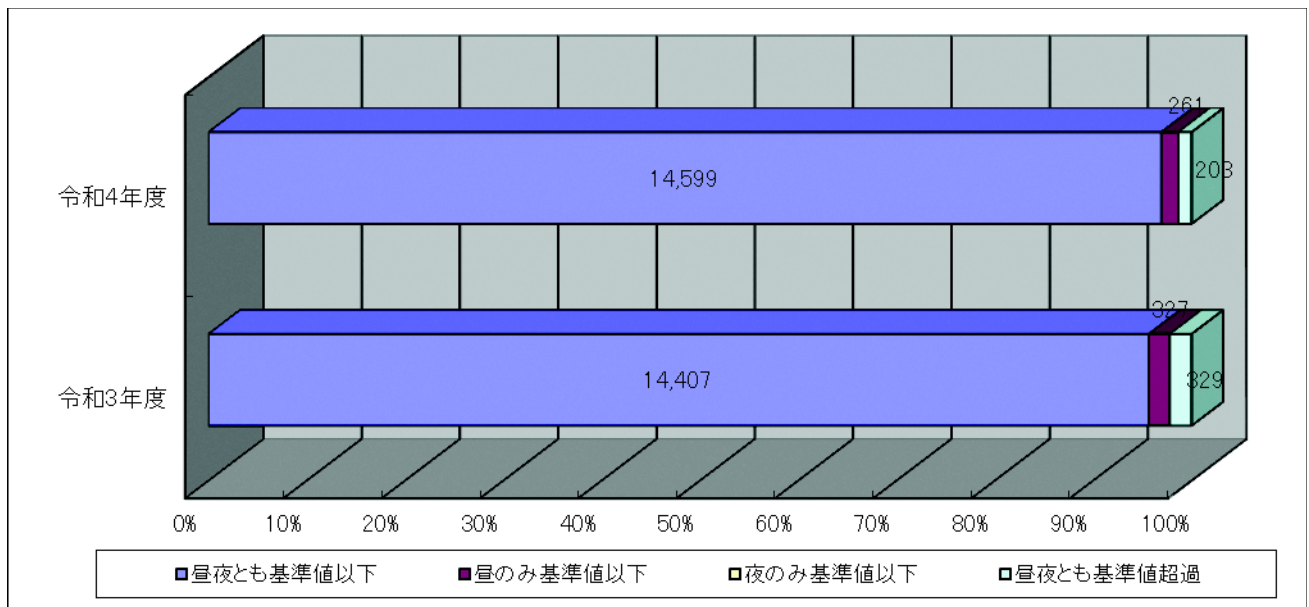


図 6.4 昨年度との比較

6.3 環境基準の達成状況(道路種別)

道路の種類別の達成状況を表 6.3、表 6.4 に示す。

都道府県道の面的評価結果は、評価対象戸数 15,858 戸※のうち、昼間・夜間とも基準値以下は 15,350 戸(96.8%)、昼間のみ基準値以下が 281 戸(1.8%)、夜間のみ基準値以下が 0 戸(0.0%)、昼間・夜間とも基準値超過が 227 戸(1.4%)であった。

※道路種類別の評価対象戸数については、路線毎の評価対象戸数の合計となっているため、交差部の重複を含む戸数となっている。

表 6.3 道路種類別の面的評価結果(戸数)

道路種別	面的評価結果(全体)					面的評価結果(近接空間)					面的評価結果(非近接空間)				
	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)
高速自動車国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都道府県道	15,858	15,350	281	0	227	7,666	7,295	211	0	160	8,192	8,055	70	0	67
4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体(合計)	15,858	15,350	281	0	227	7,666	7,295	211	0	160	8,192	8,055	70	0	67

表 6.4 道路種類別の面的評価結果(割合)

道路種別	面的評価結果(全体)				面的評価結果(近接空間)				面的評価結果(非近接空間)			
	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)
高速自動車国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都道府県道	96.8	1.8	0.0	1.4	95.2	2.8	0.0	2.1	98.3	0.9	0.0	0.8
4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体(合計)	96.8	1.8	0.0	1.4	95.2	2.8	0.0	2.1	98.3	0.9	0.0	0.8

6.4 環境基準の達成状況(路線別)

路線別の達成状況を表 6.5、表 6.6 に示す。

表 6.5 路線別の面的評価結果(戸数)

一連 番号	路線名	面的評価結果(全体)					面的評価結果(近接空間)					面的評価結果(非近接空間)				
		住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)
1	杉並あきる野線	676	676	0	0	0	125	125	0	0	0	551	551	0	0	0
2	府中清瀬線A	1,638	1,612	11	0	15	747	740	4	0	3	891	872	7	0	12
3	府中清瀬線B	3,552	3,539	10	0	3	1,848	1,841	4	0	3	1,704	1,698	6	0	0
4	恋ヶ窪新田三鷹線A	1,897	1,876	7	0	14	831	817	2	0	12	1,066	1,059	5	0	2
5	恋ヶ窪新田三鷹線B	2,561	2,190	206	0	165	1,300	989	186	0	125	1,261	1,201	20	0	40
6	新宿国立線B	324	322	2	0	0	220	219	1	0	0	104	103	1	0	0
7	新宿国立線A	636	636	0	0	0	326	326	0	0	0	310	310	0	0	0
8	府中小平線B	1,738	1,667	41	0	30	909	882	10	0	17	829	785	31	0	13
9	武蔵小金井停車場貫井線	745	743	2	0	0	401	399	2	0	0	344	344	0	0	0
10	府中小金井線	1,951	1,949	2	0	0	884	882	2	0	0	1,067	1,067	0	0	0
11	府中小平線A	140	140	0	0	0	75	75	0	0	0	65	65	0	0	0
	全体(合計)	15,858	15,350	281	0	227	7,666	7,295	211	0	160	8,192	8,055	70	0	67

表 6.6 路線別の面的評価結果(割合)

一連 番号	路線名	面的評価結果(全体)				面的評価結果(近接空間)				面的評価結果(非近接空間)			
		昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)
1	杉並あきる野線	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
2	府中清瀬線A	98.4	0.7	0.0	0.9	99.1	0.5	0.0	0.4	97.9	0.8	0.0	1.3
3	府中清瀬線B	99.6	0.3	0.0	0.1	99.6	0.2	0.0	0.2	99.6	0.4	0.0	0.0
4	恋ヶ窪新田三鷹線A	98.9	0.4	0.0	0.7	98.3	0.2	0.0	1.4	99.3	0.5	0.0	0.2
5	恋ヶ窪新田三鷹線B	85.5	8.0	0.0	6.4	76.1	14.3	0.0	9.6	95.2	1.6	0.0	3.2
6	新宿国立線B	99.4	0.6	0.0	0.0	99.5	0.5	0.0	0.0	99.0	1.0	0.0	0.0
7	新宿国立線A	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
8	府中小平線B	95.9	2.4	0.0	1.7	97.0	1.1	0.0	1.9	94.7	3.7	0.0	1.6
9	武蔵小金井停車場貫井線	99.7	0.3	0.0	0.0	99.5	0.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10	府中小金井線	99.9	0.1	0.0	0.0	99.8	0.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
11	府中小平線A	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	全体(合計)	96.8	1.8	0.0	1.4	95.2	2.8	0.0	2.1	98.3	0.9	0.0	0.8

令和4年度
自動車騒音常時監視調査委託
要請限度に係る自動車交通騒音振動調査

報告書

令和5年3月

小金井市

目 次

1. 業務概要	1
1.1 件名.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 履行期限.....	1
1.4 準拠する法令等.....	1
1.5 実施機関.....	1
2. 業務内容	2
2.1 調査対象路線および調査地点.....	2
2.2 調査日時.....	7
2.3 調査項目.....	7
2.4 調査方法.....	8
2.4.1 騒音測定.....	8
2.4.2 振動測定.....	9
2.4.3 交通量測定.....	10
3. 関係法令	11
3.1 騒音に係る環境基準.....	11
3.2 自動車騒音の要請限度等.....	12
3.3 道路交通振動の要請限度等.....	12
4. 騒音・振動・交通量等の調査結果	13
4.1 騒音測定結果.....	13
4.2 振動測定結果.....	33
4.3 交通量の調査結果.....	41

資料編

- ・令和4年度自動車交通騒音振動測定結果調査表(要請限度)
- ・実測時間別騒音レベル一覧表
- ・実測時間別振動レベル一覧表
- ・現場写真

1. 業務概要

1.1 件名

令和4年度自動車騒音常時監視調査委託
要請限度に係る自動車交通騒音振動調査

1.2 目的

本業務は騒音規制法第21条の2、振動規制法第19条に基づく道路交通騒音・振動測定・交通量調査を実施し、市内主要幹線道路の良好な道路環境を維持することを目的とした。

1.3 履行期限

契約締結日から令和5年3月31日まで

1.4 準拠する法令等

本業務は発注仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとした。

- (1) 環境基本法(平成5年11月19日 法律第91号)
- (2) 騒音規制法(昭和43年6月10日 法律第98号)
- (3) 振動規制法(昭和51年6月10日 法律第64号)
- (4) 騒音に係る環境基準(平成10年9月30日 環境庁告示第64号)
- (5) 「騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成23年9月14日 環水大自発110914001号環境省水・大気環境局長通知)
- (6) その他関係法令等

1.5 実施機関

株式会社 CTI ウイング 東京事務所
計量証明事業所登録 大阪府知事登録 第10404号(音圧レベル)
第10405号(振動加速度レベル)
〒135-0016 東京都江東区東陽6丁目5-6
TEL 03-6666-4780 FAX 03-6666-3958

2. 業務内容

2.1 調査対象路線および調査地点

本業務の業務対象は、表 2.1 に示す 6 路線とし、6 地点で道路騒音、振動等の調査を行った。調査地点の全体図を図 2.1 に、調査地点ごとの詳細を図 2.2(1)～(6)に示す。

表 2.1 調査対象路線

地点番号	調査地点	路線名	備考	車線数	測定日
①	関野町1-6付近	杉並あきる野線	五日市街道	2	騒音 令和4年6月21日(火)9時 ～6月24日(金)9時 振動・交通量 令和4年6月23日(木)9時 ～6月24日(金)9時
②	桜町1-5付近	府中清瀬線	小金井街道	2	
③	東町2-5付近	恋ヶ窪新田三鷹線	連雀通り	2	
④	貫井南町2-9付近	府中小平線	新小金井街道	2	
⑤	前原町4-11付近	新宿国立線	東八道路	4	
⑥	中町2-20付近	府中小金井線	東大通り	2	



● 騒音等調査地点

図 2.1 調査地点全体図

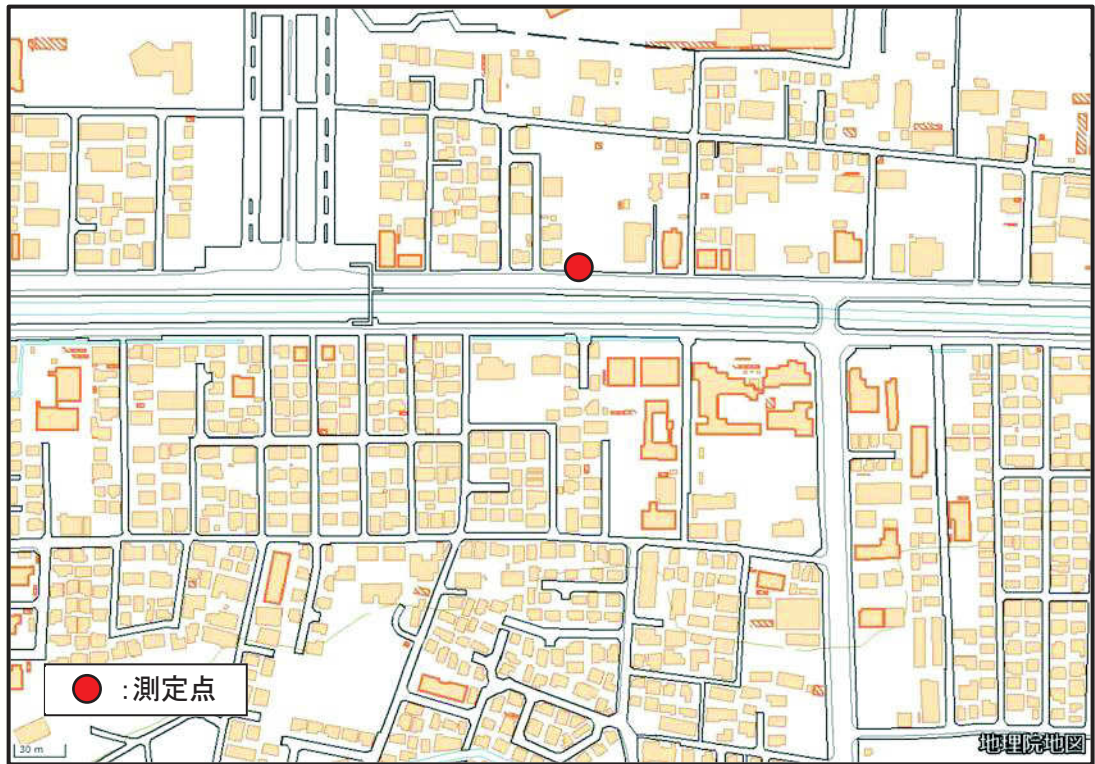


図 2.2(1) 調査地点の詳細図 地点 1 杉並あきる野線(五日市街道) 関野町 1-6 付近

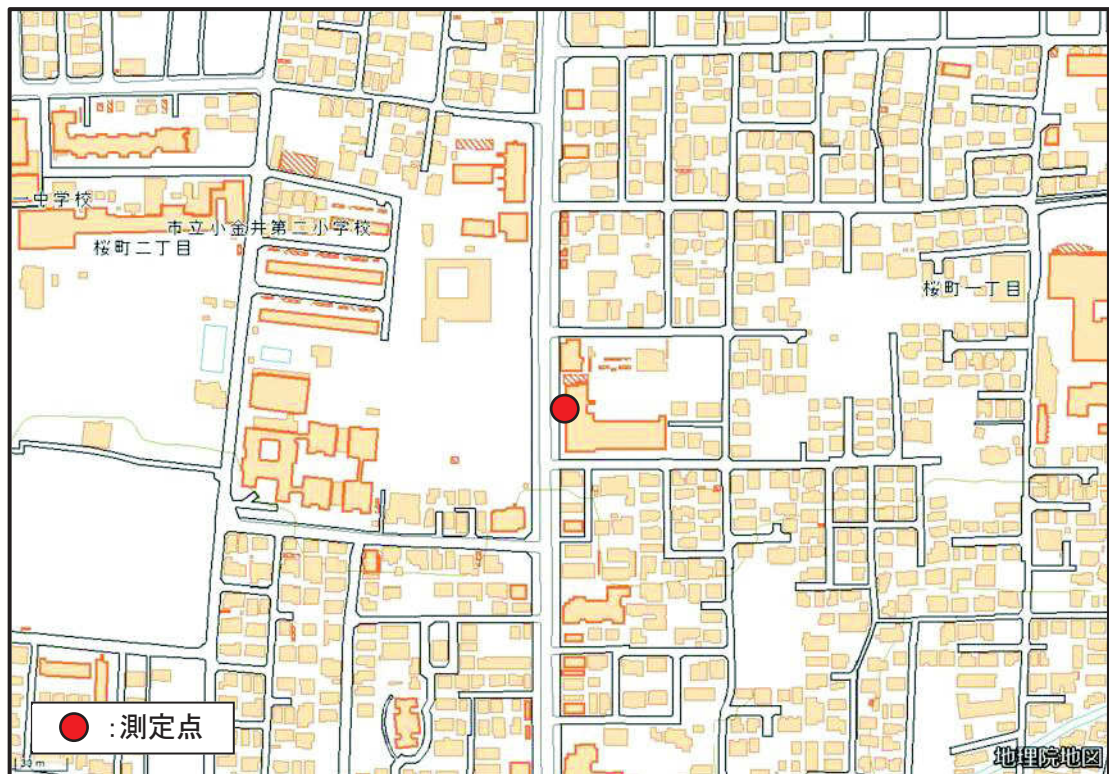


図 2.2(2) 調査地点の詳細図 地点 2 府中清瀬線(小金井街道) 桜町 1-5 付近

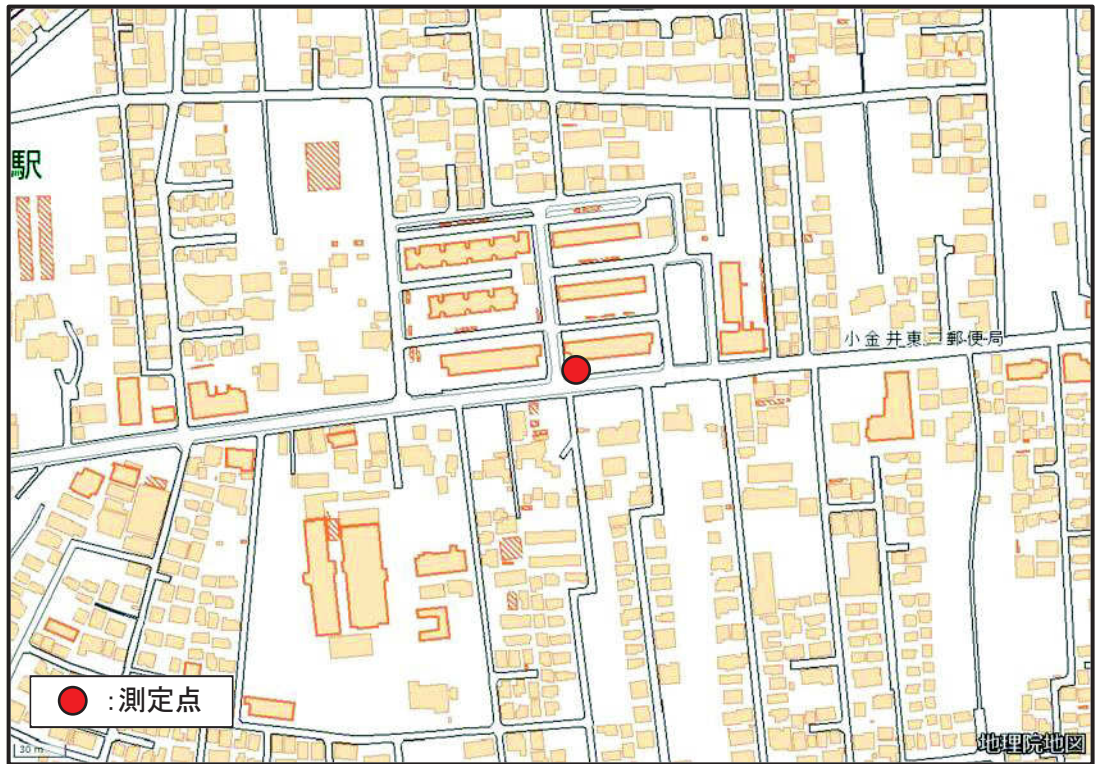


図 2.2(3) 調査地点の詳細図 地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線(連雀通り) 東町 2-5 付近

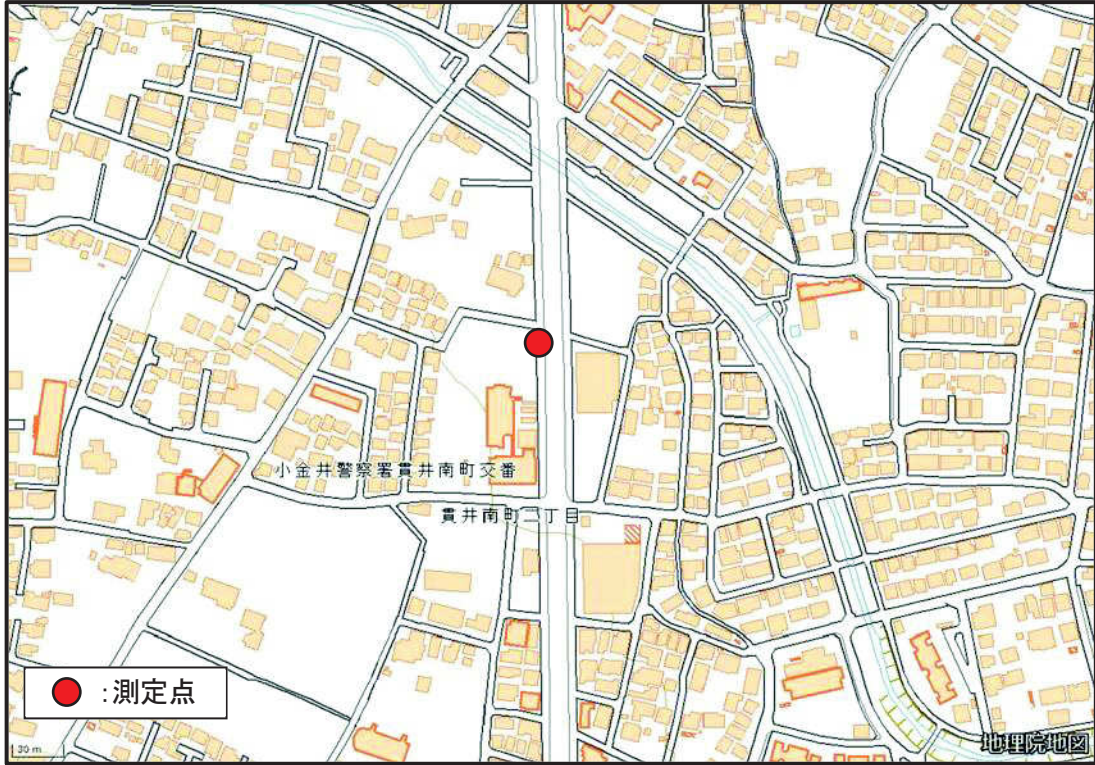


図 2.2(4) 調査地点の詳細図 地点 4 府中小平線(新小金井街道) 貫井南町 2-9 付近

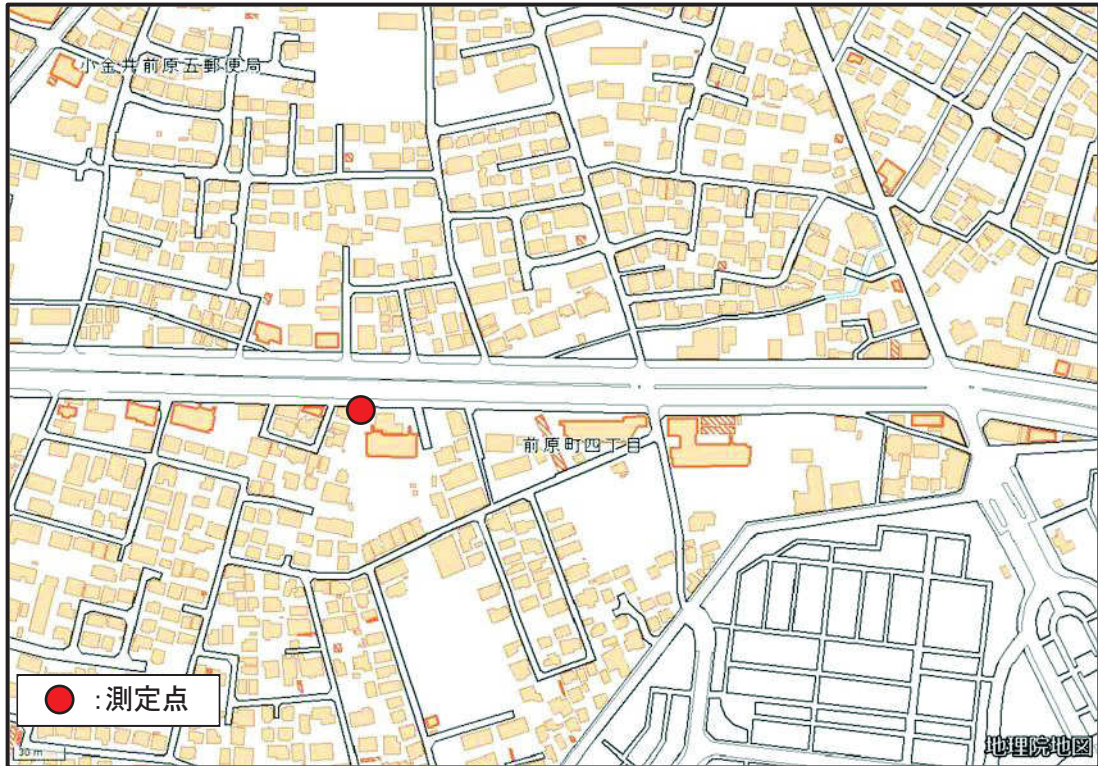


図 2.2(5) 調査地点の詳細図 地点 5 新宿国立線(東八道路) 前原町 4-11 付近

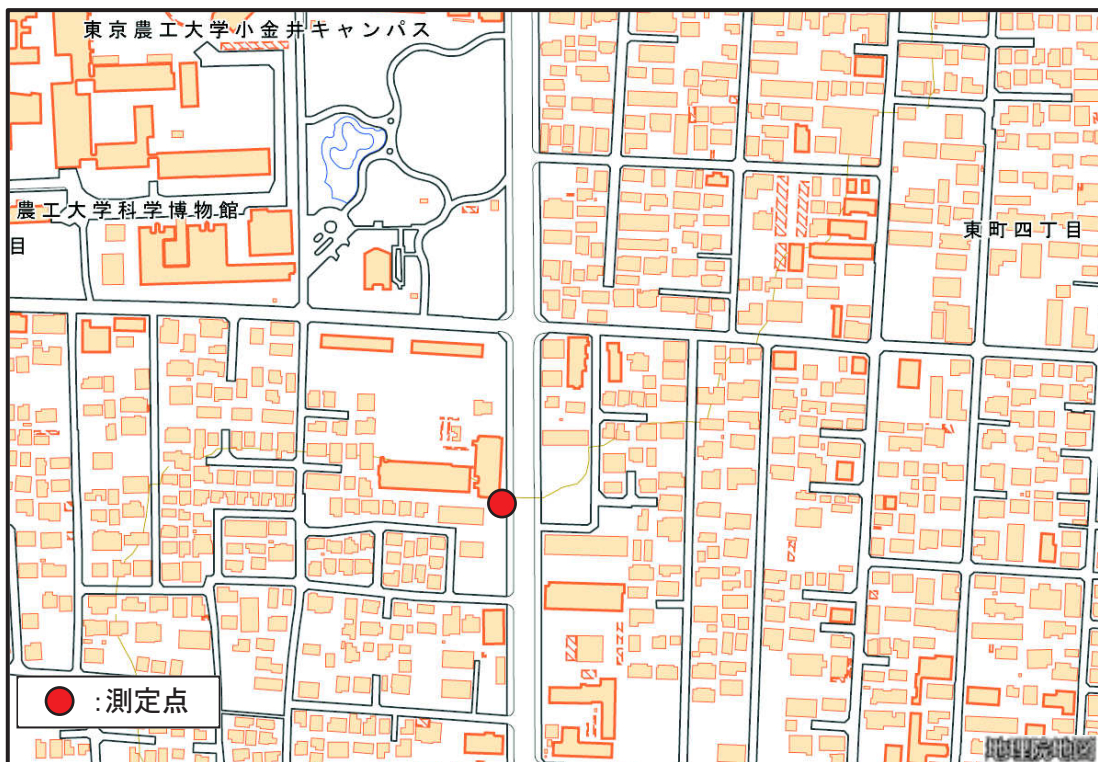


図 2.2(6) 調査地点の詳細図 地点 6 府中小金井線(東大通り) 中町 2-20 付近

2.2 調査日時

騒音:令和4年6月21日(火)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

振動・交通量:令和4年6月23日(木)9:00 ~ 6月24日(金)9:00

2.3 調査項目

調査項目を表 2.2 に示す。

表 2.2 調査項目の一覧

調査の内容	
騒音測定	測定項目: 昼間等価騒音レベル($L_{Aeq,16h}$) 夜間等価騒音レベル($L_{Aeq,8h}$) 時間率騒音レベル(L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95}) 騒音レベルの最大値(L_{Amax}) 測定頻度: 72 時間連続測定
振動測定	測定項目: 時間率振動レベル(L_5 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95}) 振動レベルの最大値(L_{max}) 測定頻度: 24 時間連続測定
交通量測定	測定項目: 方向別・車種別・時間別の走行車両台数 車種分類: 4 車種分類(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車) 測定頻度: 騒音、振動測定と同時に毎正時 10 分間を 24 回

2.4 調査方法

2.4.1 騒音測定

①測定項目

- 昼間等価騒音レベル($L_{Aeq,16h}$)
- 夜間等価騒音レベル($L_{Aeq,8h}$)
- 時間率騒音レベル(L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95})
- 騒音レベルの最大値(L_{Amax})

②測定方法

騒音レベルの測定は、「環境基準の表示・測定方法」(JIS Z 8731-2019)及び「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1509-1 に定める積分型普通騒音計(周波数重み特性:A 時間重み特性:F)を地上高さ 1.2m に設置し、100m 秒間隔の瞬時値を騒音計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、騒音レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の等価騒音レベル、時間率騒音レベル、騒音レベルの最大値を算出した。

③測定頻度

- 72 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間×3 日間)
- 除外すべき騒音により適切な測定値が得られなかった 10 分間は除いて整理した。

④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.3 に示す。測定機器の構成を図 2.3 に示す。

表 2.3 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
普通騒音計	(株) ソーテック	TYPE 1010	適合規格:JIS C 1509-1 クラス 2 測定レベル範囲:A 特性 28~138dB 測定周波数範囲:20 Hz ~ 8 kHz 周波数重み特性:A 時間重み特性:F サンプリング間隔:100m 秒

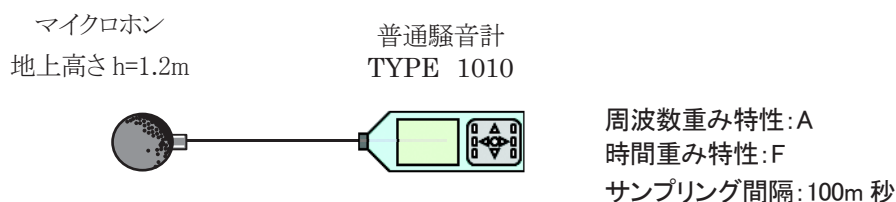


図 2.3 測定機器の構成図(騒音レベル)

2.4.2 振動測定

①測定項目

時間率騒音レベル (L_5 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95})
振動レベルの最大値 (L_{max})

②測定方法

振動レベルの測定は、「振動レベル測定方法」(JIS Z 8735-1981)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1510 に定める振動レベル計を設置し、1秒間隔の瞬時値を振動レベル計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、振動レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の時間率振動レベル、振動レベルの最大値を算出した。

③測定頻度

24 時間連続測定 (毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)

除外すべき振動により適切な測定値が得られなかった 10 分間は除いて整理した。

④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.4 に示す。測定機器の構成を図 2.4 に示す。

表 2.4 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
振動レベル計	リオン(株)	VM-55	適合規格:JIS C 1510 測定レベル範囲:鉛直方向 25~129dB サンプリング間隔:1秒

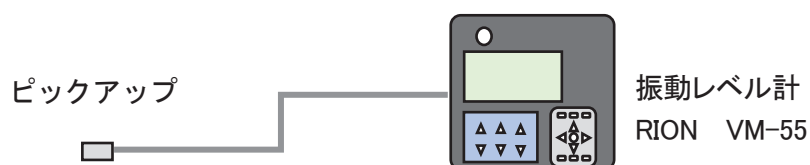


図 2.4 測定機器の構成図(振動レベル)

2.4.3 交通量測定

①測定項目

交通量 方向別(上り方向・下り方向)
車種別(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車)

②測定方法

ビデオカメラにて対象道路を撮影し、社内にて撮影データから、対象道路を走行する車両の台数を方向別、車種別、時間別に、マニュアルカウンターを用いて計測した。なお、車種の分類は表 2.5 に示すとおりとする。

③測定頻度

毎正時 10 分間の測定を 24 回

表 2.5 車種分類表

区 分		ナンバープレート	その他の特徴	代表的な車種
大型車Ⅰ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(大型番号標)	車両総重量 8トン以上 最大積載量 5トン以上 車両前部上部に速度表示灯(バスを除く) ※1999 年以降、速度表示灯は廃止された	キャブオーバートラック ダンプ トラクタ
	特種用途自動車	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(大型番号標)		コンクリートミキサー車 タンク車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(大型番号標)		観光バス 路線バス
大型車Ⅱ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(小型番号標)	車両総重量 8トン未満 最大積載量 5トン未満	キャブオーバートラック バン型トラック
	特種用途自動車※	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(小型番号標)		冷蔵冷凍車 塵芥車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(小型番号標)		乗車定員 11 人以上 29 人以下
小型車	大型車Ⅰ及び大型車Ⅱ、二輪車を除く自動車			
二輪車	二輪自動車、原動機付自転車			

※大型車Ⅱの特種用途自動車には、改造前の自動車(乗用車、小型貨物)と同程度の大きさのものは含めない。それらは小型車にカウントするものとした。

3. 関係法令

3.1 騒音に係る環境基準

◆ 道路に面する地域以外の地域(一般地域)

地域の類型	時間の区分(L _{Aeq} (dB))	
	昼間	夜間
AA	50 以下	40 以下
A 及び B	55 以下	45 以下
C	60 以下	50 以下

備考 環境基本法では、騒音に係る環境基準の地域類型をあてはめる地域を知事が指定することになっており、東京都での指定状況は次のとおりである。

(次表以下同じ)

① 地域の類型該当地域

AA:清瀬市の区域のうち、松山3丁目1番、竹丘1丁目17番、竹丘3丁目1番から3番まで及び竹丘3丁目10番の区域(療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域)

A :第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域(専ら住居の用に供する地域)

B :第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域(主として住居の用に供する地域)

C :近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

② 時間の区分

昼間:午前6時から午後10時まで

夜間:午後10時から翌日午前6時まで

◆ 道路に面する地域^{※1}(この地域には、上表によらず次表の基準値が適用される)

道路に面する地域の環境基準については、平成12年度から、一定地域内の住居等のうち騒音レベルが環境基準を超過する戸数及び超過する割合により評価(面的評価)することとなっている。〔騒音に係る環境基準について〕環境庁告示 平成11年4月施行)

地域の区分	時間の区分(L _{Aeq} (dB))	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線 ^{※2} を有する道路に面する地域	60 以下	55 以下
B地域のうち2車線以上の車線 ^{※2} を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線 ^{※2} を有する道路に面する地域	65 以下	60 以下

※1 「道路に面する地域」とは、道路騒音が支配的な音源である地域のことである。〔騒音に係る環境基準の改正について〕(平成10年9月30日 環大企第257号)

※2 車線とは、1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な一定の復員を有する帯状の車道部をいう。

◆ 幹線交通を担う道路[※](この地域には、特例として次表の基準値が適用される)

昼間	夜間
70 以下	65 以下

備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれているときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては45dB以下、夜間にあっては40dB以下)によることができる。

※ 「幹線交通を担う道路」とは、高速自動車国道・都市高速道路・一般国道・都道府県道・4車線以上の市町村道のことをいう。「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離により範囲が特定される。

- ・ 2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15m
- ・ 2車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路 20m

3.2 自動車騒音の要請限度等

◆ 騒音規制法に基づく自動車騒音の限度

(騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令 第2条)

区域	区域の区分	車線等	時間の区分(L _{Aeq} (dB))	
			昼間 (6時～22時)	夜間 (22時～翌6時)
a 区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域	1車線	65	55
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域(AA地域を含む)	2車線以上	70	65
	これらに接する地先	近接区域 ^{※1}	75	70
b 区域	第1種住居地域 第2種住居地域	1車線	65	55
	準住居地域	2車線以上	75	70
	用途地域の定めない地域であってa区域及びc区域に該当する区域を除く地域	近接区域 ^{※1}	75	70
c 区域	近隣商業地域 商業地域	1車線	75	70
	準工業地域 工業地域	2車線以上	75	70
	これらに接する地先	近接区域 ^{※1}	75	70
備考	・車線とは1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な幅員を有する帯状の車道部分をいう。			

※1 近接区域とは、幹線道路を担う道路に近接する区域をいい、幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び4車線以上の区市町村道をいう。

近接する区域とは、車線の区分に応じた道路端からの距離が2車線以下の車線を有する道路は15m、2車線を超える車線を有する道路は20mの範囲とする。

※2 幹線交通を担う道路に近接する区域にかかる限度の特例(騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令 第3条)

騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令 第2条に関わらず昼間75(dB)、夜間70(dB)

3.3 道路交通振動の要請限度等

◆ 振動規制法に基づく道路交通振動の要請限度

区域	区域の区分	時間の区分	基準値 (L10(dB))
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	昼間 8時～19時	65
	第1種住居地域・第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地域	夜間 19時～翌8時	60
第2種区域	近隣商業地域・商業地域 準工業地域・工業地域	昼間 8時～20時	70
		夜間 20時～翌8時	65

4. 騒音・振動・交通量等の調査結果

4.1 騒音測定結果

騒音レベルは、1時間あたり6回実施した結果の中から、改造バイクや緊急自動車のサイレン等の影響を受けていると思われるデータを除外し、残りのデータをエネルギー的に平均して観測時間帯別、基準時間帯別の等価騒音レベル(L_{Aeq})を算出した。

騒音レベル調査結果を表4.1、過年度調査結果との比較を表4.2、観測時間帯別の騒音レベル調査結果を表4.3(1)～(18)および図4.1(1)～(18)に示す。また、実測時間帯別の騒音調査結果を資料編に示す。

昼間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点4 府中小平線であり、68dBであった。夜間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点4 府中小平線であり、66dBであった。

環境基準達成状況は、地点4 府中小平線の夜間において環境基準を超過した。地点4 府中小平線の昼間及び、他の5地点の昼間、夜間においては環境基準を達成した。

要請限度達成状況は、調査を実施した全6地点が昼間、夜間ともに要請限度を達成した。

表4.1 騒音調査結果

測定日：令和4年6月21日(火)9時～6月24日(金)9時

地点番号	路線名	調査地点	時間 ^{※1} 区分	等価騒音レベル L _{Aeq} (dB)							
				調査結果			令和3年度調査結果	環境基準		要請限度	
				1日目	2日目	3日目		基準値	適合状況 ^{※2}	基準値	適合状況 ^{※2}
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	昼間	64	65	64	64	70	○	75	○
				64							
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	昼間	61	61	61	61	70	○	75	○
				61							
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	昼間	67	67	67	68	70	○	75	○
				67							
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	昼間	67	68	68	67	70	○	75	○
				68							
地点5	新宿国立線	前原町4-11付近	昼間	66	66	65	65	70	○	75	○
				66							
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	昼間	64	65	61	61	65	○	70	○
				64							
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	昼間	61	62	61	60	70	○	75	○
				61							
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	夜間	57	58	55	54	65	○	70	○
				57							

※1 時間区分の昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00。

※2 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

前年度調査との比較については、地点 1 杉並あきる野線では夜間が 1dB増加、地点 2 府中清瀬線では昼間、夜間ともに同様、地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線では昼間が 1dB減少、夜間が 1dB増加、地点 4 府中小平線では昼間、夜間ともに 1 dB増加、地点 5 新宿国立線では昼間が 1dB増加、夜間が 3dB増加、地点 6 府中小金井線では昼間が 1 dB増加、夜間が 3dB増加であった。

表 4.2 過年度調査との比較

地点番号	路線名	調査地点	年度	等価騒音レベル L _{Aeq} (dB)		過年度調査との比較		要請限度適合状況 ^{※2}	
				昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}	昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}	昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	平成25年度	68	65	0	△ 1	○	○
			平成26年度	69	66	1	1	○	○
			平成27年度	69	66	0	0	○	○
			平成28年度	68	65	△ 1	△ 1	○	○
			平成29年度	64	60	△ 4	△ 5	○	○
			平成30年度	64	61	0	1	○	○
			令和元年度	66	63	2	2	○	○
			令和2年度	65	62	△ 1	△ 1	○	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	平成25年度	68	65	0	0	○	○
			平成26年度	69	67	1	2	○	○
			平成27年度	66	63	△ 3	△ 4	○	○
			平成28年度	67	64	1	1	○	○
			平成29年度	67	63	0	△ 1	○	○
			平成30年度	69	65	2	2	○	○
			令和元年度	69	65	0	0	○	○
			令和2年度	62	57	△ 7	△ 8	○	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	平成25年度	67	65	0	0	○	○
			平成26年度	64	60	△ 3	△ 5	○	○
			平成27年度	67	65	3	5	○	○
			平成28年度	67	65	0	0	○	○
			平成29年度	68	65	1	0	○	○
			平成30年度	68	65	0	0	○	○
			令和元年度	70	67	2	2	○	○
			令和2年度	68	64	△ 2	△ 3	○	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	平成25年度	65	62	0	0	○	○
			平成26年度	67	64	2	2	○	○
			平成27年度	67	65	0	1	○	○
			平成28年度	67	65	0	0	○	○
			平成29年度	68	65	1	0	○	○
			平成30年度	68	65	0	0	○	○
			令和元年度	69	66	1	1	○	○
			令和2年度	68	66	△ 1	0	○	○
地点5	新宿国立線	前原町4-11付近	平成25年度	65	60	0	△ 1	○	○
			平成26年度	66	62	1	2	○	○
			平成27年度	63	58	△ 3	△ 4	○	○
			平成28年度	64	58	1	0	○	○
			平成29年度	64	58	0	0	○	○
			平成30年度	65	60	1	2	○	○
			令和元年度	67	61	2	1	○	○
			令和2年度	66	60	△ 1	△ 1	○	○
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	令和3年度	60	53	-	-	○	○
			令和3年度	60	54	0	1	○	○
			令和4年度	61	57	1	3	○	○
			令和4年度	61	57	1	3	○	○

※ 1 昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00、令和2年度からは3日間の測定結果のエネルギー平均値とした。

※ 2 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

※ 3 地点番号2の平成26年度までの測定地点は、小金井市前原町5-14付近

地点番号3の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m東へ移動

地点番号5の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m西へ移動

地点番号1の平成29年度測定結果の低減は、平成29年3月に舗装工事を実施した効果と思われる。

地点番号6は令和2年度から測定開始した。

地点番号2の令和3年度測定地点は、反射音の影響を考慮し測定位置を約20m南へ移動

地点番号4の令和2年度までの測定地点は、小金井市前原町4-16付近

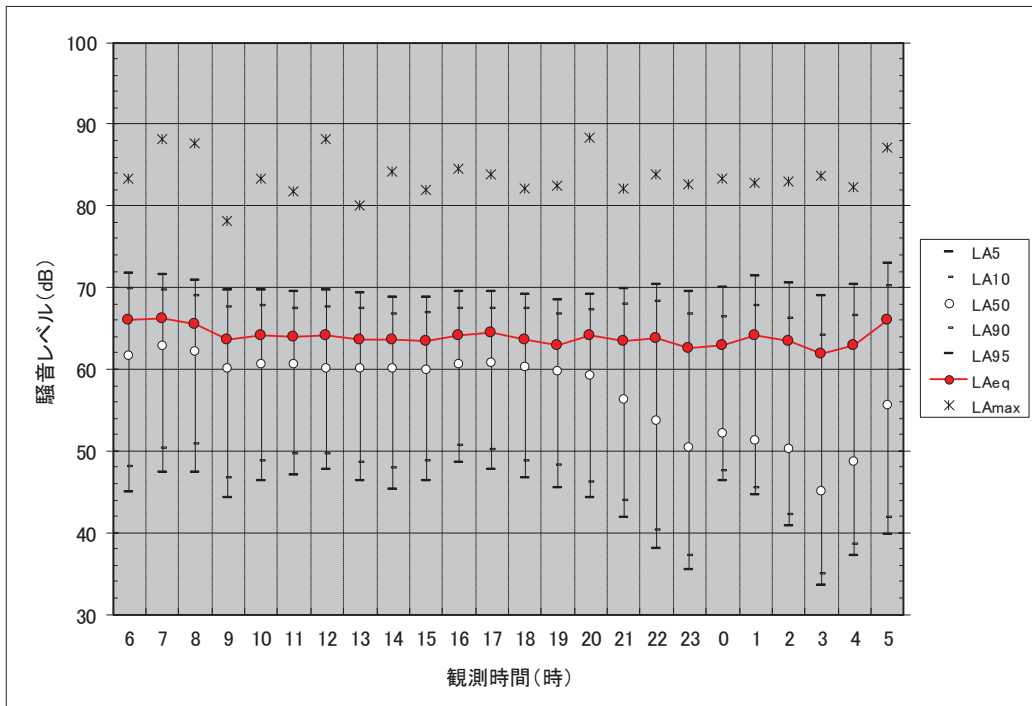
地点番号6の令和2年度までの測定地点は、小金井市中町2-21付近

表 4.3(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)						騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}	
昼間	6:00~7:00	70	66.0	71.7	69.9	61.8	48.1	44.9	83.4	
	7:00~8:00		66.2	71.5	69.6	62.9	50.3	47.4	88.2	
	8:00~9:00		65.5	70.9	68.9	62.2	50.8	47.3	87.7	
	9:00~10:00		63.7	69.6	67.6	60.2	46.7	44.2	78.2	
	10:00~11:00		64.1	69.7	67.7	60.6	48.7	46.4	83.3	
	11:00~12:00		63.9	69.5	67.4	60.6	49.6	47.1	81.7	
	12:00~13:00		64.2	69.7	67.6	60.1	49.6	47.8	88.1	
	13:00~14:00		63.7	69.4	67.4	60.1	48.5	46.3	80.1	
	14:00~15:00		63.6	68.8	66.8	60.1	47.9	45.3	84.2	
	15:00~16:00		63.5	68.8	66.9	60.0	48.8	46.3	82.0	
	16:00~17:00		64.1	69.5	67.5	60.7	50.7	48.5	84.5	
	17:00~18:00		64.4	69.5	67.5	60.8	50.1	47.7	83.9	
	18:00~19:00		63.6	69.2	67.4	60.3	48.7	46.6	82.1	
	19:00~20:00		63.0	68.4	66.7	59.8	48.2	45.4	82.4	
20:00~21:00	64.1	69.1	67.3	59.3	46.2	44.2	88.4			
21:00~22:00	63.5	69.8	68.0	56.4	43.9	41.9	82.1			
夜間	22:00~23:00	65	63.8	70.4	68.2	53.8	40.2	38.1	83.8	
	23:00~0:00		62.5	69.5	66.8	50.5	37.1	35.4	82.6	
	0:00~1:00		62.9	70.0	66.4	52.2	47.5	46.4	83.4	
	1:00~2:00		64.1	71.4	67.7	51.4	45.5	44.6	82.8	
	2:00~3:00		63.4	70.5	66.2	50.3	42.1	40.8	82.9	
	3:00~4:00		61.9	69.0	64.2	45.1	34.9	33.5	83.7	
	4:00~5:00		63.0	70.4	66.5	48.7	38.5	37.1	82.3	
	5:00~6:00		66.1	72.9	70.1	55.7	41.9	39.8	87.1	
基準時間帯	昼間	70	64	70	68	60	49	46	88	
平均値*・最大値	夜間	65	64	71	67	51	41	39	87	

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

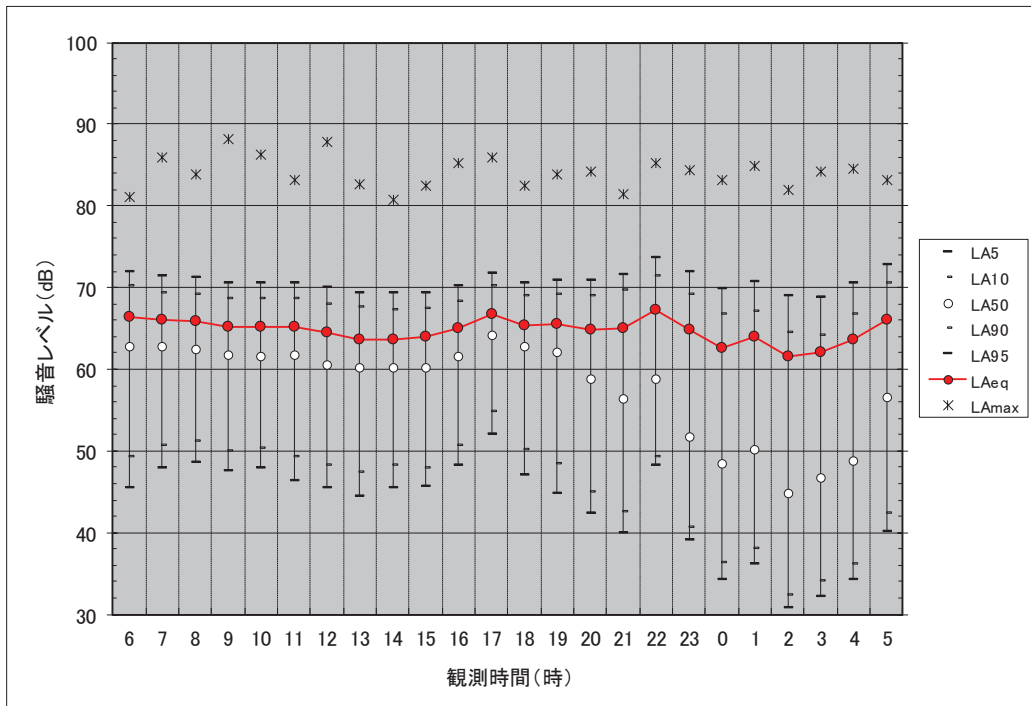
図 4.1(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}	
昼間	6:00~7:00	70	66.3	72.0	70.1	62.7	49.2	45.5	81.0	
	7:00~8:00		66.0	71.4	69.4	62.8	50.6	47.9	85.9	
	8:00~9:00		65.8	71.2	69.2	62.4	51.1	48.5	83.8	
	9:00~10:00		65.2	70.5	68.7	61.7	49.9	47.5	88.1	
	10:00~11:00		65.1	70.6	68.7	61.5	50.3	47.9	86.2	
	11:00~12:00		65.2	70.6	68.7	61.8	49.3	46.4	83.1	
	12:00~13:00		64.5	70.0	67.9	60.5	48.2	45.4	87.9	
	13:00~14:00		63.7	69.4	67.6	60.1	47.3	44.5	82.7	
	14:00~15:00		63.6	69.3	67.3	60.1	48.3	45.4	80.8	
	15:00~16:00		64.0	69.3	67.4	60.2	47.9	45.7	82.4	
	16:00~17:00		65.0	70.2	68.3	61.6	50.7	48.2	85.3	
	17:00~18:00		66.7	71.8	70.1	64.1	54.8	52.0	86.0	
	18:00~19:00		65.3	70.6	69.0	62.7	50.2	47.1	82.5	
	19:00~20:00		65.6	70.9	69.1	62.1	48.4	44.7	83.8	
20:00~21:00	64.9	70.8	69.0	58.8	44.9	42.3	84.1			
21:00~22:00	65.0	71.5	69.6	56.4	42.5	40.0	81.4			
夜間	22:00~23:00	65	67.2	73.7	71.4	58.7	49.3	48.2	85.2	
	23:00~0:00		64.8	71.9	69.1	51.7	40.7	39.1	84.3	
	0:00~1:00		62.6	69.9	66.8	48.4	36.3	34.2	83.2	
	1:00~2:00		64.0	70.7	67.1	50.1	38.1	36.1	84.9	
	2:00~3:00		61.6	68.9	64.5	44.8	32.4	30.8	81.9	
	3:00~4:00		62.1	68.8	64.2	46.6	34.0	32.2	84.2	
	4:00~5:00		63.7	70.6	66.7	48.8	36.2	34.2	84.6	
	5:00~6:00		66.0	72.7	70.6	56.6	42.3	40.1	83.1	
基準時間帯		昼間	70	65	71	69	61	49	46	88
平均値*・最大値		夜間	65	64	71	68	51	39	37	85

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

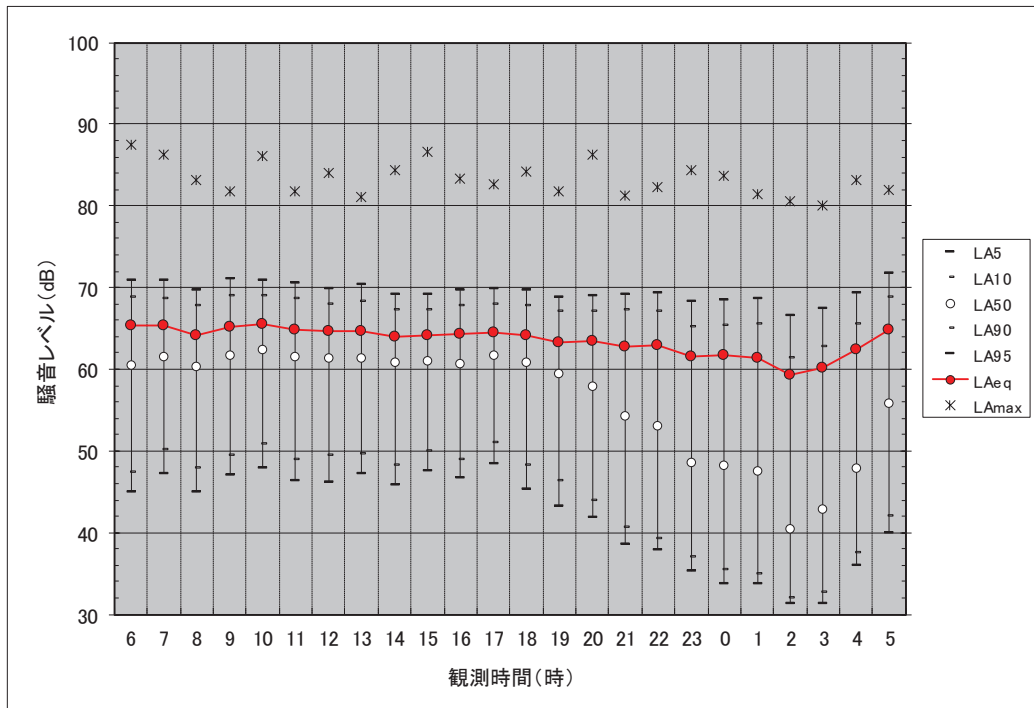
図 4.1(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(3) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}	
昼間	6:00~7:00	70	65.4	70.8	68.8	60.5	47.4	44.9	87.4	
	7:00~8:00		65.3	70.8	68.7	61.6	50.1	47.2	86.3	
	8:00~9:00		64.1	69.6	67.7	60.3	47.9	44.9	83.1	
	9:00~10:00		65.2	71.0	68.9	61.8	49.5	47.0	81.8	
	10:00~11:00		65.6	70.8	68.9	62.4	50.8	47.9	86.1	
	11:00~12:00		64.9	70.6	68.7	61.5	49.0	46.4	81.8	
	12:00~13:00		64.6	69.9	67.9	61.4	49.5	46.2	84.0	
	13:00~14:00		64.6	70.3	68.2	61.3	49.7	47.2	81.0	
	14:00~15:00		63.9	69.2	67.2	60.8	48.3	45.9	84.3	
	15:00~16:00		64.2	69.2	67.3	61.0	49.9	47.5	86.6	
	16:00~17:00		64.3	69.7	67.8	60.7	48.9	46.6	83.3	
	17:00~18:00		64.4	69.8	67.9	61.7	51.0	48.4	82.6	
	18:00~19:00		64.1	69.6	67.7	60.8	48.3	45.3	84.1	
	19:00~20:00		63.3	68.8	67.0	59.5	46.4	43.3	81.8	
20:00~21:00	63.4	69.0	67.1	58.0	44.0	41.9	86.3			
21:00~22:00	62.8	69.2	67.3	54.2	40.6	38.6	81.3			
夜間	22:00~23:00	65	63.0	69.4	67.0	53.0	39.3	37.8	82.2	
	23:00~0:00		61.6	68.2	65.2	48.5	37.0	35.2	84.3	
	0:00~1:00		61.8	68.5	65.3	48.3	35.4	33.8	83.7	
	1:00~2:00		61.4	68.6	65.5	47.5	35.0	33.7	81.4	
	2:00~3:00		59.3	66.6	61.3	40.5	32.0	31.3	80.6	
	3:00~4:00		60.2	67.5	62.7	42.8	32.6	31.3	80.1	
	4:00~5:00		62.4	69.3	65.6	47.9	37.6	36.0	83.2	
	5:00~6:00		64.8	71.7	68.8	55.8	42.0	39.9	82.0	
基準時間帯		昼間	70	64	70	68	60	48	46	87
平均値*・最大値		夜間	65	62	69	65	48	36	35	84

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

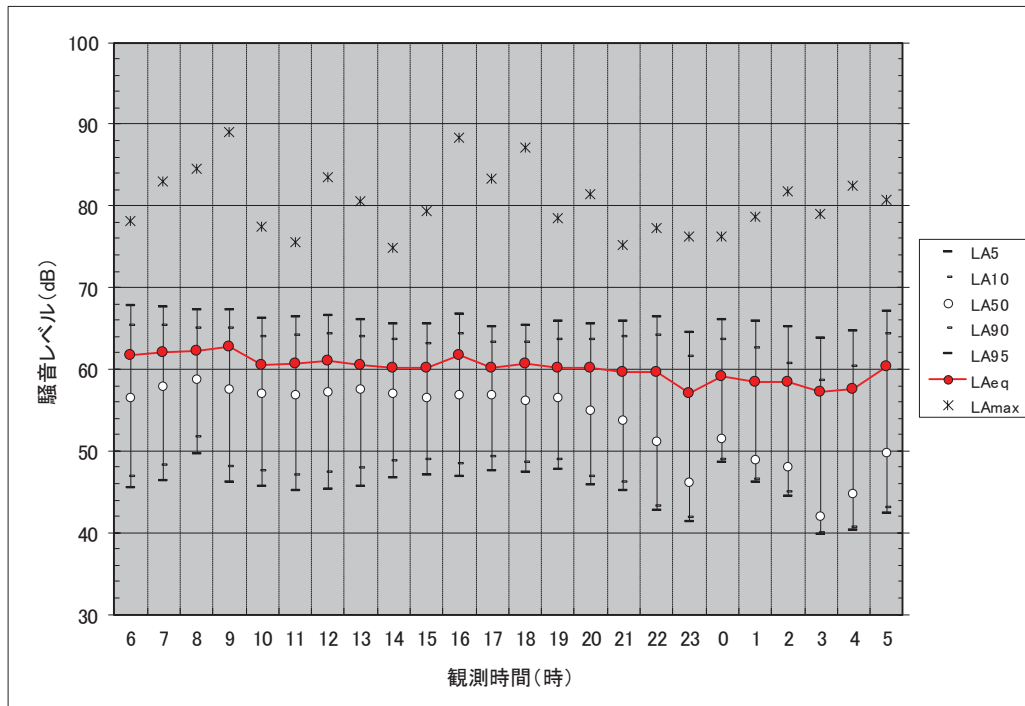
図 4.1(3) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(4) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	61.8	67.8	65.4	56.6	46.9	45.5	78.2
	7:00~8:00		62.1	67.6	65.3	57.9	48.2	46.3	83.0
	8:00~9:00		62.3	67.3	65.0	58.7	51.7	49.6	84.6
	9:00~10:00		62.8	67.3	65.0	57.6	48.1	46.1	89.0
	10:00~11:00		60.5	66.2	63.9	57.0	47.6	45.6	77.4
	11:00~12:00		60.6	66.4	64.2	56.9	47.1	45.1	75.5
	12:00~13:00		61.0	66.5	64.3	57.2	47.3	45.3	83.5
	13:00~14:00		60.5	66.0	64.0	57.6	47.9	45.7	80.5
	14:00~15:00		60.1	65.6	63.7	57.0	48.7	46.7	74.9
	15:00~16:00		60.1	65.5	63.1	56.6	49.0	47.1	79.4
	16:00~17:00		61.8	66.7	64.3	56.8	48.4	46.9	88.4
	17:00~18:00		60.2	65.2	63.2	56.8	49.2	47.5	83.4
	18:00~19:00		60.6	65.3	63.3	56.1	48.6	47.4	87.2
	19:00~20:00		60.2	65.8	63.6	56.6	49.0	47.8	78.4
20:00~21:00	60.2	65.6	63.6	55.0	46.8	45.9	81.5		
21:00~22:00	59.7	65.8	63.9	53.7	46.2	45.1	75.2		
夜間	22:00~23:00	65	59.7	66.4	64.2	51.1	43.3	42.7	77.3
	23:00~0:00		57.1	64.4	61.6	46.1	41.8	41.4	76.2
	0:00~1:00		59.1	66.1	63.6	51.5	48.9	48.5	76.2
	1:00~2:00		58.5	65.9	62.5	49.0	46.5	46.1	78.7
	2:00~3:00		58.4	65.2	60.7	48.0	45.0	44.4	81.8
	3:00~4:00		57.2	63.8	58.6	42.0	39.9	39.7	79.0
	4:00~5:00		57.6	64.6	60.4	44.7	40.6	40.2	82.5
	5:00~6:00		60.3	67.1	64.3	49.8	43.0	42.3	80.7
基準時間帯	昼間	70	61	66	64	57	48	46	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	59	65	62	48	44	43	83

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

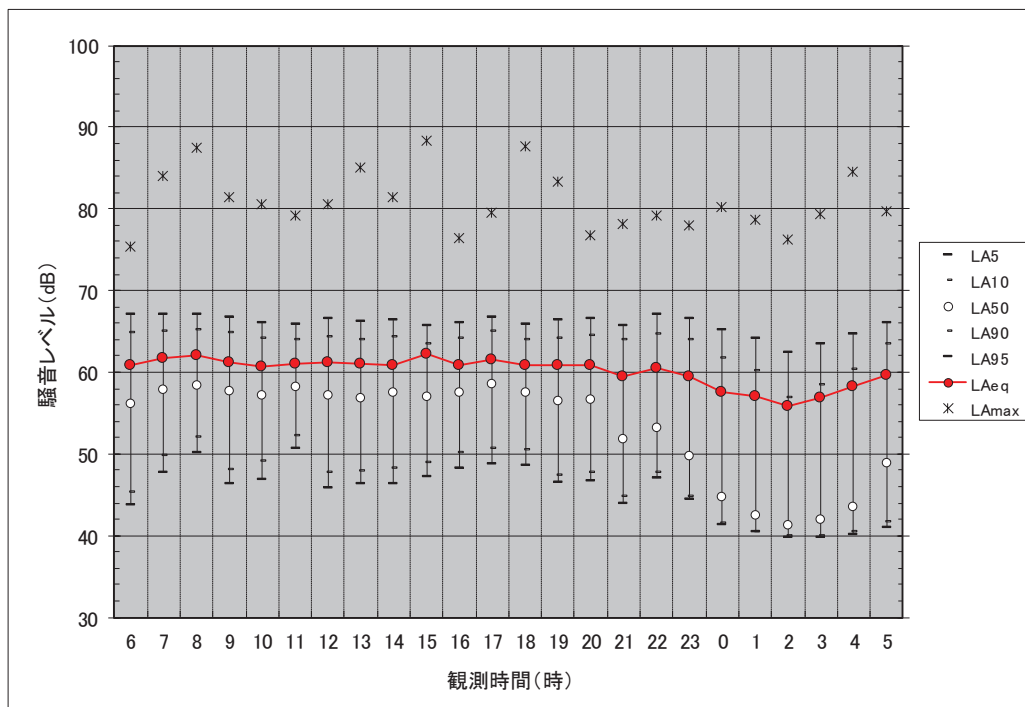
図 4.1(4) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(5) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	60.9	67.0	64.9	56.2	45.3	43.8	75.4
	7:00~8:00		61.8	67.0	65.0	58.0	49.8	47.8	84.0
	8:00~9:00		62.1	67.1	65.1	58.5	52.1	50.2	87.4
	9:00~10:00		61.2	66.7	64.8	57.7	48.0	46.4	81.5
	10:00~11:00		60.6	66.0	64.1	57.2	49.1	46.8	80.5
	11:00~12:00		61.1	65.8	63.9	58.3	52.2	50.6	79.2
	12:00~13:00		61.2	66.5	64.3	57.3	47.7	45.9	80.5
	13:00~14:00		61.0	66.2	64.0	56.8	47.9	46.3	85.0
	14:00~15:00		60.9	66.4	64.3	57.5	48.2	46.3	81.4
	15:00~16:00		62.2	65.7	63.5	57.0	48.9	47.2	88.3
	16:00~17:00		60.8	66.1	64.2	57.6	50.1	48.3	76.4
	17:00~18:00		61.6	66.8	65.0	58.6	50.7	48.7	79.5
	18:00~19:00		60.8	65.9	63.9	57.6	50.4	48.6	87.7
	19:00~20:00		60.8	66.4	64.2	56.5	47.4	46.5	83.4
20:00~21:00	60.9	66.6	64.5	56.7	47.7	46.6	76.8		
21:00~22:00	59.4	65.7	63.9	51.8	44.7	44.0	78.1		
夜間	22:00~23:00	65	60.5	67.0	64.7	53.3	47.8	47.1	79.1
	23:00~0:00		59.5	66.5	64.0	49.8	44.7	44.4	77.9
	0:00~1:00		57.6	65.1	61.7	44.8	41.5	41.3	80.2
	1:00~2:00		57.0	64.1	60.1	42.6	40.5	40.4	78.6
	2:00~3:00		55.8	62.4	56.8	41.4	40.0	39.8	76.2
	3:00~4:00		56.9	63.4	58.4	42.0	39.9	39.7	79.4
	4:00~5:00		58.2	64.7	60.3	43.6	40.4	40.1	84.6
	5:00~6:00		59.6	66.1	63.5	48.9	41.6	40.9	79.7
基準時間帯	昼間	70	61	66	64	57	49	47	88
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	58	65	61	46	42	42	85

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

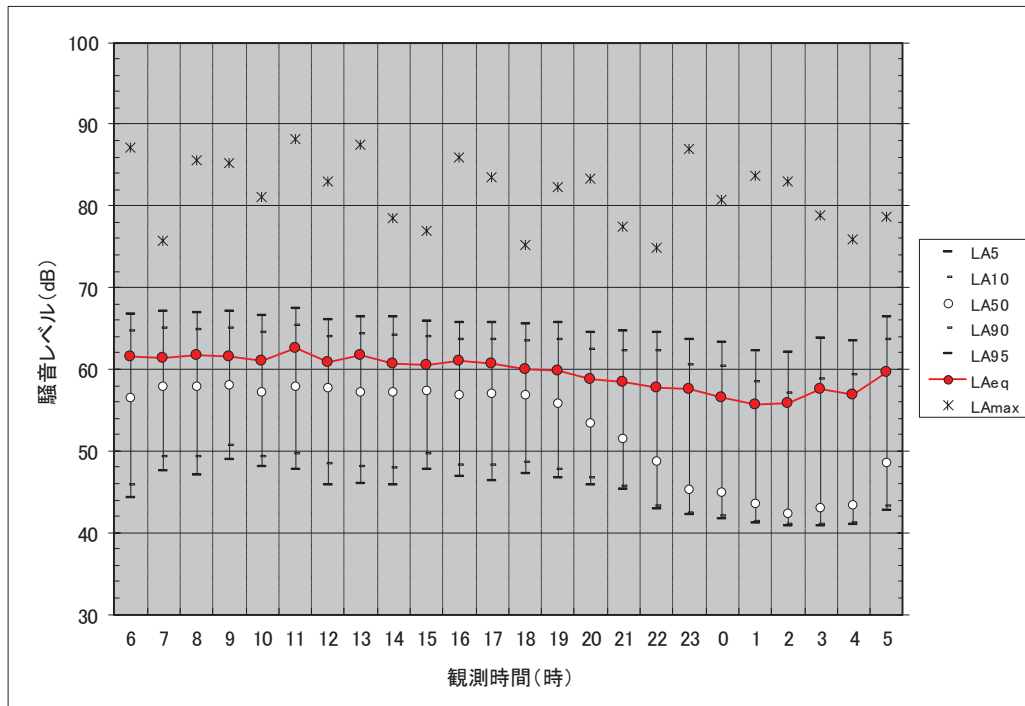
図 4.1(5) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(6) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	61.5	66.8	64.7	56.5	45.9	44.3	87.2
	7:00~8:00		61.3	67.0	65.0	57.9	49.2	47.5	75.8
	8:00~9:00		61.7	66.9	64.9	57.9	49.3	47.1	85.5
	9:00~10:00		61.5	67.0	65.0	58.1	50.7	49.0	85.3
	10:00~11:00		61.0	66.5	64.5	57.3	49.3	48.0	81.0
	11:00~12:00		62.6	67.5	65.4	58.0	49.6	47.7	88.1
	12:00~13:00		60.8	66.1	64.0	57.7	48.4	45.8	82.9
	13:00~14:00		61.7	66.4	64.3	57.2	48.0	46.0	87.5
	14:00~15:00		60.6	66.3	64.1	57.2	47.9	45.9	78.4
	15:00~16:00		60.5	65.8	63.9	57.4	49.7	47.7	77.0
	16:00~17:00		61.0	65.7	63.7	56.8	48.3	46.8	86.0
	17:00~18:00		60.6	65.7	63.7	57.0	48.2	46.4	83.5
	18:00~19:00		60.0	65.5	63.5	56.8	48.6	47.2	75.2
	19:00~20:00		59.9	65.7	63.6	55.9	47.8	46.7	82.2
20:00~21:00	58.8	64.5	62.4	53.5	46.6	45.9	83.3		
21:00~22:00	58.4	64.7	62.3	51.6	45.7	45.3	77.5		
夜間	22:00~23:00	65	57.8	64.4	62.2	48.7	43.3	42.9	74.8
	23:00~0:00		57.5	63.6	60.5	45.3	42.3	42.1	87.0
	0:00~1:00		56.5	63.2	60.3	45.0	42.0	41.7	80.7
	1:00~2:00		55.7	62.3	58.4	43.5	41.4	41.2	83.7
	2:00~3:00		55.8	62.1	57.1	42.4	40.9	40.8	83.0
	3:00~4:00		57.5	63.8	58.8	43.0	41.0	40.8	78.8
	4:00~5:00		56.8	63.4	59.3	43.4	41.2	40.9	75.9
	5:00~6:00		59.6	66.4	63.6	48.5	43.2	42.7	78.7
基準時間帯	昼間	70	61	66	64	57	48	47	88
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	57	64	60	45	42	42	87

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

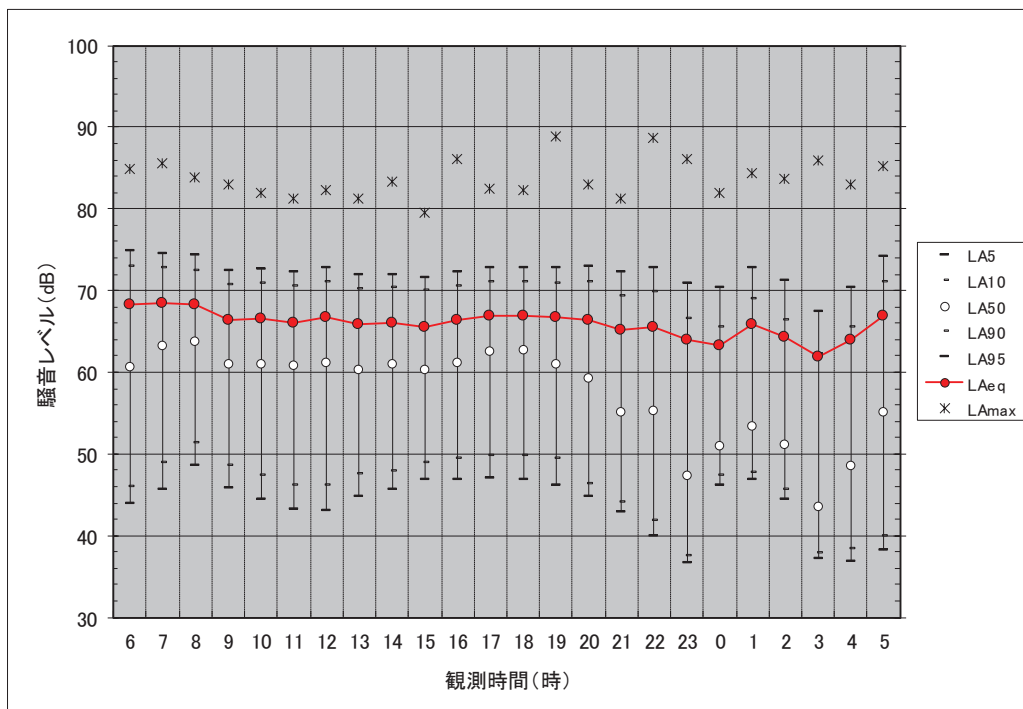
図 4.1(6) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(7) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	68.3	74.9	72.9	60.7	46.0	44.0	84.9
	7:00~8:00		68.4	74.5	72.7	63.3	49.0	45.6	85.5
	8:00~9:00		68.3	74.3	72.5	63.8	51.4	48.6	83.9
	9:00~10:00		66.4	72.5	70.7	61.0	48.6	45.8	83.0
	10:00~11:00		66.5	72.6	70.9	61.0	47.3	44.4	81.9
	11:00~12:00		66.1	72.3	70.5	60.8	46.1	43.2	81.2
	12:00~13:00		66.7	72.8	71.0	61.2	46.1	43.1	82.3
	13:00~14:00		65.8	71.9	70.1	60.3	47.6	44.7	81.3
	14:00~15:00		66.1	72.0	70.4	61.0	47.9	45.6	83.4
	15:00~16:00		65.5	71.6	70.0	60.4	48.9	46.8	79.6
	16:00~17:00		66.3	72.3	70.5	61.2	49.5	46.8	86.1
	17:00~18:00		66.9	72.7	71.1	62.5	49.8	47.0	82.4
	18:00~19:00		66.9	72.8	71.0	62.7	49.8	46.8	82.3
	19:00~20:00		66.7	72.7	70.8	61.1	49.5	46.2	88.8
20:00~21:00	66.4	73.0	71.1	59.3	46.4	44.8	82.9		
21:00~22:00	65.1	72.2	69.4	55.1	44.1	42.8	81.3		
夜間	22:00~23:00	65	65.6	72.8	69.8	55.4	41.8	40.0	88.7
	23:00~0:00		63.9	70.9	66.6	47.4	37.5	36.7	86.1
	0:00~1:00		63.3	70.3	65.5	51.0	47.3	46.1	81.9
	1:00~2:00		65.8	72.8	68.9	53.5	47.7	46.8	84.4
	2:00~3:00		64.3	71.2	66.3	51.1	45.6	44.4	83.7
	3:00~4:00		61.9	67.4	62.2	43.5	37.8	37.2	85.9
	4:00~5:00		64.0	70.4	65.5	48.6	38.3	36.8	83.0
	5:00~6:00		66.9	74.2	71.0	55.1	40.0	38.2	85.3
基準時間帯	昼間	70	67	73	71	61	48	45	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	65	71	67	51	42	41	89

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

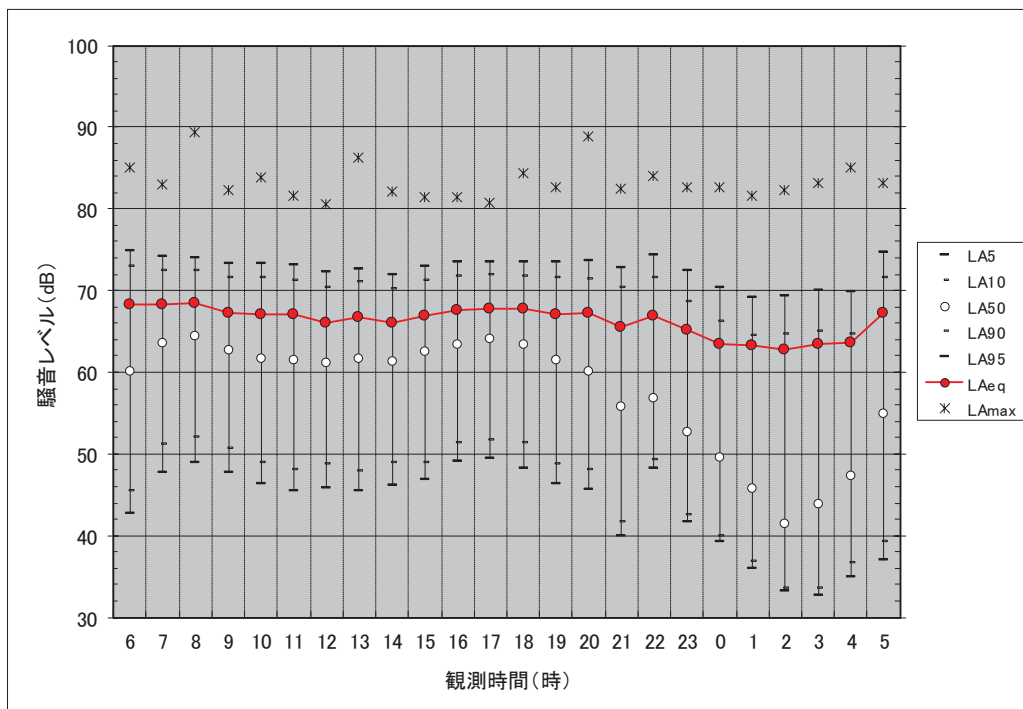
図 4.1(7) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(8) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	68.2	74.9	72.9	60.2	45.4	42.7	85.1
	7:00~8:00		68.2	74.2	72.5	63.6	51.1	47.7	82.9
	8:00~9:00		68.5	74.0	72.4	64.4	52.1	49.0	89.4
	9:00~10:00		67.2	73.3	71.6	62.7	50.6	47.7	82.2
	10:00~11:00		67.0	73.3	71.5	61.7	49.0	46.3	83.9
	11:00~12:00		67.0	73.1	71.3	61.6	48.1	45.4	81.6
	12:00~13:00		66.0	72.3	70.3	61.2	48.7	45.8	80.6
	13:00~14:00		66.8	72.6	71.0	61.7	47.9	45.5	86.2
	14:00~15:00		66.0	72.0	70.2	61.4	48.9	46.2	82.1
	15:00~16:00		66.9	72.9	71.3	62.6	49.0	46.9	81.5
	16:00~17:00		67.6	73.4	71.8	63.4	51.4	49.1	81.5
	17:00~18:00		67.8	73.5	72.0	64.1	51.7	49.4	80.7
	18:00~19:00		67.7	73.5	71.8	63.5	51.4	48.2	84.3
	19:00~20:00		67.1	73.4	71.6	61.6	48.7	46.4	82.6
20:00~21:00	67.3	73.6	71.4	60.1	48.1	45.7	88.8		
21:00~22:00	65.5	72.7	70.3	55.8	41.6	39.9	82.5		
夜間	22:00~23:00	65	66.9	74.3	71.5	56.8	49.3	48.2	84.0
	23:00~0:00		65.2	72.5	68.7	52.7	42.5	41.7	82.7
	0:00~1:00		63.5	70.4	66.2	49.6	40.0	39.2	82.6
	1:00~2:00		63.3	69.2	64.5	45.8	36.8	35.9	81.6
	2:00~3:00		62.7	69.3	64.6	41.5	33.6	33.2	82.3
	3:00~4:00		63.5	70.0	65.0	43.9	33.6	32.7	83.1
	4:00~5:00		63.7	69.8	64.7	47.4	36.7	35.0	85.1
	5:00~6:00		67.2	74.6	71.6	55.0	39.2	37.0	83.1
基準時間帯	昼間	70	67	73	71	62	49	46	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	65	71	67	49	39	38	85

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

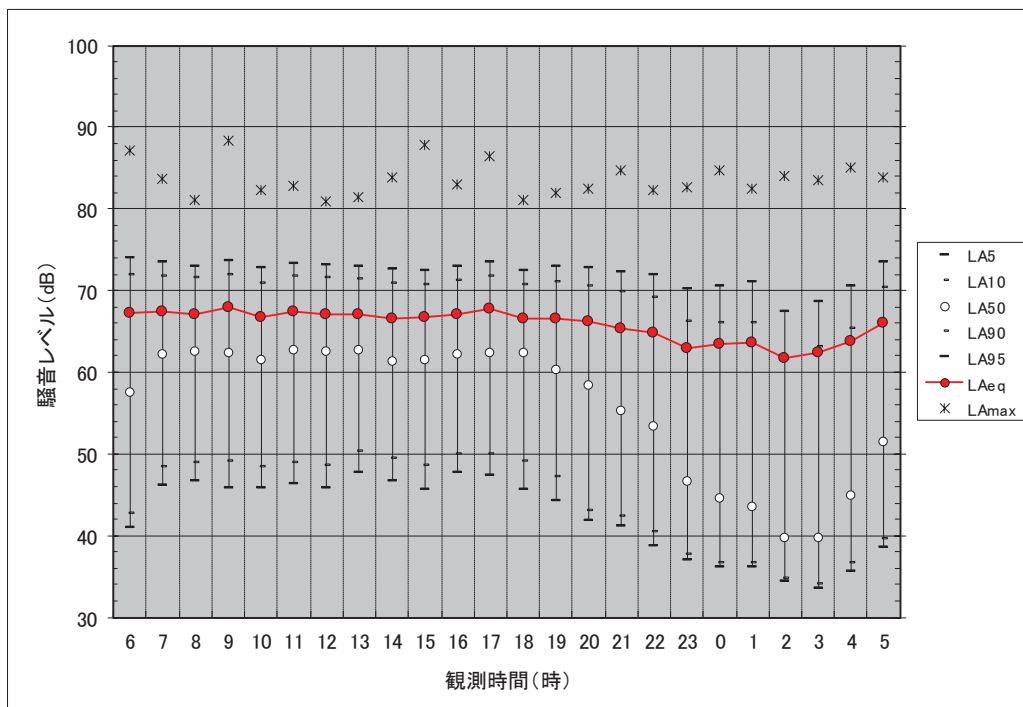
図 4.1(8) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(9) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	67.2	74.0	71.9	57.6	42.7	40.9	87.1
	7:00~8:00		67.4	73.5	71.8	62.2	48.4	46.1	83.6
	8:00~9:00		67.0	73.0	71.5	62.6	48.9	46.7	81.1
	9:00~10:00		67.9	73.7	72.0	62.4	49.1	45.9	88.4
	10:00~11:00		66.8	72.7	70.9	61.5	48.4	45.9	82.3
	11:00~12:00		67.4	73.3	71.7	62.7	49.0	46.3	82.8
	12:00~13:00		67.1	73.1	71.5	62.5	48.6	45.8	80.9
	13:00~14:00		67.1	73.0	71.4	62.8	50.3	47.7	81.5
	14:00~15:00		66.6	72.6	70.9	61.4	49.5	46.7	83.8
	15:00~16:00		66.7	72.5	70.7	61.5	48.6	45.7	87.8
	16:00~17:00		67.0	73.0	71.3	62.3	50.0	47.7	83.0
	17:00~18:00		67.7	73.5	71.7	62.4	50.0	47.4	86.5
	18:00~19:00		66.5	72.5	70.7	62.4	49.1	45.6	81.0
	19:00~20:00		66.6	73.0	71.0	60.3	47.2	44.2	82.0
20:00~21:00	66.2	72.8	70.6	58.5	43.1	41.9	82.5		
21:00~22:00	65.3	72.2	69.9	55.4	42.3	41.2	84.7		
夜間	22:00~23:00	65	64.9	72.0	69.2	53.4	40.4	38.7	82.3
	23:00~0:00		63.0	70.2	66.2	46.6	37.7	37.0	82.6
	0:00~1:00		63.5	70.5	66.0	44.6	36.6	36.1	84.7
	1:00~2:00		63.6	71.1	66.0	43.5	36.7	36.1	82.4
	2:00~3:00		61.8	67.5	61.5	39.8	34.8	34.4	84.0
	3:00~4:00		62.4	68.7	63.1	39.8	34.0	33.5	83.5
	4:00~5:00		63.8	70.5	65.4	44.9	36.7	35.7	85.0
	5:00~6:00		66.0	73.5	70.3	51.6	39.6	38.5	83.8
基準時間帯	昼間	70	67	73	71	61	48	45	88
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	64	71	66	46	37	36	85

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

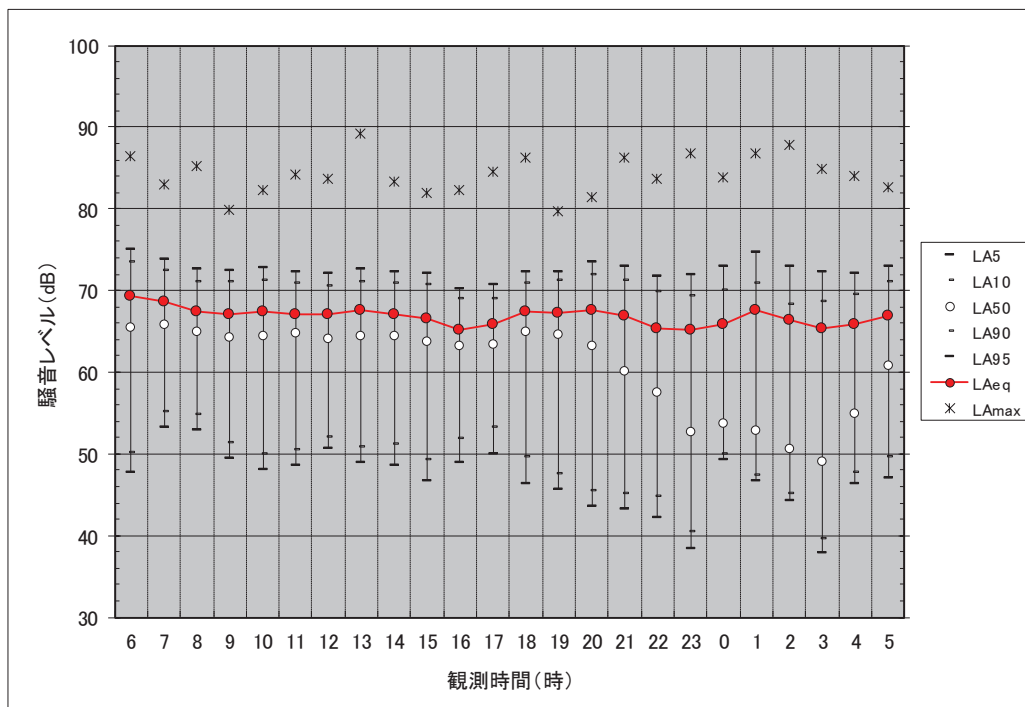
図 4.1(9) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(10) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	69.3	75.1	73.4	65.5	50.1	47.7	86.4
	7:00~8:00		68.7	73.9	72.4	65.8	55.2	53.2	83.0
	8:00~9:00		67.5	72.6	71.0	65.0	54.8	52.9	85.2
	9:00~10:00		67.1	72.4	71.0	64.3	51.3	49.5	79.9
	10:00~11:00		67.4	72.8	71.3	64.4	50.0	48.0	82.2
	11:00~12:00		67.0	72.2	70.8	64.8	50.4	48.5	84.2
	12:00~13:00		67.0	72.1	70.6	64.2	52.1	50.6	83.6
	13:00~14:00		67.6	72.6	71.1	64.5	50.9	49.0	89.2
	14:00~15:00		67.0	72.2	70.8	64.5	51.1	48.6	83.3
	15:00~16:00		66.6	72.1	70.7	63.8	49.2	46.7	82.0
	16:00~17:00		65.2	70.2	68.9	63.2	51.9	48.9	82.2
	17:00~18:00		65.9	70.7	69.0	63.5	53.2	50.0	84.6
	18:00~19:00		67.4	72.2	70.9	65.0	49.6	46.4	86.3
	19:00~20:00		67.2	72.3	71.2	64.7	47.6	45.6	79.7
20:00~21:00	67.6	73.5	71.9	63.3	45.4	43.6	81.4		
21:00~22:00	66.9	72.9	71.2	60.2	45.1	43.2	86.3		
夜間	22:00~23:00	65	65.4	71.8	69.8	57.5	44.7	42.2	83.6
	23:00~0:00		65.1	72.0	69.4	52.7	40.4	38.4	86.7
	0:00~1:00		65.9	73.0	70.0	53.7	50.0	49.3	83.9
	1:00~2:00		67.6	74.6	70.9	52.9	47.4	46.6	86.8
	2:00~3:00		66.4	73.0	68.3	50.6	45.1	44.2	87.8
	3:00~4:00		65.4	72.3	68.7	49.1	39.6	37.8	84.9
	4:00~5:00		65.8	72.1	69.5	55.0	47.7	46.4	84.0
	5:00~6:00		66.9	72.9	71.1	60.9	49.7	47.0	82.7
基準時間帯	昼間	70	67	72	71	64	50	48	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	66	73	70	54	46	44	88

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

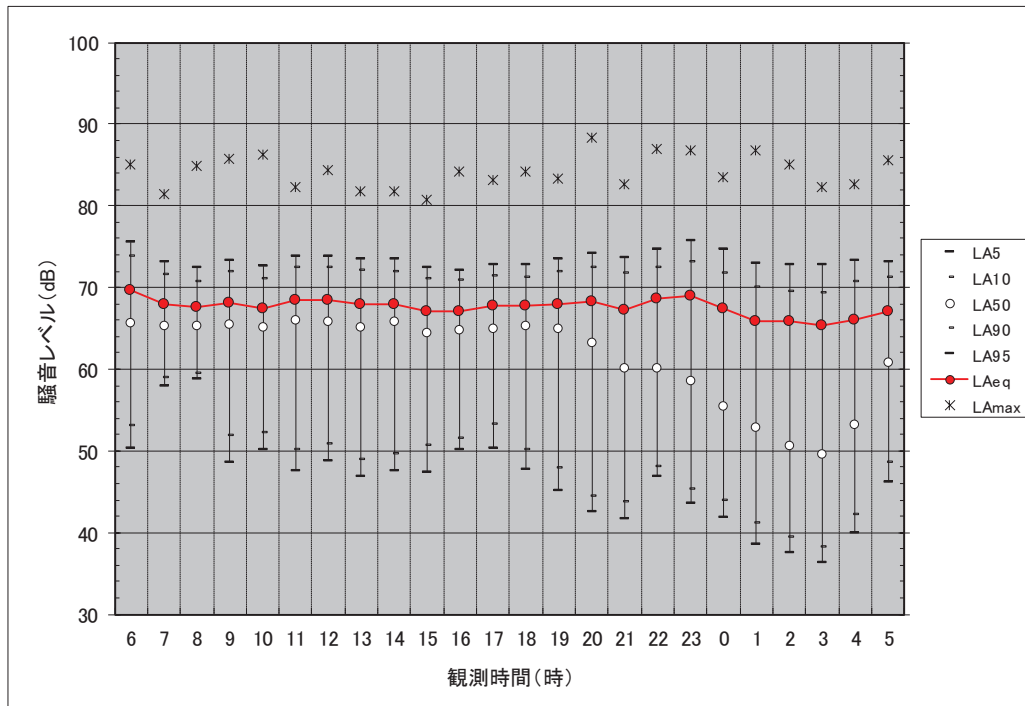
図 4.1(10) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(11) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	69.6	75.5	73.9	65.7	53.0	50.3	85.1
	7:00~8:00		67.9	73.1	71.5	65.3	59.0	58.0	81.4
	8:00~9:00		67.6	72.4	70.7	65.3	59.5	58.7	84.9
	9:00~10:00		68.1	73.3	71.9	65.6	51.8	48.6	85.8
	10:00~11:00		67.5	72.6	71.1	65.1	52.2	50.2	86.3
	11:00~12:00		68.5	73.8	72.5	66.0	50.1	47.5	82.3
	12:00~13:00		68.4	73.8	72.4	65.9	50.9	48.7	84.3
	13:00~14:00		68.0	73.5	72.1	65.2	49.0	46.8	81.8
	14:00~15:00		68.0	73.4	72.0	65.8	49.7	47.5	81.7
	15:00~16:00		67.1	72.4	71.0	64.4	50.6	47.4	80.7
	16:00~17:00		67.1	72.1	70.8	64.8	51.6	50.2	84.1
	17:00~18:00		67.7	72.7	71.4	65.0	53.3	50.3	83.2
	18:00~19:00		67.7	72.7	71.2	65.3	50.2	47.8	84.1
	19:00~20:00		67.9	73.4	72.0	65.0	47.9	45.2	83.4
20:00~21:00	68.2	74.1	72.4	63.2	44.4	42.5	88.3		
21:00~22:00	67.3	73.6	71.8	60.2	43.8	41.6	82.6		
夜間	22:00~23:00	65	68.6	74.7	72.4	60.1	48.0	46.8	87.0
	23:00~0:00		69.0	75.8	73.1	58.6	45.3	43.6	86.7
	0:00~1:00		67.4	74.7	71.7	55.5	44.0	41.8	83.5
	1:00~2:00		65.9	72.9	70.0	52.9	41.1	38.5	86.8
	2:00~3:00		65.8	72.8	69.5	50.6	39.5	37.6	85.0
	3:00~4:00		65.3	72.8	69.4	49.7	38.2	36.3	82.2
	4:00~5:00		66.1	73.3	70.7	53.3	42.1	40.0	82.6
	5:00~6:00		67.1	73.2	71.2	60.8	48.5	46.1	85.5
基準時間帯	昼間	70	68	73	72	65	51	49	88
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	67	74	71	55	43	41	87

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

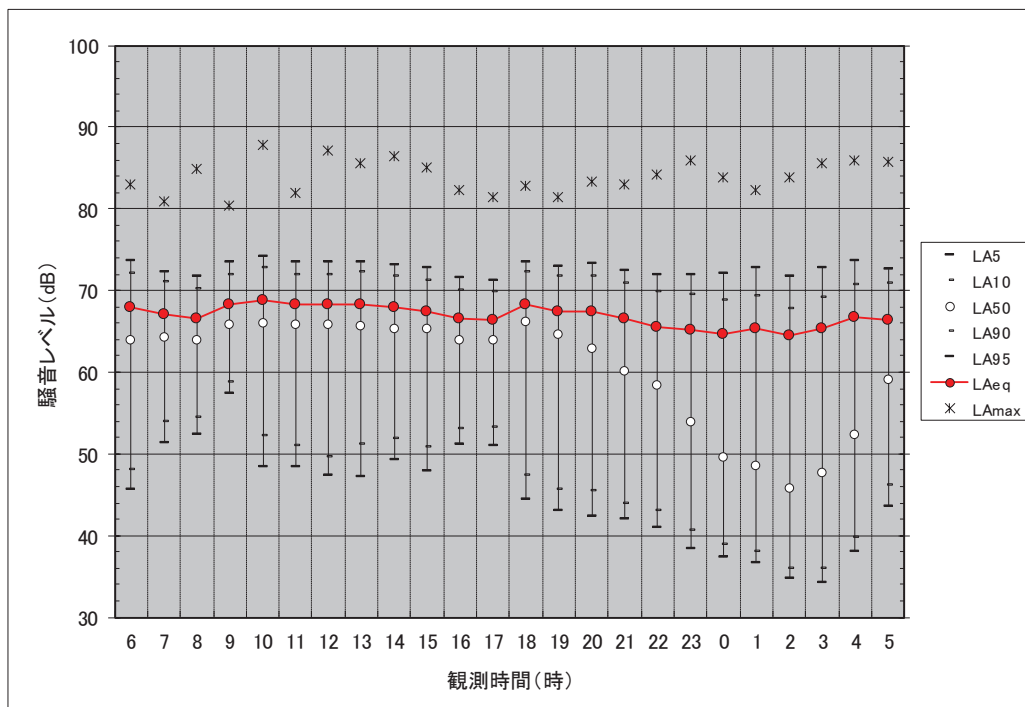
図 4.1(11) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(12) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	68.0	73.6	72.1	63.9	48.1	45.6	83.0
	7:00~8:00		67.1	72.3	71.0	64.3	53.9	51.4	80.9
	8:00~9:00		66.5	71.8	70.1	63.9	54.4	52.4	84.9
	9:00~10:00		68.3	73.5	72.0	65.8	58.8	57.4	80.3
	10:00~11:00		68.8	74.2	72.7	66.0	52.2	48.4	87.9
	11:00~12:00		68.2	73.4	72.0	65.9	51.0	48.4	82.0
	12:00~13:00		68.3	73.4	72.0	65.9	49.7	47.3	87.2
	13:00~14:00		68.3	73.5	72.2	65.7	51.2	47.2	85.6
	14:00~15:00		68.0	73.2	71.8	65.3	51.8	49.3	86.5
	15:00~16:00		67.5	72.7	71.2	65.3	50.8	47.9	85.1
	16:00~17:00		66.6	71.6	70.0	64.0	53.0	51.1	82.3
	17:00~18:00		66.3	71.2	69.8	64.0	53.3	51.0	81.5
	18:00~19:00		68.3	73.4	72.2	66.2	47.4	44.5	82.8
	19:00~20:00		67.5	73.0	71.7	64.7	45.6	43.1	81.4
20:00~21:00	67.5	73.3	71.8	63.0	45.4	42.4	83.3		
21:00~22:00	66.6	72.5	70.9	60.1	43.9	42.0	82.9		
夜間	22:00~23:00	65	65.5	71.9	69.9	58.4	43.1	40.9	84.1
	23:00~0:00		65.2	71.9	69.5	54.0	40.6	38.4	85.9
	0:00~1:00		64.6	72.1	68.8	49.7	38.9	37.3	83.8
	1:00~2:00		65.3	72.7	69.3	48.5	38.1	36.7	82.3
	2:00~3:00		64.5	71.7	67.7	45.9	35.9	34.7	83.8
	3:00~4:00		65.4	72.7	69.2	47.7	35.9	34.3	85.5
	4:00~5:00		66.8	73.6	70.7	52.3	39.7	38.0	85.9
	5:00~6:00		66.4	72.6	70.8	59.2	46.1	43.6	85.7
基準時間帯	昼間	70	68	73	71	65	51	48	88
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	66	72	69	52	40	38	86

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

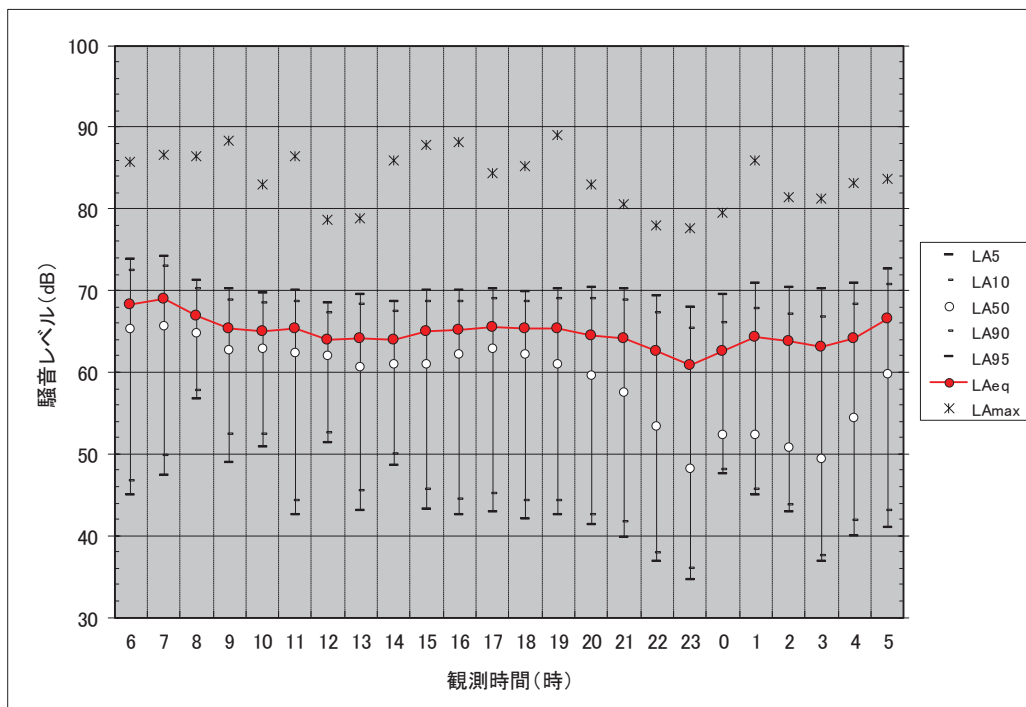
図 4.1(12) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(13) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	68.3	73.9	72.5	65.3	46.7	44.9	85.8
	7:00~8:00		68.9	74.1	72.9	65.7	49.8	47.3	86.6
	8:00~9:00		66.9	71.3	70.1	64.9	57.8	56.7	86.5
	9:00~10:00		65.3	70.2	68.8	62.7	52.4	48.9	88.4
	10:00~11:00		65.0	69.7	68.5	62.9	52.4	50.8	82.9
	11:00~12:00		65.4	70.0	68.7	62.4	44.3	42.5	86.4
	12:00~13:00		63.9	68.5	67.3	62.0	52.6	51.3	78.7
	13:00~14:00		64.2	69.5	68.2	60.7	45.4	43.1	78.8
	14:00~15:00		64.0	68.7	67.5	61.1	49.9	48.6	86.0
	15:00~16:00		65.0	70.0	68.6	61.1	45.6	43.2	87.8
	16:00~17:00		65.2	70.0	68.6	62.2	44.4	42.6	88.2
	17:00~18:00		65.5	70.2	68.9	62.9	45.2	42.8	84.3
	18:00~19:00		65.4	69.9	68.6	62.3	44.2	42.0	85.2
	19:00~20:00		65.3	70.1	68.9	61.0	44.2	42.5	89.0
20:00~21:00	64.5	70.3	68.9	59.7	42.5	41.3	83.0		
21:00~22:00	64.1	70.2	68.8	57.6	41.6	39.7	80.6		
夜間	22:00~23:00	65	62.5	69.4	67.2	53.5	37.8	36.9	77.9
	23:00~0:00		60.9	68.0	65.4	48.3	36.0	34.6	77.6
	0:00~1:00		62.5	69.5	66.0	52.3	48.1	47.5	79.5
	1:00~2:00		64.3	70.8	67.8	52.3	45.6	44.9	85.9
	2:00~3:00		63.8	70.4	67.0	50.9	43.8	42.9	81.5
	3:00~4:00		63.1	70.2	66.8	49.4	37.6	36.9	81.3
	4:00~5:00		64.1	70.8	68.2	54.5	41.9	40.0	83.2
	5:00~6:00		66.5	72.6	70.7	59.8	43.1	40.9	83.6
基準時間帯	昼間	70	66	70	69	62	47	46	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	64	70	67	53	42	41	86

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

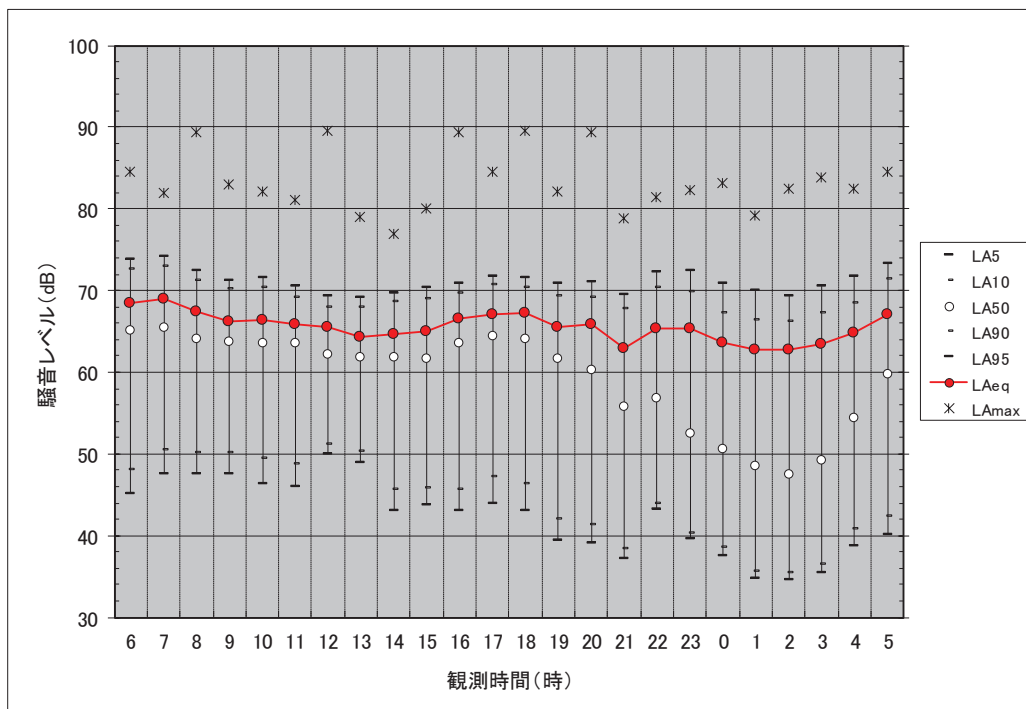
図 4.1(13) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(14) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	68.5	73.9	72.6	65.2	48.0	45.2	84.6
	7:00~8:00		68.9	74.2	72.9	65.5	50.4	47.6	81.9
	8:00~9:00		67.5	72.4	71.2	64.2	50.1	47.6	89.3
	9:00~10:00		66.2	71.3	70.1	63.8	50.1	47.5	82.9
	10:00~11:00		66.4	71.6	70.3	63.7	49.5	46.3	82.1
	11:00~12:00		65.9	70.6	69.2	63.6	48.8	46.0	81.0
	12:00~13:00		65.6	69.4	68.0	62.3	51.1	50.0	89.5
	13:00~14:00		64.3	69.2	68.0	61.9	50.3	48.9	79.0
	14:00~15:00		64.6	69.7	68.6	61.9	45.7	43.0	77.0
	15:00~16:00		65.0	70.3	68.9	61.8	45.8	43.8	80.1
	16:00~17:00		66.5	70.9	69.6	63.7	45.6	43.1	89.4
	17:00~18:00		67.0	71.8	70.7	64.5	47.2	43.9	84.6
	18:00~19:00		67.3	71.6	70.4	64.2	46.4	43.0	89.5
	19:00~20:00		65.5	70.8	69.4	61.8	42.0	39.5	82.1
20:00~21:00	65.8	71.0	69.2	60.3	41.4	39.1	89.4		
21:00~22:00	63.0	69.5	67.8	55.9	38.3	37.2	78.9		
夜間	22:00~23:00	65	65.4	72.2	70.3	56.9	44.0	43.2	81.5
	23:00~0:00		65.3	72.5	69.8	52.6	40.3	39.6	82.2
	0:00~1:00		63.6	70.9	67.3	50.7	38.6	37.6	83.1
	1:00~2:00		62.7	70.0	66.4	48.6	35.6	34.8	79.2
	2:00~3:00		62.8	69.3	66.2	47.6	35.5	34.5	82.4
	3:00~4:00		63.4	70.6	67.2	49.2	36.5	35.4	83.8
	4:00~5:00		64.8	71.7	68.5	54.4	40.8	38.8	82.4
	5:00~6:00		67.1	73.3	71.4	59.9	42.4	40.1	84.5
基準時間帯	昼間	70	66	71	70	63	47	44	90
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	65	71	68	52	39	38	85

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

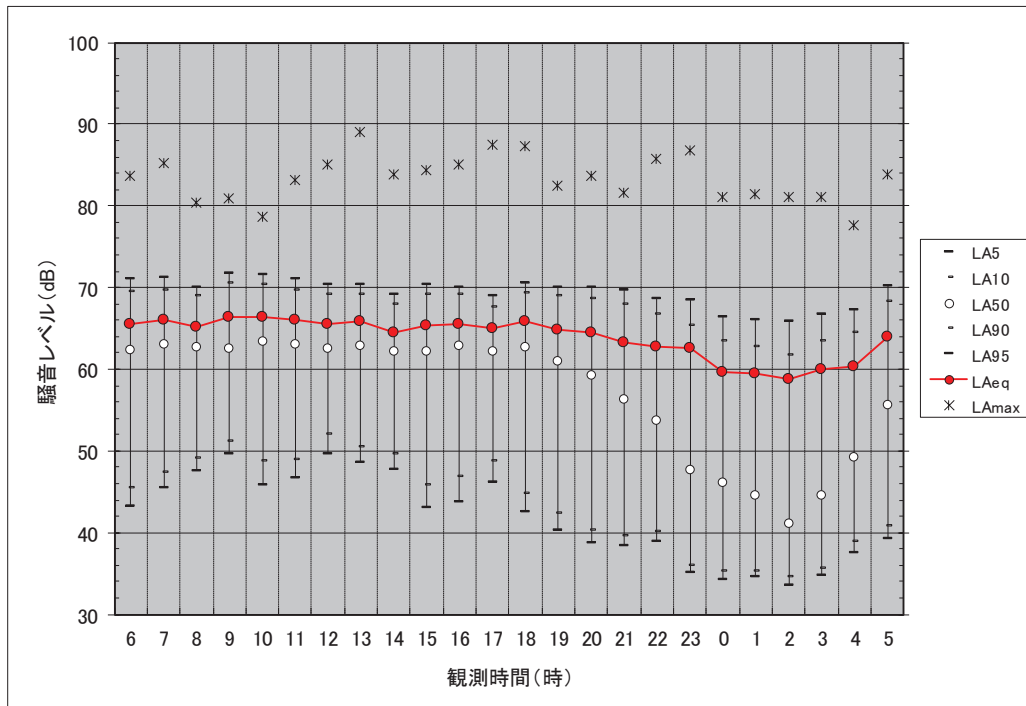
図 4.1(14) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(15) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	65.5	71.0	69.5	62.4	45.4	43.2	83.6
	7:00~8:00		66.0	71.2	69.7	63.1	47.4	45.4	85.2
	8:00~9:00		65.2	70.0	68.9	62.7	49.1	47.5	80.4
	9:00~10:00		66.3	71.8	70.6	62.6	51.1	49.6	80.9
	10:00~11:00		66.3	71.6	70.4	63.5	48.7	45.8	78.7
	11:00~12:00		66.0	71.0	69.7	63.1	48.9	46.6	83.1
	12:00~13:00		65.5	70.3	69.1	62.6	52.0	49.7	85.0
	13:00~14:00		65.8	70.4	69.1	63.0	50.4	48.6	89.0
	14:00~15:00		64.4	69.1	68.0	62.3	49.7	47.8	83.8
	15:00~16:00		65.4	70.3	69.1	62.3	45.9	43.1	84.3
	16:00~17:00		65.5	70.0	69.1	63.0	46.8	43.8	85.0
	17:00~18:00		65.0	69.0	67.6	62.3	48.8	46.1	87.4
	18:00~19:00		65.9	70.6	69.3	62.7	44.7	42.6	87.3
	19:00~20:00		64.9	70.0	68.9	61.1	42.3	40.3	82.4
20:00~21:00	64.4	70.0	68.6	59.3	40.2	38.8	83.6		
21:00~22:00	63.3	69.6	68.0	56.3	39.6	38.3	81.6		
夜間	22:00~23:00	65	62.8	68.7	66.7	53.8	40.1	38.9	85.7
	23:00~0:00		62.5	68.4	65.4	47.7	35.9	35.1	86.8
	0:00~1:00		59.7	66.4	63.4	46.2	35.3	34.2	81.1
	1:00~2:00		59.4	66.0	62.8	44.6	35.2	34.5	81.5
	2:00~3:00		58.7	65.8	61.8	41.2	34.6	33.6	81.0
	3:00~4:00		60.0	66.8	63.5	44.6	35.7	34.8	81.1
	4:00~5:00		60.3	67.3	64.4	49.2	38.9	37.5	77.7
	5:00~6:00		63.9	70.2	68.2	55.6	40.8	39.3	83.9
基準時間帯	昼間	70	65	70	69	62	47	45	89
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	61	67	65	48	37	36	87

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

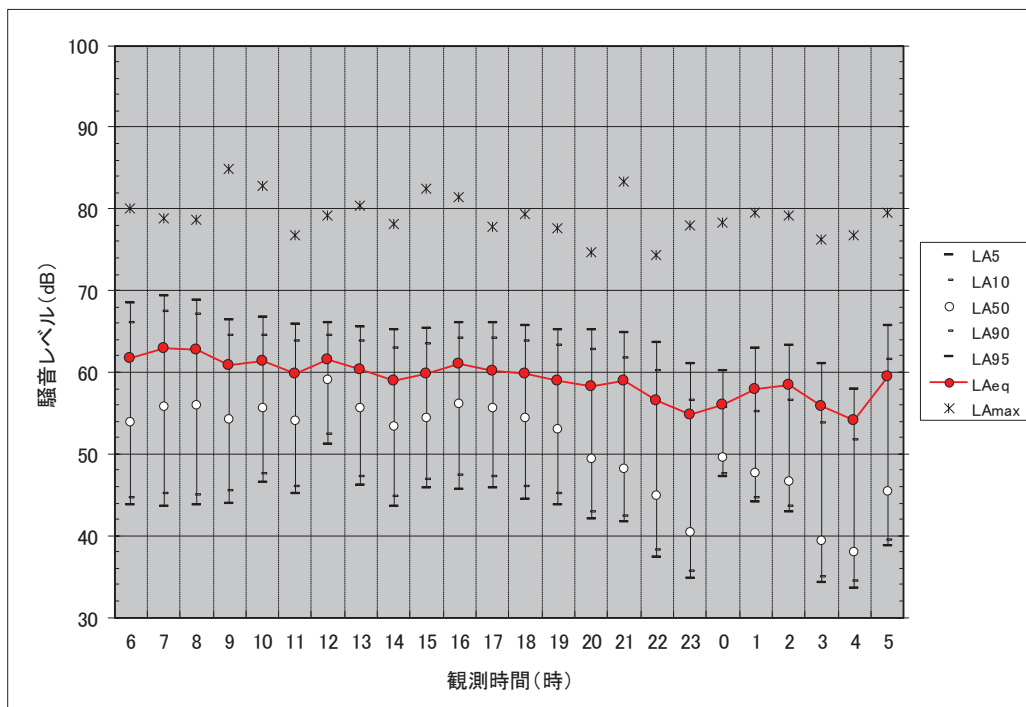
図 4.1(15) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(16) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	61.8	68.4	66.0	53.9	44.6	43.7	80.1
	7:00~8:00		63.0	69.3	67.4	55.8	45.1	43.5	78.8
	8:00~9:00		62.7	68.8	67.0	56.0	45.0	43.7	78.6
	9:00~10:00		60.8	66.4	64.4	54.3	45.5	44.0	84.8
	10:00~11:00		61.4	66.7	64.5	55.6	47.6	46.5	82.8
	11:00~12:00		59.9	65.9	63.8	54.1	46.0	45.2	76.8
	12:00~13:00		61.5	66.1	64.4	59.2	52.3	51.2	79.2
	13:00~14:00		60.4	65.5	63.8	55.6	47.2	46.2	80.3
	14:00~15:00		59.0	65.2	63.0	53.5	44.7	43.5	78.1
	15:00~16:00		59.9	65.4	63.5	54.5	46.8	45.8	82.5
	16:00~17:00		61.1	66.0	64.2	56.2	47.3	45.7	81.5
	17:00~18:00		60.2	66.0	64.1	55.6	47.2	45.9	77.8
	18:00~19:00		59.9	65.7	63.8	54.4	46.0	44.5	79.3
	19:00~20:00		59.0	65.1	63.3	53.0	45.1	43.7	77.7
20:00~21:00	58.2	65.1	62.8	49.5	42.9	42.0	74.7		
21:00~22:00	58.9	64.9	61.7	48.2	42.4	41.7	83.4		
夜間	22:00~23:00	65	56.5	63.7	60.2	44.9	38.2	37.4	74.4
	23:00~0:00		54.8	61.1	56.6	40.4	35.7	34.8	77.9
	0:00~1:00		56.0	60.1	55.7	49.6	47.6	47.2	78.3
	1:00~2:00		57.9	62.9	55.1	47.8	44.6	44.1	79.5
	2:00~3:00		58.5	63.2	56.5	46.7	43.6	42.8	79.2
	3:00~4:00		55.9	61.0	53.8	39.5	35.0	34.2	76.3
	4:00~5:00		54.1	57.9	51.7	38.1	34.4	33.6	76.8
	5:00~6:00		59.4	65.7	61.5	45.4	39.4	38.8	79.6
基準時間帯	昼間	70	61	66	64	54	46	45	85
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	57	62	56	44	40	39	80

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月21日(火)9:00~6月22日(水)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

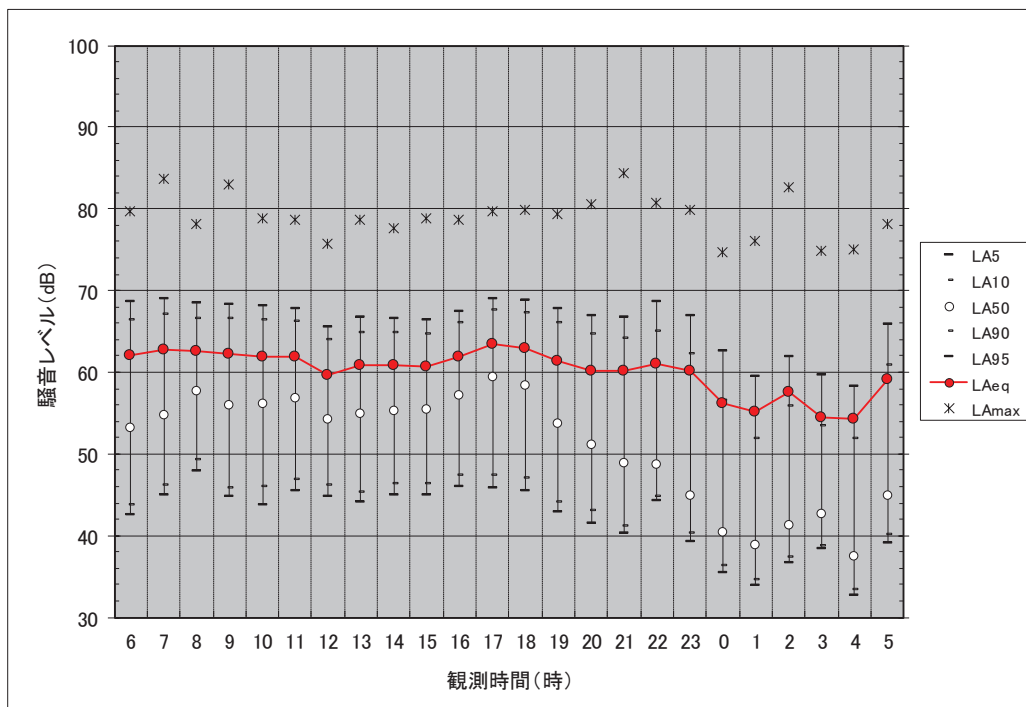
図 4.1(16) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(17) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	62.0	68.7	66.3	53.2	43.7	42.6	79.7
	7:00~8:00		62.7	69.0	67.0	54.8	46.2	44.9	83.6
	8:00~9:00		62.5	68.5	66.6	57.7	49.3	47.9	78.1
	9:00~10:00		62.3	68.3	66.6	56.0	45.9	44.8	82.9
	10:00~11:00		61.9	68.1	66.3	56.2	46.0	43.8	78.8
	11:00~12:00		61.9	67.8	66.2	56.8	46.9	45.4	78.7
	12:00~13:00		59.7	65.6	63.9	54.3	46.2	44.8	75.8
	13:00~14:00		60.8	66.8	64.8	54.9	45.3	44.1	78.7
	14:00~15:00		60.8	66.6	64.8	55.4	46.3	45.0	77.6
	15:00~16:00		60.7	66.4	64.7	55.5	46.3	45.0	78.9
	16:00~17:00		61.9	67.5	66.0	57.3	47.3	46.0	78.7
	17:00~18:00		63.4	69.0	67.6	59.5	47.3	45.8	79.7
	18:00~19:00		63.0	68.8	67.3	58.4	47.0	45.4	79.9
	19:00~20:00		61.4	67.8	66.1	53.8	44.1	42.9	79.3
20:00~21:00	60.1	66.9	64.6	51.1	43.0	41.5	80.6		
21:00~22:00	60.1	66.8	64.1	49.0	41.1	40.2	84.4		
夜間	22:00~23:00	65	61.1	68.6	65.0	48.7	44.8	44.3	80.7
	23:00~0:00		60.2	66.9	62.2	45.0	40.3	39.3	79.8
	0:00~1:00		56.1	62.5	56.5	40.5	36.3	35.5	74.7
	1:00~2:00		55.1	59.4	51.9	38.9	34.5	33.9	76.1
	2:00~3:00		57.6	61.9	55.9	41.3	37.4	36.7	82.6
	3:00~4:00		54.5	59.7	53.4	42.7	38.7	38.3	74.9
	4:00~5:00		54.3	58.3	51.9	37.5	33.4	32.6	75.0
	5:00~6:00		59.1	65.8	60.9	45.0	40.1	39.1	78.2
基準時間帯	昼間	70	62	68	66	55	46	44	84
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	58	63	57	42	38	37	83

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月22日(水)9:00~6月23日(木)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

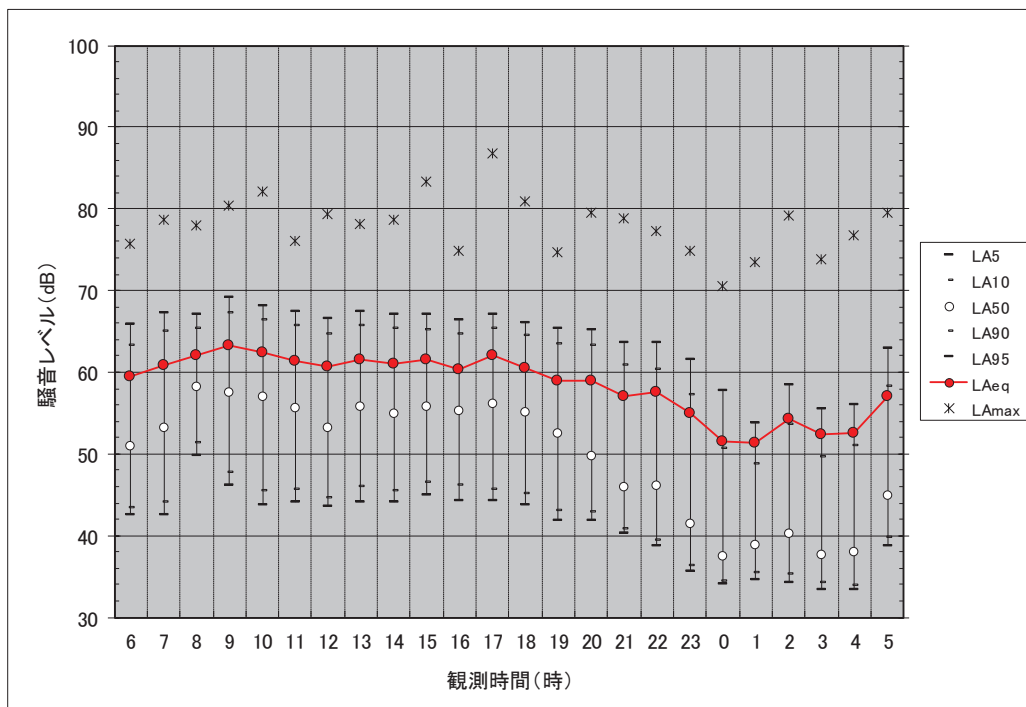
図 4.1(17) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(18) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A10}	L _{A50}	L _{A90}	L _{A95}	L _{Amax}
昼間	6:00~7:00	70	59.5	65.9	63.3	51.0	43.4	42.6	75.7
	7:00~8:00		60.8	67.2	65.0	53.2	44.1	42.6	78.6
	8:00~9:00		62.1	67.1	65.4	58.3	51.4	49.8	78.0
	9:00~10:00		63.2	69.2	67.2	57.6	47.7	46.1	80.4
	10:00~11:00		62.4	68.1	66.3	57.0	45.5	43.8	82.1
	11:00~12:00		61.4	67.4	65.7	55.6	45.7	44.1	76.1
	12:00~13:00		60.7	66.5	64.7	53.3	44.6	43.5	79.4
	13:00~14:00		61.5	67.5	65.7	55.9	46.0	44.1	78.1
	14:00~15:00		61.0	67.1	65.3	55.0	45.5	44.1	78.6
	15:00~16:00		61.5	67.0	65.2	55.8	46.5	45.0	83.3
	16:00~17:00		60.4	66.4	64.6	55.4	46.1	44.3	74.8
	17:00~18:00		62.1	67.1	65.3	56.1	45.7	44.2	86.7
	18:00~19:00		60.5	66.1	64.4	55.2	45.1	43.7	80.9
	19:00~20:00		59.0	65.3	63.5	52.5	43.1	41.9	74.6
20:00~21:00	58.9	65.2	63.2	49.8	42.8	41.8	79.5		
21:00~22:00	57.0	63.7	60.9	46.0	40.8	40.2	78.9		
夜間	22:00~23:00	65	57.5	63.7	60.3	46.1	39.4	38.7	77.2
	23:00~0:00		54.9	61.6	57.3	41.5	36.3	35.6	74.9
	0:00~1:00		51.6	57.7	50.7	37.5	34.4	34.0	70.6
	1:00~2:00		51.3	53.8	48.8	38.9	35.5	34.5	73.5
	2:00~3:00		54.2	58.5	53.6	40.2	35.3	34.2	79.2
	3:00~4:00		52.4	55.5	49.6	37.7	34.3	33.4	73.8
	4:00~5:00		52.6	56.0	51.0	38.0	33.9	33.4	76.7
	5:00~6:00		57.0	63.0	58.2	45.0	39.7	38.7	79.5
基準時間帯	昼間	70	61	67	65	54	45	44	87
平均値 [*] ・最大値	夜間	65	55	59	54	41	36	35	80

※ 基準時間帯平均値の、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

図 4.1(18) 観測時間別の騒音レベル調査結果

4.2 振動測定結果

振動レベルは、1時間あたり6回実施した結果の中から、除外すべき振動の影響を受けていると思われるデータを除外した。

振動レベル調査結果を表4.4、過年度調査結果との比較を表4.5、観測時間別の振動レベル調査結果を表4.6(1)～(6)および図4.2(1)～(6)に示す。また、実測時間別の振動レベル調査結果を資料編に示す。

昼間、夜間の時間区分ともに、振動レベルが最も大きかったのは地点3 恋ヶ窪新田三鷹線であり、昼間が48dB、夜間が43dBであった。

要請限度達成状況は、調査を実施した全6地点が昼間、夜間ともに要請限度を達成した。

表 4.4 振動レベルの調査結果

調査日：令和4年6月23日(木)9時～6月24日(金)9時

地点 番号	路線名	調査地点	時間 ^{※1} 区分	時間率振動レベル L ₁₀ (dB)			
				調査結果	令和3年度 調査結果	要請限度	
						基準値	適合状況 ^{※2}
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	昼間	41	41	65	○
			夜間	38	37	60	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	昼間	40	40	65	○
			夜間	34	33	60	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	昼間	48	48	65	○
			夜間	43	42	60	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	昼間	43	43	65	○
			夜間	41	39	60	○
地点5	新宿国立線	前原町4-11付近	昼間	45	45	65	○
			夜間	39	38	60	○
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	昼間	38	38	65	○
			夜間	30	29	60	○

※1 時間区分の昼間は8:00～19:00、夜間は19:00～8:00

※2 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

前年度調査との比較については、地点1 杉並あきる野線では、夜間で1dB増加、地点2 府中清瀬線では、夜間で1dB増加、地点3 恋ヶ窪新田三鷹線では、夜間で1dB増加、地点4 府中小平線では、夜間で2dB増加、地点5 新宿国立線では、夜間で1dB増加、地点6 府中小金井線では、夜間で1dB増加した。

表 4.5 過年度調査との比較

地点番号	路線名	調査地点	年度	振動レベル L10 (dB)		過年度調査との比較		要請限度適合状況 ^{※2}	
				昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}	昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}	昼間 ^{※1}	夜間 ^{※1}
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	平成25年度	50	45	0	△ 1	○	○
			平成26年度	50	45	0	0	○	○
			平成27年度	51	46	1	1	○	○
			平成28年度	49	46	△ 2	0	○	○
			平成29年度	43	38	△ 6	△ 8	○	○
			平成30年度	43	39	0	1	○	○
			令和元年度	42	39	△ 1	0	○	○
			令和2年度	42	38	0	△ 1	○	○
			令和3年度	41	37	△ 1	△ 1	○	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	平成25年度	47	43	△ 1	0	○	○
			平成26年度	49	44	2	1	○	○
			平成27年度	50	45	1	1	○	○
			平成28年度	49	45	△ 1	0	○	○
			平成29年度	47	41	△ 2	△ 4	○	○
			平成30年度	50	45	3	4	○	○
			令和元年度	48	44	△ 2	△ 1	○	○
			令和2年度	47	41	△ 1	△ 3	○	○
			令和3年度	40	33	△ 7	△ 8	○	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	平成25年度	47	43	0	△ 1	○	○
			平成26年度	49	44	2	1	○	○
			平成27年度	48	44	△ 1	0	○	○
			平成28年度	48	43	0	△ 1	○	○
			平成29年度	47	41	△ 1	△ 2	○	○
			平成30年度	48	42	1	1	○	○
			令和元年度	47	43	△ 1	1	○	○
			令和2年度	47	41	0	△ 2	○	○
			令和3年度	48	42	1	1	○	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	平成25年度	41	39	0	△ 1	○	○
			平成26年度	42	40	1	1	○	○
			平成27年度	42	40	0	0	○	○
			平成28年度	42	40	0	0	○	○
			平成29年度	43	40	1	0	○	○
			平成30年度	42	38	△ 1	△ 2	○	○
			令和元年度	42	39	0	1	○	○
			令和2年度	43	40	1	1	○	○
			令和3年度	43	39	0	△ 1	○	○
地点5	新宿国立線	前原町4-11付近	平成25年度	49	42	3	1	○	○
			平成26年度	42	36	△ 7	△ 6	○	○
			平成27年度	47	41	5	5	○	○
			平成28年度	46	41	△ 1	0	○	○
			平成29年度	44	38	△ 2	△ 3	○	○
			平成30年度	46	40	2	2	○	○
			令和元年度	44	39	△ 2	△ 1	○	○
			令和2年度	44	38	0	△ 1	○	○
			令和3年度	45	38	1	0	○	○
地点6	府中小金井線	中町2-20付近	令和2年度	40	32	-	-	○	○
			令和3年度	38	29	△ 2	△ 3	○	○
			令和4年度	38	30	0	1	○	○

※1 昼間は8:00～19:00、夜間は19:00～8:00

※2 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

※3 地点番号2の平成26年度までの測定地点は、小金井市前原町5-14付近

地点番号3の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m東へ移動

地点番号5の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m西へ移動

地点番号1の平成29年度測定結果の低減は、平成29年3月に舗装工事を実施した効果と思われる。

地点番号6は令和2年度から測定開始した。

地点番号2の令和3年度測定地点は、反射音の影響を考慮し測定位置を約20m南へ移動

地点番号4の令和2年度までの測定地点は、小金井市前原町4-16付近

地点番号6の令和2年度までの測定地点は、小金井市中町2-21付近

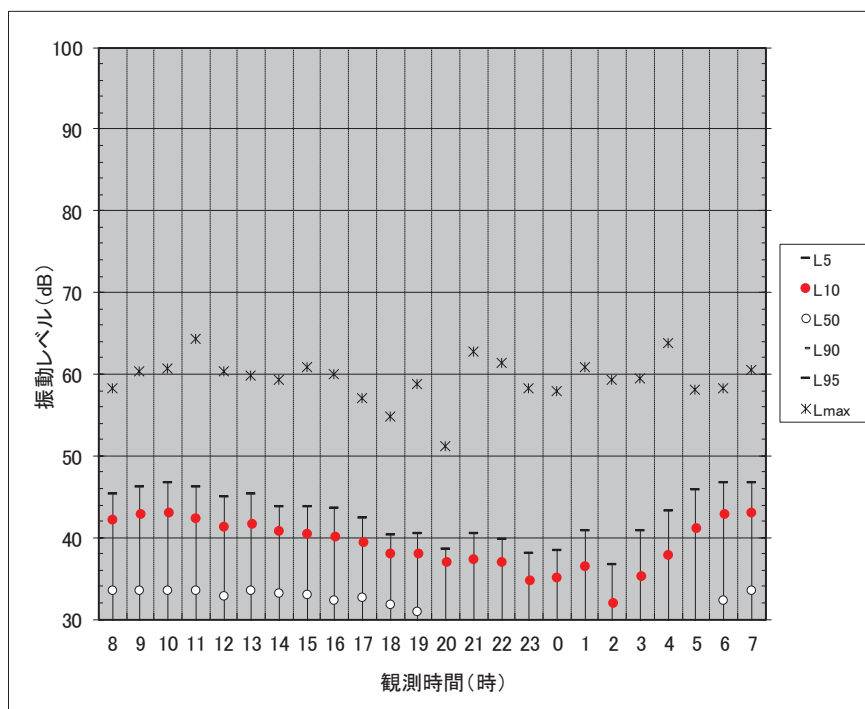
表 4.6(1) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00

路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル (dB)					振動レベルの最大値 (dB)
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅	
昼間	8:00~9:00	65	45.3	42.3	33.5	23.8	21.4	58.2
	9:00~10:00		46.1	42.9	33.5	22.9	20.8	60.4
	10:00~11:00		46.6	43.2	33.6	24.2	22.2	60.7
	11:00~12:00		46.2	42.5	33.5	23.4	21.7	64.3
	12:00~13:00		44.9	41.4	32.9	22.0	19.4	60.3
	13:00~14:00		45.3	41.7	33.6	24.1	22.2	59.8
	14:00~15:00		43.8	40.9	33.2	24.2	22.0	59.3
	15:00~16:00		43.7	40.5	33.0	23.6	21.5	60.9
	16:00~17:00		43.5	40.2	32.3	21.1	19.2	60.0
	17:00~18:00		42.3	39.5	32.7	22.9	20.3	57.1
18:00~19:00	40.3	38.2	31.9	20.7	18.6	54.8		
夜間	19:00~20:00	60	40.4	38.1	31.0	19.2	17.3	58.7
	20:00~21:00		38.6	37.0	29.5	17.2	15.6	51.2
	21:00~22:00		40.4	37.5	25.5	14.8	13.6	62.8
	22:00~23:00		39.8	37.1	23.4	13.3	12.3	61.4
	23:00~0:00		38.0	34.8	18.2	11.4	10.7	58.3
	0:00~1:00		38.4	35.1	18.3	12.3	11.5	58.0
	1:00~2:00		40.8	36.6	17.3	10.7	10.1	60.8
	2:00~3:00		36.7	32.1	12.2	9.3	8.9	59.3
	3:00~4:00		40.8	35.4	13.9	9.6	9.0	59.4
	4:00~5:00		43.3	37.9	17.8	10.4	9.7	63.8
5:00~6:00	45.8	41.2	25.9	14.5	13.3	58.1		
6:00~7:00	46.7	43.0	32.3	19.4	17.2	58.3		
7:00~8:00	46.7	43.1	33.6	21.5	18.8	60.5		
基準時間帯	昼間	65	44	41	33	23	21	64
平均値*・最大値	夜間	60	41	38	23	14	13	64

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00

路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

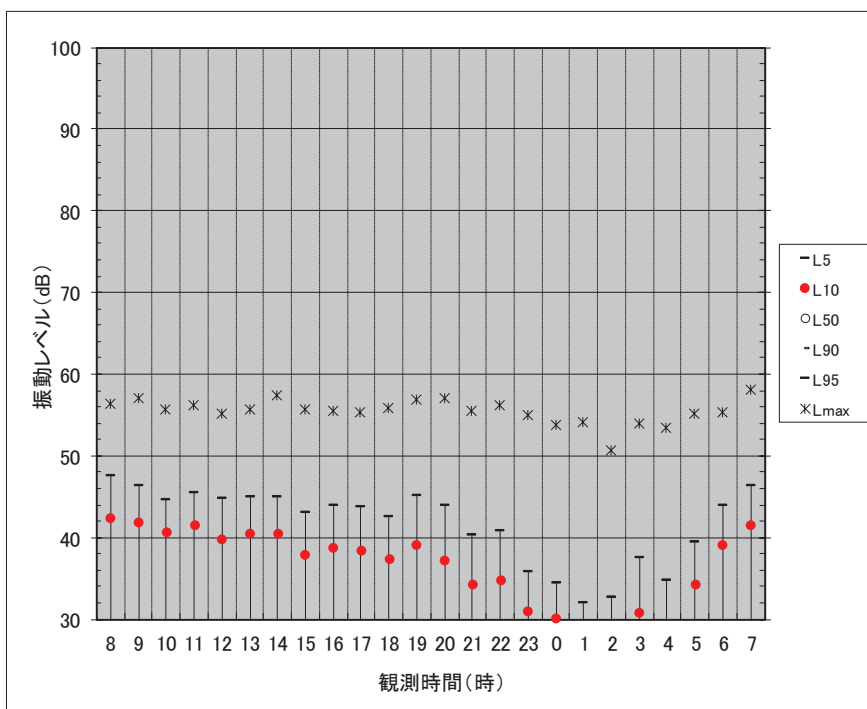
図 4.2(1) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(2) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅	
昼間	8:00~9:00	65	47.5	42.4	28.7	20.1	17.7	56.3
	9:00~10:00		46.4	42.0	28.6	20.0	17.9	57.0
	10:00~11:00		44.6	40.8	27.3	18.1	16.3	55.6
	11:00~12:00		45.4	41.5	28.4	19.0	17.0	56.2
	12:00~13:00		44.8	39.9	28.2	18.4	15.9	55.1
	13:00~14:00		45.0	40.5	27.5	18.4	16.3	55.6
	14:00~15:00		45.0	40.5	27.8	18.2	16.0	57.4
	15:00~16:00		43.0	37.9	27.2	18.1	16.4	55.7
	16:00~17:00		43.9	38.9	27.1	18.4	16.5	55.5
	17:00~18:00		43.7	38.5	27.3	18.0	15.9	55.4
18:00~19:00	42.5	37.5	26.8	18.3	16.3	55.9		
夜間	19:00~20:00	60	45.2	39.1	26.1	16.5	14.7	56.8
	20:00~21:00		43.9	37.2	24.5	14.8	13.5	57.0
	21:00~22:00		40.3	34.4	21.5	12.7	11.7	55.5
	22:00~23:00		40.8	34.9	19.9	11.6	10.8	56.1
	23:00~0:00		35.8	31.0	15.0	9.8	9.1	55.0
	0:00~1:00		34.4	30.1	14.0	8.9	8.3	53.7
	1:00~2:00		32.0	27.7	11.0	8.1	7.7	54.1
	2:00~3:00		32.7	26.9	10.1	7.8	7.4	50.6
	3:00~4:00		37.6	30.9	11.3	8.4	8.0	54.0
	4:00~5:00		34.7	29.4	11.8	8.3	7.8	53.4
5:00~6:00	39.4	34.3	17.0	10.3	9.4	55.2		
6:00~7:00	43.9	39.1	26.4	15.9	14.2	55.3		
7:00~8:00	46.3	41.5	28.7	19.7	17.7	58.1		
基準時間帯	昼間	65	45	40	28	19	17	57
平均値 [*] ・最大値	夜間	60	39	34	18	12	11	58

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

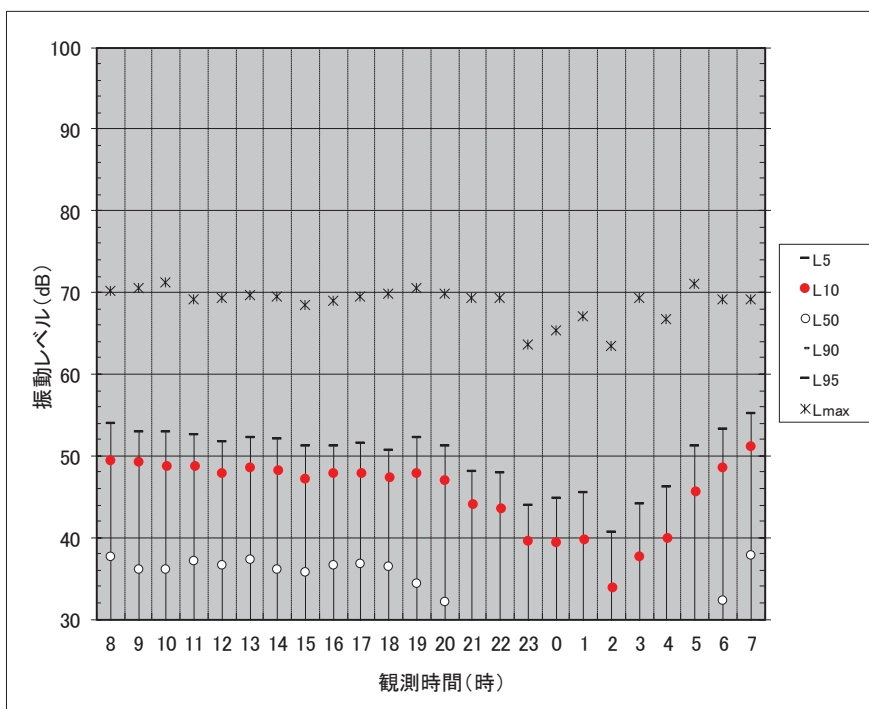
図 4.2(2) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(3) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅	
昼間	8:00~9:00	65	54.0	49.6	37.7	25.2	23.2	70.1
	9:00~10:00		52.9	49.3	36.1	23.4	21.3	70.5
	10:00~11:00		52.9	48.8	36.2	23.3	21.0	71.2
	11:00~12:00		52.5	48.9	37.1	23.4	20.8	69.2
	12:00~13:00		51.7	48.0	36.7	22.4	19.7	69.3
	13:00~14:00		52.2	48.6	37.4	24.2	21.1	69.7
	14:00~15:00		52.0	48.3	36.1	23.2	20.6	69.5
	15:00~16:00		51.1	47.3	35.8	23.5	21.7	68.4
	16:00~17:00		51.2	47.9	36.7	23.3	21.0	69.0
	17:00~18:00		51.6	48.0	36.8	24.2	21.7	69.5
18:00~19:00	50.7	47.4	36.4	23.2	20.2	69.8		
夜間	19:00~20:00	60	52.2	47.9	34.4	22.4	20.0	70.5
	20:00~21:00		51.1	47.1	32.2	17.8	15.4	69.8
	21:00~22:00		48.0	44.2	29.2	18.0	16.4	69.4
	22:00~23:00		47.9	43.6	26.4	15.9	14.5	69.3
	23:00~0:00		44.0	39.7	18.5	11.8	11.2	63.6
	0:00~1:00		44.8	39.5	17.9	11.2	10.6	65.3
	1:00~2:00		45.4	39.8	15.4	11.2	10.7	67.1
	2:00~3:00		40.6	34.0	13.2	9.9	9.5	63.5
	3:00~4:00		44.1	37.7	12.4	10.0	9.6	69.4
	4:00~5:00		46.1	40.0	14.8	10.5	10.0	66.7
5:00~6:00	51.1	45.8	24.8	13.2	12.5	71.0		
6:00~7:00	53.2	48.7	32.3	18.7	16.9	69.1		
7:00~8:00	55.1	51.3	37.9	24.6	22.0	69.2		
基準時間帯	昼間	65	52	48	37	24	21	71
平均値 [*] ・最大値	夜間	60	48	43	24	15	14	71

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

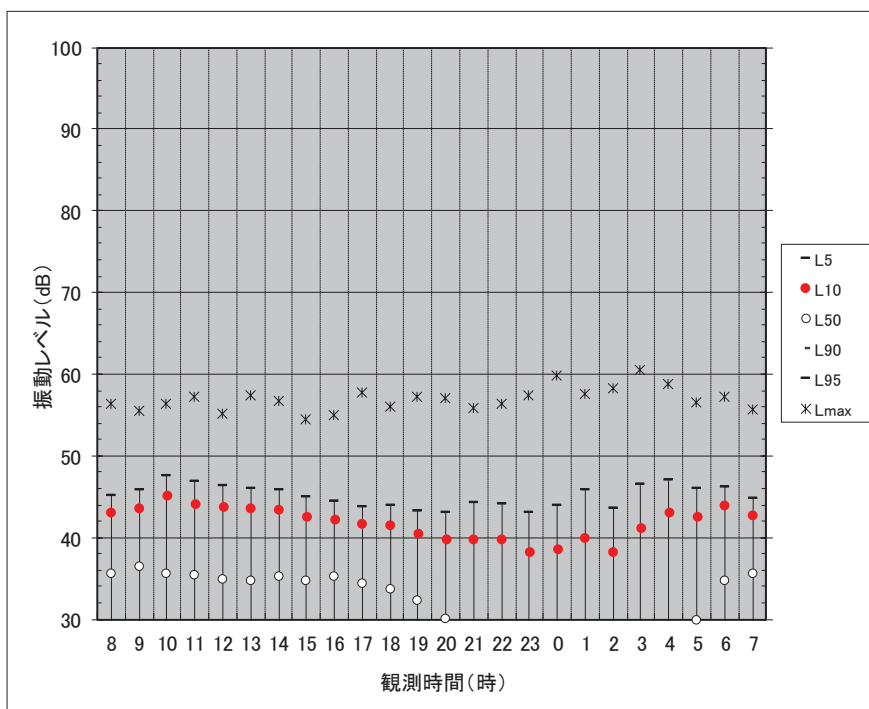
図 4.2(3) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(4) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅	
昼間	8:00~9:00	65	45.1	43.2	35.6	26.6	24.2	56.3
	9:00~10:00		45.9	43.6	36.5	29.8	28.8	55.5
	10:00~11:00		47.5	45.2	35.7	23.6	21.1	56.4
	11:00~12:00		46.8	44.2	35.4	22.6	20.6	57.3
	12:00~13:00		46.3	43.9	35.0	23.1	20.9	55.1
	13:00~14:00		46.0	43.7	34.8	23.7	20.7	57.4
	14:00~15:00		45.9	43.4	35.2	23.8	21.7	56.7
	15:00~16:00		45.0	42.7	34.7	23.6	21.3	54.4
	16:00~17:00		44.5	42.2	35.2	26.3	23.6	55.0
	17:00~18:00		43.8	41.7	34.4	25.2	22.8	57.7
18:00~19:00	44.0	41.5	33.7	21.8	19.5	56.0		
夜間	19:00~20:00	60	43.3	40.5	32.4	20.2	18.5	57.3
	20:00~21:00		43.1	39.9	30.1	18.0	16.9	57.0
	21:00~22:00		44.2	39.9	28.3	17.4	16.3	55.9
	22:00~23:00		44.1	39.9	26.7	15.8	14.9	56.3
	23:00~0:00		43.0	38.3	22.2	13.8	13.0	57.4
	0:00~1:00		43.9	38.6	19.1	12.8	12.2	59.8
	1:00~2:00		45.9	40.1	17.8	12.0	11.5	57.6
	2:00~3:00		43.6	38.3	15.8	11.1	10.5	58.2
	3:00~4:00		46.5	41.3	18.3	12.9	12.2	60.5
	4:00~5:00		47.1	43.2	21.6	13.2	12.5	58.8
5:00~6:00	46.0	42.7	30.0	18.2	16.7	56.6		
6:00~7:00	46.2	44.0	34.7	21.7	19.9	57.3		
7:00~8:00	44.7	42.8	35.6	25.3	23.0	55.6		
基準時間帯	昼間	65	46	43	35	25	22	58
平均値 [*] ・最大値	夜間	60	45	41	26	16	15	61

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

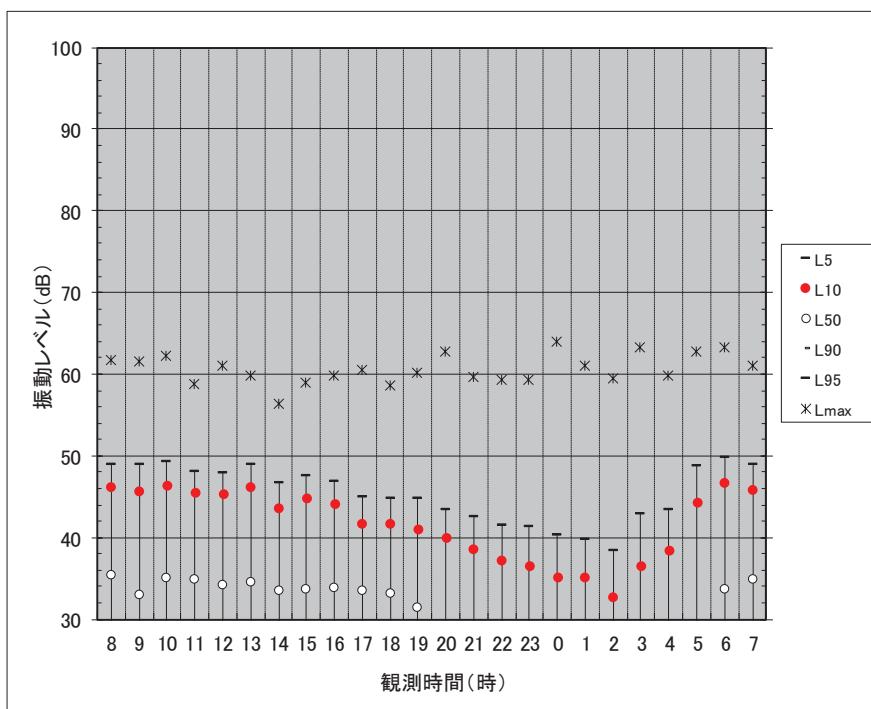
図 4.2(4) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(5) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅	
昼間	8:00~9:00	65	49.0	46.2	35.5	23.1	21.9	61.8
	9:00~10:00		49.0	45.7	33.0	21.4	20.1	61.6
	10:00~11:00		49.3	46.5	35.1	20.4	18.8	62.2
	11:00~12:00		48.0	45.6	34.9	20.6	18.5	58.8
	12:00~13:00		47.9	45.3	34.3	22.3	21.1	61.1
	13:00~14:00		48.9	46.2	34.5	19.5	18.0	59.9
	14:00~15:00		46.6	43.7	33.6	20.0	18.3	56.4
	15:00~16:00		47.6	44.8	33.7	18.9	17.6	59.0
	16:00~17:00		46.9	44.1	33.9	19.1	17.4	59.8
	17:00~18:00		44.9	41.7	33.5	21.3	19.5	60.5
18:00~19:00	44.8	41.7	33.2	18.7	16.7	58.6		
夜間	19:00~20:00	60	44.8	41.1	31.4	17.8	16.1	60.1
	20:00~21:00		43.4	40.0	28.5	15.2	14.3	62.8
	21:00~22:00		42.5	38.6	25.5	15.0	14.0	59.7
	22:00~23:00		41.5	37.3	22.1	14.7	13.6	59.3
	23:00~0:00		41.4	36.5	19.1	12.9	12.2	59.3
	0:00~1:00		40.3	35.1	15.7	11.5	10.9	63.9
	1:00~2:00		39.7	35.2	14.2	10.9	10.3	61.1
	2:00~3:00		38.3	32.7	12.9	10.2	9.8	59.4
	3:00~4:00		42.8	36.6	15.3	11.3	10.7	63.2
	4:00~5:00		43.4	38.5	17.8	12.4	11.8	59.8
5:00~6:00	48.7	44.3	25.0	15.0	14.1	62.7		
6:00~7:00	49.8	46.8	33.8	18.4	16.9	63.2		
7:00~8:00	48.9	45.9	35.0	20.8	19.0	61.0		
基準時間帯	昼間	65	48	45	34	20	19	62
平均値 [*] ・最大値	夜間	60	44	39	23	14	13	64

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 新宿国立線 前原町4-11付近

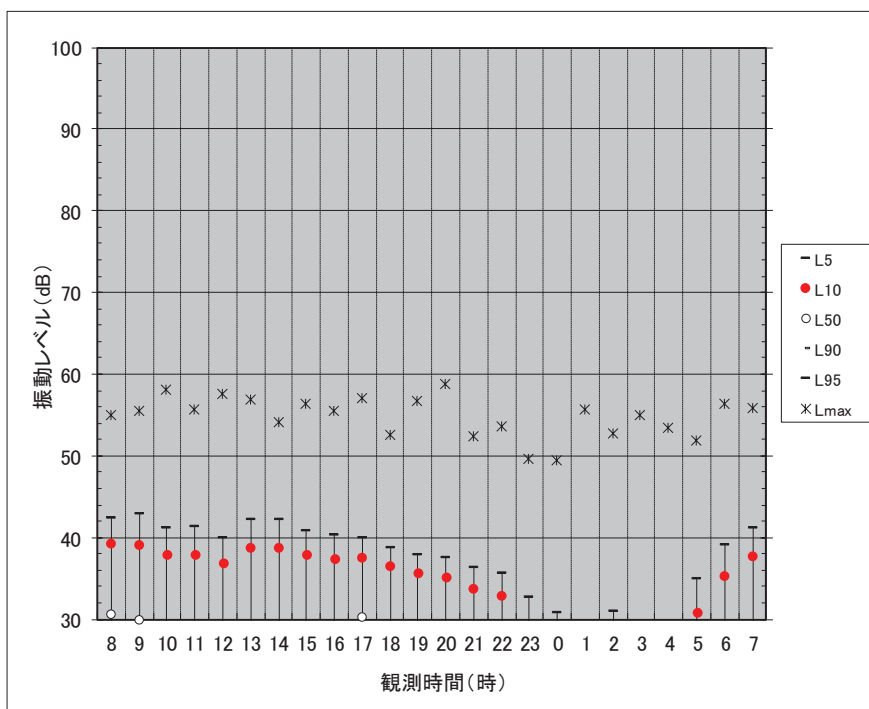
図 4.2(5) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(6) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)	
			L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		L _{max}
昼間	8:00~9:00	65	42.3	39.3	30.6	25.1	23.7	54.9	
	9:00~10:00		42.8	39.2	30.0	23.4	22.2	55.5	
	10:00~11:00		41.2	37.9	29.4	22.1	20.8	58.1	
	11:00~12:00		41.4	37.9	29.0	22.6	21.4	55.6	
	12:00~13:00		39.9	36.9	28.0	21.3	20.2	57.6	
	13:00~14:00		42.1	38.8	29.3	22.1	20.7	56.8	
	14:00~15:00		42.2	38.8	28.9	21.9	21.0	54.1	
	15:00~16:00		40.8	37.9	29.2	22.9	21.6	56.4	
	16:00~17:00		40.2	37.4	29.7	23.3	22.0	55.5	
	17:00~18:00		39.9	37.6	30.2	24.2	23.0	57.0	
18:00~19:00	38.8	36.6	29.8	23.8	22.6	52.6			
夜間	19:00~20:00	60	37.9	35.7	28.3	22.6	21.4	56.7	
	20:00~21:00		37.6	35.2	27.2	21.3	20.2	58.8	
	21:00~22:00		36.3	33.8	24.9	19.9	18.8	52.3	
	22:00~23:00		35.6	33.0	23.0	17.8	16.9	53.6	
	23:00~0:00		32.6	29.5	18.3	14.4	13.9	49.6	
	0:00~1:00		30.7	26.6	16.0	13.1	12.6	49.5	
	1:00~2:00		26.9	21.8	14.0	12.5	12.2	55.6	
	2:00~3:00		30.9	26.3	16.7	13.5	13.1	52.7	
	3:00~4:00		26.8	21.3	13.4	11.9	11.5	55.0	
	4:00~5:00		29.6	24.5	14.4	12.3	11.9	53.4	
5:00~6:00	34.9	30.9	18.4	15.1	14.6	51.9			
6:00~7:00	39.0	35.4	23.8	18.9	17.9	56.4			
7:00~8:00	41.1	37.8	28.4	22.3	21.1	55.8			
基準時間帯		昼間	65	41	38	29	23	22	58
平均値 [*] ・最大値		夜間	60	34	30	21	17	16	59

※ 基準時間帯平均値の、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和4年6月23日(木)9:00~6月24日(金)9:00
 路線名: 府中小金井線 中町2-20付近

図 4.2(6) 観測時間別の振動レベル調査結果

4.3 交通量の調査結果

交通量の調査結果一覧を表 4.7 に、観測時間別交通量を表 4.8(1)~(6)に示す。

交通量が最も多かった路線は地点 5 新宿国立線で、1 日換算交通量は 27,630 台/日であった。

交通量が最も少なかった路線は地点 6 府中小金井線で、1 日換算交通量は 6,192 台/日であった。

表 4.7 交通量の調査結果一覧

地点 番号	路線名	調査地点	時間 区分	換算断面交通量 ^{※1} (台/日)					大型車 ^{※2} 混入率 (%)
				大型車Ⅰ	大型車Ⅱ	小型車	二輪車	合計	
1	杉並あきる野線 (五日市街道)	関野町1-6付近	昼間	426	930	9,816	510	11,682	12.1
			夜間	36	204	1,404	102	1,746	14.6
			一日	462	1,134	11,220	612	13,428	12.5
2	府中清瀬線 (小金井街道)	桜町1-5付近	昼間	930	942	8,784	510	11,166	17.6
			夜間	150	162	942	48	1,302	24.9
			一日	1,080	1,104	9,726	558	12,468	18.3
3	恋ヶ窪新田三鷹線 (連雀通り)	東町2-5付近	昼間	228	546	7,056	588	8,418	9.9
			夜間	24	66	846	108	1,044	9.6
			一日	252	612	7,902	696	9,462	9.9
4	府中小平線 (新小金井街道)	貫井南町2-9付近	昼間	1,194	1,980	14,136	864	18,174	18.3
			夜間	216	270	1,098	102	1,686	30.7
			一日	1,410	2,250	15,234	966	19,860	19.4
5	新宿国立線 (東八道路)	前原町4-11付近	昼間	1,500	2,082	20,526	1,254	25,362	14.9
			夜間	180	204	1,758	126	2,268	17.9
			一日	1,680	2,286	22,284	1,380	27,630	15.1
6	府中小金井線 (東大通り)	中町2-20付近	昼間	180	426	4,752	360	5,718	11.3
			夜間	12	42	396	24	474	12.0
			一日	192	468	5,148	384	6,192	11.4

※1 換算断面交通量は、10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値から算出した。

※2 大型車混入率には二輪車交通量を含まない。

表 4.8(1) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:1 調査地点:小金井市関野町1-6付近 路線名:杉並あきる野線(五日市街道)
 調査日時:令和4年6月23日(木)9:00～6月24日(金)9:00 路線番号:7

時間区分	観測時間	騒音測定側(上り)					騒音測定反対側(下り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00～7:00	6	66	312	12	396	0	18	78	18	114	6	84	390	30	510
	7:00～8:00	6	66	300	18	390	0	60	348	24	432	6	126	648	42	822
	8:00～9:00	12	0	300	24	336	18	24	336	6	384	30	24	636	30	720
	9:00～10:00	18	54	234	0	306	36	42	330	0	408	54	96	564	0	714
	10:00～11:00	12	60	330	30	432	30	6	276	24	336	42	66	606	54	768
	11:00～12:00	12	48	366	18	444	54	42	264	0	360	66	90	630	18	804
	12:00～13:00	18	24	252	12	306	18	24	222	30	294	36	48	474	42	600
	13:00～14:00	6	48	330	6	390	30	36	294	24	384	36	84	624	30	774
	14:00～15:00	6	18	396	0	420	18	42	294	18	372	24	60	690	18	792
	15:00～16:00	6	48	378	6	438	12	36	330	12	390	18	84	708	18	828
	16:00～17:00	12	30	318	12	372	24	30	306	18	378	36	60	624	30	750
	17:00～18:00	12	18	384	42	456	18	24	300	18	360	30	42	684	60	816
	18:00～19:00	0	0	336	12	348	12	30	396	30	468	12	30	732	42	816
	19:00～20:00	12	12	264	36	324	6	0	390	30	426	18	12	654	66	750
20:00～21:00	0	12	246	12	270	6	0	372	18	396	6	12	618	30	666	
21:00～22:00	0	12	246	0	258	6	0	288	0	294	6	12	534	0	552	
夜間	22:00～23:00	12	0	138	6	156	0	0	198	12	210	12	0	336	18	366
	23:00～0:00	0	6	126	6	138	0	0	216	6	222	0	6	342	12	360
	0:00～1:00	6	12	72	0	90	6	6	120	0	132	12	18	192	0	222
	1:00～2:00	0	12	60	0	72	0	6	66	0	72	0	18	126	0	144
	2:00～3:00	0	18	42	6	66	0	18	54	0	72	0	36	96	6	138
	3:00～4:00	12	18	66	18	114	0	18	42	0	60	12	36	108	18	174
	4:00～5:00	0	12	36	12	60	0	12	30	12	54	0	24	66	24	114
5:00～6:00	0	30	90	18	138	0	36	48	6	90	0	66	138	24	228	
合計	昼間	138	516	4,992	240	5,886	288	414	4,824	270	5,796	426	930	9,816	510	11,682
	夜間	30	108	630	66	834	6	96	774	36	912	36	204	1,404	102	1,746
	一日	168	624	5,622	306	6,720	294	510	5,598	306	6,708	462	1,134	11,220	612	13,428

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(2) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:2 調査地点: 小金井市桜町1-5付近 路線名: 府中清瀬線(小金井街道)
 調査日時: 令和4年6月23日(木) 9:00 ~ 6月24日(金) 9:00 路線番号: 15

時間区分	観測時間	騒音測定側(上り)					騒音測定反対側(下り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00~7:00	48	18	312	0	378	12	24	90	0	126	60	42	402	0	504
	7:00~8:00	24	6	294	18	342	30	36	258	12	336	54	42	552	30	678
	8:00~9:00	36	30	330	30	426	36	36	348	42	462	72	66	678	72	888
	9:00~10:00	66	54	216	0	336	42	72	336	6	456	108	126	552	6	792
	10:00~11:00	24	18	318	24	384	18	54	276	6	354	42	72	594	30	738
	11:00~12:00	30	30	228	6	294	24	30	234	12	300	54	60	462	18	594
	12:00~13:00	36	36	264	12	348	24	42	330	24	420	60	78	594	36	768
	13:00~14:00	36	48	330	30	444	36	42	336	18	432	72	90	666	48	876
	14:00~15:00	60	42	330	24	456	36	48	288	12	384	96	90	618	36	840
	15:00~16:00	36	30	288	12	366	24	12	312	12	360	60	42	600	24	726
	16:00~17:00	36	24	240	18	318	18	36	276	12	342	54	60	516	30	660
	17:00~18:00	30	30	294	12	366	18	42	294	12	366	48	72	588	24	732
	18:00~19:00	18	24	270	6	318	24	6	330	30	390	42	30	600	36	708
	19:00~20:00	30	30	216	12	288	18	12	312	36	378	48	42	528	48	666
	20:00~21:00	18	0	276	18	312	18	18	198	24	258	36	18	474	42	570
	21:00~22:00	6	0	144	18	168	18	12	216	12	258	24	12	360	30	426
	夜間	22:00~23:00	24	0	126	6	156	24	12	144	6	186	48	12	270	12
23:00~0:00		6	6	90	6	108	24	12	72	6	114	30	18	162	12	222
0:00~1:00		6	0	102	0	108	12	6	78	0	96	18	6	180	0	204
1:00~2:00		6	6	36	6	54	0	18	60	0	78	6	24	96	6	132
2:00~3:00		0	6	12	0	18	0	6	42	0	48	0	12	54	0	66
3:00~4:00		0	18	48	0	66	0	6	30	0	36	0	24	78	0	102
4:00~5:00		12	18	6	6	42	6	6	24	6	42	18	24	30	12	84
5:00~6:00	18	18	36	0	72	12	24	36	6	78	30	42	72	6	150	
合計	昼間	534	420	4,350	240	5,544	396	522	4,434	270	5,622	930	942	8,784	510	11,166
	夜間	72	72	456	24	624	78	90	486	24	678	150	162	942	48	1,302
	一日	606	492	4,806	264	6,168	474	612	4,920	294	6,300	1,080	1,104	9,726	558	12,468

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(3) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:3 調査地点: 小金井市東町2-5付近 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線(連雀通り)
 調査日時: 令和4年6月23日(木) 9:00 ~ 6月24日(金) 9:00 路線番号: 124

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00~7:00	12	18	180	36	246	18	6	72	12	108	30	24	252	48	354
	7:00~8:00	42	12	264	18	336	12	36	150	0	198	54	48	414	18	534
	8:00~9:00	6	54	360	24	444	12	18	216	24	270	18	72	576	48	714
	9:00~10:00	12	36	186	6	240	12	54	156	18	240	24	90	342	24	480
	10:00~11:00	6	12	324	12	354	6	6	204	6	222	12	18	528	18	576
	11:00~12:00	0	18	180	18	216	6	36	330	18	390	6	54	510	36	606
	12:00~13:00	0	18	270	30	318	12	18	240	24	294	12	36	510	54	612
	13:00~14:00	12	18	198	24	252	6	0	264	36	306	18	18	462	60	558
	14:00~15:00	0	12	246	12	270	12	54	264	12	342	12	66	510	24	612
	15:00~16:00	0	0	204	12	216	0	24	246	24	294	0	24	450	36	510
	16:00~17:00	12	18	192	6	228	0	12	282	0	294	12	30	474	6	522
	17:00~18:00	0	6	252	24	282	18	6	348	24	396	18	12	600	48	678
	18:00~19:00	0	12	300	12	324	0	6	294	24	324	0	18	594	36	648
	19:00~20:00	0	0	120	6	126	0	18	258	36	312	0	18	378	42	438
20:00~21:00	0	0	132	12	144	6	6	180	30	222	6	6	312	42	366	
21:00~22:00	0	6	42	24	72	6	6	102	24	138	6	12	144	48	210	
夜間	22:00~23:00	0	0	78	12	90	12	6	132	24	174	12	6	210	36	264
	23:00~0:00	0	6	60	0	66	0	6	36	18	60	0	12	96	18	126
	0:00~1:00	0	6	24	6	36	0	6	42	6	54	0	12	66	12	90
	1:00~2:00	0	0	72	12	84	0	0	78	6	84	0	0	150	18	168
	2:00~3:00	0	0	36	12	48	6	6	42	0	54	6	6	78	12	102
	3:00~4:00	0	0	42	0	42	0	6	30	0	36	0	6	72	0	78
合計	昼間	102	240	3,450	276	4,068	126	306	3,606	312	4,350	228	546	7,056	588	8,418
	夜間	6	30	414	54	504	18	36	432	54	540	24	66	846	108	1,044
	一日	108	270	3,864	330	4,572	144	342	4,038	366	4,890	252	612	7,902	696	9,462

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(4) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:4 調査地点: 小金井市貫井南町2-9付近 路線名: 府中小平線(新小金井街道)
 調査日時: 令和4年6月23日(木) 9:00 ~ 6月24日(金) 9:00 路線番号: 248

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型I	大型II	小型車	二輪車	合計	大型I	大型II	小型車	二輪車	合計	大型I	大型II	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00~7:00	30	48	186	18	282	42	66	396	30	534	72	114	582	48	816
	7:00~8:00	78	54	390	24	546	48	102	534	42	726	126	156	924	66	1,272
	8:00~9:00	48	108	468	36	660	54	102	492	24	672	102	210	960	60	1,332
	9:00~10:00	66	48	414	6	534	54	108	546	24	732	120	156	960	30	1,266
	10:00~11:00	66	66	432	12	576	78	102	456	12	648	144	168	888	24	1,224
	11:00~12:00	54	108	498	12	672	66	78	504	24	672	120	186	1,002	36	1,344
	12:00~13:00	36	54	432	12	534	48	108	384	36	576	84	162	816	48	1,110
	13:00~14:00	48	42	402	18	510	30	48	444	24	546	78	90	846	42	1,056
	14:00~15:00	36	66	462	30	594	36	84	504	24	648	72	150	966	54	1,242
	15:00~16:00	24	6	426	18	474	42	96	474	30	642	66	102	900	48	1,116
	16:00~17:00	6	90	600	24	720	6	102	480	36	624	12	192	1,080	60	1,344
	17:00~18:00	24	66	522	36	648	60	66	492	18	636	84	132	1,014	54	1,284
	18:00~19:00	30	12	540	54	636	12	36	504	60	612	42	48	1,044	114	1,248
	19:00~20:00	18	24	486	48	576	18	18	474	24	534	36	42	960	72	1,110
20:00~21:00	12	18	354	30	414	6	18	324	36	384	18	36	678	66	798	
21:00~22:00	12	12	270	36	330	6	24	246	6	282	18	36	516	42	612	
夜間	22:00~23:00	0	0	168	30	198	6	12	180	18	216	6	12	348	48	414
	23:00~0:00	30	18	96	24	168	18	12	72	6	108	48	30	168	30	276
	0:00~1:00	0	12	66	6	84	12	12	48	12	84	12	24	114	18	168
	1:00~2:00	24	24	60	0	108	0	18	42	0	60	24	42	102	0	168
	2:00~3:00	24	18	36	6	84	0	6	30	0	36	24	24	66	6	120
	3:00~4:00	18	30	42	0	90	6	24	36	0	66	24	54	78	0	156
合計	昼間	588	822	6,882	414	8,706	606	1,158	7,254	450	9,468	1,194	1,980	14,136	864	18,174
	夜間	120	108	534	66	828	96	162	564	36	858	216	270	1,098	102	1,686
	一日	708	930	7,416	480	9,534	702	1,320	7,818	486	10,326	1,410	2,250	15,234	966	19,860

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(5) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:5 調査地点:小金井市前原町4-11付近 路線名:新宿国立線(東八道路)
 調査日時:令和4年6月23日(木)9:00～6月24日(金)9:00 路線番号:14

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00～7:00	48	48	204	30	330	36	84	648	66	834	84	132	852	96	1,164
	7:00～8:00	60	60	534	36	690	72	126	948	108	1,254	132	186	1,482	144	1,944
	8:00～9:00	66	36	564	54	720	48	126	756	108	1,038	114	162	1,320	162	1,758
	9:00～10:00	120	72	684	18	894	30	84	804	24	942	150	156	1,488	42	1,836
	10:00～11:00	120	78	612	42	852	72	96	666	24	858	192	174	1,278	66	1,710
	11:00～12:00	48	72	582	36	738	60	96	666	30	852	108	168	1,248	66	1,590
	12:00～13:00	102	108	762	18	990	18	102	816	24	960	120	210	1,578	42	1,950
	13:00～14:00	54	78	654	30	816	24	102	696	42	864	78	180	1,350	72	1,680
	14:00～15:00	30	48	678	12	768	42	102	642	24	810	72	150	1,320	36	1,578
	15:00～16:00	66	48	540	30	684	36	24	612	24	696	102	72	1,152	54	1,380
	16:00～17:00	60	114	726	54	954	36	78	642	24	780	96	192	1,368	78	1,734
	17:00～18:00	48	84	834	60	1,026	48	60	654	36	798	96	144	1,488	96	1,824
	18:00～19:00	12	42	864	84	1,002	36	30	708	48	822	48	72	1,572	132	1,824
	19:00～20:00	30	30	732	48	840	18	12	606	24	660	48	42	1,338	72	1,500
20:00～21:00	24	6	540	36	606	12	30	432	24	498	36	36	972	60	1,104	
21:00～22:00	12	6	414	18	450	12	0	306	18	336	24	6	720	36	786	
夜間	22:00～23:00	6	6	336	42	390	12	6	174	0	192	18	12	510	42	582
	23:00～0:00	18	0	168	18	204	12	12	114	0	138	30	12	282	18	342
	0:00～1:00	0	0	102	12	114	0	12	72	0	84	0	12	174	12	198
	1:00～2:00	0	6	102	6	114	0	30	30	6	66	0	36	132	12	180
	2:00～3:00	12	6	84	6	108	12	6	60	6	84	24	12	144	12	192
	3:00～4:00	0	6	72	0	78	6	30	36	0	72	6	36	108	0	150
	4:00～5:00	18	24	54	0	96	30	24	48	0	102	48	48	102	0	198
5:00～6:00	36	6	78	6	126	18	30	228	24	300	54	36	306	30	426	
合計	昼間	900	930	9,924	606	12,360	600	1,152	10,602	648	13,002	1,500	2,082	20,526	1,254	25,362
	夜間	90	54	996	90	1,230	90	150	762	36	1,038	180	204	1,758	126	2,268
	一日	990	984	10,920	696	13,590	690	1,302	11,364	684	14,040	1,680	2,286	22,284	1,380	27,630

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(6) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号:6 調査地点: 小金井市中町2-20付近 路線名: 府中小金井線(東大通り)
 調査日時: 令和4年6月23日(木) 9:00 ~ 6月24日(金) 9:00 路線番号: 247

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	6:00~7:00	0	6	36	6	48	0	0	78	0	78	0	6	114	6	126
	7:00~8:00	0	18	90	6	114	12	12	126	0	150	12	30	216	6	264
	8:00~9:00	18	6	174	12	210	0	6	132	18	156	18	12	306	30	366
	9:00~10:00	24	24	150	0	198	12	42	114	0	168	36	66	264	0	366
	10:00~11:00	0	18	144	12	174	0	30	132	6	168	0	48	276	18	342
	11:00~12:00	0	12	144	12	168	0	12	186	6	204	0	24	330	18	372
	12:00~13:00	6	24	120	24	174	6	12	228	6	252	12	36	348	30	426
	13:00~14:00	18	18	120	18	174	0	12	156	6	174	18	30	276	24	348
	14:00~15:00	18	36	138	18	210	6	18	216	12	252	24	54	354	30	462
	15:00~16:00	0	12	180	18	210	6	18	186	12	222	6	30	366	30	432
	16:00~17:00	18	0	156	24	198	0	12	210	6	228	18	12	366	30	426
	17:00~18:00	6	18	228	18	270	0	42	138	18	198	6	60	366	36	468
	18:00~19:00	6	6	240	24	276	6	6	186	6	204	12	12	426	30	480
	19:00~20:00	6	6	210	12	234	6	0	198	30	234	12	6	408	42	468
20:00~21:00	0	0	114	6	120	6	0	120	6	132	6	0	234	12	252	
21:00~22:00	0	0	60	6	66	0	0	42	12	54	0	0	102	18	120	
夜間	22:00~23:00	0	12	60	6	78	0	0	72	6	78	0	12	132	12	156
	23:00~0:00	0	0	42	0	42	0	0	48	0	48	0	0	90	0	90
	0:00~1:00	0	6	6	6	18	0	0	30	0	30	0	6	36	6	48
	1:00~2:00	0	0	30	0	30	0	0	6	0	6	0	0	36	0	36
	2:00~3:00	0	12	30	0	42	0	0	6	0	6	0	12	36	0	48
	3:00~4:00	0	0	0	6	6	0	0	6	0	6	0	0	6	6	12
	4:00~5:00	0	6	12	0	18	0	6	0	0	6	0	12	12	0	24
5:00~6:00	6	0	24	0	30	6	0	24	0	30	12	0	48	0	60	
合計	昼間	120	204	2,304	216	2,844	60	222	2,448	144	2,874	180	426	4,752	360	5,718
	夜間	6	36	204	18	264	6	6	192	6	210	12	42	396	24	474
	一日	126	240	2,508	234	3,108	66	228	2,640	150	3,084	192	468	5,148	384	6,192

交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

大気質調査委託報告書

令和4年度

小 金 井 市

目 次

1 件名	1
2 調査概要	1
2-1 調査目的	1
2-2 調査期間	1
2-3 調査地点	1
2-4 調査方法	4
3 調査結果	5
3-1 二酸化窒素	5
3-2 浮遊粒子状物質	10
3-3 調査期間中の気象条件	11
4 添付資料	
4-1 二酸化窒素データ	14
4-2 浮遊粒子状物質データ	17
4-3 環境基準について	21
4-4 二酸化窒素と浮遊粒子状物質について	24

1 件名

大気質調査委託

2 調査概要

2-1 調査目的

自動車排気ガスが主な原因である二酸化窒素濃度を住宅地や交差点で測定するとともに、大気中の浮遊粒子状物質を調査して、公害行政の基礎資料とする。

2-2 調査期間

(1) 二酸化窒素

設置日：令和5年2月28日（火）

回収日：令和5年3月3日（金）

※ フィルターバッジの構造上、設置した時点で曝露が開始されるため、設置から回収までのトータル72時間を調査期間とした。

(2) 浮遊粒子状物質

設置日：令和5年2月27日（月）

調査期間：令和5年2月28日（火）0時～令和5年3月2日（木）24時

撤収日：令和5年3月3日（金）

2-3 調査地点

(1) 二酸化窒素

調査地点は、住宅地域31地点、交差点・沿道地域19地点の計50地点で行った。

調査地点一覧表を表1に、調査地点図を図1にそれぞれ示した。

(2) 浮遊粒子状物質

調査地点は、武蔵小金井駅前交番、新小金井交番の2地点で行った。

調査地点一覧表を表2に、調査地点図を図1にそれぞれ示した。

表1 調査地点一覧表（二酸化窒素）

住宅地域		交差点・沿道地域	
調査地点番号	調査地点	調査地点番号	調査地点
住-01	総合体育館	道-01	茜屋橋交差点
住-02	桜町2-7	道-02	小金井橋交差点
住-03	桜町1-9	道-03	関野橋交差点
住-04	浴恩館	道-04	学芸大角交差点
住-05	貫井北町5-30	道-05	稲穂神社前交差点
住-06	本町3-1	道-06	本町二丁目交差点
住-07	市立緑小学校	道-07	貫井北町5-26
住-08	梶野町4-19	道-08	貫井北町4-1
住-09	梶野会館	道-10	小金井三小角交差点
住-10	貫井北町5-8	道-11	貫井トンネル南交差点
住-11	市立本町小学校	道-12	前原坂上交差点
住-12	緑町5-19	道-13	中町2-22
住-13	緑町1-5	道-14	前原坂下交差点
住-14	梶野町1-4	道-15	中町1-14
住-15	貫井南町3-8	道-16	東町四丁目西交差点
住-16	小金井市庁舎	道-17	東町1-44
住-17	中町3-22	道-18	南中西交差点
住-18	中町2-16	道-19	前原交番前交差点
住-19	市立東小学校	道-20	前原一丁目交差点
住-20	東町2-23		
住-21	貫井南町5-14		
住-22	貫井南センター		
住-23	市立前原小学校		
住-24	中町1-10		
住-25	貫井南町5-4		
住-26	市立南小学校		
住-27	都立武蔵野公園		
住-28	東町1-11		
住-29	東町1-22		
住-30	前原町4-4		
住-31	本町5-23		

表2 調査地点一覧表（浮遊粒子状物質）

調査地点	所在地	調査地点の概要
武蔵小金井駅前交番	本町 6-14-40	道路沿道
新小金井交番	東町 5-31-27	道路沿道

小金井市全図

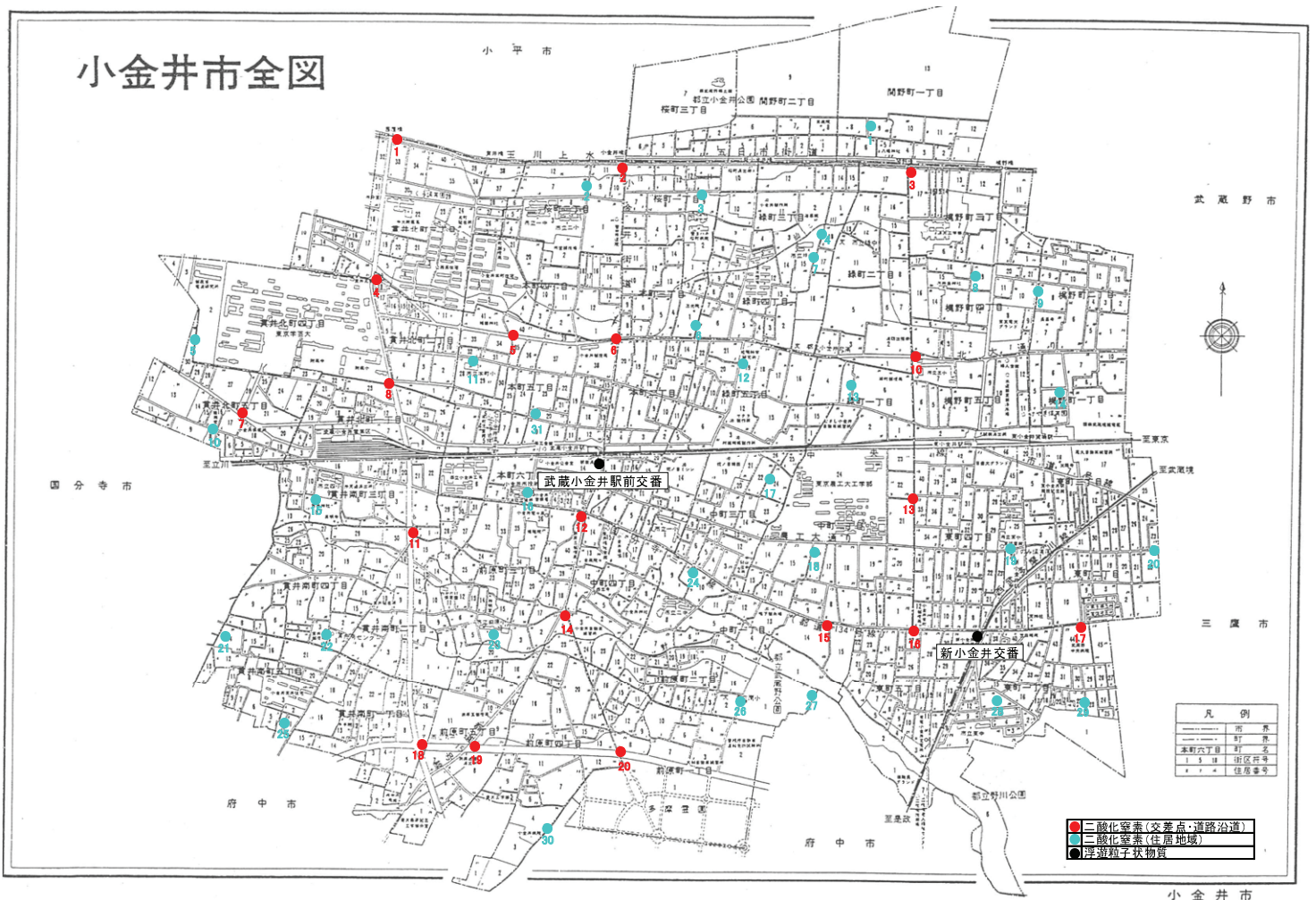


図1 調査地点図

2-4 調査方法

(1) 二酸化窒素

簡易測定法による二酸化窒素の測定を行った。測定には東洋濾紙株式会社製のフィルターバッジ NO₂ を用いた。詳細を表 3 に示した。なお、この測定方法は公定法ではないが、多地点の同時測定を安価に行うことが可能であり、一般的に用いられる簡易な測定方法のひとつである。

(2) 浮遊粒子状物質

ベータ線吸収法を用いた自動測定機による測定を行った。測定機器は紀本電子工業株式会社製の浮遊粒子状物質測定装置 (PM-711) を使用した。詳細を表 3 に示した。

表 3 測定機器等一覧

	二酸化窒素	浮遊粒子状物質
メーカー名	東洋濾紙株式会社	紀本電子工業株式会社
型式など	フィルターバッジ NO ₂	PM-711
測定原理	吸光光度法 (測定波長 : 545nm)	β線吸収方式 (JIS B 7954)
測定範囲	最低感度 66 ppb (1 時間暴露)	0~0.5mg/m ³
測定精度	±30%以内 (風速 0~4m/s、湿度 40~80%)	±10 μg/m ³ 以内 (≦100 μg/m ³) ±10%以内 (≧100 μg/m ³)
試料採取法など	パッシブサンプラーによる 大気中暴露 (設計暴露時間は 24 時間以上 1 週間以下)	ろ過式捕集 (ふっ素樹脂製テーパーろ紙) 分粒方法 : サイクロン方式 (10 μm 以上カット) 吸引流量 : 16.7L/min

3. 調査結果

3-1 二酸化窒素

(1) 令和4年度測定結果

二酸化窒素の測定結果を添付資料 4-1 に示した。また、得られた測定結果を基に、今年度の最大値、最小値、平均値を表 4 にまとめた。

全ての調査地点において、環境基準値*1を下回っていた。

住宅地域については、最大値が「住-02 桜町 2-7」「住-03 桜町 1-9」「住-11 市立本町小学校」「住-12 緑町 5-19」「住-16 小金井市庁舎」「住-18 中町 2-16」「住-23 市立前原小学校」「住-31 本町 5-23」の 0.010 ppm、最小値が「住-01 総合体育館」「住-05 貫井北町 5-30」「住-07 市立緑小学校」「住-08 梶野町 4-19」「住-09 梶野会館」「住-14 梶野町 1-4」「住-20 東町 2-23」「住-26 市立南小学校」「住-27 都立武蔵野公園」「住-28 東町 1-11」「住-29 東町 1-22」「住-30 前原町 4-4」の 0.008ppmであった。また、住宅地域 31 地点の平均値は 0.009ppmであった。

交差点・沿道地域については、最大値が「道-1 茜屋橋交差点」「道-18 南中西交差点」の 0.018ppm、最小値が「道-16 東町四丁目西交差点」の 0.009ppmであった。また、交差点・沿道地域 19 地点の平均値は 0.013ppmであった。

表 4 二酸化窒素の測定結果

単位：ppm

	最大値	最小値	平均値
住宅地域	0.010	0.008	0.009
交差点・沿道地域	0.018	0.009	0.013

*1 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること。

(2) 市内濃度分布

得られた測定結果を基に、市内の二酸化窒素濃度を図 2 に示した。

主要道路の交差点に高い濃度の地点が多く、住宅地域では地点間で大きな差はみられなかった。

沿道から離れた住宅地域や公園の地点は低い濃度であった。

*単位の見方：20ppb = 0.020ppm

(3) 経年変化

平成 5 年度から今年度までの経年変化を図 3 および図 4 に示した。各年度の値は住宅地域 31 地点、交差点・沿道地域 19 地点の平均値、最大値、最小値をそれぞれ用いた。

今年度と昨年度を比較すると、住宅地域、交差点・沿道地域とも、平均値、最大値、最小値全てにおいて低くなっていた。平成 5 年度からの経年変化で見ると変動はあるが、値は低くなっている。

(4) 市内平均濃度分布

平成 5 年度から今年度までの測定結果の平均値を用いて、(2) と同様に市内の二酸化窒素濃度を図 5 に示した。

主要道路に高い濃度の地点が多く、五日市街道、新小金井街道、小金井街道、東八道路では比較的高い濃度の地点が多かった。他の道路では主要道路に比べてやや低めの濃度であった。また、主要道路が通っている市の西側では東側と比較すると高い濃度の地点が多かった。

東大通りは交通量が少なく他の主要道路よりも低い濃度であった。また、沿道から離れた住宅地域や公園の地点も低い濃度であった。この傾向は常態化しているものと思われる。

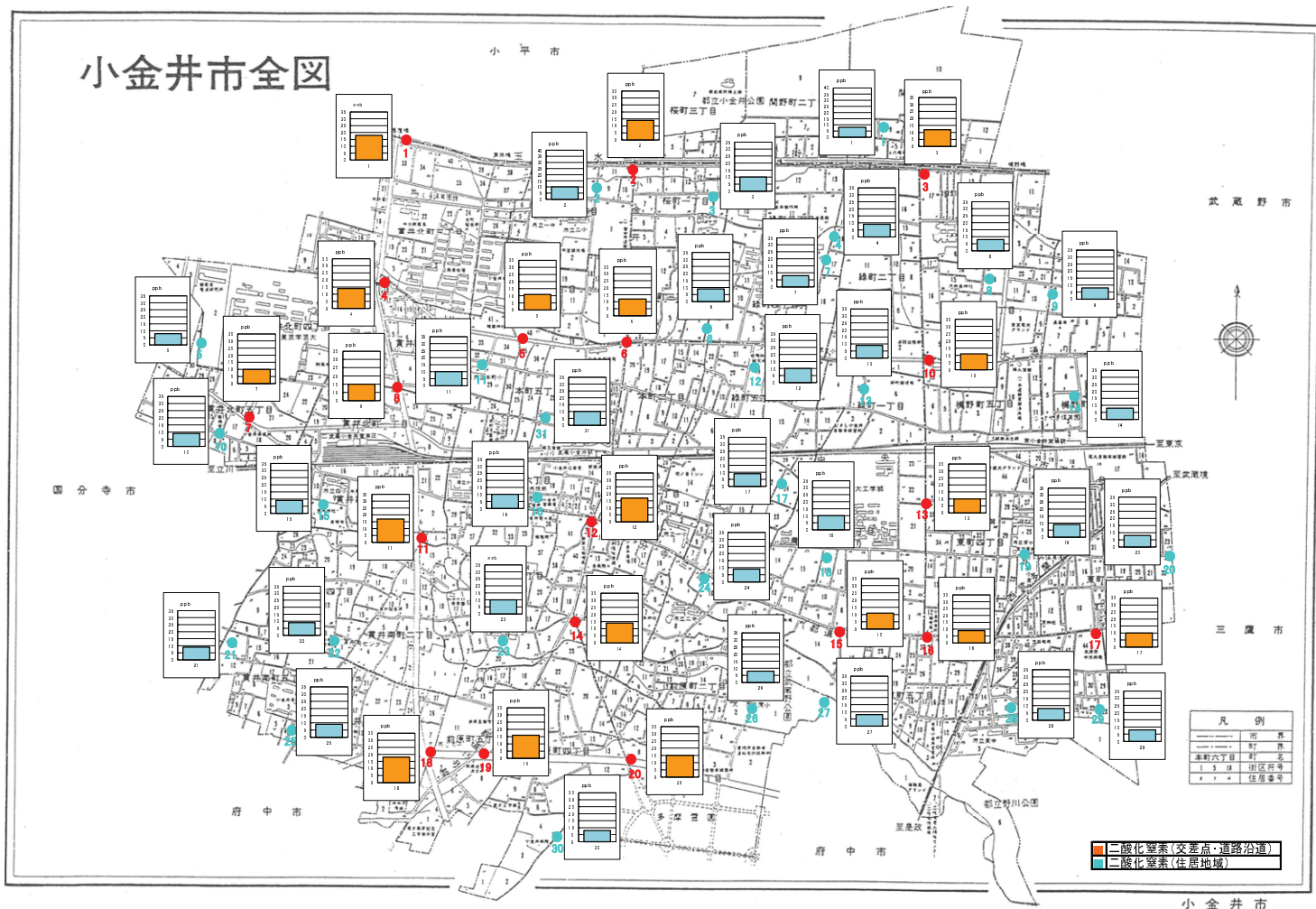


図2 二酸化窒素調査結果図(令和4年度)

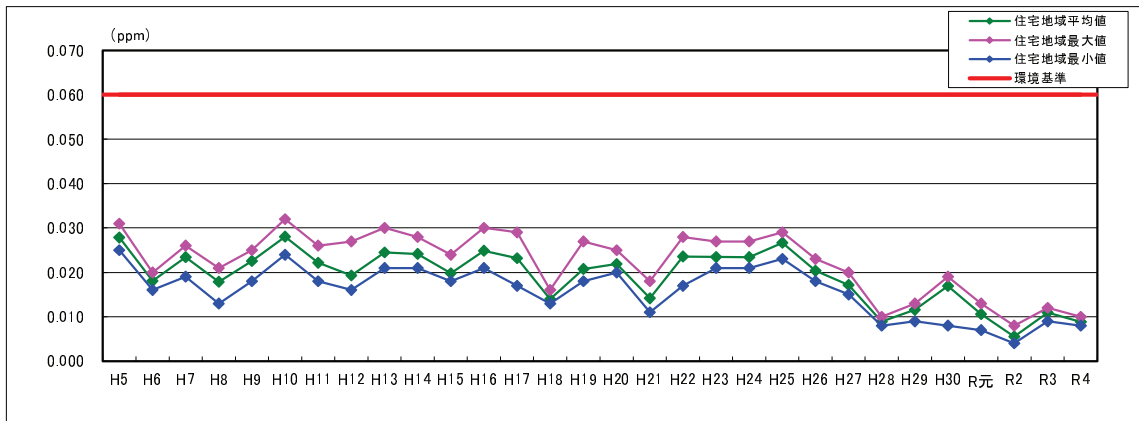


図3 二酸化窒素濃度の経年変化グラフ（住宅地域）

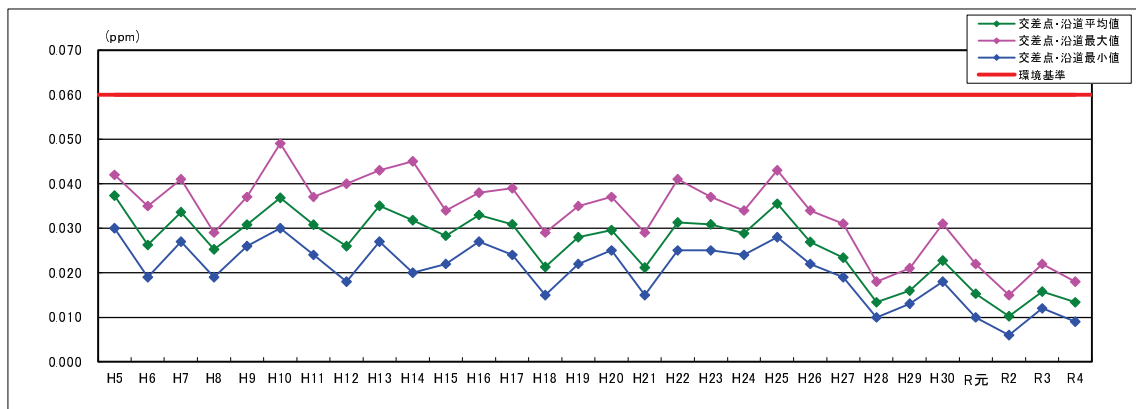


図4 二酸化窒素濃度の経年変化グラフ（交差点・沿道地域）

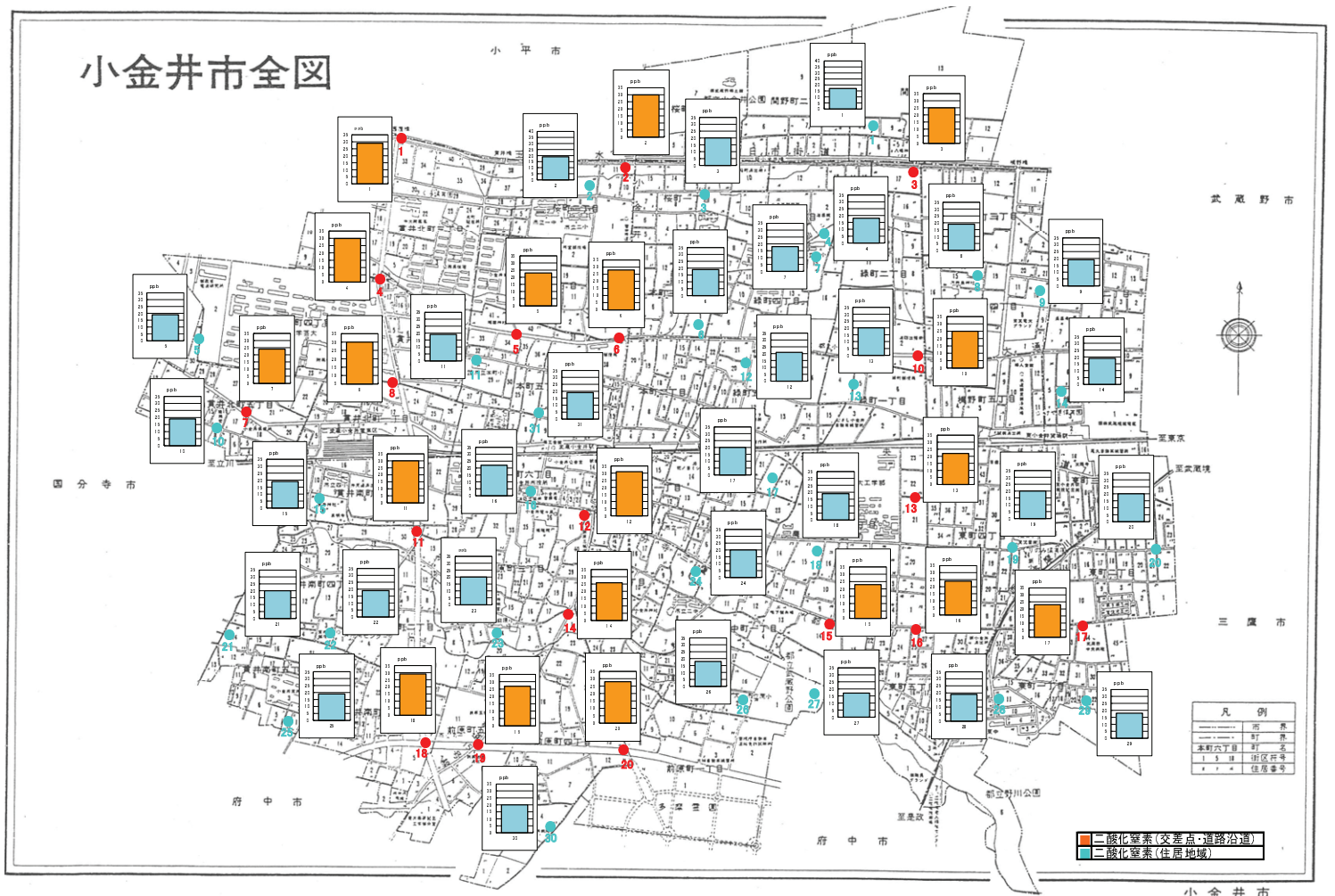


图 5 二酸化窒素経年平均図(平成5年度～令和4年度)

3-2 浮遊粒子状物質

(1) 令和4年度測定結果

浮遊粒子状物質の測定結果を添付資料4-2に示した。また、得られた測定結果を
基に、調査期間の平均値と最大値を表5にまとめた。

両地点において、3日間とも環境基準値*2を下回っていた。

表5 浮遊粒子状物質の測定結果

単位：mg/m³

調査地点名	2月28日	3月1日	3月2日	3日間 平均値	1時間値の 最大値
武蔵小金井駅前交番	0.012	0.014	0.013	0.013	0.035
新小金井交番	0.012	0.015	0.012	0.013	0.035

*2 1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であること、かつ1時間値の最大値が0.20mg/m³以下
であること。

(2) 経時変化

得られた測定結果を基に、調査期間の濃度の経時変化をグラフにしたものを図6
に示した。なお、比較として市と隣接する常時監視測定局（小平市小川町）のデー
タを併記した（東京都環境局大気汚染地図情報速報値より（小金井市本町測定局は
期間中欠測））。

期間中の浮遊粒子状物質の濃度は、武蔵小金井駅前交番と新小金井交番で比較す
るとほぼ同等の値だった。

(3) 時間平均グラフ

得られた測定結果を基に、時間平均値をグラフにしたものを図7に示した。なお、
比較として市と隣接する常時監視測定局（小平市小川町）のデータを併記した（東
京都環境局大気汚染地図情報速報値より（小金井市本町測定局は期間中欠測））。

昼間の時間帯で高めの濃度を示した。

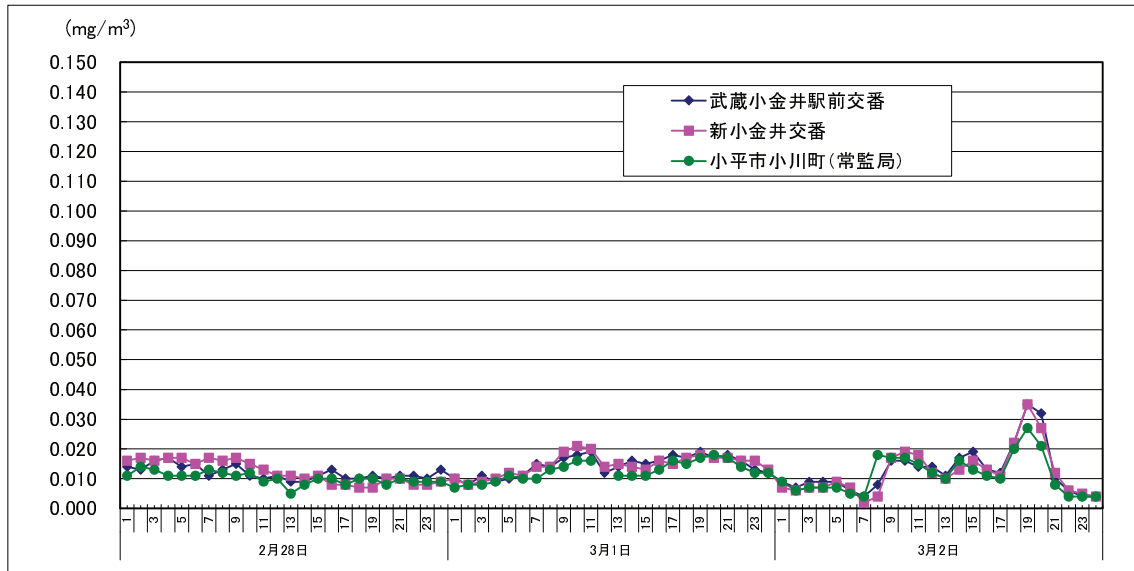


図6 浮遊粒子状物質濃度の経時変化グラフ

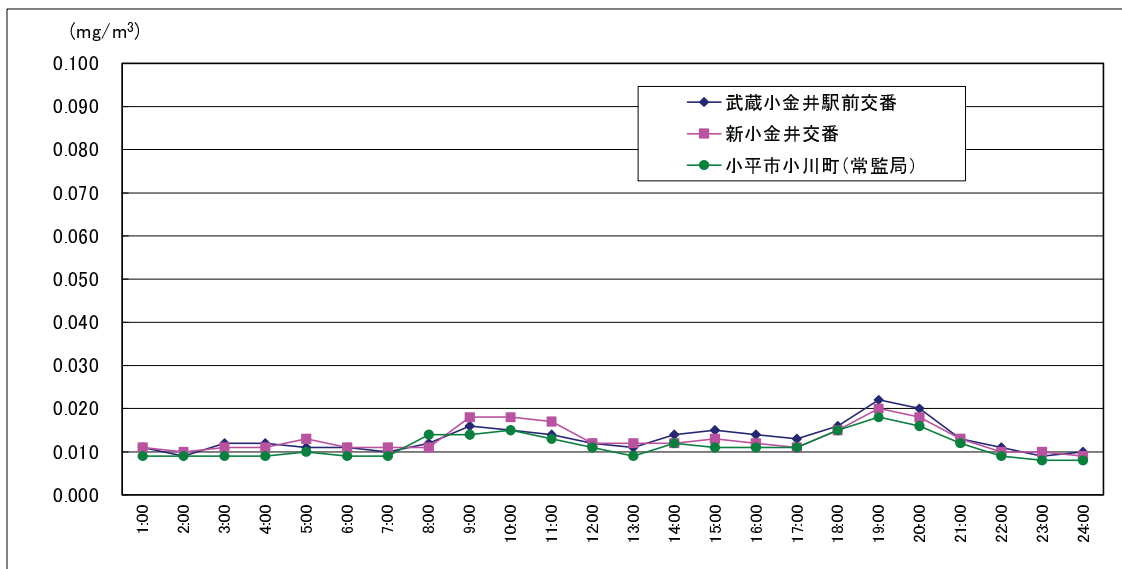


図7 浮遊粒子状物質濃度の時間平均グラフ

3-3 調査期間中の気象条件

表 6 に、調査期間中の気象データを示した。気象データは、常時監視測定局のデータ、および気象庁アメダスのデータを引用した。

調査期間中の天候は晴、曇、雨であり、降水量は 0.0mm であった。平均風速は 2.0～3.1m/s で、平均湿度は 41～44%、平均気温は 10.7～12.0℃であった。最多風向は南西であった。

表 6 調査期間中の気象

月日		2月28日(火)	3月1日(水)	3月2日(木)
天候 ^{*3}	昼	快晴	曇	晴時々曇一時雨
	夜	晴時々薄曇	曇時々晴	晴時々曇

水質監視測定及び湧水調査

報告書

令和 4 年度版

小金井市

目次

1. 調査概要

1-1. 調査件名	1
1-2. 調査目的	1
1-3. 調査地点	1
1-4. 調査実施日	3
1-5. 調査項目	3

2. 調査結果

2-1. 井戸水調査	6
2-2. 野川調査	15
2-3. 湧水調査	17

資料編

調査地点位置図	資-1
調査状況写真	資-4
確認された注目種	資-22

1. 調査概要

1-1. 調査件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査委託

1-2. 調査目的

(1) 井戸水調査

井戸水の有機塩素化合物による汚染状況を監視測定する。

(2) 野川調査

野川の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

(3) 湧水調査

湧水の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

1-3. 調査地点

(1) 井戸水調査

調査地点は小金井市内の井戸水 13 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(2) 野川調査

調査地点は市内下流部にあたる柳橋下の 1 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(3) 湧水調査

調査地点は市内の湧水 4 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

表-1 調査地点一覧

調査内容	試料名	試料区分	調査地点
井戸水調査	No.1	井戸水	貫井南町1-24
	No.2	井戸水	中町1-15
	No.3	井戸水	中町2-15
	No.4	井戸水	梶野町3-12
	No.5	井戸水	関野町1-11
	No.6	井戸水	緑町3-13
	No.7	井戸水	桜町1-2
	No.8	井戸水	桜町3-6
	No.9*	井戸水	東町1-41
	No.10*	井戸水	中町2-1
	No.11*	井戸水	緑町1-1
	No.12*	井戸水	貫井北町5-13
	No.13	井戸水	貫井南町2-1
野川調査	柳橋下	河川水	東町1-6
湧水調査 (水質及び 水生生物調査)	貫井神社	湧水	貫井南町3-8
	滄浪泉園	湧水	貫井南町3-2
	美術の森緑地	湧水	中町1-11
	中町四丁目公共緑地	湧水	中町4-16

※地下水位測定調査場所（詳細は地下水位測定報告書の通り）

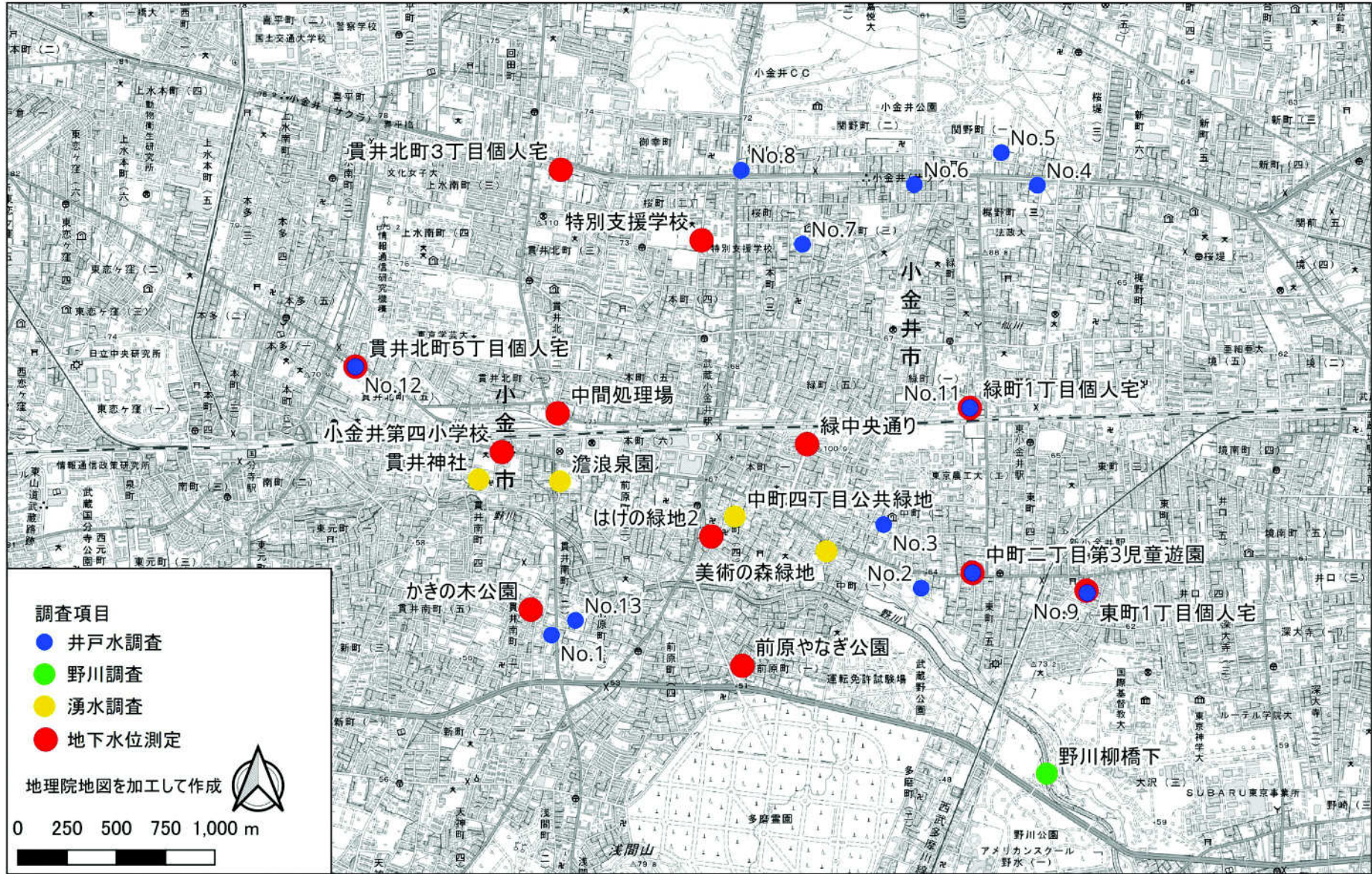


図 1-1 調査地点位置図

1-4. 調査実施日

調査実施日を表 1-2 に示す。

表 1-2 調査実施日一覧

調査内容	調査実施日		調査地点数
	回数	実施日	
井戸水調査	第1回目	令和4年7月15日	13
	第2回目	令和4年12月20日	
	第3回目	令和5年2月6日	
	第4回目	令和5年3月6日	
野川調査	第1回目	令和4年6月2日	1
	第2回目	令和4年11月10日	
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	第1回目	令和4年6月14日	4
	第2回目	令和4年12月6日	

1-5. 調査項目

(1) 井戸水調査

井戸水調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-3 に示す。

表 1-3 水質調査項目、分析方法、環境基準

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
電気伝導率	m s /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
鉛	mg/L	JIS K 0102 54.4	0.001	0.01以下
水位	m	-	-	-

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

(2) 野川調査

野川調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-4 に示す。

表 1-4 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

	項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
現場測定項目	気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
	水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
	外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
	臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
	透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
	流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	-	-
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	6.0以上 8.5以下
	溶存酸素量 (DO)	m g /L	JIS K 0102 32.1	0.5	2以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	m g /L	JIS K 0102 21, 32.3	0.5	8以下
	化学的酸素要求量(COD _{Mn})	m g /L	JIS K 0102 17	0.5	-
	浮遊物質(SS)	m g /L	S46環境庁告示第59号 付表9	1	100以下
	大腸菌数	CFU/100mL	S46環境庁告示第59号 付表10による定量法	-	-
	全窒素(T-N)	m g /L	JIS K 0102 45.4	0.05	-
	全りん(T-P)	m g /L	JIS K 0102 46.3.1	0.003	-
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (NO ₃ ⁻ -N、NO ₂ ⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 43.2, 43.2.3 JIS K 0102 43.1	0.01	10以下
その他の項目	陰イオン界面活性剤(MBAS)	m g /L	JIS K 0102 30.1.1	0.02	-
	アンモニア性窒素 (NH ₄ ⁺ -N)	m g /L	JIS K 0102 42.1, 42.2	0.01	-
	りん酸性りん (PO ₄ ³⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 46.1.1	0.003	-

環境基準値：水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)

- 1 人の健康の保護に関する環境基準
- 2 生活環境の保全に関する環境基準

(3) 湧水調査

湧水調査では、水質調査、底生生物と付着調査を行った。

① 水質調査

調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-5 に示す。

表 1-5 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	0.001	-
水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	-
電気伝導率	m ³ /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

② 水生生物調査

調査項目と採取器具を表 1-6 に示す。

表 1-6 水生生物調査項目、調査方法、採取器具一覧表

項目	調査方法	採取器具
底生生物	コドラート(方形枠)法(25cm×25cm)による採取 4箇所(川幅が狭い為、50cm四方は使用せず) ホルマリン固定 肉眼及び実体顕微鏡による同定、計数、湿重量測定	コドラート Dフレームサーバー ネット
付着藻類	礫を選定、コドラート法(5cm×5cm)による採取 1箇所 ホルマリン固定 沈殿量測定、生物顕微鏡により固定、計数	コドラート ブラシ、洗瓶

2. 調査結果

2-1. 井戸水調査

井戸水の調査結果を表 2-1 に示す。また、検出状況を表 2-2 に、環境基準の適合状況を表 2-3 に示す。

さらに令和 4 年度の平均値を表 2-4、図 2-1 及び図 2-2 に示す。

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.1 貫井南町1-24	調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
		R4.7.12 9:13	R3.7.15 9:23	R2.7.22 13:30	R4.12.20	R3.9.13 9:00	R2.9.29 8:50	R5.2.6	R3.11.12 9:15	R2.11.26 8:50	R5.3.6	R4.2.25 9:13	R3.2.2 9:16		
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-		
	気温	℃	27.8	26.0	30.7	26.0	19.0	14.0	13.7	14.0	13.7	4.9	8.0	-	
	水温	℃	18.7	19.0	22.2	18.2	19.0	15.8	16.0	15.8	16.0	17.0	15.5	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	中赤褐色	無色透明	淡茶褐色	中赤褐色	中茶褐色	中赤褐色	中茶褐色	淡褐色	中茶色	-	
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微土臭	微土臭	微金属臭	微さび臭	-	
	透視度	度	>50.0	>50.0	23	欠測	50.0	>37.0	欠測	50.0	15	欠測	50.0	20.0	-
	pH	-	6.5	6.3	6.8	欠測	6.7	6.3	欠測	6.8	6.6	欠測	6.1	7.0	-
	電気伝導率	mS/m	18.1	19.5	19.8	欠測	19.0	20.9	欠測	18.5	19.0	欠測	19.6	18.3	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0003	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	欠測	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.41	3.50	4.86	欠測	4.42	5.64	欠測	1.44	3.47	欠測	5.58	4.30	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	0.002	欠測	<0.001	<0.001	欠測	<0.001	<0.001	欠測	<0.001	<0.001	0.01以下

※第 2 回調査以降は井戸ポンプ故障のため欠測

No.2 中町1-15	調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
		R4.7.12 14:27	R3.7.15 14:47	R2.7.22 11:50	R4.12.20 16:45	R3.9.13 14:17	R2.9.29 11:45	R5.2.6 15:22	R3.11.12 13:25	R2.11.26 11:50	R5.3.6 14:57	R4.2.25 13:27	R3.2.2 13:29		
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-	
	気温	℃	26.5	28.1	29.0	6.2	28.3	22.5	13.0	21.5	17.8	16.2	10.3	12.6	-
	水温	℃	17.8	19.5	22.2	16.5	17.9	20.0	16.3	18.5	18.0	16.4	15.2	14.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.4	6.6	6.5	6.4	6.6	6.6	6.3	6.3	6.7	6.4	6.4	6.9	-
	電気伝導率	mS/m	15.8	15.8	15.1	15.5	14.1	14.7	16.6	15.0	14.1	17.9	14.8	13.9	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0009	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0007	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	6.15	4.66	3.48	4.20	4.41	4.09	5.41	4.51	3.69	5.15	5.67	5.49	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.3 中町2-15	調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
		R4.7.12 14:45	R3.7.15 15:13	R2.7.22 11:30	R4.12.20 17:05	R3.9.13 14:37	R2.9.29 12:00	R5.2.6 15:42	R3.11.12 13:40	R2.11.26 12:05	R5.3.6 15:07	R4.2.25 13:50	R3.2.2 13:51		
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-	
	気温	℃	26.4	28.8	29.0	5.0	28.6	22.0	12.0	21.5	17.5	15.7	11.8	14.8	-
	水温	℃	22.1	22.8	25.0	18.5	21.5	19.5	16.5	14.5	14.2	16.1	14.0	7.9	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.8	6.8	7.5	7.7	7.7	7.2	7.8	6.7	7.0	8.0	7.1	7.1	-
	電気伝導率	mS/m	15.2	17.0	18.0	15.4	16.9	16.6	19.6	14.8	15.0	16.9	15.7	12.3	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	0.15	0.23	<0.01	0.15	0.19	0.21	<0.01	0.06	0.06	<0.01	0.26	0.10	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.4 梶野町3-12		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 12:56	R3.7.15 13:10	R2.7.22 10:40	R4.12.20 15:30	R3.9.13 11:40	R2.9.29 11:00	R5.2.6 13:55	R3.11.12 10:05	R2.11.26 10:55	R5.3.6 13:37	R4.2.25 11:53	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	26.0	26.3	28.2	9.9	28.2	18.0	12.5	15.2	15.2	15.2	7.3	10.0	-
	水温	℃	21.0	21.8	23.0	12.6	19.4	19.5	14.0	14.5	15.5	14.3	11.3	11.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.9	7.1	7.3	7.8	7.6	7.4	7.9	6.7	7.5	8.1	7.1	7.5	-
電気伝導率	mS/m	17.3	21.7	21.3	19.0	19.7	21.4	16.2	17.1	20.0	19.9	17.0	16.5	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	2.51	3.21	2.99	2.14	3.07	3.74	2.83	2.96	3.92	2.46	2.62	3.76	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.5 関野町1-11		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 12:10	R3.7.15 11:50	R2.7.22 10:30	R4.12.20 14:49	R3.9.13 10:56	R2.9.29 10:05	R5.2.6 13:25	R3.11.12 11:05	R2.11.26 10:30	R5.3.6 13:06	R4.2.25 11:06	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	25.2	24.6	28.2	8.0	27.4	17.5	10.2	17.0	14.5	15.3	8.8	8.1	-
	水温	℃	17.9	18.8	21.5	17.5	17.5	18.5	17.3	15.5	16.5	17.3	16.0	15.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.4	6.8	6.4	6.7	6.4	6.4	6.4	6.4	6.2	6.6	6.4	6.6
電気伝導率	mS/m	17.7	26.3	19.6	19.7	18.5	19.2	19.5	18.0	17.8	19.3	17.2	16.1	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	<0.0002	0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0009	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.012	<0.0002	<0.0002	0.0070	<0.0002	<0.0002	0.0073	<0.0002	<0.0002	0.014	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.0052	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.55	4.50	5.85	4.34	5.03	6.04	4.38	5.52	5.66	4.37	5.01	5.24	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.6 緑町3-13		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 12:31	R3.7.15 12:11	R2.7.22 11:10	R4.12.20 15:07	R3.9.13 11:19	R2.9.29 10:50	R5.2.6 13:03	R3.11.12 11:15	R2.11.26 10:45	R5.3.6 13:18	R4.2.25 11:23	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	25.4	26.8	28.5	8.5	27.8	20.0	11.8	19.0	14.6	15.6	9.0	10.0	-
	水温	℃	17.4	21.8	22.2	17.9	18.3	21.0	17.8	18.0	20.0	17.6	20.0	21.4	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.6	6.5	7.1	7.4	7.4	6.9	6.8	6.5	6.9	7.3	6.8	6.7	-
電気伝導率	mS/m	29.4	31.7	31.8	30.6	29.9	30.3	19.5	27.5	30.2	24.6	25.4	29.2	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0009	<0.0002	0.0002	0.0006	0.0003	0.0002	0.0006	0.0002	<0.0002	0.0013	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.020	0.0013	0.0034	0.014	0.0013	0.0026	0.0032	0.002	0.0019	0.017	0.0038	0.0020	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.59	5.64	6.35	5.14	6.21	6.51	2.56	5.78	6.57	3.81	5.55	6.27	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.7 桜町1-2		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 11:28	R3.7.15 11:07	R2.7.22 10:00	R4.12.20 14:17	R3.9.13 10:15	R2.9.29 10:35	R5.2.6 11:29	R3.11.12 10:30	R2.11.26 10:00	R5.3.6 11:25	R4.2.25 10:21	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	26.0	25.5	27.3	9.2	25.6	18.0	12.5	17.5	14.0	15.2	7.1	9.8	-
	水温	℃	17.2	17.5	18.0	17.2	16.9	17.5	17.1	15.5	17.5	17.0	16.8	16.4	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.9	6.4	7.1	7.1	7.0	6.7	7.0	6.8	6.9	7.1	6.5	7.0	-
電気伝導率	mS/m	22.4	26.5	24.2	25.7	22.4	23.7	24.1	21.8	22.5	25.0	21.8	21.4	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	<0.0002	0.0002	0.0004	0.0007	0.0002	0.0003	0.0004	0.0003	0.0008	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.010	0.0052	0.0030	0.0081	0.0046	0.0050	0.0076	0.0064	0.0056	0.013	0.0061	0.0054	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.66	5.78	6.63	5.35	5.96	6.56	5.87	6.12	6.56	5.50	5.97	6.20	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.8 桜町3-6		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 11:51	R3.7.15 11:30	R2.7.22 10:15	R4.12.20 14:32	R3.9.13 10:33	R2.9.29 9:50	R5.2.6 12:42	R3.11.12 10:55	R2.11.26 10:15	R5.3.6 12:50	R4.2.25 10:43	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	25.4	24.0	27.3	5.0	24.4	17.0	12.7	17.5	14.3	15.7	8.5	8.2	-
	水温	℃	18.4	19.0	19.8	17.8	18.3	18.5	10.9	15.8	15.0	17.2	17.0	17.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡灰緑色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>19.5	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.4	6.4	6.5	6.6	6.3	6.4	6.3	6.8	6.6	6.1	6.7	-
電気伝導率	mS/m	17.7	25.9	20.0	19.7	19.7	19.5	19.1	18.6	17.0	22.2	20.4	16.7	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0008	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0016	0.0026	0.0013	0.0008	0.0024	0.0022	0.0007	0.0029	0.0020	0.0027	0.0026	0.0022	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.0034	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.53	4.69	6.07	4.08	5.19	5.54	4.19	5.06	5.30	4.70	4.80	5.17	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.9 東町1-41		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R4.7.12 14:10	R3.7.15 13:56	R2.7.22 9:20	R4.12.20 16:30	R3.9.13 13:55	R2.9.29 11:30	R5.2.6 14:37	R3.11.12 9:35	R2.11.26 11:35	R5.3.6 14:16	R4.2.25 9:55	
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	26.4	26.0	28.2	7.2	28.4	21.0	11.3	13.5	17.2	16.2	9.0	11.8	-
	水温	℃	19.1	19.5	23.0	16.5	18.3	20.5	10.3	15.0	15.2	16.7	14.0	15.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡褐色	中赤褐色	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	48.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	22	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.4	6.6	6.6	6.6	6.9	6.4	6.6	6.7	6.6	6.8	6.8	-
電気伝導率	mS/m	16.7	18.2	19.1	18.0	16.6	14.3	17.6	13.0	15.5	17.7	13.6	15.2	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0009	<0.0002	<0.0002	0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0011	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0036	<0.0002	<0.0002	0.0021	<0.0002	<0.0002	0.0020	<0.0002	<0.0002	0.0051	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.0093	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0005	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.41	5.62	4.96	4.48	5.79	0.51	5.06	4.20	2.74	4.99	4.16	5.42	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.10 中町2-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
調査項目			単位	R4.7.12 13:45	R3.7.15 14:27	R2.7.22 9:35	R4.12.20 16:00	R3.9.13 13:07	R2.9.29 12:25	R5.2.6 15:00	R3.11.12 12:15	R2.11.26 12:20	R5.3.6 14:35	R4.2.25 12:31		R3.2.2 12:42
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-	
	気温	℃	26.2	28.4	28.2	8.5	28.0	22.0	14.5	21.5	17.5	16.4	11.3	11.2	-	
	水温	℃	18.1	18.0	21.0	17.2	17.2	18.5	17.1	16.8	18.0	17.2	17.0	17.0	-	
	水位	m	14.0	13.4	12.7	13.7	12.6	13.2	13.7	13.0	13.4	14.7	14.1	14.3	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	25.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.6	6.8	6.5	6.6	6.5	6.6	6.4	6.4	7.0	6.4	7.1	-	
	電気伝導率	mS/m	15.6	16.2	16.1	17.1	15.2	22.0	16.6	15.5	16.2	16.7	15.5	15.1	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0008	0.0005	0.0002	<0.0002	0.0005	0.0002	<0.0002	0.0004	0.0002	0.0011	0.0003	0.0003	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	3.77	4.71	4.42	4.00	4.34	4.17	4.16	4.35	4.59	4.41	4.93	5.49	10以下	
	鉛	mg/L	0.006	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.003	0.006	<0.001	<0.001	0.008	<0.001	0.001	0.01以下	

No.11 緑町1-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
調査項目			単位	R4.7.12 13:16	R3.7.15 13:35	R2.7.22 11:00	R4.12.20 15:45	R3.9.13 13:31	R2.9.29 11:15	R5.2.6 14:13	R3.11.12 9:50	R2.11.26 11:15	R5.3.6 13:53	R4.2.25 10:20		R3.2.2 12:10
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-	
	気温	℃	26.0	26.9	29.0	7.5	28.4	20.0	12.8	14.8	18.8	15.2	10.0	11.2	-	
	水温	℃	18.3	19.0	23.0	17.5	17.9	19.5	17.1	16.0	16.2	17.2	13.5	15.2	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.6	6.6	6.5	6.5	6.7	6.4	6.3	6.8	6.0	6.3	7.0	-	
	電気伝導率	mS/m	16.4	16.5	16.8	18.6	15.4	17.9	18.3	15.2	16.9	18.5	14.5	15.7	-	
	調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0007	<0.0002	0.0002	0.0004	<0.0002	0.0002	0.0004	<0.0002	0.0002	0.0009	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン		mg/L	0.0024	0.0009	0.0005	0.0013	0.0008	0.0005	0.0014	0.0007	0.0007	0.0041	0.0006	0.0008	0.01以下	
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
硝酸性窒素		mg/L	4.85	4.46	5.29	4.59	5.36	5.68	4.77	5.48	5.68	4.68	4.78	5.35	10以下	
鉛		mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	

No.12 貴井北町5-13		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値	
調査項目			単位	R4.7.12 10:25	R3.7.15 10:40	R2.7.22 13:10	R4.12.20 13:54	R3.9.13 9:50	R2.9.29 9:25	R5.2.6 11:00	R3.11.12 11:45	R2.11.26 11:10	R5.3.6	R4.2.25 11:30		R3.2.2 10:09
現場測定項目	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	欠測	晴	曇/晴	-	
	気温	℃	27.6	27.0	30.5	7.8	27.0	20.0	10.5	18.5	11.5		8.5	8.0	-	
	水温	℃	18.1	18.5	22.8	17.9	17.7	20.0	15.6	15.0	16.2		15.0	16.2	-	
	水位	m	12.3	13.2	11.3	12.5	11.1	11.5	12.5	11.3	12.1		13.6	13.8	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	中赤褐色		無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭		無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.5	6.6	6.5	6.6	6.5	6.5	6.6	6.7		6.4	6.8	-	
	電気伝導率	mS/m	17.8	21.4	21.4	20.2	20.0	25.2	19.2	17.8	18.6		17.0	17.4	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0002	0.0002	0.0005	<0.0002	0.0002	0.0005	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0027	0.0010	0.0008	0.0019	0.0009	0.0008	0.0020	0.0009	0.0009	0.0008	0.0009	0.0009	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	5.68	5.60	5.29	5.25	5.87	5.68	5.48	2.74	6.11	5.73	5.21	10以下		
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	

※第4回調査は湧水のため欠測

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.13 貫井南町2-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			R4.7.12 10:58	R3.7.15 9:50	R2.7.22 8:55	R4.12.20 13:25	R3.9.13 9:20	R2.9.29 9:53	R5.2.6 10:30	R3.11.12 8:50	R2.11.26 9:10	R5.3.6 10:35	R4.2.25 9:40	R3.2.2 9:35	
現場測定項目	調査項目	単位													
	天候	-	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	-
	気温	℃	27.2	26.0	28.0	6.7	26.2	26.0	13.1	16.8	14.0	11.0	7.1	8.8	-
	水温	℃	18.6	19.5	22.0	17.7	18.0	18.6	17.7	16.5	17.5	17.5	15.8	14.2	-
	水位	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.6	6.6	7.3	7.6	7.3	7.0	7.6	6.8	6.8	7.8	6.9	6.9	-
	電気伝導率	mS/m	31.0	34.8	34.4	34.8	31.6	31.4	33.6	22.0	29.9	33.5	29.8	26.9	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	0.13	0.190	<0.01	0.14	0.30	0.03	<0.01	0.04	0.04	<0.01	0.21	0.05	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-2 検出状況一覧

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1,1,1-トリクロロ エタン	硝酸性窒素	鉛
No. 1	貫井南町1-24	1※	1	1	0	1	0
No. 2	中町1-15	4	4	2	0	4	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	2	1
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	4	0
No. 5	関野町1-11	4	4	4	3	4	1
No. 6	緑町3-13	4	4	4	0	4	0
No. 7	桜町1-2	4	4	4	0	4	0
No. 8	桜町3-6	4	4	4	2	4	0
No. 9	東町1-41	4	4	4	4	4	1
No. 10	中町2-1	4	4	2	1	4	4
No. 11	緑町1-1	4	4	4	0	4	1
No. 12	貫井北町5-13	3※	3	3	1	3	0
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	2	0

表 2-3 環境基準超過状況（基準超過検体数）

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1,1,1-トリクロロ エタン	硝酸性窒素	鉛
No. 1	貫井南町1-24	1※	0	0	0	0	0
No. 2	中町1-15	4	0	0	0	0	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	0	0
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	0	0
No. 5	関野町1-11	4	0	2	0	0	0
No. 6	緑町3-13	4	0	3	0	0	0
No. 7	桜町1-2	4	0	1	0	0	0
No. 8	桜町3-6	4	0	0	0	0	0
No. 9	東町1-41	4	0	0	0	0	0
No. 10	中町2-1	4	0	0	0	0	0
No. 11	緑町1-1	4	0	0	0	0	0
No. 12	貫井北町5-13	3※	0	0	0	0	0
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

表 2-4 令和 4 年度平均値

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1,1,1-トリクロロエ タン	硝酸性窒素	鉛
No. 1	貫井南町1-24	1※	0.0006	0.0003	<0.0002	4.41	<0.001
No. 2	中町1-15	4	0.0006	0.0004	0.0002	5.23	0.001
No. 3	中町2-15	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.08	0.001
No. 4	梶野町3-12	4	0.0002	0.0002	0.0002	2.49	0.001
No. 5	関野町1-11	4	0.0006	0.0101	0.0015	4.41	0.001
No. 6	緑町3-13	4	0.0009	0.0136	0.0002	4.28	0.001
No. 7	桜町1-2	4	0.0006	0.0097	0.0002	5.60	0.001
No. 8	桜町3-6	4	0.0005	0.0015	0.0010	4.38	0.001
No. 9	東町1-41	4	0.0007	0.0032	0.0026	4.99	0.001
No. 10	中町2-1	4	0.0003	0.0006	0.0007	4.09	0.006
No. 11	緑町1-1	4	0.0006	0.0023	0.0002	4.72	0.001
No. 12	貫井北町5-13	3※	0.0005	0.0022	0.0002	5.47	0.001
No. 13	貫井南町2-1	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.07	0.001

No. 1 及び No. 12 はポンプ故障等により調査回数減となっている。

平均値の算出は環境省公布「環水規 51 号 (H11. 3. 12)」に基づき「報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値」として取り扱った。

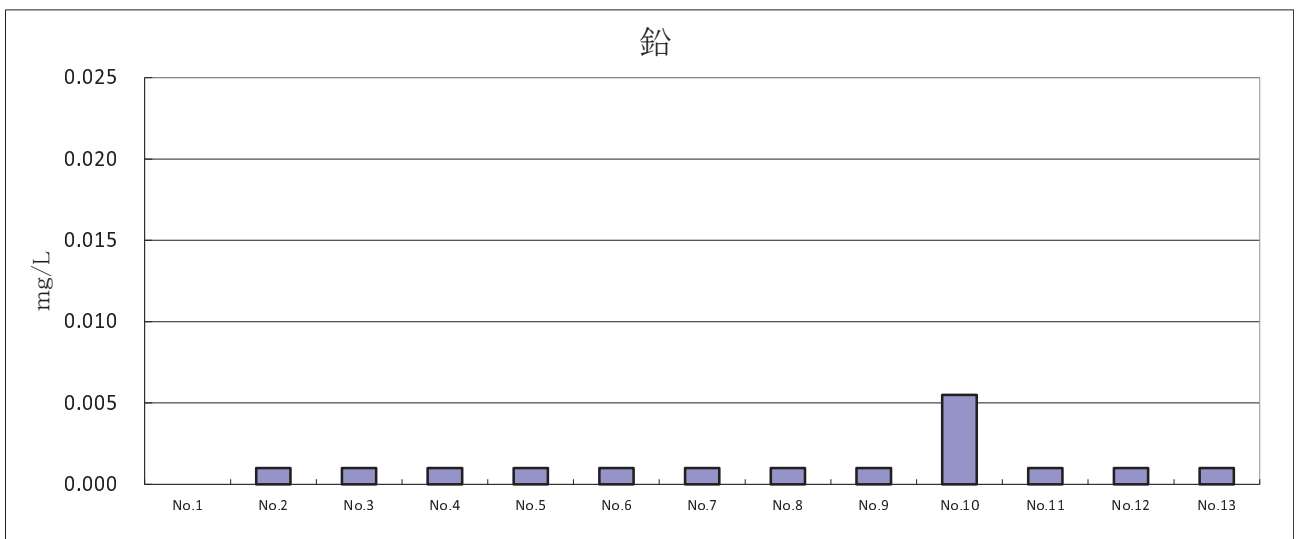
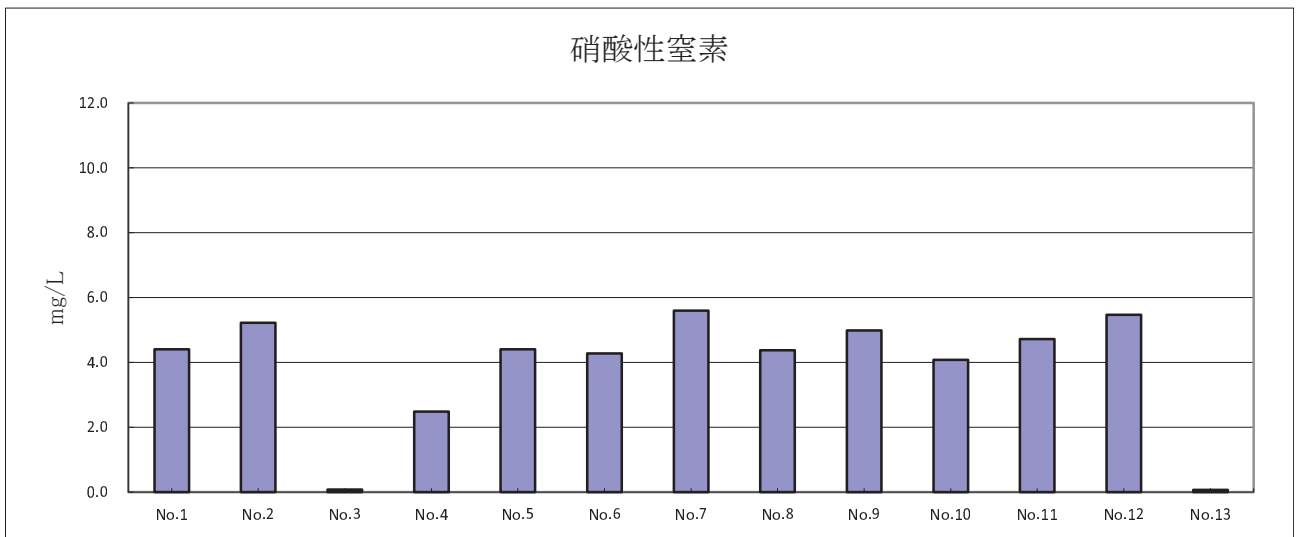
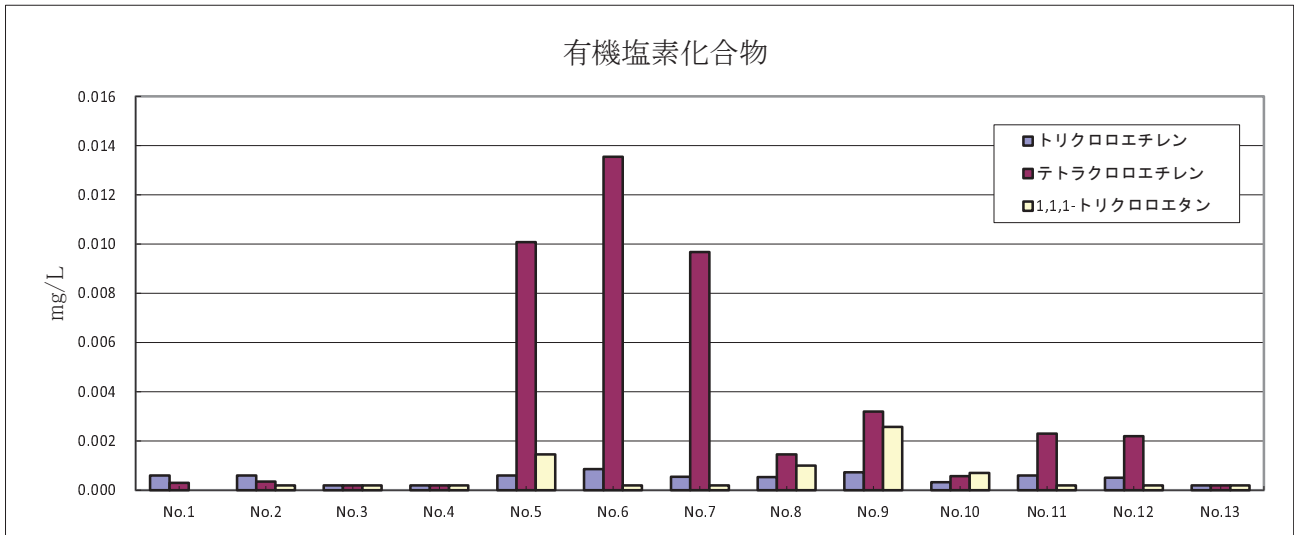


図 2-1 令和 4 年度平均値

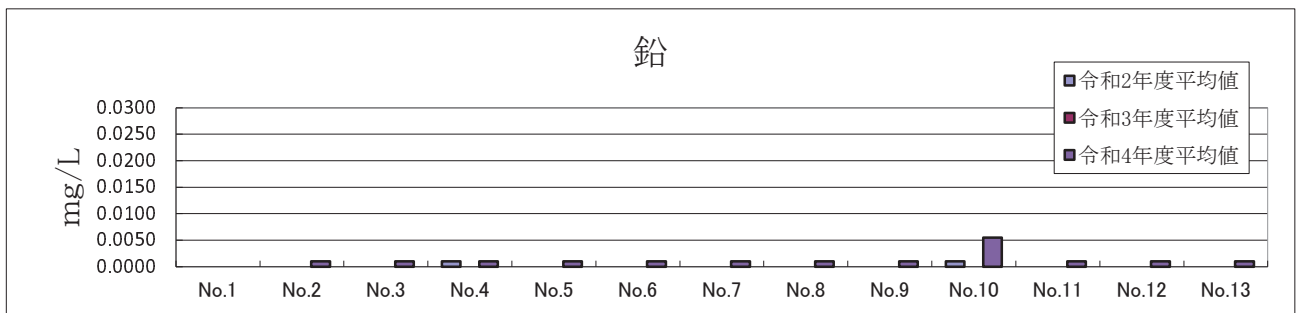
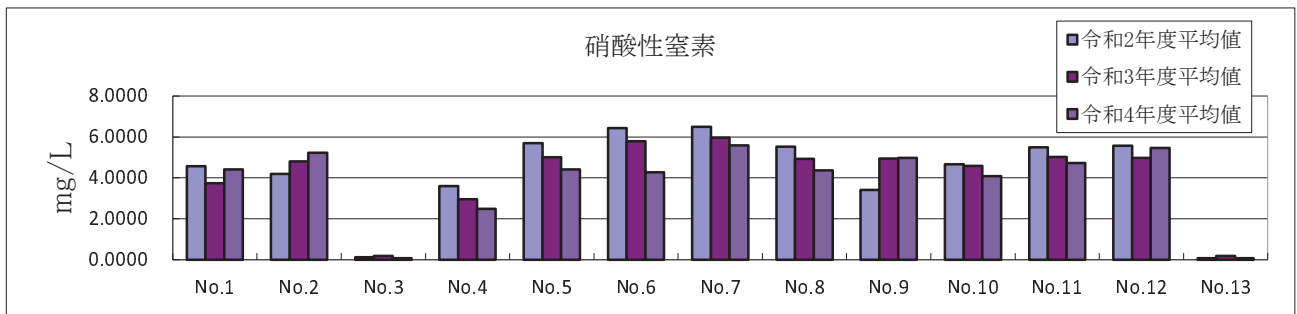
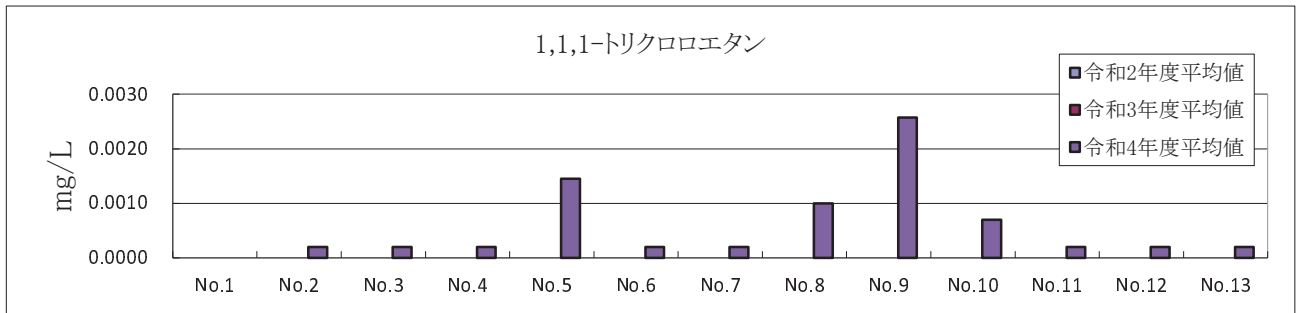
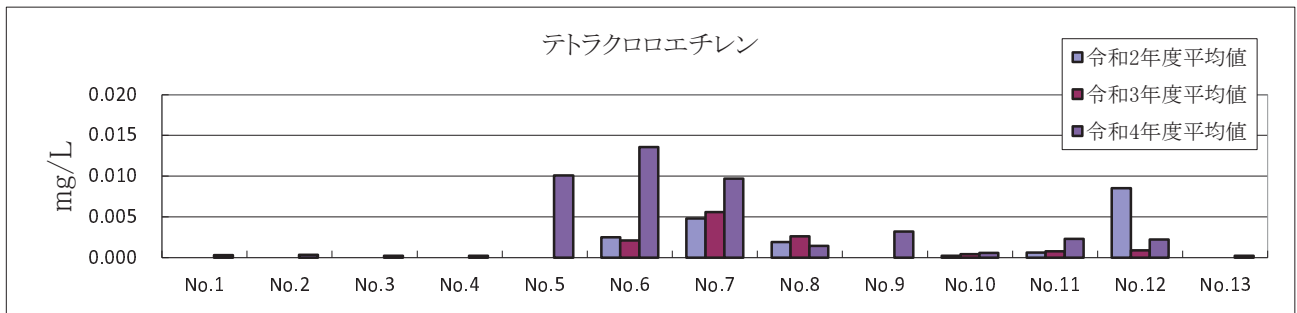
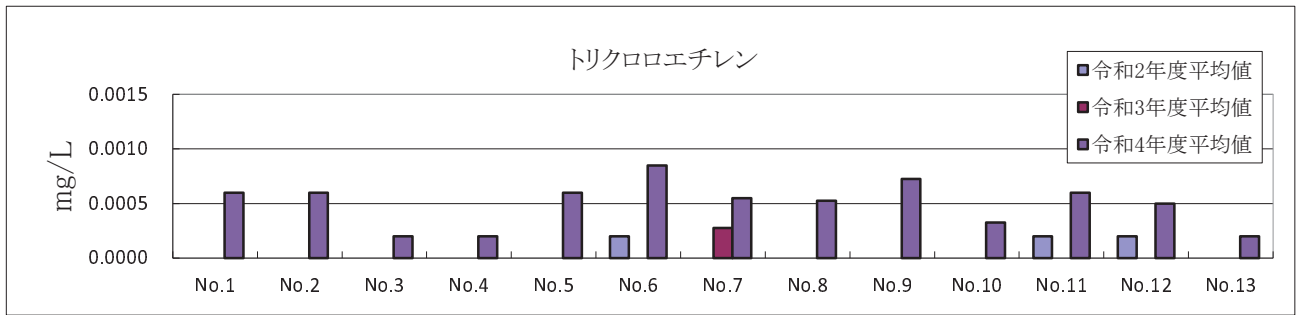


図 2-2 過去 2 年間の調査結果との比較

各分析項目は以下のような結果であった。

(1) トリクロロエチレン

No. 3, 4, 13 を除く 10 地点で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

(2) テトラクロロエチレン

No. 3, 4, 13 を除く 10 地点で検出された。

検出された地点の内、No. 5 の第 1, 4 回調査、No. 6 の第 1, 2, 4 回調査、No. 7 の第 4 回調査で基準値を超過した。

(3) 1, 1, 1-トリクロロエタン

No. 5, 8, 9, 10, 12 で検出されたが、環境基準を満足していた。

(4) 硝酸性窒素

No. 5, 8, 9, 10, 12 で検出されたが、環境基準を満足していた。

(5) 鉛

No. 3, 5, 9, 10, 11 で検出されたが、環境基準を満足していた。

(6) 地域の傾向

令和 2 年度、令和 3 年度の調査結果と比較すると全体に高い数値を記録した。

数値が上昇した要因としては、比較的降水量の少ない渇水期に採水を行ったことで、相対的に濃度が上昇した可能性が考えられる。しかし、これまでは降雨期に重点的に調査を行っており渇水期の情報が少ないため、傾向の判断には注意が必要である。

2-2. 野川調査

野川の水質調査は、小金井市域最下流部の柳橋下にて6月と11月に実施した。

(1) 生活環境項目

今年度の調査結果は、環境基準(D類型)を全て満足していた。

過去2年間の同時期と比較すると、6月、11月ともに生物化学的酸素要求量(BOD)がやや高い傾向を示した。

環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-5に示す。No. 3, 4, 13を除く10地点で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

表2-5 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（生活環境項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R4. 6. 2	R3. 6. 3	R2. 6. 11	R4. 11. 10	R3. 11. 4	R2. 11. 5	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	-	6.0以上 8.5以下	-	7.5	6.8	7.8	7.4	7.0	8.1
	溶存酸素 (DO)	mg/L	2以上	0.5	9.1	9.4	8.4	10.3	9.9	10.4
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	8以下	0.5	1.4	<0.5	0.9	0.6	<0.5	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	-	0.5	0.9	0.9	1.7	2.1	3.2	2.3
	浮遊物質 (SS)	mg/L	100以下	1	4	2	6	9	5	4
	大腸菌群数※	MPN/100mL	-	1.8	-	4900	7900	-	2800	4900
	大腸菌数※	CFU/100mL	-	-	140	-	-	200	-	-
	全窒素 (T-N)	mg/L	-	0.05	3.97	3.97	6.27	5.63	6.53	5.46
全りん (T-P)	mg/L	-	0.003	0.019	0.035	0.043	0.025	0.012	0.020	

※令和4年度より、大腸菌群数 (MPN/100ml) から大腸菌数 (CFU/100ml) に基準が変更となった。

(2) 健康項目

今年度の調査結果は、環境基準を満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-6に示す。

表2-6 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（健康項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R4. 6. 2	R3. 6. 3	R2. 6. 11	R4. 11. 10	R3. 11. 4	R2. 11. 5	
健康項目	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	3.54	3.1	5.6	5.11	5.9	4.9

(3) その他の項目及び現場測定項目

過去2年間の調査結果と今年度の調査結果を見ると、陰イオン活性剤は過年度に引き続き下限値未満であり、11月調査時にアンモニア性窒素が高い値を示したほか、リン酸性リンは6月調査時に低い値を示した。

過去の調査結果との比較を表2-7に示す。

表2-7 過去2年間の調査結果との比較（そのほかの項目及び現場測定項目）

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R4.6.2	R3.6.3	R2.6.11	R4.11.10	R3.11.4	R2.11.5	
その他の項目	陰イオン界面活剤 (MBAS)	-	-	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素 (NH ₄ -N)	mg/L	-	0.01	<0.01	0.07	0.07	0.41	0.01	0.04
	りん酸性りん (P ₀₄ -P)	mg/L	-	0.003	<0.003	0.022	0.027	0.009	0.008	0.009
現場測定項目	天候	-	-	-	晴	晴	曇	晴	晴	晴
	気温	℃	-	-	23.0	22.8	27.0	14.0	15.8	11.0
	水温	℃	-	-	21.2	21.5	21.5	14.5	14.8	14.0
	外観 (色相)	-	-	-	淡：黄緑色	淡：黄緑色	淡灰緑色	無色透明	淡：灰黄色	無色透明
	臭気	-	-	-	弱：藻臭	微：川藻臭	微：川藻臭	無臭	微：川藻臭	微：川藻臭
	透視度	度	-	-	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m ³ /sec	-	-	0.055	0.006	0.114	0.161	0.258	0.190
	全水深	m	-	-	0.10	0.07	0.17	0.10	0.15	0.18

2-3. 湧水調査

(1) 水質調査結果

水質調査の結果を表 2-8 に示す。

1) 透視度

すべての調査回で 50 度以上を記録した。外観は 6 月に淡黄緑色透明、12 月に無色透明であった。

2) 水温

水温は 6 月に 17.2～17.8℃、12 月に 17.8～18.1℃であり、一般的な湧水の水温であった。

3) 臭気

基本的に無臭であり、6 月の滄浪泉園のみ弱藻臭であった。

4) 流量

各地点 120～180L/min であったが貫井神社のみ 150～360L/min と流量が多く、この傾向は過年度も同様であった。

5) pH

pH は 6.2～6.4 とやや酸性傾向であった。

6) 電気伝導率

6 月調査が 13.8～18.8ms/m、12 月調査が 14.0～18.1ms/m であった。

7) 硝酸性窒素

全調査回で基準を満足しており、過年度の傾向とほぼ同等であった。

8) トリクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0002～0.0006mg/L の間で検出された。

9) テトラクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0003～0.006mg/L の間で検出された。

10) 1, 1, 1-トリクロロエタン

全調査回で検出下限値未満であった。今年度の調査結果は、環境基準(D 類型)を全て満足していた。

表 2-8 湧水水質調査結果一覧表

調査地点 貴井神社

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	8:47	8:35	9:10	8:38	13:20	9:05	-
天候	-	晴/小雨	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	17.9	23.5	19.8	6.0	8.5	4.5	-
水温	℃	17.8	18.0	17.4	17.9	16.5	16.0	-
外観	-	淡黄緑色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.005	0.001	0.007	0.006	0.005	0.006	-
pH	-	6.2	6.4	6.4	6.2	6.0	6.2	-
電気伝導率	ms/m	18.1	19.0	19.6	17.8	16.7	20.3	-
硝酸性窒素	mg/L	4.67	5.00	5.05	5.19	5.90	6.10	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0006	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0025	<0.0002	<0.0002	0.0015	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 滄浪泉園

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	9:57	11:45	11:35	9:34	9:05	11:45	-
天候	-	晴/小雨	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	15.9	23.2	19.5	6.1	4.2	9.0	-
水温	℃	17.2	17.5	17.5	17.8	16.2	16.2	-
外観	-	淡黄緑色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	弱藻臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.001	<0.001	0.002	0.002	0.002	<0.001	-
pH	-	6.3	6.7	6.5	6.3	6.1	6.3	-
電気伝導率	ms/m	13.8	19.8	19.5	18.1	19.5	17.6	-
硝酸性窒素	mg/L	4.56	5.40	5.82	5.74	6.00	6.30	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0008	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 中町四丁目公共緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	10:55	10:05	10:40	10:40	10:50	10:40	-
天候	-	晴/小雨	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	16.2	25.5	19.2	6.5	7.8	7.5	-
水温	℃	17.7	18.0	17.8	18.1	17.0	16.8	-
外観	-	淡黄緑色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.002	<0.001	0.002	0.003	0.001	<0.001	-
pH	-	6.3	6.5	6.6	6.4	6.1	6.4	-
電気伝導率	ms/m	18.8	20.5	20.1	17.9	19.0	18.9	-
硝酸性窒素	mg/L	7.39	7.50	7.62	6.82	4.90	7.80	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0060	<0.0002	<0.0002	0.0030	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 美術の森緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	
採取日	-	令和4年6月14日	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和4年12月6日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	-
採取時刻	-	11:59	10:50	9:55	11:43	12:00	10:40	-
天候	-	晴/小雨	晴	雨	晴	晴	晴	-
気温	℃	15.5	23.8	20.0	6.3	8.0	8.8	-
水温	℃	17.5	18.0	17.5	17.8	16.2	16.0	-
外観	-	淡黄緑色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.002	<0.001	0.002	0.002	0.001	<0.001	-
pH	-	6.3	6.5	6.6	6.4	6.0	6.6	-
電気伝導率	ms/m	15.9	18.8	18.2	14.0	14.9	15.8	-
硝酸性窒素	mg/L	6.76	7.30	6.60	5.16	6.00	7.30	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境省告示第10号)

(2) 底生生物

底生生物調査結果一覧表を表 2-9 に示す。

表 2-9 底生生物調査結果一覧表

調査日:令和4年6月14日、15日(日)
調査方法:定基採集:6日×12粒(55cm×25cm×40)

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	貴井神社		津波堤防		中野4丁目公共緑地		業務の森緑地		環境省PL2020	東京都PL2020						
						6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月								
1	渦虫綱	三棘目	オキアミ科	オキアミ	<i>Dugesia japonica</i>	53	0.132	28	0.053	156	0.575	82	0.178	67	0.116	4	0.008	15	0.027		
2	環虫綱	ハリモミ目	マユシロ科	マユシロ	<i>Chaetoma</i> sp.	3	0.002	1	0.001	1	0.001	1	0.001	2	0.001	12	0.008	5	0.003		
3	環虫綱	環虫目	カマキリ科	カマキリ	<i>Oenoneptera libertina</i>	1	0.003	2	0.005	-	-	1	0.006	0	0.000	0	0.000	1	0.001		
4	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	マルスダレガイ	<i>Pisidium</i> sp.	15	0.008	3	0.002	6	0.003	3	0.002	17	0.008	120	0.036	32	0.024		
5	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Helodonta gastrochaetis</i>	1	0.005	-	-	1	0.005	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000		
6	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Lumbricoides</i> sp.	44	0.219	50	0.173	30	0.184	8	0.038	3	0.023	2	0.011	1	0.011		
7	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Fridericia</i> sp.	-	-	-	-	11	0.005	6	0.008	-	-	-	-	-	-		
8	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Megacoma</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.002	-	-		
9	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	ENCHYTRAEIDAE sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.008	1	+		
10	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Nais barbata</i>	-	-	-	-	3	+	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Nais communis</i>	3	+	2	+	142	0.009	4	+	5	0.001	270	0.018	23	0.002		
12	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Nais parvula</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Nais</i> sp.	-	-	-	-	6	+	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Bathynoderus sudovickyanus</i>	-	-	2	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Rhyacodrilus</i> sp.	31	0.049	-	-	-	-	23	0.035	151	0.055	-	-	16	0.021		
16	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Embletophilus samauensis</i>	39	0.018	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
17	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	TUBIFICIDAE sp.	33	0.008	32	0.045	11	0.005	18	0.008	5	0.003	11	0.019	14	0.044		
18	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	LUMBRICIDAE sp.	-	-	-	-	18	0.009	42	0.012	131	0.144	24	0.015	49	0.059		
19	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	LUMBRICIDAE sp.	1	0.009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Oniscus lineatus</i>	-	-	-	-	3	0.259	-	-	-	-	-	-	-	-		
21	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Oniscus lineatus</i>	53	0.443	20	0.285	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
22	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	SALICIDAE sp.	-	-	-	-	1	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-		
23	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
24	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
25	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
26	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
27	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
29	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
30	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
31	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
32	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
33	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
34	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
35	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
36	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
37	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
38	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
39	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
41	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
42	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
43	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
44	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
45	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
46	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
47	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
48	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
49	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
51	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
52	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
53	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
54	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
55	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
56	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
57	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
58	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
59	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
61	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
62	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
63	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
64	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
65	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
66	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
67	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ	<i>Salicidrilus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合計						83	1.528	328	0.866	767	2.839	147	0.662	409	1.542	1110	1.283	351	0.839	327	0.929
						種数	27	21	33	17	24	22	22	25	21	0	0	0	0	0	

1) 種名、学名及び種の区分等は原則として「河川水質の調査結果報告書の作成ガイドライン(令和4年版)」に従った。

2) 調査環境のpHは100mg/L未満を示す。

3) 調査環境の溶解酸素は0.5mg/L未満を示す。

4) 調査環境の有機質(COD)は100mg/L未満を示す。

5) 調査環境の有機質(BOD)は100mg/L未満を示す。

6) 調査環境の有機質(TSS)は100mg/L未満を示す。

7) 調査環境の有機質(TOC)は100mg/L未満を示す。

1) 確認状況

令和4年度調査における、各地点の目別確認種類数を表2-10に示す。

令和4年度調査により、6月に48種類、12月に43種類、合計8綱19目34科67種類の底生動物が確認された。

目別で確認種類数が多かったのはイトミミズ目(6月10種類、12月7種類)、及びハエ目(6月21種類、12月15種類)であった。

地点別の確認種類数では、貫井神社40種類と最も多く、次いで貫井神社と美術の森緑地が35種類、中町四丁目公共緑地が29種類であった。

4地点全てで確認された種類は、ナミウズムシ、マメシジミ属、ミズミミズ類、ミズムシ(甲)、オニヤンマ、カクツツトビケラ属、ハモンユスリカ属、ニッポンホソカ等16種類であった。

表2-10 底生生物目別確認種類数

綱名	目名	貫井神社		滄浪泉園		中町四丁目公共緑地		美術の森緑地		小計	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
渦虫綱	三岐腸目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
有針綱	ハリヒモムシ目	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1
腹足綱	新生腹足目	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1
二枚貝綱	マルスダレガイ目	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
ミズ綱	ナガミミズ目	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	オヨギミミズ目	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
	イトミミズ目	4	3	8	3	4	5	7	4	10	7
	ツリミミズ目	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1
ヒル綱	吻無蛭目	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2
軟甲綱	ヨコエビ目	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	ワラジムシ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	エビ目	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1
	トンボ目(蜻蛉目)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	カワゲラ目(セキ翅目)	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	ヘビトンボ目	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	トビケラ目(毛翅目)	5	5	1	1	1	1	1	1	5	5
	ハエ目(双翅目)	9	3	16	3	11	8	10	9	21	15
	コウチュウ目(鞘翅目)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
総計		27	21	33	17	24	22	25	21	48	43

目別個体数のグラフを図2-3に、目別湿重量のグラフを図2-4に示す。

2回の調査結果の平均個体数は、貫井神社(579個体/0.25m²)、滄浪泉園(457個体/0.25m²)、中町四丁目公共緑地(763個体/0.25m²)、美術の森緑地(339個体/0.25m²)であった。

また、平均重量は貫井神社(1.166g/0.25m²)、滄浪泉園(1.329g/0.25m²)、中町四丁目公共緑地(1.414g/0.25m²)、美術の森緑地(0.944g/0.25m²)であった。

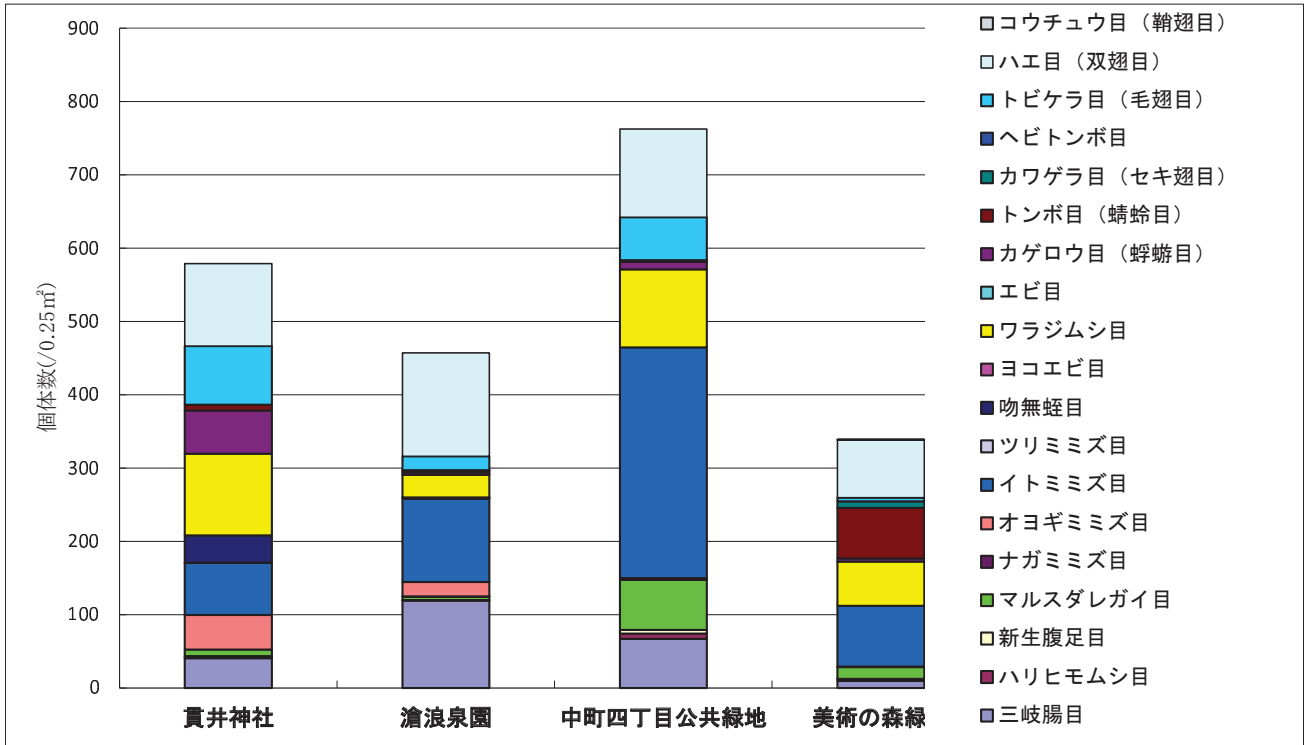


図 2-3 底生生物の分類群別個体数
※6月と12月の平均値

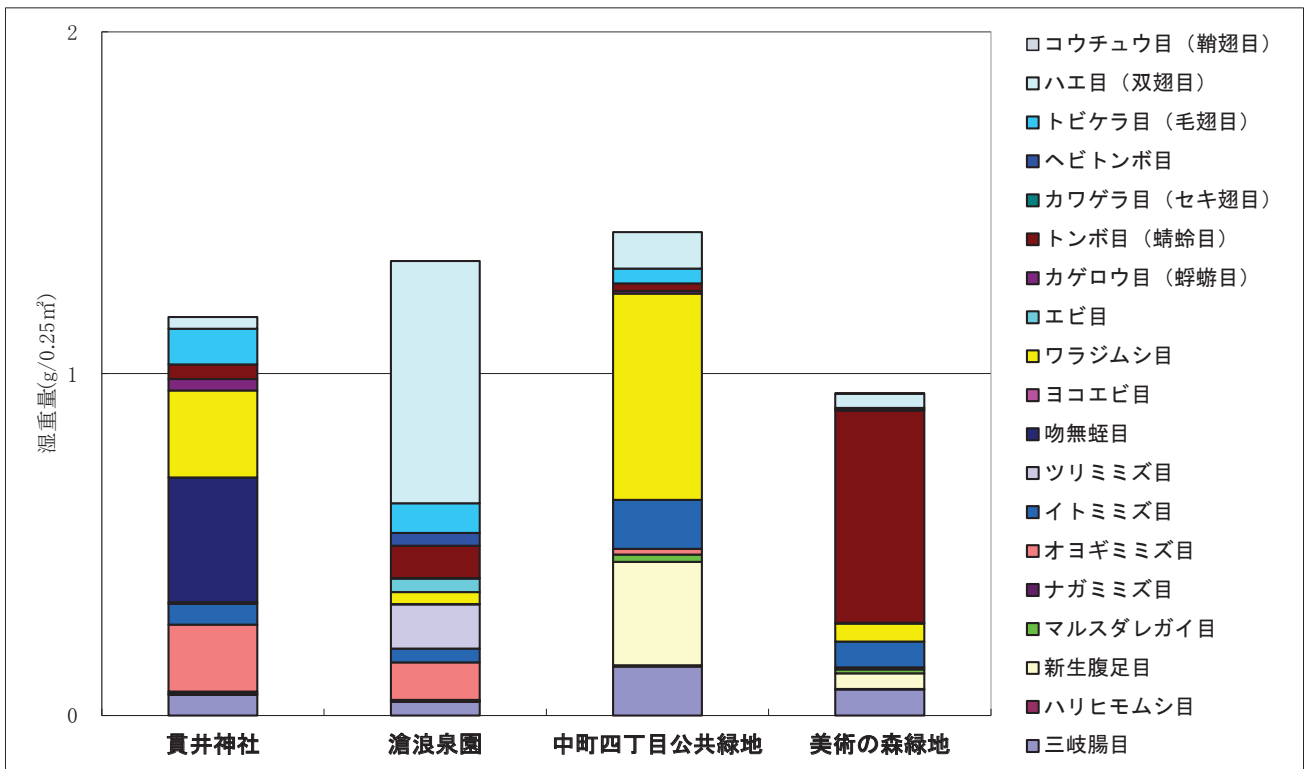


図 2-4 底生生物の分類群別湿潤重量
※6月と12月の平均値

「環境省 全国水生生物調査」の簡易水質調査法における水質階級及び指標種を表 2-11 に示す。

本調査では、水質階級Ⅰ・Ⅱに該当するカワゲラ類、ナガレトビケラ類、ブユ類、ウズムシ類、ゲンジボタルおよびカワニナの 6 種類が確認された。水質階級Ⅲの該当種はミズムシおよびヒル類と少なく、水質階級Ⅳに該当する種は確認されなかったことから、各調査地点は良好な水質が維持されていると考えられる。

表 2-11 水生生物による簡易水質調査法における水質階級と指標生物

水質階級	指標生物
水質階級Ⅰ きれいな水	カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ類、ブユ類、アミカ類、ウズムシ類、サワガニ
水質階級Ⅱ ややきれいな水	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ、スジエビ、ヤマトシジミ、イシマキガイ
水質階級Ⅲ きたない水	ミズムシ、ミズカマキリ、タイコウチ、ヒル類、タニシ類、イソコツブムシ、ニホンドロソコエビ
水質階級Ⅳ とてもきたない水	セスジユスリカ、チョウバエ、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

環境省 HP (<https://www.env.go.jp/press/files/jp/568.html>) の表を一部改変

※赤字は現地調査で確認された種を示す。

調査地点別の優占種を表 2-12 に示す。

全体にミズムシ(甲)、ナミウズムシ、ナミミズミズおよびユスリカ類が優占している地点が多かった。この他、オニヤンマ、カクツツトビケラ属等が優占している地点も見られた。

貫井神社の優占種はミズムシ(甲)、滄浪泉園の優占種はナミウズムシ、中町四丁目公共緑地の優占種は 6 月カクツツトビケラ属、12 月ナミミズミズ、美術の森の優占種は 6 月ナガスネユスリカ属、12 月オニヤンマであった。

表 2-12 底生生物の地点別優占種

優先階級	貫井神社		滄浪泉園		中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
優占1位	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	ナミウズムシ	ナミウズムシ	カクツツトビケラ属の一種	ナミミズミズ	ナガスネユスリカ属の一種	オニヤンマ
	139	84	156	82	80	270	64	118
優占2位	ナガスネユスリカ属の一種	トヨウグマガトビケラ	ナミミズミズ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	フクロイトミズ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)
	138	54	142	19	71	151	49	72
優占3位	シロハラコカゲロウ	オヨギミズ属の一種	ハモンユスリカ属の一種	オヨギミズ属の一種	ナミウズムシ	ミズムシ(甲)	マメシジミ属の一種	ミズミズ科の一種
	111	50	110	9	67	142	32	49

※上段は種類、下段は個体数を示す。

各調査地点の確認状況は以下のとおりである。

・貫井神社

貫井神社では6月に27種類、12月に21種類、合計35種類が確認された。本地点ではナミコガタシマトビケラ、ムナグロナガレトビケラ、ニンギョウトビケラ、トウヨウグマガトビケラ等のトビケラ目が多く確認された。

・滄浪泉園

滄浪泉園では6月に33種類、12月に17種類、合計40種類が確認された。本地点では、地下水生のコジマチカヨコエビ、ハラケナガミミズが確認された他、注目種に該当するヤマトクロスジヘビトンボが確認された。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では、6月に24種類、12月に22種類、合計29種類が確認された。本地点では、マメシジミ属、ミミズ類およびカクツツトビケラ属等が多く確認された。

・美術の森緑地

美術の森緑地では、6月に25種類、12月に21種類、合計35種類が確認された。本地点では、底生動物としては大型のオニヤンマが多く確認された。また、注目種のゲンジボタルが確認された。

2) 注目種

注目種の選定基準を表 2-13 に、外来種の選定基準を表 2-14 に、選定された注目種を表 2-15 に示す。

令和 4 年度調査により、東京都レッドリストの準絶滅危惧種 (NT) に該当するヤマトクロスジヘビトンボ、ゲンジボタルおよび情報不足 (DD) に該当するマメシジミ属の一種が確認された。

外来種に該当する種は確認されなかった。

表 2-13 注目種の選定基準

選定基準	
①	「環境省レッドリスト2020」(2020、環境省)における絶滅 (EX)、野生絶滅 (EW)、絶滅危惧 I A 類 (CR)、絶滅危惧 I B 類 (EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩)2020年版(2021、東京都環境局)」絶滅危惧 I A 類 (CR)、絶滅危惧 I B 類 (EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)、情報不足 (DD)

表 2-14 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004. 法律78)における特定外来生物、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表 2-15 注目種一覧

No.	科名	種名	選定基準	
			①	②
1	マメシジミ科	マメシジミ属の一種	-	情報不足DD
2	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	-	準絶滅危惧NT
3	ホタル科	ゲンジボタル	-	準絶滅危惧NT
合計 3科 3種			0	3

(3) 付着藻類

付着藻類調査結果一覧表を表 2-16 に示す。

表 2-16 湧水付着藻類調査結果一覧表

調査日: 令和4年6月14日、12月6日
調査方法: 定量採集 (5cm×5cm×1箇所)

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	貴井神社		滄浪泉園		中町4丁目公共緑地		美術の森緑地		重要種									
						6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	環境省RL2020	東京都RL2020本土部								
1	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	カロスリックス属の一種	<i>Calothrix</i> sp.*			2,400															
2			ユレモ科	リングビヤ属の一種	<i>Lyngbya</i> sp.*			1,600															
3		カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ属の数種	<i>Chamaesiphon</i> spp.			9,600															
4	紅藻綱	カクレイト目	ベニマダラ科	ダンスイベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>	166,000		67,200															
5		カワモズク目	カワモズク科	カワモズク科のシヤントランシア類	chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp.	83,800	203,000	4,300,000	41,700,000	22,200	105,000	800	1,600			準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)						
6	珪藻綱	中心目	メロシラ科	タルケイソウ属	<i>Melosira varians</i>		91	1,940															
7		羽状目	ディアトマ科	ハリケイソウ属	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>amphihynchus</i>	18,000																	
8	ニッチア科	ユーノチア科	イチモンジケイソウ属	イチモンジケイソウ属	<i>Eunotia bilunaris</i>			5,830															
9					<i>Eunotia biserialis</i>	3,280								2,080									
10					<i>Eunotia minor</i>	18,800	363				11,300			1,050	160	1,100							
11					<i>Eunotia praerupta</i>						1,940				480								
12					ナビクラ科	ニセクテビルケイソウ属	ニセクテビルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>			181		1,610			765		122					
13								サミダケイソウ属	<i>Brachysira irawanae</i>					5,830									
14								クサビケイソウ属	<i>Gomphonema inaequilongum</i>					17,500									
15								クサビケイソウ属	<i>Gomphonema subventricosum</i>					5,830	1,610								
16								フネケイソウ属	<i>Navicula contenta</i>										320	245			
17								フネケイソウ属	<i>Navicula minima</i>					1,940			58	1,050	1,280	736			
18					アクナンテス科	ジュウヅケイソウ属	ジュウヅケイソウ属	<i>Stauroneis kriegeri</i>								160							
19	<i>Achnanthyrium convergens</i>											10	96		245								
20	<i>Achnanthyrium exiguum</i>								192,000	21,000		14	382										
21	<i>Achnanthes inflata</i>												10										
22	<i>Planolothidium lanceolatum</i>	68,900	1,810	1,940				3,230	48	96	3,200	1,470											
23	<i>Planolothidium frequentissimum</i>	9,850		3,890				1,610	5	765	3,840	4,910											
24	<i>Achnanthyrium lapidosum</i>			1,940				9,690		478	320												
25	<i>Achnanthes oblongella</i>			68,100				21,000	120	4,110	5,920	1,220											
26	<i>Achnanthyrium minutissimum</i>	1,640		3,890					5		480												
27	<i>Achnanthes montana</i>			38,900				98,500	29	1,720	8,330	3,060											
28	<i>Achnanthes rupestris</i>			35,000				17,700	164	5,060	1,120	736											
29	<i>Achnanthyrium subhudsonis</i>	1,640		1,940				4,840		96													
30	<i>Achnanthyrium suchlandtii</i>			3,890				3,230		191													
31	<i>Cocconeis placentula</i>	49,200	17,300	3,890				1,610	492	573	2,720	11,900											
32	<i>Nubeia neglecta</i>								25,300	197,000	39	3,340	1,920	613									
33	ニッチア科	ハナハラケイソウ属	ハナハラケイソウ属	<i>Denticula kuetzingii</i>									480										
34				<i>Nitzschia dissipata</i>									160										
35				<i>Nitzschia incanspicua</i>							5												
36	緑藻綱	カエトフォラ目	カエトフォラ科	カエトフォラ科の一種	<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp.	1,600		72,000				3,200											
37	サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ科の一種	<i>Oedogonium</i> sp.				35,200															
種類数合計						11	6	26	16	14	16	19	13										
総細胞数 (cells/25cm ²)						422710	222745	4909490	42095540	23199	124772	36970	27957										
沈殿量 (ml/25cm ²)						0.4	0.5	2.0	3.5	0.6	0.6	0.3	1.1										

※ (*印)を付した値は系統体を計数した。

1) 種名、学名及び種の並び順等は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト[令和4年度版]」に従った。

2) 重要種欄の略称及び表中の記号は以下を示す。

環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト (蕨苔類、藻類、地衣類、菌類)(2020、環境省))」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧Ⅱ類、EN: 絶滅危惧Ⅲ類、VU: 絶滅危惧Ⅳ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群

東京都RL:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部)2020年版(2021、東京都)」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧Ⅱ類、EN: 絶滅危惧Ⅲ類、VU: 絶滅危惧Ⅳ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、留意: 留意種

1) 確認状況

令和4年度調査における、各地点の分類群別種類数を表2-17に、分類群別細胞数を図2-5に、優占種を表2-18に示す。

令和4年度調査により、6月に36種類、12月に20種類、合計4綱8目13科37種類の付着藻類が確認された。分類群別に見ると珪藻綱が30種類と最も多く、その他の藍藻綱、紅藻綱および緑藻綱は2～3種類であった。

調査地点別の種類数は、貫井神社13種類、滄浪泉園28種類、中町四丁目公共緑地19種類、美術の森緑地21種類であった。

藍藻綱3種類と緑藻綱のサヤミドロ属は滄浪泉園でのみ確認された。

珪藻類のほとんどが弱汚濁耐性種で占められており、調査地点の水質は良好な状態が保たれているものと考えられた。

表2-17 付着藻類の調査地点別確認種類数

綱名	貫井神社	滄浪泉園	中町四丁目公共緑地	美術の森緑地	合計
藍藻綱	0	3	0	0	3
紅藻綱	2	2	1	1	2
珪藻綱	10	21	18	19	30
緑藻綱	1	2	0	1	2
合計	13	28	19	21	37

各地点の年平均細胞数は、貫井神社32万/25cm²、滄浪泉園2350万/25cm²、中町四丁目公共緑地7万/25cm²、美術の森緑地3万/25cm²で、貫井神社、滄浪泉園および中町四丁目公共緑地では紅藻綱が最も多かったが、美術の森緑地では珪藻綱が多かった。

全体にカワモズク科のシャントランシア期の細胞数が多かった。特に、滄浪泉園では本種の細胞数が突出して多く確認された。

カワモズクは湧水地点の水路などを好むとされており、調査地点の環境が本種の生育に適しているものと考えられる。

なお、カワモズク科のシャントランシア期は、主にカワモズク類の生活史の一時期に見られる体のつくりを指すもので、形態的に種を分ける特徴が乏しいが、比較的よく見られるため便宜的に呼称されている。糸状の胞子体で無性生殖を行い、石等に付着して生育している。

この他、重要種であるタンスイベニマダラが貫井神社で優占していたほか、美術の森緑地では珪藻綱のツメケイソウ属、コメツブケイソウ属等が優占していた。

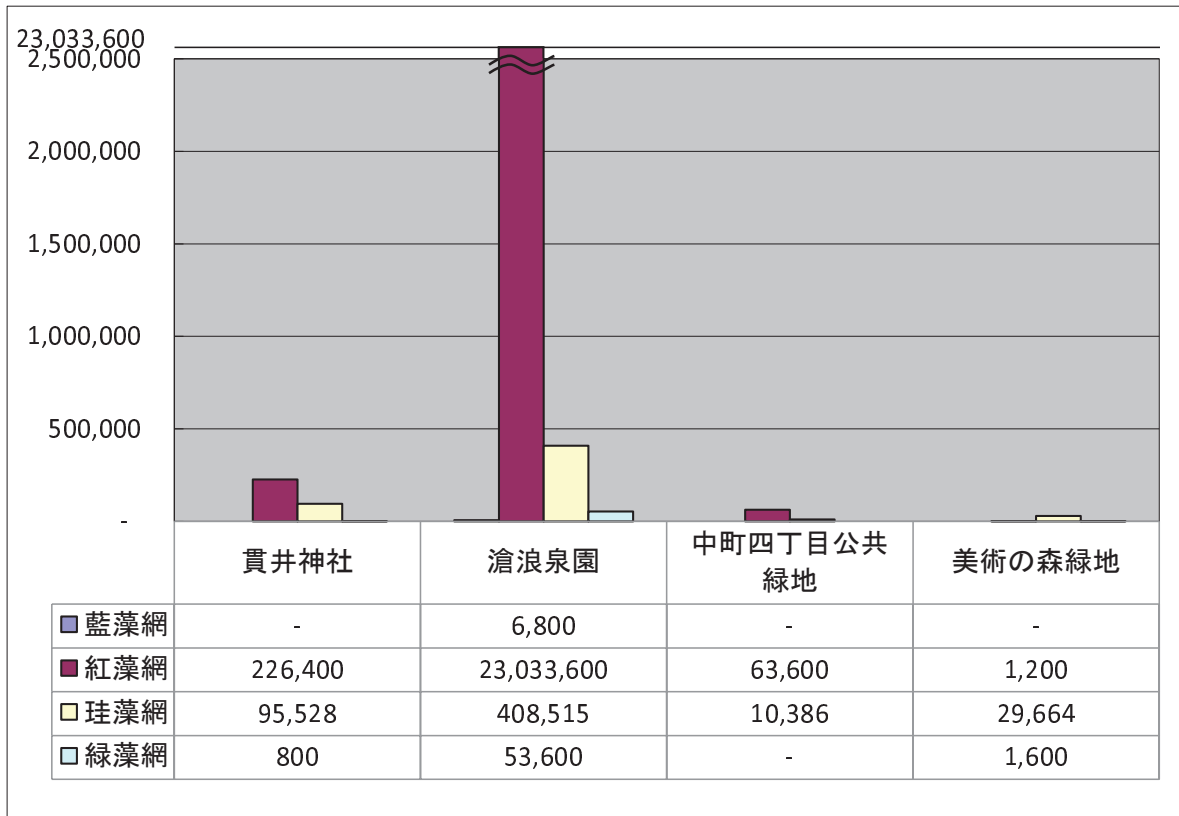


図 2-5 付着藻類の分別細胞数

※ 6月と12月の平均値

表 2-17 付着藻類の地点別優占種

優占階級		貫井神社	滄浪泉園	中町四丁目公共緑地	美術の森緑地
優占1位	6月	紅藻網 タンスイベニマダラ <i>Hildenbrandia rivularis</i> 166,000	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 4,300,000	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 22,200	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes montana</i> 8,330
	12月	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 203,000	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 41,700,000	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 105,000	珪藻網 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i> 11,900
優占2位	6月	紅藻網 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of <i>Batrachospermaceae</i> gen. sp. 83,800	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnantheidium exiguum</i> 192,000	珪藻網 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i> 492	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes lutheri</i> 5,920
	12月	珪藻網 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i> 17,300	珪藻網 スジカクレケイソウ属 <i>Nupela</i> aff. <i>Neglecta</i> 197,000	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes rupestoides</i> 5,060	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes lanceolata</i> var. <i>dubia</i> 4,910
優占3位	6月	珪藻網 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i> 68,900	緑藻網 カエトフォラ科の一種 <i>Chaetophoracheae</i> gen. sp. 72,000	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes rupestoides</i> 164	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes lanceolata</i> var. <i>dubia</i> 3,840
	12月	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes lanceolata</i> 1,810	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes montana</i> 98,500	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes lutheri</i> 4,110	珪藻網 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes montana</i> 3,060

※上段は種類名、下段は細胞数/25cm²を示す。

各調査地点の確認状況は以下の通りである。

・貫井神社

貫井神社では6月に11種類、12月に6種類、合計13種類が確認された。

優占種は紅藻綱のタンスイベニマダラ、カワモズク科のシャントランシア期で上位が占められており、その他に珪藻綱のコメツブケイソウ属、ツメケイソウ属が多く確認された。

・滄浪泉園

滄浪泉園では、6月に26種類、12月に16種類、合計27種類が確認された。

優占種は紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、細胞数が突出して多かった。次いで珪藻綱のツメケイソウ属、スジカクレケイソウ属、緑藻綱のカエトフォラ科が確認された。藍藻綱のコンボウランソウ属等3種類および緑藻綱のサヤミドロ属は夏季に本地点でのみ確認された。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では、6月に14種類、12月に16種類、合計19種類が確認された。

優占種は紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、次いで珪藻綱のツメケイソウ属、コメツブケイソウ属が多く確認された。

・美術の森緑地

美術の森緑地では、6月に19種類、12月に13種類、合計21種類が確認された。

優占種は珪藻綱で占められ、コメツブケイソウ属およびツメケイソウ属が確認された。他の3地点で優占していたカワモズク科のシャントランシア期は細胞数が少なかった。

1) 注目種・外来種

注目種の選定基準を表 2-19 に、外来種の選定基準を表 2-20 に、選定された注目種を表 2-21 に示す。

令和 4 年度調査により、環境省レッドリストおよび東京都レッドリストの準絶滅危惧種 (NT) に該当するタンスイベニマダラが確認された。

外来種に該当する種は確認されなかった。

表 2-19 注目種の選定基準

選定基準	
①	「環境省レッドリスト2020」(2020、環境省)における絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩)2020年版(2021、東京都環境局)」絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表 2-20 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004.法律78)における、特定外来、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表 2-21 注目種一覧

No.	綱名	種名	選定基準	
			①	②
1	紅藻綱	タンスイベニマダラ	準絶滅危惧NT	準絶滅危惧NT
合計 1綱 1種			1	1

資料編

調査地点位置図

井戸水調査	資-1
野川調査	資-2
湧水調査	資-3

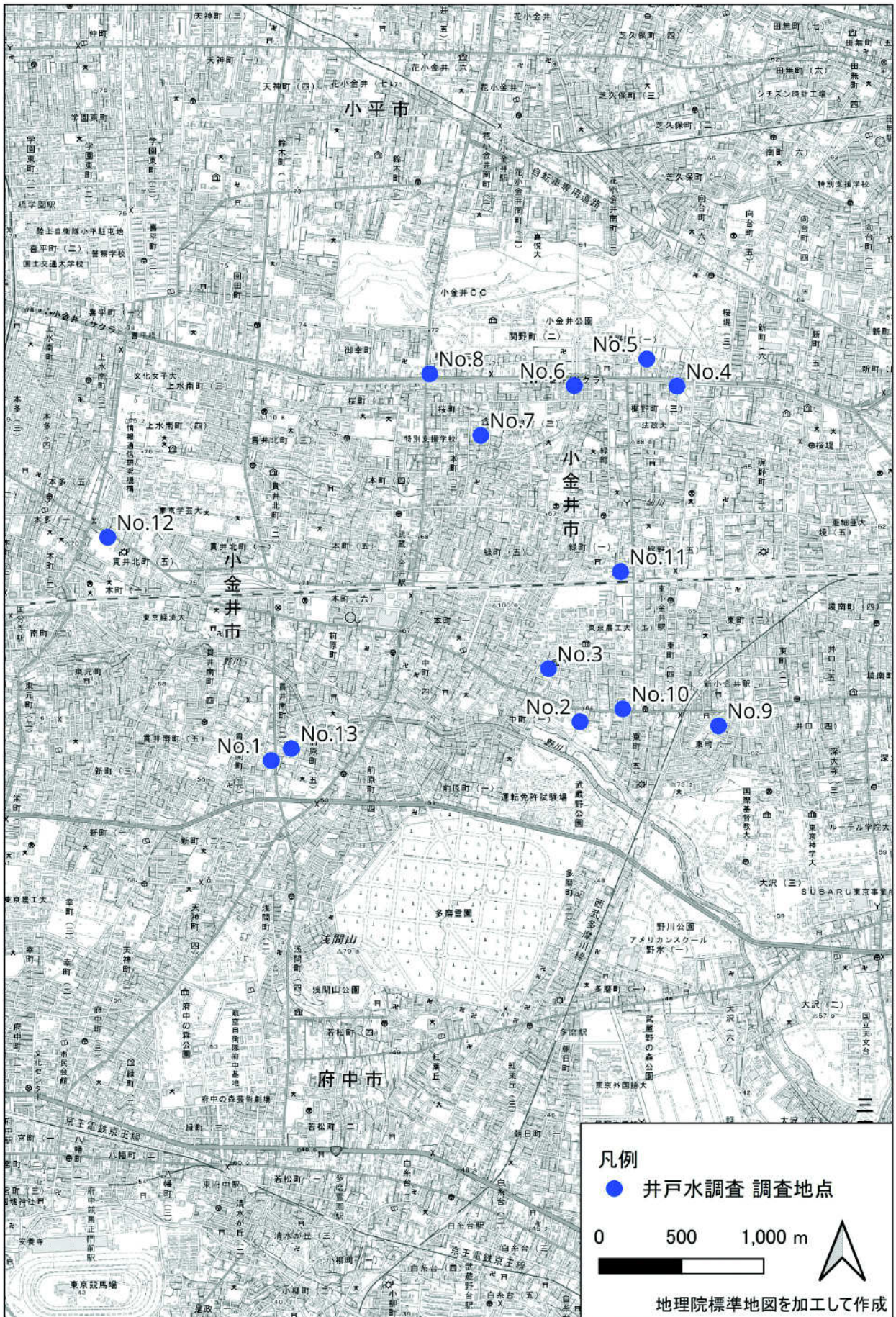
調査状況写真

野川調査	資-4
湧水調査	資-6

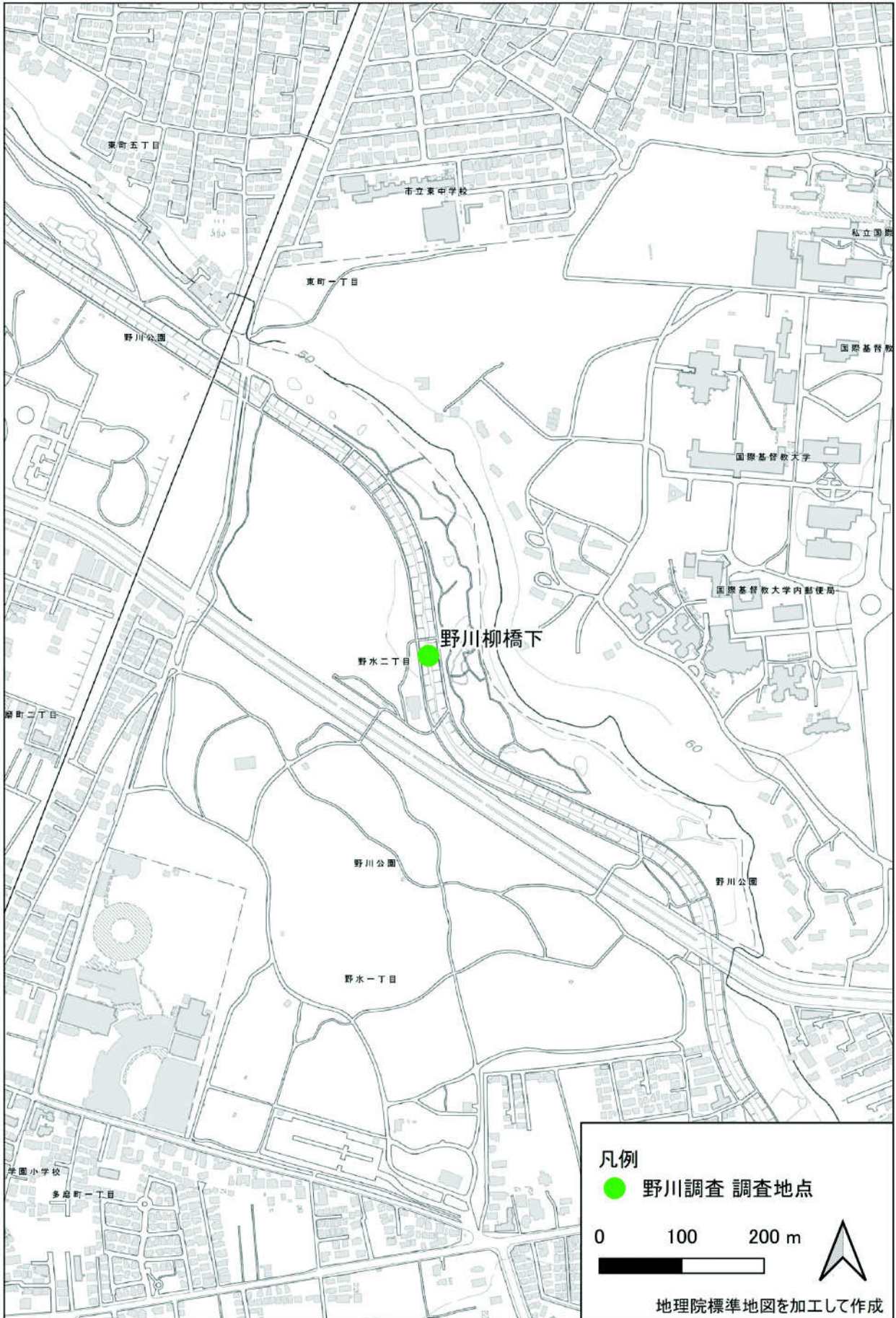
※井戸水調査は主に個人宅で行っているため、調査状況写真は掲載しない。

注目種写真

確認された注目種	資-22
----------------	------



資-1



資-2



資-3



第1回 野川調査
令和4年6月2日
調査地点状況



第1回 野川調査
令和4年6月2日
採水作業



第1回 野川調査
令和4年6月2日
流量調査



第1回 野川調査
令和4年6月2日
水質調査分析試料



第2回 野川調査
 令和4年11月10日
 調査地点状況



第2回野川調査
 令和4年11月10日
 採水作業



第2回野川調査
 令和4年11月10日
 流量調査



第2回野川調査
 令和4年11月10日
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 遠景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 近景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 流量調査



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 付着藻類採取



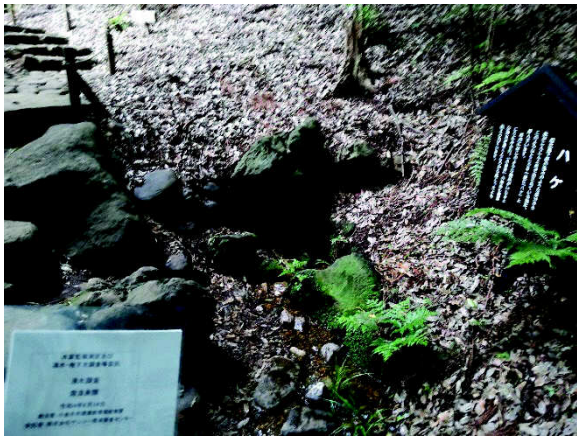
第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 貫井神社
 底生生物・付着藻類分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 遠景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 近景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 採水作業



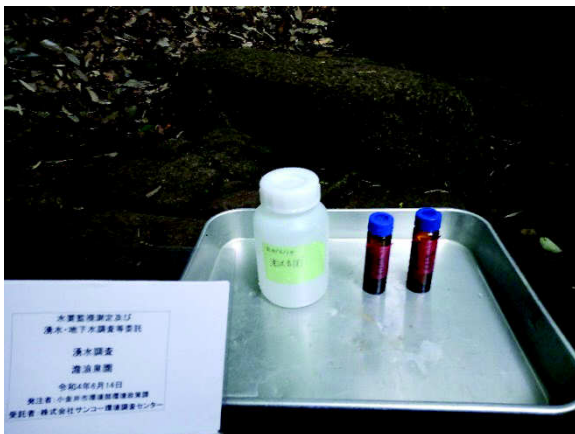
第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 流量調査



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 付着藻類採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 滄浪泉園
 底生生物・付着藻類分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 遠景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 近景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 流量調査



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 付着藻類採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物・付着藻類分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 遠景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 近景



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 採水作業



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 流量調査



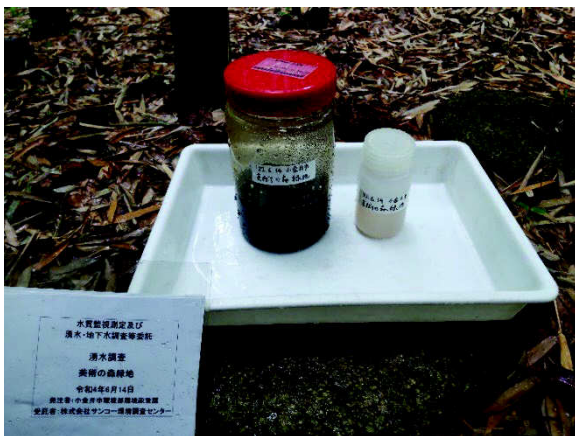
第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 底生生物採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 付着藻類採取



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 水質調査分析試料



第1回 湧水調査
 令和4年6月14日
 美術の森
 底生生物・付着藻類分析試料



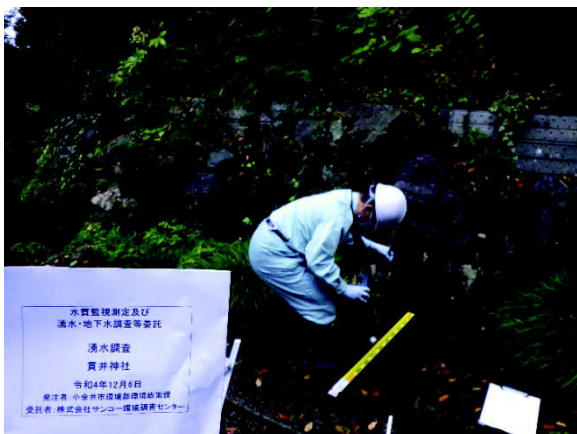
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 遠景



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 近景



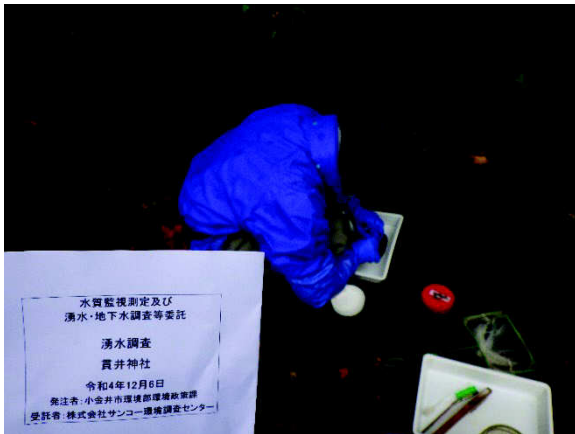
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 採水作業



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 流量調査



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 付着藻類採取



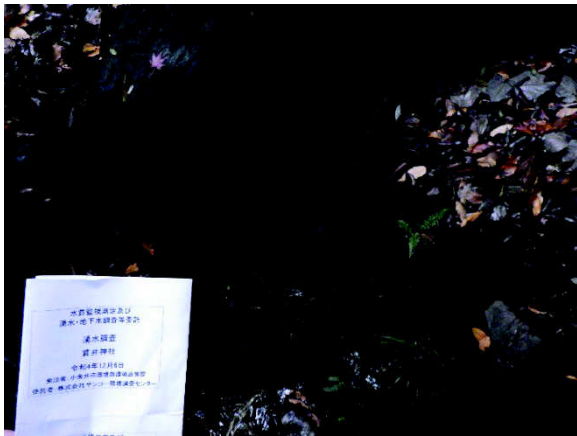
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 水質調査分析試料



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 貫井神社
 底生生物・付着藻類分析試料



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 遠景



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 近景



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 採水作業



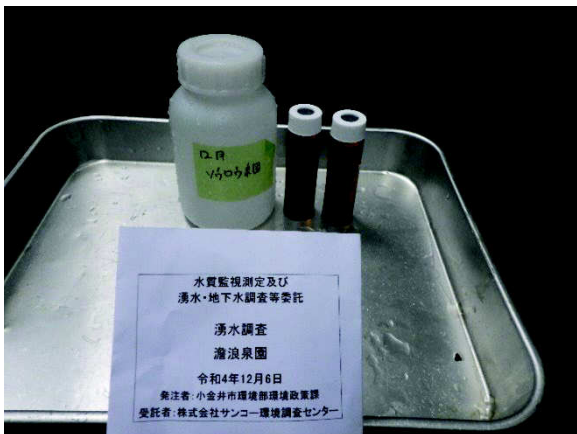
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 流量調査



第2回湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 底生生物採取



第2回湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 付着藻類採取



第2回湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 水質調査分析試料



第2回湧水調査
 令和4年12月6日
 滄浪泉園
 底生生物・付着藻類分析試料



第2回 湧水調査
令和4年12月6日
中町四丁目公共緑地
遠景



第2回 湧水調査
令和4年12月6日
中町四丁目公共緑地
近景



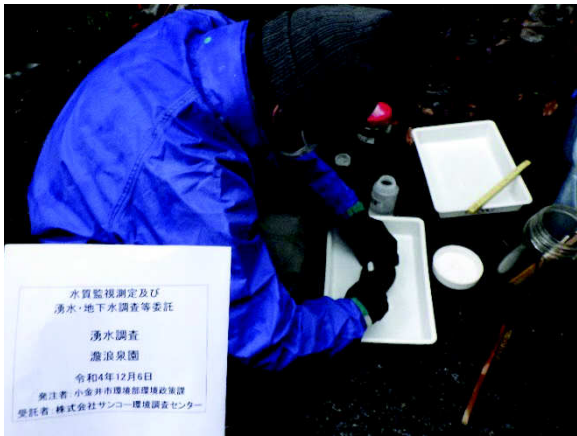
第2回 湧水調査
令和4年12月6日
中町四丁目公共緑地
採水作業



第2回 湧水調査
令和4年12月6日
中町四丁目公共緑地
流量調査



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 中町四丁目公共緑地
 付着藻類採取



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 中町四丁目公共緑地
 水質調査分析試料



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 中町四丁目公共緑地
 底生生物・付着藻類分析試料



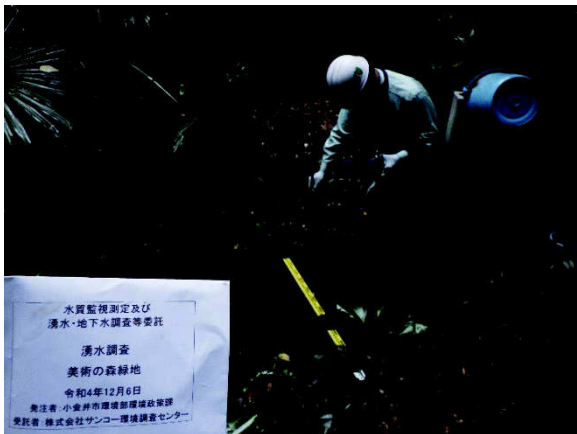
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 遠景



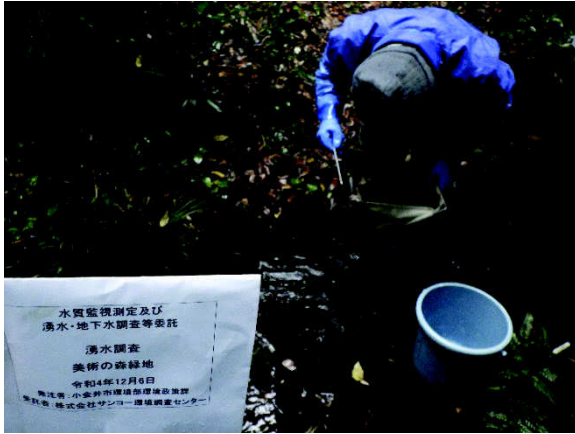
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 近景



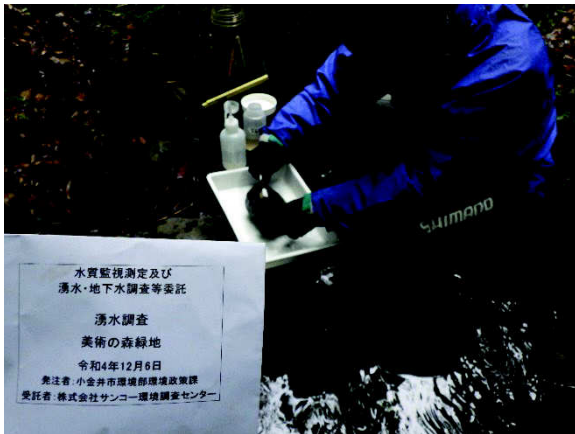
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 採水作業



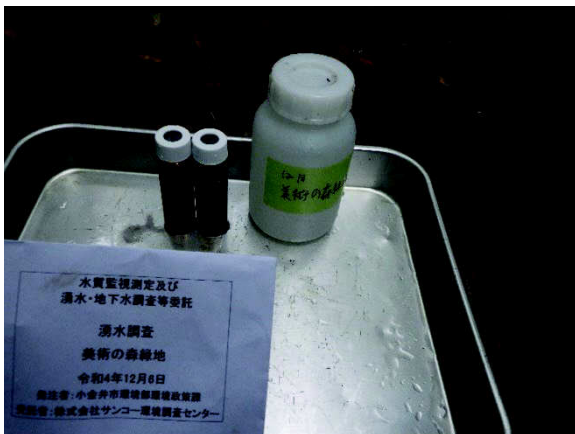
第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 流量調査



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 底生生物採取



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 付着藻類採取



第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 水質調査分析試料

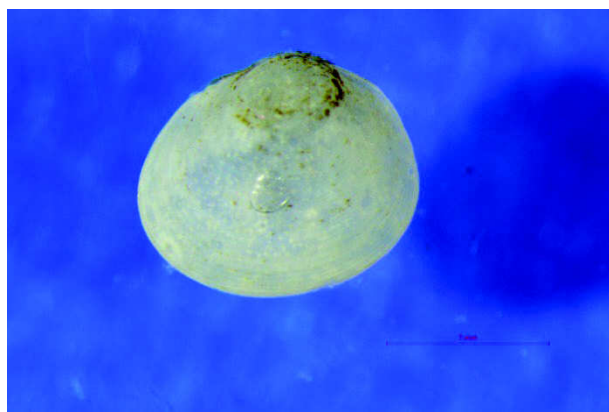


第2回 湧水調査
 令和4年12月6日
 美術の森
 底生生物・付着藻類分析試料

確認された注目種



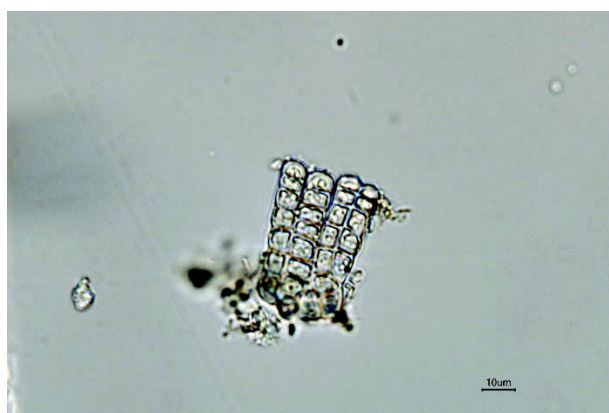
ゲンジボタル



マメシジミ属の一種



ヤマトクロスジヘビトンボ



タンスイベニマダラ

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託
地下水位測定

報 告 書

令和 4 年度版
小 金 井 市

目次

1. 業務概要	
1.1 業務件名	1
1.2 契約番号	1
1.3 業務目的	1
1.4 調査場所	1
2. 調査内容	
2.1 業務件名	2
2.2 契約番号	3
3. 調査結果	
3.1 地下水位調査結果	4
3.2 調査日	4
4. 調査結果	
4.1 水位変動について	18

1. 業務概要

1.1 業務件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定

1.2 契約番号

4 第 1167-0 号

1.3 業務目的

地下水位の状況を測定する。

1.4 調査場所

小金井市内井戸 11 か所 (4 月から 6 月は 12 か所)

井戸水調査No. のあるものは水質測定を実施した。

中間処理場は解体工事のため、令和 4 年 6 月までの測定となった。

表 1. 調査場所

No.	測定地点	住所	井戸水調査No.
1	個人宅	東町1	9
2	個人宅	緑町1	11
3	中町二丁目第3児童遊園	中町2-1	10
4	はけの森緑地2	中町4-12	-
5	前原やなぎ公園	前原町1-12	-
6	緑中央通り	本町1-14	-
7	特別支援学校	桜町2-1	-
8-1	中間処理場	貫井北町1-8	-
8-2	小金井第四小学校	貫井南町3-9-1	-
9	個人宅	貫井北町3	-
10	個人宅	貫井北町5	12
11	かきの木公園	貫井南町2-3	-

2. 調査内容

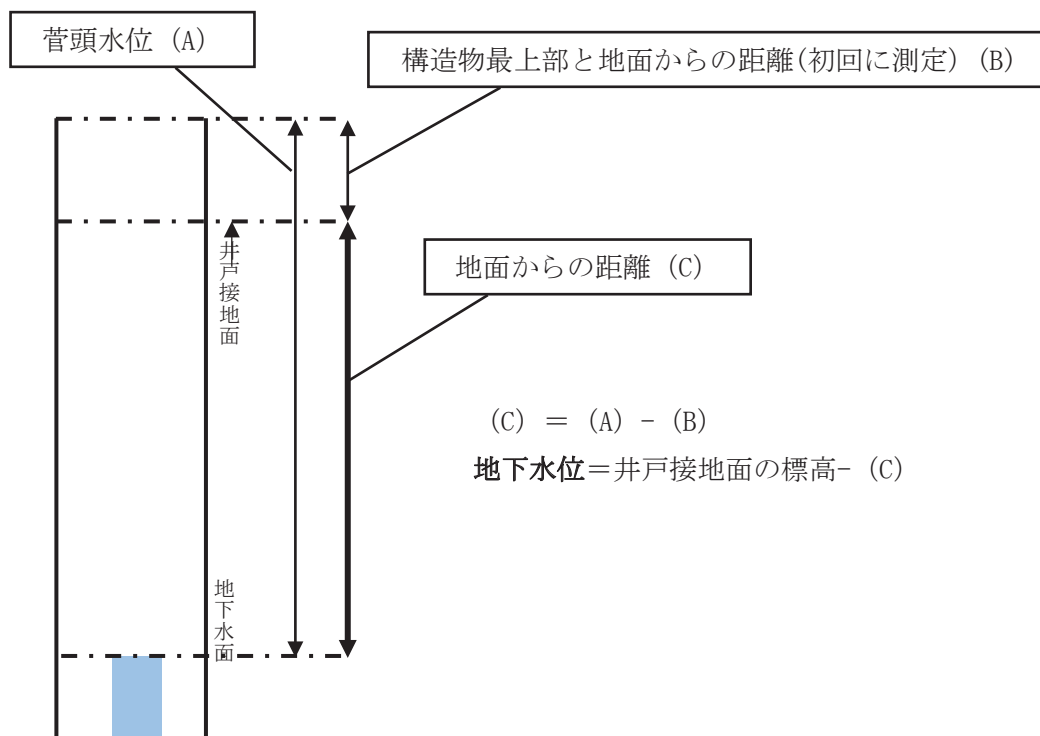
2.1 水位測定方法

管 頭 水 位：現場で測定する、井戸構造物最上部(管頭) から水面までの距離(m)…(A)

井戸接地面の標高：国土地理院W e bサイトを参照。海水面 (T. P.) からの高さ (m)

地面からの距離：計算式(C)

地 下 水 位：本報告書に掲載する値 (m)

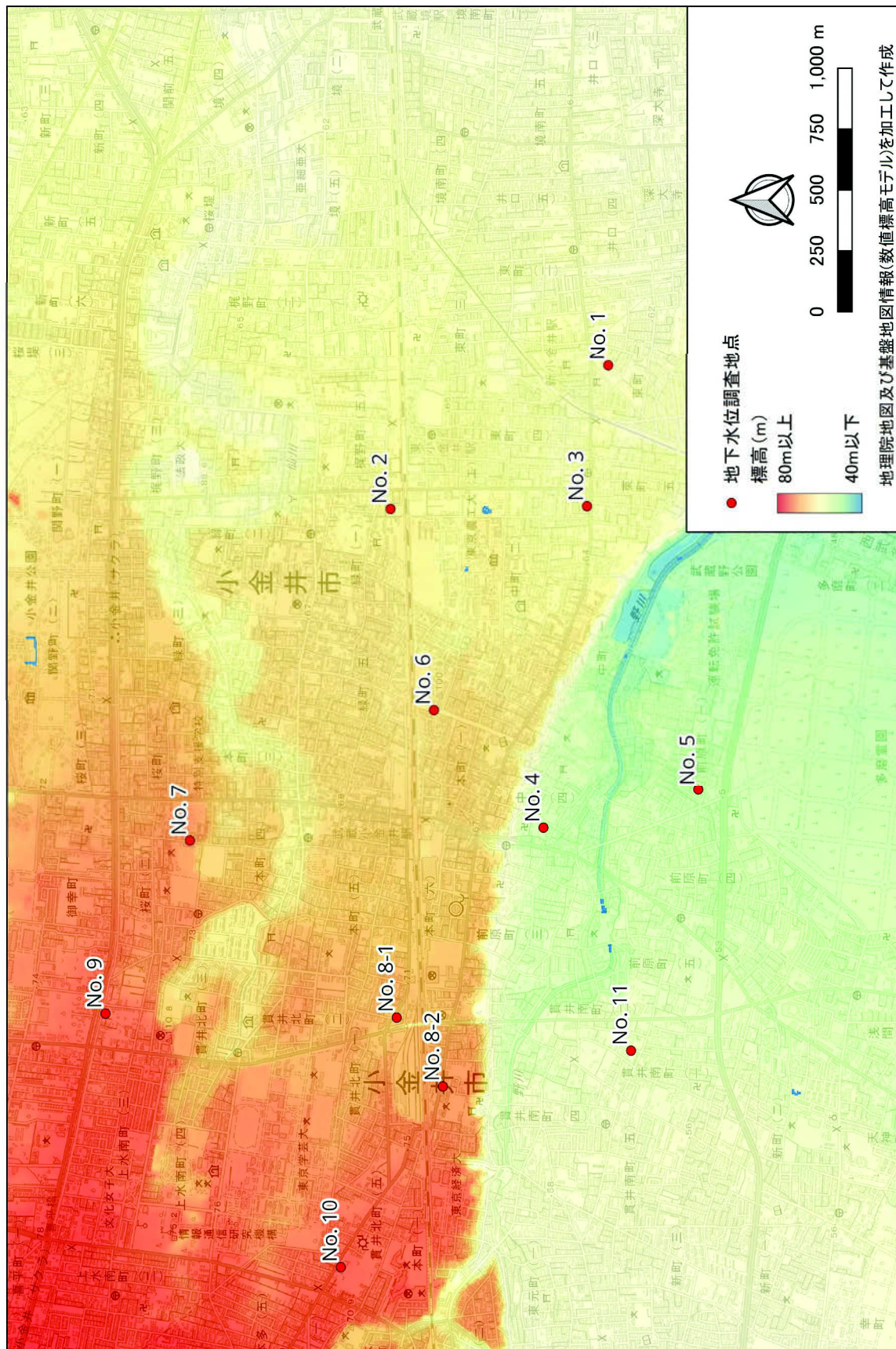


標高参照元：国土地理院 GSI Maps

<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697979/139.512291/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

2.2 調査位置図

図1. 調査位置図



3. 調査結果

3.1 地下水位調査結果

次ページ以降に測定結果をまとめた。

図 2-----表 1 のグラフ

表 2-----地下水位と降水、及び水位の変動

図 3-----降雨期、渇水期の変動係数相関図

表 2 の変動係数は $\frac{\text{標準偏差}}{\text{平均値}}$ である変動係数は、基準となる平均水位が各地点で異なるため、より正確に水位変動を比較するために導入した。

変動係数が大きい=水位変動が大きいといえる。また、4月から10月までの降水量が比較的多い期間を降雨期、降水量の少ない11月から3月までを渇水期として季節による変動係数の比較を行った。

3.2 調査日

	気象イベント	
2022年4月27日		
2022年5月23日	梅雨入り	6月6日ごろ
2022年6月24日	梅雨明け	6月27日ごろ
2022年7月25日		
2022年8月25日	台風4号	7月6日前後
2022年9月27日	台風8号	8月13日前後
2022年10月24日	台風14号	9月20日前後
2022年11月28日	台風15号	9月24日前後
2022年12月23日		
2023年1月23日		
2023年2月27日		
2023年3月22日		

図2-1. 令和4年度 地下水位の変動

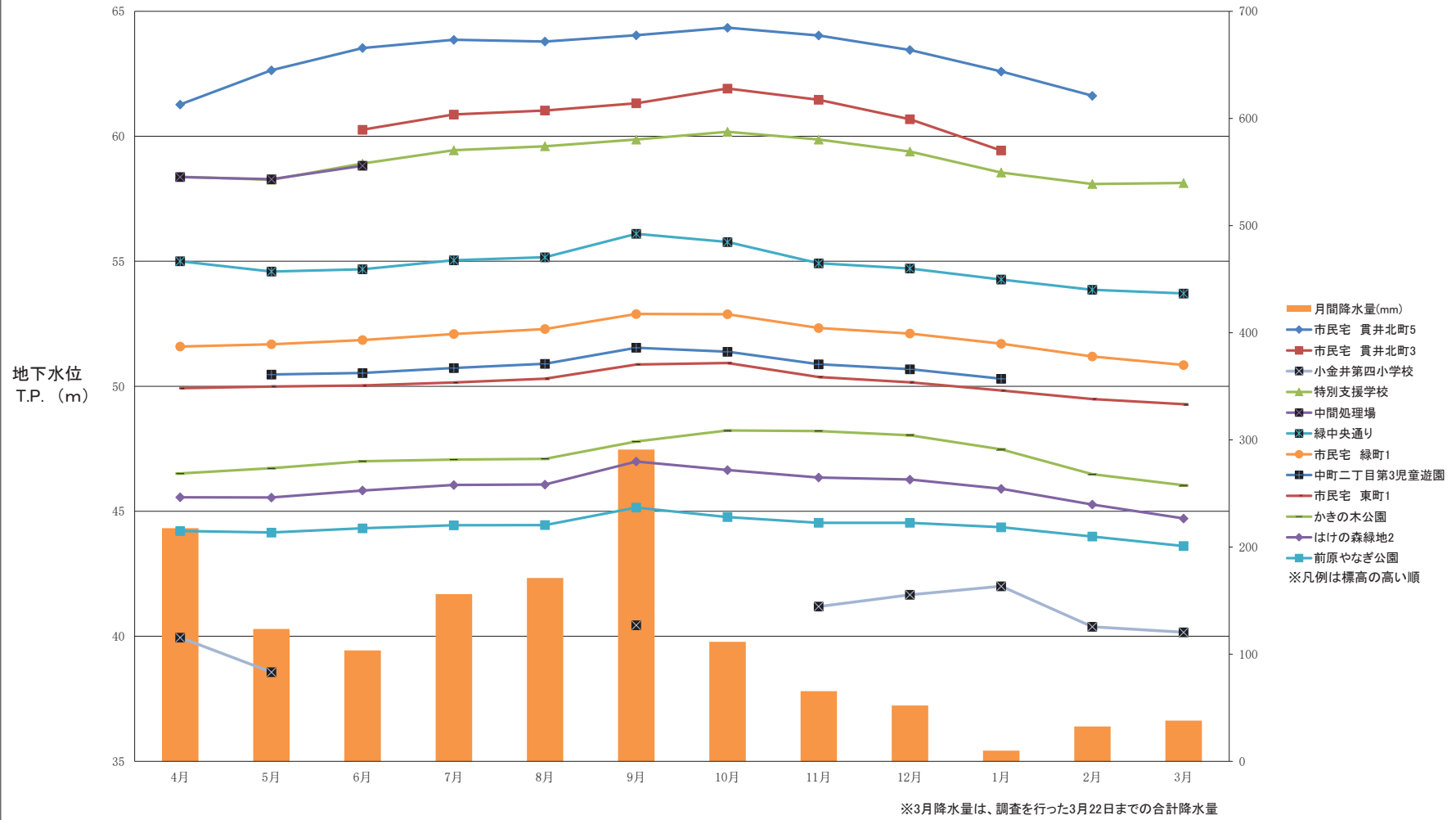


表2-1-1. 令和4年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)	
はげ上	10	個人宅 貫井北町5	61.3	62.64	63.53	63.86	63.79	64.04	64.34	64.03	63.45	62.59	61.62	-	75.3
	9	個人宅 貫井北町3	-	-	60.26	60.87	61.03	61.32	61.91	61.46	60.68	59.43	-	-	74.5
	8-2	小金井第四小学校	39.95	38.57	-	-	-	40.44	-	41.19	41.66	42.00	40.38	40.16	72.4
	7	特別支援学校	58.38	58.26	58.91	59.44	59.60	59.87	60.18	59.87	59.39	58.55	58.09	58.13	71.7
	8-1	中間処理場	58.37	58.28	58.82	-	-	工事に伴い令和4年度調査は4月から6月の間のみ					-	-	70.0
	6	緑中央通り	55.00	54.59	54.68	55.04	55.16	56.10	55.77	54.92	54.71	54.27	53.86	53.71	67.0
	2	個人宅 緑町1	51.59	51.68	51.85	52.09	52.29	52.89	52.88	52.33	52.11	51.70	51.19	50.85	65.3
	3	中町二丁目第3児童遊園	-	50.47	50.53	50.73	50.90	51.54	51.38	50.88	50.68	50.30	-	-	63.7
	1	個人宅 東町1	49.92	49.99	50.03	50.15	50.30	50.87	50.93	50.37	50.16	49.83	49.49	49.28	62.5
はげ下	11	かきの木公園	46.51	46.72	47.00	47.07	47.10	47.79	48.23	48.21	48.04	47.48	46.48	46.04	54.9
	4	はげの森緑地2	45.56	45.55	45.83	46.05	46.07	46.99	46.65	46.35	46.27	45.90	45.27	44.71	51.2
	5	前原やなぎ公園	44.21	44.15	44.32	44.44	44.45	45.15	44.77	44.54	44.54	44.36	43.99	43.61	50.9
月間降水量(mm)		217.5	123.5	103.5	156	171	291	111.5	65.5	52	10	32.5	38		

表中、 オレンジは最高水位、および最多降水量
 緑は最低水位、及び最小降水量

- 水位欠測

降水量は基本的に気象庁府中観測所の測定値を参照測定月1日から月末までの総降水量を記載

台風4号 7月6日 前後

台風8号 8月13日 前後

台風14号 9月20日 前後

台風15号 9月24日 前後

3月降水量は、地下水位測定を実施した3月22日までの合計降水量

図2-2. 令和3年度 地下水位の変動

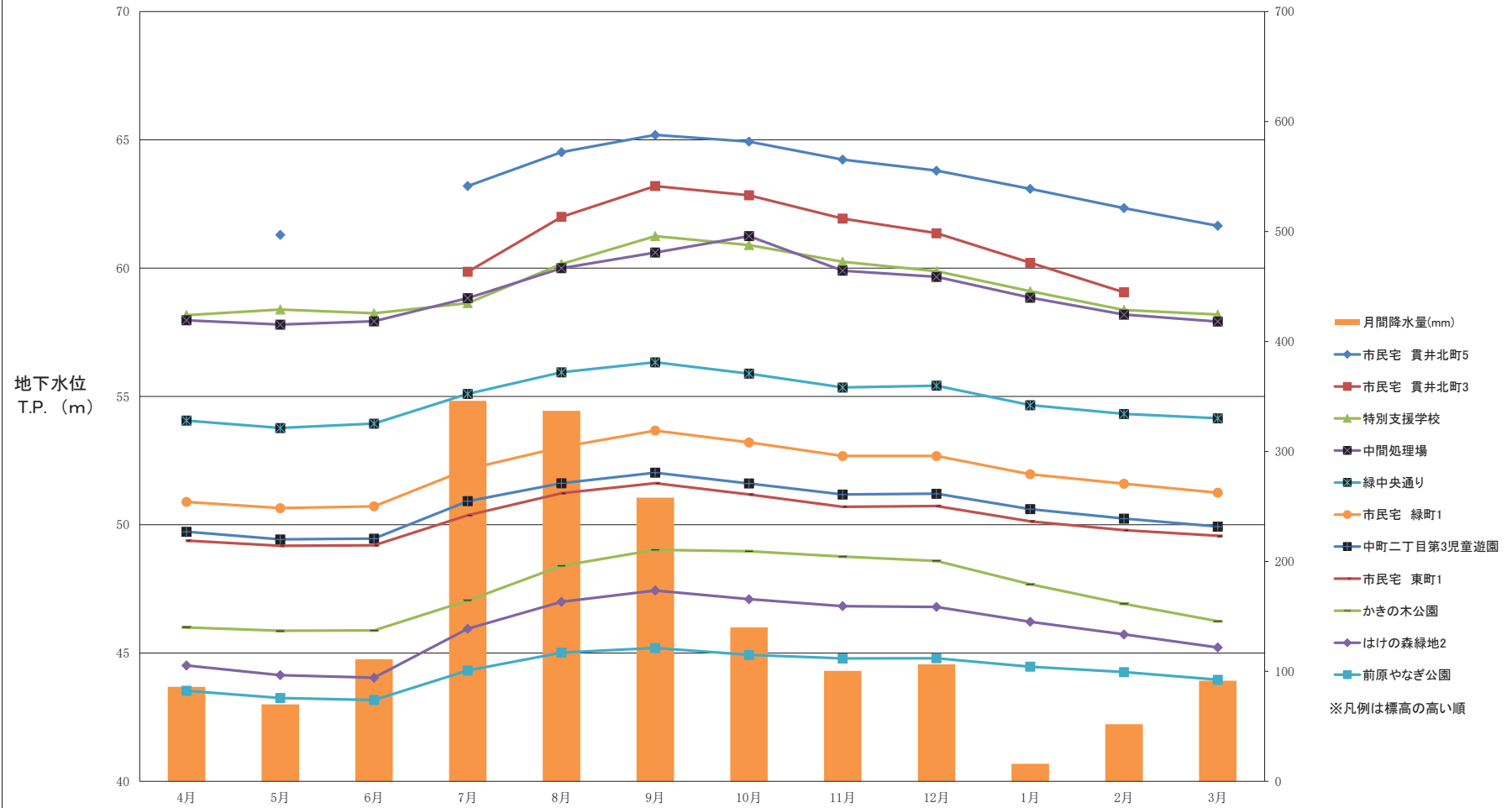


表2-2-1. 令和3年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	-	61.30	-	63.20	64.52	65.19	64.93	64.23	63.80	63.09	62.34	61.65	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	-	-	-	59.86	62.00	63.20	62.84	61.93	61.36	60.21	59.06	-	74.5
	7 特別支援学校	58.17	58.39	58.24	58.64	60.16	61.25	60.90	60.25	59.88	59.10	58.37	58.19	71.7
	8 中間処理場	57.97	57.80	57.93	58.83	60.00	60.61	61.25	59.90	59.66	58.85	58.19	57.92	70.0
	6 緑中央通り	54.06	53.77	53.94	55.10	55.94	56.33	55.89	55.35	55.42	54.66	54.32	54.15	67.0
	2 個人宅 緑町1	50.89	50.65	50.72	52.17	53.03	53.67	53.21	52.68	52.68	51.97	51.60	51.25	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園	49.73	49.43	49.46	50.92	51.62	52.03	51.61	51.18	51.21	50.61	50.24	49.93	63.7
	1 個人宅 東町1	49.38	49.18	49.20	50.37	51.23	51.62	51.18	50.70	50.73	50.13	49.79	49.57	62.5
はげ下	11 かきの木公園	46.00	45.87	45.88	47.05	48.40	49.02	48.97	48.76	48.59	47.68	46.92	46.24	54.9
	4 はげの森緑地2	44.52	44.14	44.04	45.95	47.00	47.44	47.10	46.83	46.80	46.22	45.73	45.22	51.2
	5 前原やなぎ公園	43.53	43.25	43.17	44.32	45.02	45.20	44.93	44.79	44.80	44.47	44.26	43.96	50.9
月間降水量(mm)		86.0	70	111	346	337	258	140	100.5	106.5	16	52	91.5	

表中、 オレンジは最高水位、および最多降水量

緑は最低水位、及び最小降水量

- 水位欠測

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照
 測定月1日から月末までの総降水量を記載
 台風8号: 7/28前後
 停滞前線: 8/13~8/15頃
 台風14号: 9/18前後

図2-3. 令和2年度 地下水位の変動

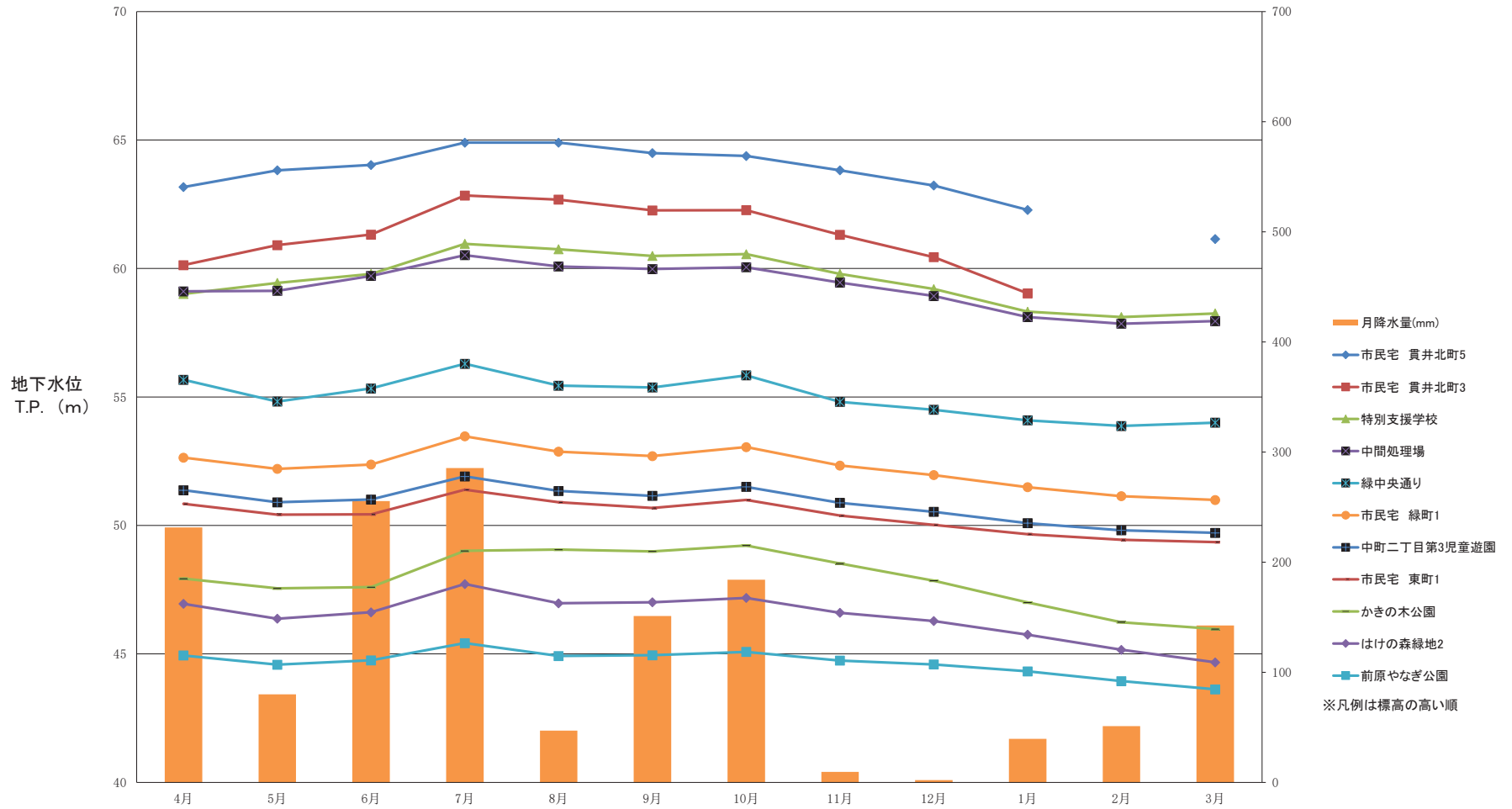


表2-3-1. 令和2年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.17	63.82	64.03	64.90	64.90	64.49	64.38	63.82	63.23	62.28	-	61.15	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	60.13	60.91	61.32	62.84	62.68	62.26	62.27	61.31	60.44	59.03	-	-	74.5
	7 特別支援学校	59.01	59.44	59.79	60.96	60.75	60.49	60.56	59.79	59.20	58.32	58.11	58.25	71.7
	8 中間処理場	59.11	59.13	59.71	60.52	60.08	59.98	60.05	59.45	58.93	58.11	57.85	57.95	70.0
	6 緑中央通り	55.67	54.82	55.33	56.29	55.44	55.37	55.84	54.81	54.50	54.09	53.87	54.00	67.0
	2 個人宅 緑町1	52.64	52.20	52.37	53.47	52.87	52.70	53.05	52.33	51.96	51.49	51.14	50.99	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園	51.37	50.90	51.01	51.91	51.34	51.15	51.50	50.88	50.53	50.09	49.81	49.71	63.7
	1 個人宅 東町1	50.84	50.42	50.43	51.39	50.90	50.68	50.99	50.38	50.02	49.66	49.44	49.35	62.5
はけ下	11 かきの木公園	47.93	47.55	47.60	49.01	49.06	48.99	49.22	48.52	47.85	47.00	46.23	45.97	54.9
	4 はけの森緑地2	46.95	46.37	46.62	47.72	46.97	47.01	47.18	46.60	46.28	45.75	45.16	44.67	51.2
	5 前原やなぎ公園	44.94	44.58	44.75	45.42	44.92	44.95	45.08	44.74	44.59	44.32	43.94	43.62	50.9
月間降水量(mm)		231.5	80	255.5	285.5	47	151	184	9.5	2	39.5	51	142.5	

表中、 オレンジは最高水位、および最多降水量
 緑は最低水位、及び最小降水量
 降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照
 測定月1日から月末までの総降水量を記載
 台風10号:9/5前後
 台風14号:10/9前後

- 水位欠測

表2-1-2. 令和4年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	63.20	64.34	61.27	3.07	1.03	0.016
	9 個人宅 貫井北町3	60.87	61.91	59.43	2.48	0.77	0.013
	8-2 小金井第四小学校	40.54	42.00	38.57	3.43	1.08	0.027
	7 特別支援学校	59.06	60.18	58.09	2.09	0.76	0.013
	8-1 中間処理場	58.49	58.82	58.28			
	6 緑中央通り	54.82	56.10	53.71	2.39	0.69	0.013
	2 個人宅 緑町1	51.95	52.89	50.85	2.04	0.61	0.012
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.82	51.54	50.30	1.24	0.41	0.008
1 個人宅 東町1	50.11	50.93	49.28	1.65	0.48	0.010	
はげ下	11 かきの木公園	47.22	48.23	46.04	2.19	0.73	0.015
	4 はげの森緑地2	45.93	46.99	44.71	2.28	0.62	0.013
	5 前原やなぎ公園	44.38	45.15	43.61	1.54	0.39	0.009

			変動係数平均 4~10月	水位の変動係数 4~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差 (m) 4~10月	水位の標準偏差 (m) 11~3月
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	0.010	0.010	0.0168	0.012	0.0167	1.06	1.05
	9 個人宅 貫井北町3			0.0099		0.0169	0.61	1.02
	8-2 小金井第四小学校			0.0245		0.0194	0.97	0.80
	7 特別支援学校			0.0124		0.0135	0.74	0.79
	8-1 中間処理場			0.0049			0.29	
	6 緑中央通り			0.0100		0.0096	0.55	0.52
	2 個人宅 緑町1			0.0103		0.0120	0.54	0.62
	3 中町二丁目第3児童遊園			0.0087		0.0058	0.44	0.29
1 個人宅 東町1	0.0083	0.0091	0.42	0.45				
はげ下	11 かきの木公園	0.011	0.011	0.0128	0.015	0.0202	0.60	0.96
	4 はげの森緑地2			0.0118		0.0153	0.54	0.70
	5 前原やなぎ公園			0.0079		0.0091	0.35	0.40
降水量変動係数			0.400		1.891			
平均降水量(mm)			167.714		39.600			

表中、オレンジは最大値
緑は最小値

※中間処理場に関して：中間処理場は4月~6月までの測定のため11月~3月平均の算出から除外した。

小金井第四小学校に関して：小金井第四小学校は井戸水利用により極端に値が変動したため平均値計算から除外している。

表2-2-2. 令和3年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.43	65.19	61.30	3.89	1.35	0.021
	9 個人宅 貫井北町3	61.31	63.20	59.06	4.14	1.47	0.024
	7 特別支援学校	59.30	61.25	58.17	3.08	1.13	0.019
	8 中間処理場	59.08	61.25	57.80	3.45	1.18	0.020
	6 緑中央通り	54.91	56.33	53.77	2.56	0.88	0.016
	2 個人宅 緑町1	52.04	53.67	50.65	3.02	1.03	0.020
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.66	52.03	49.43	2.60	0.90	0.018
	1 個人宅 東町1	50.26	51.62	49.18	2.44	0.84	0.017
はけ下	11 かきの木公園	47.45	49.02	45.87	3.15	1.27	0.027
	4 はけの森緑地2	45.92	47.44	44.04	3.40	1.20	0.026
	5 前原やなぎ公園	44.31	45.20	43.17	2.03	0.70	0.016

		変動係数平均 4~10月	水位の変動係数 4~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差(m) 4~10月	水位の標準偏差(m) 11~3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.023	0.0252	0.014	0.0167	1.61	1.05
	9 個人宅 貫井北町3		0.0242		0.0210	1.50	1.27
	7 特別支援学校		0.0225		0.0153	1.34	0.90
	8 中間処理場		0.0239		0.0148	1.42	0.87
	6 緑中央通り		0.0196		0.0106	1.08	0.58
	2 個人宅 緑町1		0.0248		0.0123	1.29	0.64
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0222		0.0112	1.12	0.57
	1 個人宅 東町1		0.0210		0.0104	1.06	0.52
はけ下	11 かきの木公園	0.028	0.0308	0.015	0.0226	1.46	1.08
	4 はけの森緑地2		0.0326		0.0151	1.49	0.69
	5 前原やなぎ公園		0.0199		0.0081	0.88	0.36
	降水量変動係数	0.616		0.876			
	平均降水量(mm)	192.571		55.000			

表中、オレンジは最大変動幅
緑は最小変動幅

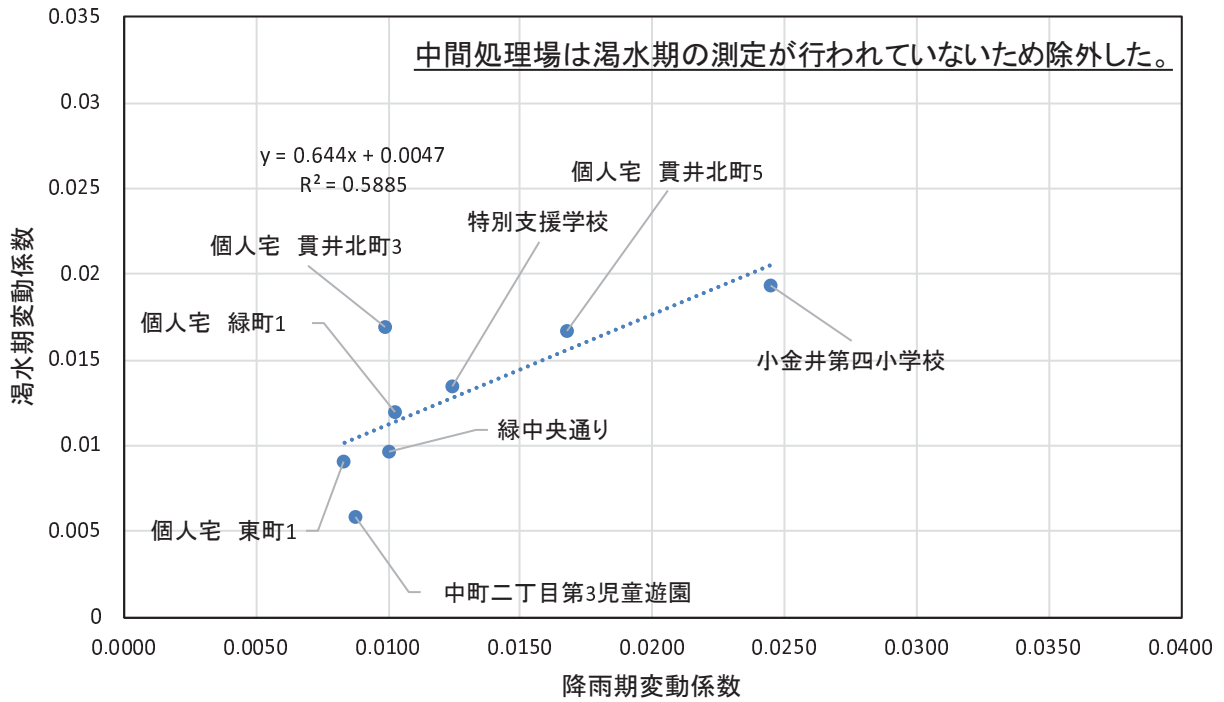
表2-3-2. 令和2年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.65	64.90	61.15	3.75	1.14	0.018
	9 個人宅 貫井北町3	61.32	62.84	59.03	3.81	1.23	0.020
	7 特別支援学校	59.56	60.96	58.11	2.85	1.01	0.017
	8 中間処理場	59.24	60.52	57.85	2.67	0.89	0.015
	6 緑中央通り	55.00	56.29	53.87	2.42	0.78	0.014
	2 個人宅 緑町1	52.27	53.47	50.99	2.48	0.76	0.015
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.85	51.91	49.71	2.20	0.69	0.014
	1 個人宅 東町1	50.38	51.39	49.35	2.04	0.64	0.013
はけ下	11 かきの木公園	47.91	49.22	45.97	3.25	1.10	0.023
	4 はけの森緑地2	46.44	47.72	44.67	3.05	0.87	0.019
	5 前原やなぎ公園	44.65	45.42	43.62	1.80	0.50	0.011

		変動係数平均 4~10月	水位の変動係数 4~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差(m) 4~10月	水位の標準偏差(m) 11~3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.010	0.0097	0.012	0.0186	0.62	1.17
	9 個人宅 貫井北町3		0.0163		0.0191	1.01	1.15
	7 特別支援学校		0.0122		0.0124	0.73	0.73
	8 中間処理場		0.0087		0.0120	0.52	0.70
	6 緑中央通り		0.0083		0.0072	0.46	0.39
	2 個人宅 緑町1		0.0081		0.0109	0.43	0.56
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0066		0.0098	0.34	0.49
	1 個人宅 東町1		0.0067		0.0086	0.34	0.43
はけ下	11 かきの木公園	0.010	0.0155	0.017	0.0228	0.75	1.07
	4 はけの森緑地2		0.0091		0.0173	0.43	0.79
	5 前原やなぎ公園		0.0059		0.0104	0.26	0.46
	降水量変動係数	0.507		1.148			
	平均降水量(mm)	176.357		48.900			

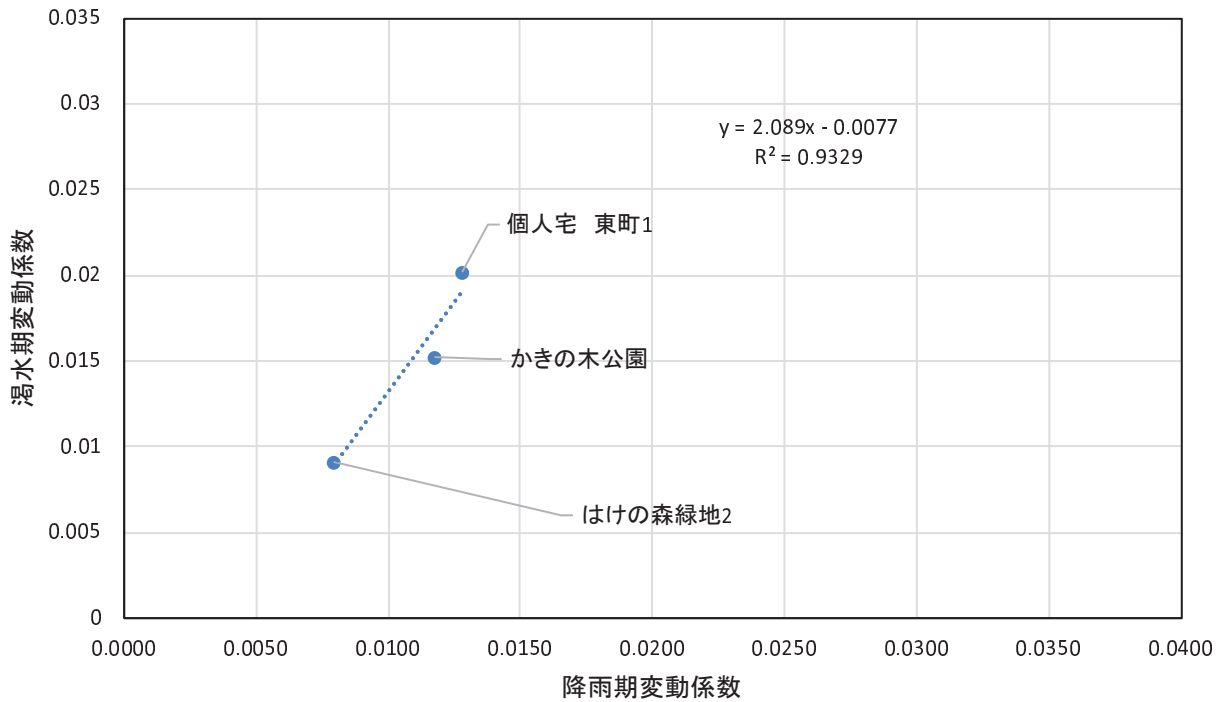
表中、オレンジは最大変動幅
緑は最小変動幅

図3-1-1. 令和4年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）



相関係数 $r = 0.767113$

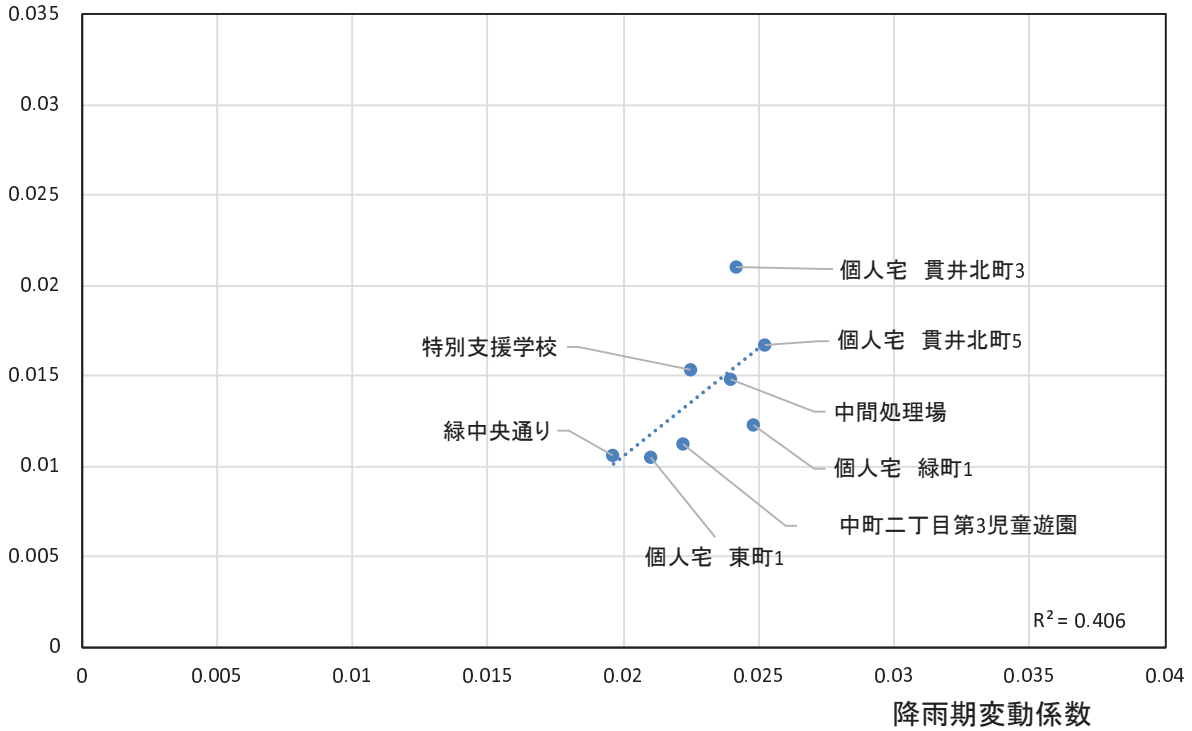
図3-1-2. 令和4年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）



相関係数 $r = 0.96585$

図3-2-1. 令和3年度 降雨期、湧水期の変動係数相関図（はげ上）

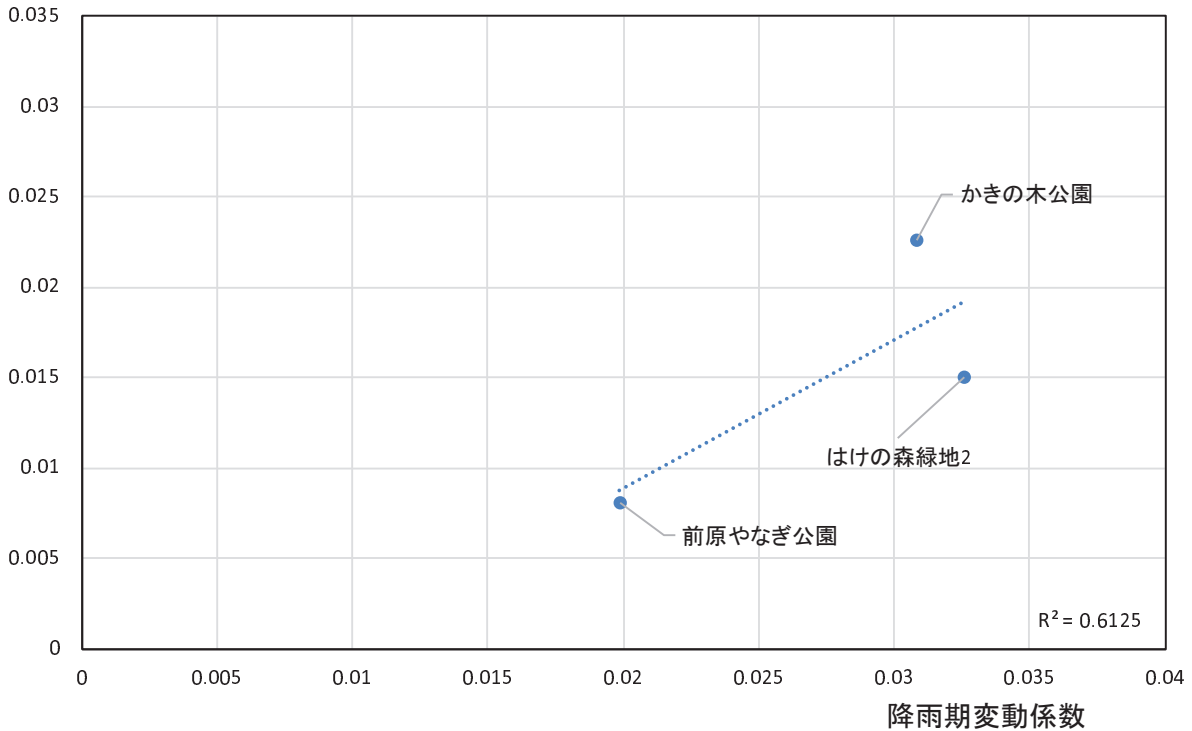
湧水期変動係数



相関係数 $r = 0.637201$

図3-2-2. 令和3年度 降雨期、湧水期の変動係数相関図（はげ下）

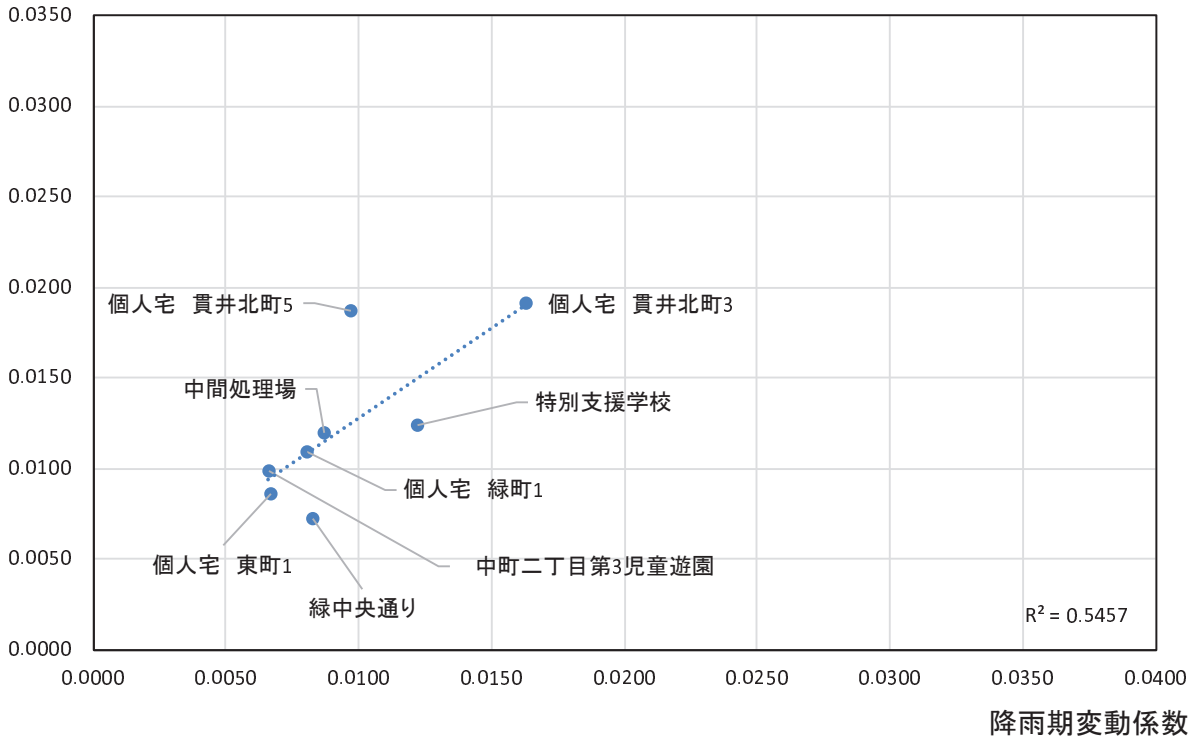
湧水期変動係数



相関係数 $r = 0.782605$

図3-3-1. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はげ上）

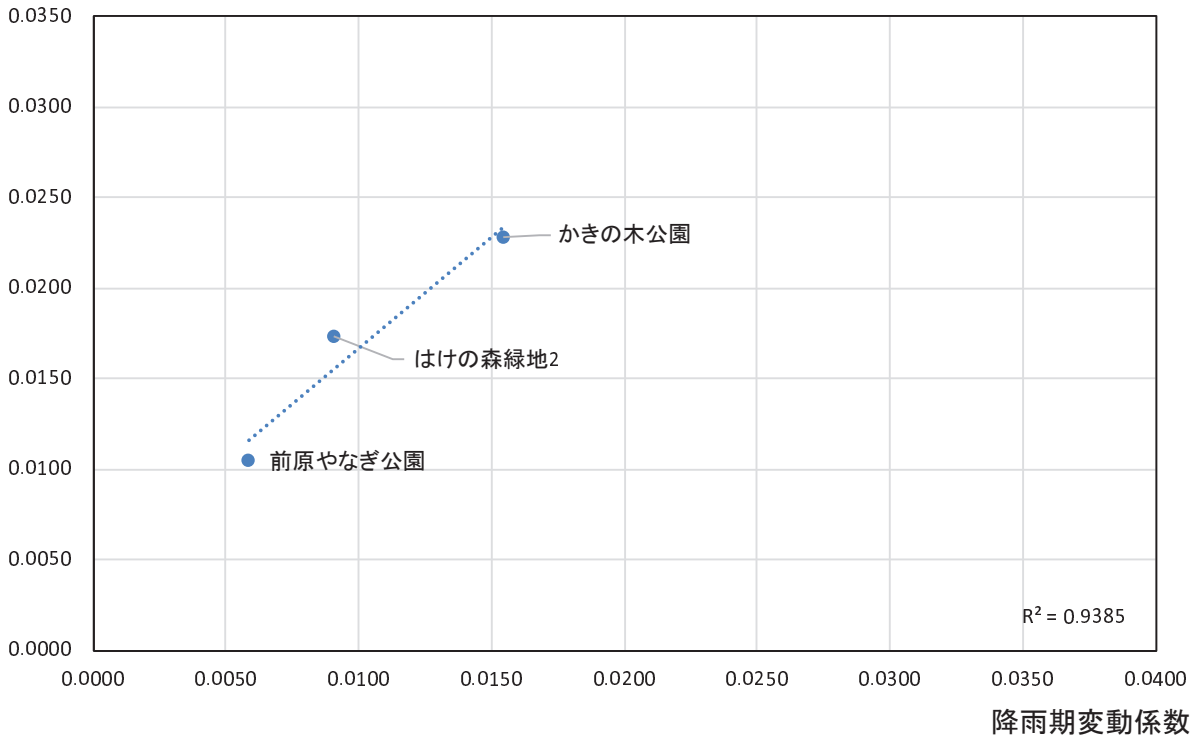
渇水期変動係数



相関係数 $r = 0.738718$

図3-3-2. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はげ下）

渇水期変動係数



相関係数 $r = 0.968748$

相関係数 r :

以下の式であらわされる、2変数（ X : 降雨期変動係数、 Y : 渇水期変動係数）の間に、どの程度相関関係があるかを示す数値。一般に0.7以上で強い相関関係にあるとされる。

$$r = \frac{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2} \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (Y_i - \bar{Y})^2}}$$

X_i : 地点毎の降雨期変動係数

\bar{X} : 全地点での降雨期変動係数の平均

Y_i : 地点毎の渇水期変動係数

\bar{Y} : 全地点での渇水期変動係数の平均

N : サンプル数、($N=11$)

R2 値 :

図3の相関図中のR2の値は、相関係数 r の2乗値である。点線で示す回帰直線からのばらつきの程度を表し、1に近づくほどばらつきが小さいといえる。

この値が1より小さいとき、回帰直線から外れるものがあるといえる。たとえば回帰直線の上に外れた場合、水位が上昇しにくい割には低下しやすい傾向がある、などといえる。

4. 所見

例年と同様に井戸水位は降水量に同調する傾向を示した。

表 2-1-2. より、年間を通じて最も変動幅が大きかったのは、「8-2. 小金井第四小学校」であったものの、同小学校は井戸水を散水・水田などに使用しており、井戸水位は利用状況の影響を強く受けている。

小学校を除いた調査地点の内、変動が最も大きかったのは「10. 個人宅貫井北町5」であった。

変動が最も小さかったのは「8-1. 中間処理場」であったが、同地点は解体工事に伴い6月で測定を終了している。中間処理場以外で最も変動幅が少なかったのは「3. 中町二丁目第3 児童遊園」であった。

変動係数は年間を通して標高が高い地点が高い値を示し、標高の低い地点が低い値を示す傾向であった。

図3について

変動係数について、降雨期と渇水期の相関関係を調べた。

以前と同様に、降雨期に変動係数が大きい地点は、渇水期においても変動係数が大きくなる傾向が見られた。

令和5年度環境政策課環境係の事業計画について

単位:円

事業名	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	令和4年度対比
こん虫等駆除及び雑草除去に要する経費	1,447,000	1,675,000	△ 228,000
<事業概要> 害虫等の駆除相談や空き家、あき地の苦情対応により、市民の快適な生活環境を確保する。 なお、雑草等の除去に関する相談については、原則的には所有者等が民間事業者に依頼してもらえるよう案内をしているが、「小金井市あき地の管理の適正化に関する条例」第8条に基づき、あき地の所有者等が自ら雑草等を除去することができないあき地については、市が委託を受けて外部委託で除去作業を行っている。 <経費内訳>			
【需用費】	140,000	147,000	△ 7,000
消耗品費	136,000	143,000	△ 7,000
医薬材料費	4,000	4,000	0
【役務費】	4,000	6,000	△ 2,000
郵便料	4,000	6,000	△ 2,000
【委託料】	1,303,000	1,304,000	△ 1,000
あき地除草委託料	134,000	129,000	5,000
アライグマ・ハクビシン防除委託料	1,169,000	1,175,000	△ 6,000
【備品購入費】	0	218,000	△ 218,000
維持管理機器一式	0	218,000	△ 218,000
飼い主のいない猫対策に要する経費	646,000	649,000	△ 3,000
<事業概要> 飼い主のいない猫による糞尿被害や鳴き声による騒音問題等に起因する市民からの苦情が近年急増していることに伴い、「小金井市飼い主のいない猫対策要綱」、「飼い主のいない猫の地域猫活動ガイドライン」を制定し、平成28年度より開始した事業。地域住民・ボランティア・行政の三者協働で飼い主のいない猫を適正に管理し、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、市民の生活環境に対する被害及び迷惑を未然に防止し、公衆衛生の向上を図り、人と猫との調和のとれた共生社会の推進に資することを目的としている。 <経費内訳>			
【報償費】	102,000	102,000	0
飼い主のいない猫対策協議会委員謝礼	102,000	102,000	0
【需用費】	92,000	96,000	△ 4,000
消耗品費	78,000	82,000	△ 4,000
印刷製本費	14,000	14,000	0
【役務費】	2,000	1,000	1,000
郵便料	2,000	1,000	1,000
【負担金補助及び交付金】	450,000	450,000	0
飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金	450,000	450,000	0

事業名	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	令和4年度対比
環境調査・測定に要する経費	4,661,000	4,193,000	468,000
<事業概要> 大気、騒音、振動、水質等を測定して環境の現状を調査し、データを収集整理することにより、環境保全対策や将来予測の基礎資料とする。			
<経費内訳>			
【報酬】	151,000	147,000	4,000
環境調査・測定業務会計年度任用職員報酬(1人)	151,000	147,000	4,000
【報償費】	1,000	1,000	0
苦情用調査時電源提供者謝礼	1,000	1,000	0
【需用費】	59,000	53,000	6,000
消耗品費	9,000	9,000	0
緊急修繕料(備品)	44,000	44,000	0
郵便料	6,000	0	6,000
【委託料】	3,881,000	3,826,000	55,000
大気質調査委託料	396,000	396,000	0
事業所等公害発生時調査委託料	147,000	147,000	0
ダイオキシン類測定委託料	495,000	495,000	0
自動車騒音常時監視調査委託料	1,067,000	1,155,000	△ 88,000
水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託料	1,725,000	1,633,000	92,000
騒音計点検委託料	51,000	0	51,000
【使用料及び賃借料】	166,000	166,000	0
自動車騒音常時監視用パーソナルコンピュータ借上料	72,000	72,000	0
デジタルマップ使用料	94,000	94,000	0
【備品購入費】	403,000	0	403,000
デジタル粉じん計一式	403,000	0	403,000
光化学スモッグ緊急対策に要する経費	39,000	39,000	0
<事業概要> 光化学スモッグにより被害を受けた市民の方に対し、緊急に医師の派遣を行い、医療機関の処置を受けた市民の方に対してお見舞金を支給する。			
<経費内訳>			
【委託料】	37,000	37,000	0
光化学スモッグ被害者検診委託料	37,000	37,000	0
【負担金補助及び交付金】	2,000	2,000	0
光化学スモッグ被害者見舞金	2,000	2,000	0

事業名	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	令和4年度対比
環境対策事務に要する経費	21,285,000	19,538,000	1,747,000
<事業概要>			
環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。			
<経費内訳>			
【報酬】	4,557,000	4,550,000	7,000
環境審議会委員報酬(10人)	404,000	404,000	0
地下水保全会議委員報酬(5人)	153,000	153,000	0
環境対策業務会計年度任用職員報酬(2人)	4,000,000	3,993,000	7,000
【職員手当等】	795,000	794,000	1,000
会計年度任用職員(月割)期末手当	795,000	794,000	1,000
【需用費】	273,000	209,000	64,000
消耗品費	60,000	60,000	0
印刷製本費	77,000	72,000	5,000
光熱水費(電気料金)	9,000	11,000	△ 2,000
緊急修繕料(車検等)	127,000	66,000	61,000
【役務費】	37,000	49,000	△ 12,000
郵便料	37,000	49,000	△ 12,000
【委託料】	175,000	175,000	0
環境審議会会議録作成委託料	100,000	100,000	0
地下水保全会議会議録作成委託料	75,000	75,000	0
【使用料及び賃借料】	97,000	100,000	△ 3,000
電子複写機使用料	97,000	100,000	△ 3,000
【負担金補助及び交付金】	15,351,000	13,661,000	1,690,000
環境市民会議補助金	50,000	50,000	0
雨水貯留施設設置費補助金	300,000	300,000	0
住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	10,045,000	10,045,000	0
次世代自動車普及促進補助事業	4,900,000	3,200,000	1,700,000
東京都市公害事務連絡協議会負担金	1,000	1,000	0
グリーン購入ネットワーク参加負担金	15,000	15,000	0
野川流域環境保全協議会負担金	30,000	30,000	0
水資源保全全国自治体連絡会シンポジウム開催負担金	10,000	20,000	△ 10,000

事業名	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	令和4年度対比
環境啓発に要する経費	6,285,000	7,904,000	△ 1,619,000
<p><事業概要> イベントや講座等の開催を通じて市民の方に環境啓発を行い、小金井市環境基本計画及び小金井市地球温暖化対策地域推進計画を推進していく。</p> <p><経費内訳></p>			
【報償費】	100,000	160,000	△ 60,000
環境賞記念品	20,000	20,000	0
省エネチャレンジ達成記念品	80,000	140,000	△ 60,000
【役務費】	24,000	24,000	0
郵便料	24,000	24,000	
【委託料】	6,161,000	7,720,000	△ 1,559,000
環境啓発事業委託料	1,471,000	1,471,000	0
環境教育事業支援委託料	1,551,000	3,517,000	△ 1,966,000
子ども環境ワークショップ支援委託料	1,965,000	1,965,000	0
森林教育事業支援委託料	1,174,000	767,000	407,000
環境配慮住宅型研修施設の維持管理に要する経費	6,302,000	4,998,000	1,304,000
<p><事業概要> 環境配慮住宅型研修施設の施設維持管理や環境学習講座の運営等を委託し、地球温暖化防止のための活動を広く普及啓発していく。</p> <p><経費内訳></p>			
【需用費】	408,000	207,000	201,000
消耗品費	67,000	95,000	△ 28,000
印刷製本費	0	0	0
光熱水費(電気料金)	143,000	23,000	120,000
光熱水費(都市ガス料金)	12,000	11,000	1,000
光熱水費(上下水道料金)	34,000	28,000	6,000
緊急修繕料(備品)	10,000	10,000	0
緊急修繕料(建物)	142,000	40,000	102,000
【役務費】	84,000	85,000	△ 1,000
電話料	29,000	30,000	△ 1,000
回線使用料	55,000	55,000	0
【委託料】	4,517,000	4,661,000	△ 144,000
環境配慮住宅型研修施設管理・運営支援委託料	4,461,000	4,461,000	0
環境配慮設備保守点検委託料	50,000	200,000	△ 150,000
廃棄物処理委託料	6,000	0	6,000
【使用料及び賃借料】	45,000	45,000	0
パーソナルコンピューター借上料	45,000	45,000	0
【備品購入費】	1,248,000	0	1,248,000
冷暖房機	1,248,000	0	1,248,000
環境政策課 環境係 計	40,665,000	38,996,000	1,669,000

2023年5月29日

報道関係 各位

特 別 区 長 会
東 京 都 市 長 会
東 京 都 町 村 会
公 益 財 団 法 人 特 別 区 協 議 会
公 益 財 団 法 人 東 京 市 町 村 自 治 調 査 会

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
2020年度温室効果ガス排出量（推計）算定結果について

東京の62市区町村では、2007（平成19）年度から、東京のみどりの保全や温暖化防止について連携・共同して取り組むため、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開しています。

このたび、2022（令和4）年度の事業として取り組みました62市区町村別の温室効果ガス排出量（推計）算定の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

この排出量算定は、2006（平成18）年度に確立した62市区町村共通の算定手法を用いて実施しています。本算定手法は、各自治体の地球温暖化防止に係る計画策定や、施策に用いる温室効果ガス排出量の現況データを算定する手法として、活用されています。

温室効果ガス排出量の把握は、各自治体の温暖化防止施策を展開する上で、基礎情報となるものです。市区町村では、本算定手法により算出された結果を活用して、対策・施策の検討や実行計画の策定等を行っております。今後、温室効果ガス排出量の削減を目指し、各自治体の温暖化防止事業とともに、都内全自治体が連携して実施するオール東京62市区町村共同事業を、一層効果的に推進してまいります。

- | | |
|--------|--|
| 〔添付資料〕 | <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度の温室効果ガス排出量の算定結果概要 2 市区町村別二酸化炭素排出量（2020年度） 3 二酸化炭素排出量の推移（1990～2020年度） 4 地域別温室効果ガス種別排出量及びエネルギー消費量（2020年度） |
| 〔参考資料〕 | <ol style="list-style-type: none"> 1 62市区町村共通の算定手法について 2 地域別二酸化炭素排出量変化の要因分析 3 オール東京62市区町村共同事業 主催・運営団体一覧 |

特別区、多摩地域、島しょ地域の温室効果ガス排出量に関する詳細な情報はオール東京62市区町村共同事業のホームページ（<https://all62.jp/>）をご参照ください。

- | | |
|---|--|
| （問合せ先） | |
| オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事務局 | |
| 公益財団法人特別区協議会 事業部自治体連携担当課長 段塚（特別区） | |
| 電話 03-5210-9560 | |
| 公益財団法人東京市町村自治調査会 企画調査部企画課長 加藤（多摩・島しょ地域） | |
| 電話 042-382-7781 | |

1. 2020 年度の温室効果ガス排出量の算定結果概要

(1) 二酸化炭素排出量は 62 市区町村全体で 52,522 千 t-CO₂

2020 年度の 62 市区町村全体の二酸化炭素排出量は、52,522 千 t-CO₂ (前年度比 3.8% 減) であり、地域別では、特別区 39,139 千 t-CO₂ (同 4.5% 減)、多摩地域 13,246 千 t-CO₂ (同 1.7% 減)、島しょ地域 137 千 t-CO₂ (同 0.9% 減) と全ての地域で減少している。
(3~7 ページ参照)

(2) 温室効果ガス排出量は全ての地域で前年度から減少、エネルギー消費量は特別区で減少も多摩地域及び島しょ地域で微増

2020 年度の 62 市区町村全体の温室効果ガス排出量は、前年度比で 3.0% 減であり、地域別では、特別区 3.6% 減、多摩地域 1.2% 減、島しょ地域 0.2% 減となっている。一方で、62 市区町村全体のエネルギー消費量は、前年度比で 2.0% 減であり、地域別に見ると、特別区は同 2.7% 減となっているものの、多摩地域は同 0.03% 増、島しょ地域は同 0.4% 増となっている。
(8 ページ参照)

2. 市区町村別二酸化炭素排出量（2020年度）

一 二酸化炭素排出量は62市区町村全体で52,522千t-CO₂—

- ・62市区町村全体の二酸化炭素排出量は52,522千t-CO₂である。
- ・地域別では、特別区、多摩地域、島しょ地域の二酸化炭素排出量は、それぞれ39,139千t-CO₂、13,246千t-CO₂、137千t-CO₂となっている。
- ・さらに部門別に見ると、特別区では民生業務部門からの二酸化炭素排出量が最も多く、16,423千t-CO₂となっている。一方、多摩地域では民生家庭部門からの二酸化炭素排出量が最も多く、5,131千t-CO₂となっている。また、島しょ地域では民生家庭部門及び運輸部門からの二酸化炭素排出量が最も多く、42千t-CO₂となっている。

表 2.1 市区町村別二酸化炭素排出量（2020年度）

市区町村	二酸化炭素排出量 (1,000t-CO ₂)				合計
	産業部門	民生家庭部門	民生業務部門	運輸部門	
千代田区	28	153	1,858	352	2,424
中央区	46	273	1,203	218	1,783
港区	196	466	2,152	429	3,218
新宿区	40	533	1,388	326	2,356
文京区	30	338	553	89	1,043
台東区	45	324	410	154	971
墨田区	150	364	290	190	1,034
江東区	223	650	1,339	338	2,626
品川区	81	553	779	306	1,777
目黒区	29	427	324	136	966
大田区	219	963	973	417	2,679
世田谷区	70	1,307	620	396	2,517
渋谷区	32	424	946	318	1,773
中野区	27	466	226	109	866
杉並区	46	808	309	235	1,466
豊島区	34	419	530	228	1,257
北区	79	442	351	140	1,058
荒川区	40	270	171	91	600
板橋区	232	714	419	300	1,740
練馬区	64	950	399	268	1,770
足立区	164	833	485	451	2,030
葛飾区	117	553	296	249	1,276
江戸川区	223	812	401	391	1,920
八王子市	167	698	573	476	1,960
立川市	34	227	276	83	631
武蔵野市	10	205	199	63	486
三鷹市	20	244	244	74	594
青梅市	70	145	120	118	465
府中市	166	315	261	159	905
昭島市	123	128	117	57	430
調布市	29	299	195	113	644
町田市	61	510	312	184	1,115
小金井市	8	158	83	33	286
小平市	50	234	145	53	496
市区町村	産業部門	民生家庭部門	民生業務部門	運輸部門	合計
日野市	71	220	127	119	546
東村山市	38	176	111	57	390
国分寺市	13	165	78	39	299
国立市	10	99	69	43	227
福生市	9	64	129	52	260
狛江市	7	104	36	23	178
東大和市	83	98	30	41	259
清瀬市	16	87	78	31	220
東久留米市	67	137	53	37	307
武蔵村山市	49	78	63	38	233
多摩市	17	174	402	101	706
稲城市	28	107	77	50	269
羽村市	108	59	32	37	242
あきる野市	18	84	50	99	263
西東京市	17	252	150	54	493
瑞穂町	77	37	27	60	206
日の出町	29	17	28	17	94
檜原町	2	3	2	3	10
奥多摩町	3	7	10	10	31
大島町	3	12	10	11	35
利島村	0	1	0	0	2
新島村	2	5	3	5	14
神津島村	3	3	2	2	11
三宅村	1	4	3	9	19
御蔵島村	0	1	0	0	2
八丈町	7	12	6	11	37
青ヶ島村	0	1	0	0	1
小笠原村	5	4	3	3	16
特別区	2,128	13,040	16,423	6,130	39,139
多摩地域	1,400	5,131	4,078	2,326	13,246
島しょ地域	22	42	27	42	137
62市区町村	3,550	18,213	20,528	8,498	52,522

地域合計

特別区	2,128	13,040	16,423	6,130	1,419	39,139
多摩地域	1,400	5,131	4,078	2,326	311	13,246
島しょ地域	22	42	27	42	4	137
62市区町村	3,550	18,213	20,528	8,498	1,734	52,522

※ 表中の排出量は小数点以下を四捨五入しているため、内訳と合計は一致しないことがある。

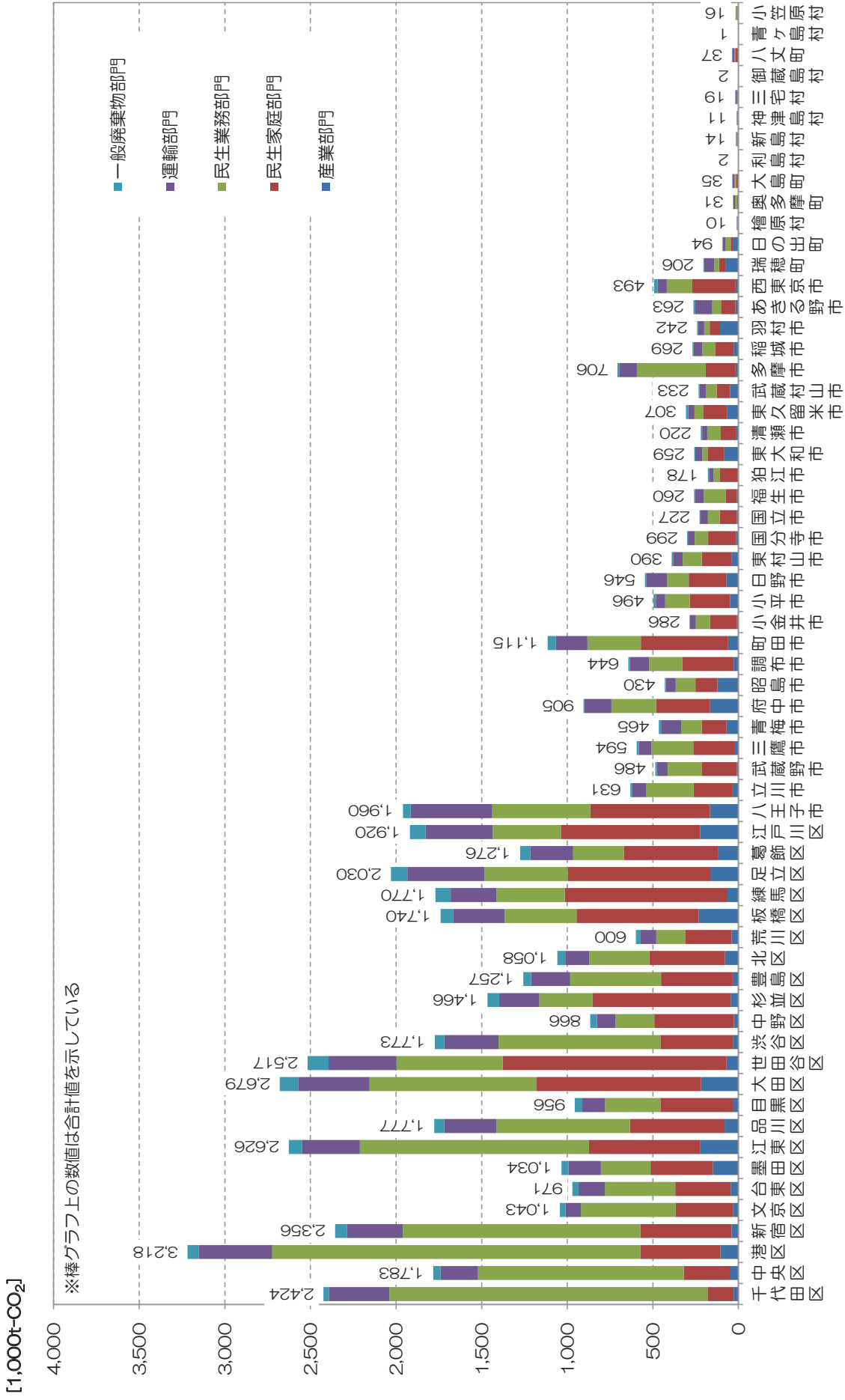


図 2.1 市区町村別二酸化炭素排出量 (2020 年度)

3. 二酸化炭素排出量の推移（1990～2020年度）

—二酸化炭素排出量は減少傾向—

- ・2020年度の62市区町村全体の二酸化炭素排出量は52,522千t-CO₂であり、前年度の54,611千t-CO₂から3.8%減少している。
- ・各地域の2020年度の二酸化炭素排出量は、前年度比で特別区4.5%減、多摩地域1.7%減、島しょ地域0.9%減と、全ての地域で排出量が減少している。

※二酸化炭素排出量の推移は「販売電力当たりの二酸化炭素排出量（電気の二酸化炭素排出係数^注）」の影響を大きく受けることがある（次章にて後述する）。

表 3.1 二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

		二酸化炭素排出量(1,000t-CO ₂)																					
		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2020	
特別区		41,263	43,432	43,939	42,332	44,095	43,445	42,182	42,751	42,270	42,714	43,646	42,168	46,248	50,031	45,640	45,293	43,083	48,757	48,446	45,224	45,224	
多摩地域		13,091	13,839	14,197	13,913	14,581	14,476	14,258	14,434	14,386	14,640	14,910	14,500	15,969	16,937	15,494	15,260	14,258	15,985	15,398	15,985	14,620	
島しょ地域		169	160	159	163	163	167	154	155	163	160	139	134	143	150	133	155	145	153	147	145	145	
62市区町村		54,523	57,431	58,296	56,408	58,839	58,087	56,594	57,340	56,819	57,514	58,695	56,802	62,360	67,119	61,268	60,709	57,485	64,895	63,991	59,988	59,988	
2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020													
特別区		44,685	46,740	50,368	50,016	47,990	45,067	43,534	43,650	42,759	40,993	39,139											
多摩地域		14,618	15,297	16,308	16,246	15,428	14,650	14,291	14,400	14,084	13,480	13,246											
島しょ地域		148	157	163	166	159	152	150	149	145	138	137											
62市区町村		59,452	62,194	66,839	66,428	62,977	59,869	57,975	58,199	56,988	54,611	52,522											

※ 表中の排出量は小数点以下を四捨五入しているため、内訳と合計は一致しないことがある。

※ 2007年（平成19年）中越沖地震発生、2011年（平成23年）東日本大震災発生

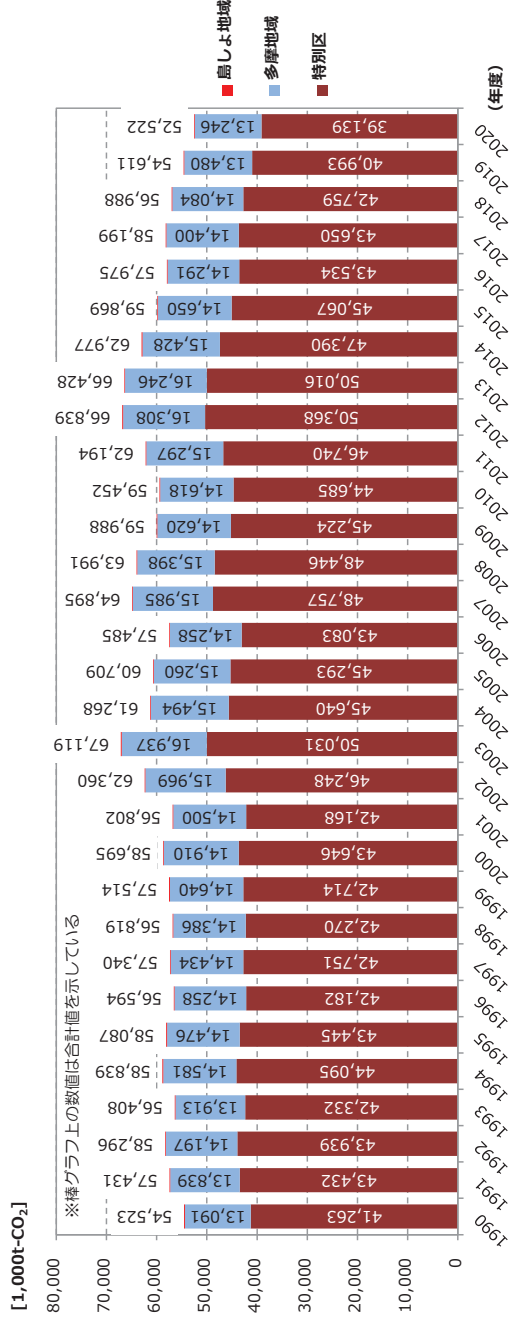


図 3.1 二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

注) ここでも「電気の二酸化炭素排出係数」は「1 kWhの販売電力当たりの二酸化炭素排出量」を意味する基礎排出係数である。

ここでは、これまでの二酸化炭素排出量の推移を地域別に示す。なお、2002年度以降の二酸化炭素排出量については、各地域における排出量削減の取組等の成果を明確にするために、電気の二酸化炭素排出係数を2001年度の値で固定して算出した「固定ケース^{注)}」を、参考として併記している。

2001年度以降は、いずれの地域でも二酸化炭素排出量が大きく変動しているものの、「固定ケース」を参照すると変動が小さくなっており、電気の二酸化炭素排出係数の影響を除くと二酸化炭素排出量は長年減少基調にある。(図3.2～図3.4及び参考資料2参照)

特別区

表 3.2 特別区における二酸化炭素排出量の推移 (1990年度～2020年度)

		二酸化炭素排出量 (1,000t-CO ₂)										
年度		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	
実際の係数での排出量		41,263	43,432	43,939	42,332	44,095	43,445	42,182	42,751	42,270	42,714	
年度		2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	
実際の係数での排出量		43,646	42,168	46,248	50,031	45,640	45,293	43,083	48,757	48,446	45,224	
固定ケース (参考)		—	42,168	42,226	41,247	41,460	41,610	41,257	41,202	41,311	40,372	
年度		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
実際の係数での排出量		44,685	46,740	50,368	50,016	47,390	45,067	43,534	43,650	42,759	40,993	
固定ケース (参考)		40,419	37,724	37,502	36,904	36,139	34,643	33,870	34,316	33,845	33,274	
年度		2020										
実際の係数での排出量		39,139										
固定ケース (参考)		32,356										

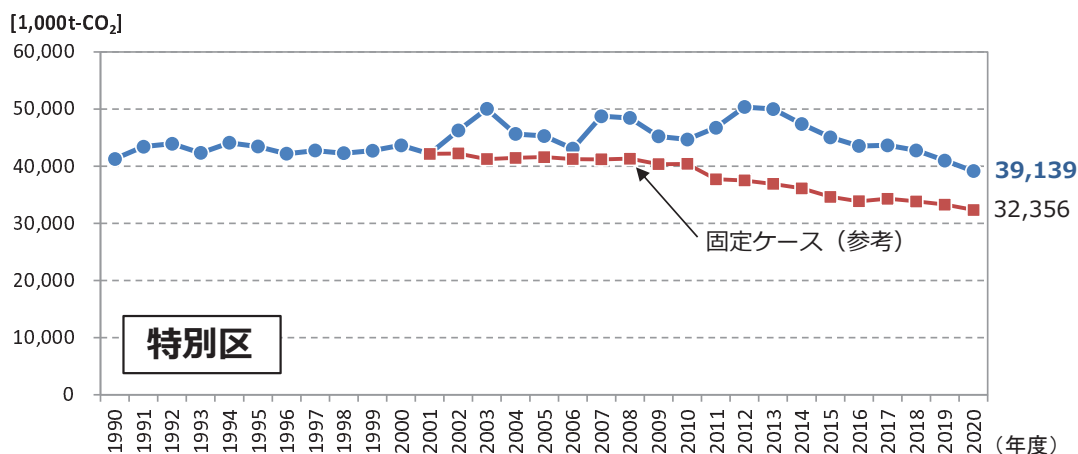


図 3.2 特別区における二酸化炭素排出量の推移 (1990年度～2020年度)

注) ここでいう「固定ケース」とは、2002年度以降の二酸化炭素排出量について、電気の二酸化炭素排出係数を2001年度の値で固定して(2001年度以降一定であるとみなして)算出したものである。2002年度以降は、原子力発電所の停止等により電気の二酸化炭素排出係数が年度ごとに大きく変動しており、各地域における排出量削減の取組等の成果が判別し難くなっている。この固定ケースを設定することにより、電気の二酸化炭素排出係数の変動の影響を排除して、各地域の取組等の成果が確認しやすくなる。

多摩地域

表 3.3 多摩地域における二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

二酸化炭素排出量 (1,000t-CO ₂)										
年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
実際の係数での排出量	13,091	13,839	14,197	13,913	14,581	14,476	14,258	14,434	14,386	14,640
年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
実際の係数での排出量	14,910	14,500	15,969	16,937	15,494	15,260	14,258	15,985	15,398	14,620
固定ケース（参考）	—	14,500	14,711	14,219	14,208	14,110	13,708	13,688	13,290	13,159
年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
実際の係数での排出量	14,618	15,297	16,308	16,246	15,428	14,650	14,291	14,400	14,084	13,480
固定ケース（参考）	13,323	12,533	12,393	12,243	12,006	11,441	11,311	11,504	11,313	11,092
年度	2020									
実際の係数での排出量	13,246									
固定ケース（参考）	11,078									

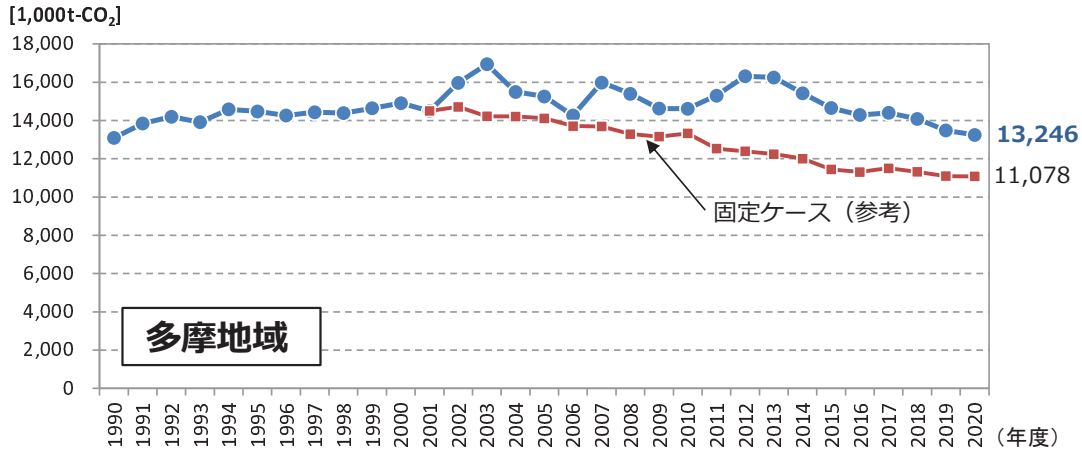


図 3.3 多摩地域における二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

島しょ地域

表 3.4 島しょ地域における二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

二酸化炭素排出量 (1,000t-CO ₂)										
年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
実際の係数での排出量	169	160	159	163	163	167	154	155	163	160
年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
実際の係数での排出量	139	134	143	150	133	155	145	153	147	145
固定ケース（参考）	—	134	132	128	123	146	140	134	130	133
年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
実際の係数での排出量	148	157	163	166	159	152	150	149	145	138
固定ケース（参考）	138	133	129	133	130	124	124	124	122	118
年度	2020									
実際の係数での排出量	137									
固定ケース（参考）	119									

※ 2000～2004年度は、三宅島噴火災害による全島避難のため、三宅村の温室効果ガス排出量を0としている。

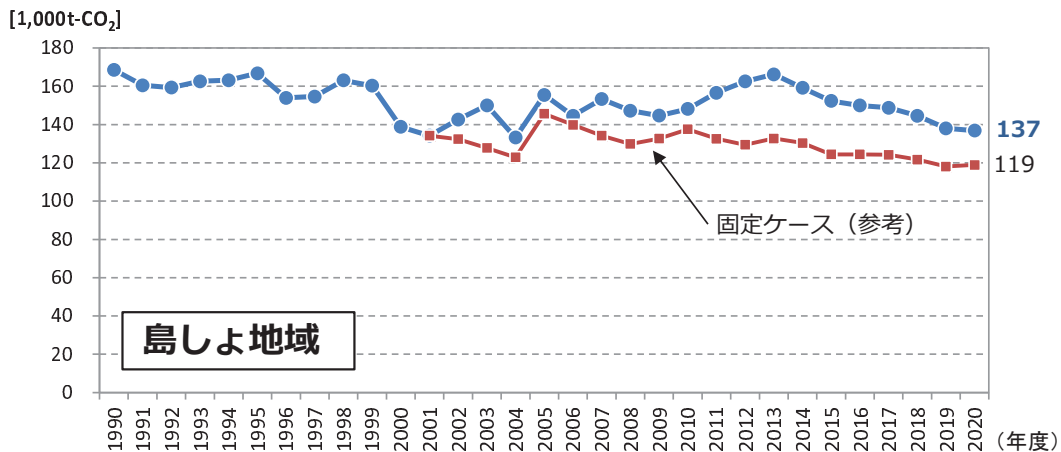


図 3.4 島しょ地域における二酸化炭素排出量の推移（1990年度～2020年度）

4. 地域別温室効果ガス種別排出量及びエネルギー消費量（2020年度）

—温室効果ガス排出量は全ての地域で前年度から減少、エネルギー消費量は特別区で減少も、多摩地域及び島しょ地域で微増—

- ・62市区町村全体及び各地域の温室効果ガス排出量の約9割が二酸化炭素である。
- ・2020年度の温室効果ガス排出量は、前年度と比較し、62市区町村全体で3.0%減、特別区3.6%減、多摩地域1.2%減、島しょ地域0.2%減と全ての地域で減少している。また、62市区町村全体での部門別二酸化炭素排出量は、民生家庭部門で増加しているもの、それ以外の全ての部門で減少している。（表4.1参照）
- ・2020年度の最終エネルギー消費量は、前年度と比較し、特別区2.7%減、多摩地域0.03%増、島しょ地域0.4%増と特別区で減少、多摩地域と島しょ地域で微増しており、62市区町村全体では2.0%の減少となっている。62市区町村全体のエネルギー消費量を部門別に見ると、民生家庭部門のみ増加となっている。（表4.2参照）

表 4.1 各温室効果ガスの排出量（2020年度）

温室効果ガス種	特別区		多摩地域		島しょ地域		62市区町村	
	排出量 (1,000t-CO ₂ eq) ^{※1}	構成比	排出量 (1,000t-CO ₂ eq) ^{※1}	構成比	排出量 (1,000t-CO ₂ eq) ^{※1}	構成比	排出量 (1,000t-CO ₂ eq) ^{※1}	構成比
二酸化炭素	2,128	-2.7%	1,400	-4.0%	22	10.9%	3,550	-3.1%
CO ₂	13,040	3.6%	5,131	4.3%	42	0.2%	18,213	3.8%
	16,423	-9.1%	4,078	-5.2%	27	-10.9%	20,528	-8.3%
運輸部門	6,130	-7.9%	2,326	-5.5%	42	-1.3%	8,498	-7.2%
廃棄物部門	1,419	-6.2%	311	-8.9%	4	12.6%	1,734	-6.6%
小計	39,139	-4.5%	13,246	-1.7%	137	-0.9%	52,522	-3.8%
メタン CH ₄	46	-2.0%	24	1.1%	0.93	-1.3%	71	-1.0%
一酸化二窒素 N ₂ O	140	-2.5%	61	-0.7%	1.41	-0.7%	203	-1.9%
ハイドロフルオロカーボン類 HFCs	4,658	4.7%	1,334	4.4%	20.12	5.0%	6,013	4.6%
パーフルオロカーボン類 PFCs	4	58.8%	40	9.4%	0	—	44	12.7%
六フッ化硫黄 SF ₆	18	8.2%	10	9.7%	0.047	9.8%	28	8.7%
三フッ化窒素 NF ₃	1	33.7%	6	15.4%	0.001	342.9%	6	17.3%
合計 ^{※2}	44,007	-3.6%	14,721	-1.2%	159	-0.2%	58,887	-3.0%

※1 CO₂eqは、各種温室効果ガスの排出量が地球温暖化に与える影響を、二酸化炭素に置き換えた場合の排出量を意味し、「CO₂イキヴァアレント」若しくは「CO₂イキキュー」と呼ぶ。

※2 表中の排出量は小数点以下を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しないことがある。

※3 島しょ地域のメタンから三フッ化窒素までの排出量は、小数点以下第二位または第三位まで表示している。

※4 パーフルオロカーボン類から三フッ化窒素までの構成比は、小数点以下第二位、第三位または第四位まで表示している。

表 4.2 各部門での最終エネルギー消費量（2020年度）

部門	特別区		多摩地域		島しょ地域		62市区町村	
	消費量 (TJ) ^{※1}	構成比	消費量 (TJ) ^{※1}	構成比	消費量 (TJ) ^{※1}	構成比	消費量 (TJ) ^{※1}	構成比
産業部門計	25,171	-2.1%	16,941	-3.2%	297	7.6%	42,408	-2.5%
民生家庭部門計	153,280	6.1%	60,315	6.7%	388	3.4%	213,983	6.3%
民生業務部門計	169,218	-7.6%	40,899	-3.1%	231	-8.1%	210,347	-6.7%
運輸部門計	81,520	-7.3%	32,768	-5.4%	616	-1.3%	114,904	-6.8%
最終消費部門計 ^{※2}	429,189	-2.7%	150,922	0.03%	1,531	0.4%	581,642	-2.0%

※1 TJ (テラジュール) = 10¹² J

※2 表中の消費量は小数点以下を四捨五入しているため、最終消費部門計は表中の各値を足し合わせたものとは一致しないことがある。

11. 小金井市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-21 小金井市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
二酸化炭素 (CO ₂)		236	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312	294	283	286
メタン (CH ₄)		0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)		3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	3	3	3	3	3	4	3	8	9	11	11	12	13	18	20	22	24	28	29	30	32
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六フッ化硫黄 (SF ₆)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三フッ化窒素 (NF ₃)		0																0	0	0	0	0	0	0	0
合計		241	239	277	284	280	312	339	304	307	283	329	313	313	308	333	354	352	341	331	329	341	325	315	320

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-22 小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	14	17	8	10	8	8	7	7	8	13	5	13	6	16	9	5	11	6	5	14	7	4	5	5
製造業	6	4	3	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	3	5	7	4	4	4	3	2	2	2	2
産業部門	20	22	12	13	12	11	12	11	13	19	10	17	11	20	15	14	16	11	10	19	10	7	8	8
家庭	107	119	123	123	142	157	141	153	138	157	149	145	152	164	178	176	167	158	158	164	154	150	158	158
業務	49	62	71	66	79	91	75	75	67	84	85	82	82	88	98	96	90	94	95	89	92	88	83	83
民生部門	156	181	194	189	221	248	216	228	205	240	234	227	235	252	276	272	257	252	253	253	246	238	241	241
自動車	46	54	59	59	60	59	56	48	47	44	42	42	38	35	33	32	32	30	27	26	25	25	25	25
鉄道	8	8	7	7	8	10	8	8	7	9	8	8	8	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9
運輸部門	53	62	67	66	68	69	64	56	54	53	50	50	45	44	43	42	42	40	36	35	34	34	33	33
廃棄物部門	7	6	5	5	4	5	5	5	5	6	6	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
合計	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312	294	283	286	286

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

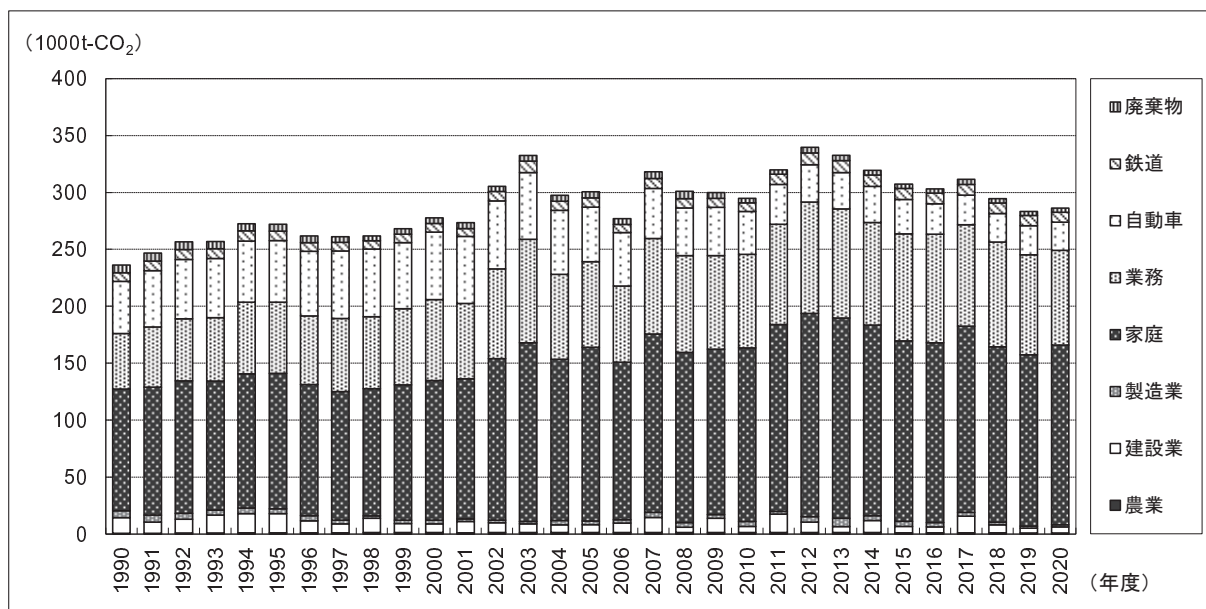


図 I-11 小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

市施設における自動販売機の削減に関する方針等について(集計) (令和5年6月15日現在)

(参考資料)

削減方針の有無	自動販売機設置について工夫している点、導入している機能等	市立公園内への設置有無	設置公園数	設置台数(合計)	市立公園への設置条件	市施設において、自動販売機を設置する条件等	温室効果ガス排出削減のための取組							
							事業名①	事業内容①	事業名②	事業内容②	事業名③	事業内容③		
1	八王子市													
2	立川市	無	無	—	—	—	「立川市公共施設自動販売機設置事業実施要綱」第5条で設置する自動販売機の基準を定めている。 第5条 公共施設に設置する自動販売機は、次の各号に掲げる条件を満たすものとする。 (1) 自動販売機の機能及び販売品目は、あらかじめ施設の管理者に届け出ること。 (2) 自動販売機の維持管理に要する光熱水費は、設置事業者が負担すること。 (3) 設置事業者は、承認を受けないで自動販売機の設置に係る権利を第三者に譲渡し、又は転貸しないこと。 (4) 自動販売機の設置にあたっては、非常時の転倒等が発生しないよう安全対策を施すこと。 (5) 故障、トラブル等が発生した場合の緊急連絡先を自動販売機に明示しておくこと。	家庭で取り組むエコチャレンジ事業(平成27年度～)	小学生と保護者がチームとなり、夏休み期間の任意の連続した10日間で、市が作成した省エネチェックシートを活用し家庭の省エネに取り組む。市にチェックシート提出で記念品を贈呈。 優良事例は別途優良賞として表彰する(例年先着100組)。	中小企業二酸化炭素排出量削減事業施設改修費等補助事業(平成22年度～)	市内の中小事業者を対象省エネルギー診断の提案に基づく施設改修への補助金を交付 照明のLED化、空調機、冷凍冷蔵庫等が対象 補助対象経費の1/3(上限50万円)			
3	武蔵野市	無	無	—	—	無	無	気候市民会議実施及び気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成	市民が気候変動対策について話し合ったうえで、市がその提案をうけ、地球温暖化対策に資する具体的なプランを提示する。 R4年度:武蔵野市気候市民会議を全5回開催、参加者68人 R5年度:気候市民会議の議論を踏まえ、気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)を作成	公共施設の実質再エネ100%電力の導入	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて再エネ利用を促進するため、市が率先して、小中学校等の市有施設51施設について、実質再エネ100%電力の調達を行う。	効率的なエネルギー活用推進助成制度	住宅用の太陽光発電システム・エネファームの設置及び窓の断熱改修費用の一部に対し助成を行う。 太陽光発電システム:上限15万円、エネファーム:上限6万円、窓の断熱改修:対個人/上限10万円、対マンション管理組合等/上限300万円	
4	三鷹市	無	有	1	1	条件ではないが、災害対応ベンダーとしている。	無	新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金	市民の皆さんが設置する次の設備の設置費の一部を助成 ・新エネルギー設備(太陽光発電設備等) ・太陽熱利用システム ・高効率給湯器 ・省エネルギー設備(高断熱窓、高断熱玄関ドア)	三鷹市ゼロエネルギーターゲティング事業	脱炭素型のまちづくりを誘導することを目的として、地球温暖化対策設備である「創」、「蓄」、「省」エネルギー機器を導入する開発事業を「ゼロエネルギーターゲティング」として認定し、奨励金を交付 ・対象事業 三鷹市まちづくり条例に定める開発事業 ・奨励金交付額 導入する必須条件設備により交付額を決定(上限1,500万円)	環境活動表彰	市民、団体、事業者の先導的な活動を広く紹介することで、市民の環境に対する意識の向上や行動を推進することを目的として表彰を実施	

削減方針の有無	自動販売機設置について工夫している点、導入している機能等	市立公園内への設置有無	設置公園数	設置台数(合計)	市立公園への設置条件	市施設において、自動販売機を設置する条件等	温室効果ガス排出削減のための取組						
							事業名①	事業内容①	事業名②	事業内容②	事業名③	事業内容③	
5	青梅市	無	—	有	3	3	無	省エネルギー住宅改修補助制度(令和5年度から開始)	既存住宅に対して高断熱窓の設置改修を行い場合に、費用の一部を補助 補助金額：10万円または機器設置費用の本人負担額の1/2のいずれか低い額	おうめ省エネセルフチェックシート普及啓発事業(令和4年度から開始)	ご家庭での省エネへの取組や地球温暖化についての説明、環境にやさしい機器などの設備の説明のほか、電気やガス等をのほのくらしい値用したかを記入するチェックシートを配布している。	クールビズ・ウォームビズの推進(平成21年度から実施)	市内の各種団体、事業者と協力を要請、事務所などの冷暖房温度抑制を通じた省エネの取組を実施している。
6	府中市	無	—	有	5	8	—	エコハウス設備設置補助金	地球温暖化防止対策の一環として、個人住宅の環境に配慮した住宅設備設置費用の一部を助成することにより、省エネルギーの有効利用の促進を図るため、平成17年より実施。 (太陽光発電システムは1kWあたり2万円、上限金額10万円。太陽熱温水利用システムは1万円。二酸化炭素削減ヒートポンプ給湯器は1.5万円。家庭用燃料電池コージェネレーションシステムは2.5万円。雨水浸透施設は工事費と設置費用を比較して少ない方の1/2。上限金額10万円。雨水貯留槽は導入費用の1/4。上限金額1万円。家庭用蓄電池システムは1kW当たり2万円。上限金額10万円。省エネの削減効果は設置費用の1/5。上限金額10万円。)	次世代自動車等購入費助成(令和5年度から開始)	2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの取組の一環として、二酸化炭素を排出しない次世代自動車の普及を促進するための助成金を交付。 EV(10万円)、FCV(25万円)、V2H(10万円)	—	—
7	昭島市	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	調布市	無	—	有	7	10	占有許可申請による。	市内事業所LED照明設置等補助金	令和4年度「夏・冬の電力ひっ迫への対応」(コロナにおける市内事業所への経営支援)のため省エネ診断の実施及びLED照明機器の設置工事に対して補助をします。 補助上限額：60万円 補助率：4/5 対象 調布市内に事業所を有する中小企業・小規模事業者等(個人事業主を含む)	公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	平成25年度から再生可能エネルギーの普及・促進、停電時の電力確保、売電収益の一部を市や地域の環境施策等に活用することを目的として、34の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業を実施しています。併せて、本事業において発電した電力を、環境学習施設である多摩川自然情報館(低圧受電施設)において使用する「地産地消型の再生可能エネルギー100パーセント(R100)電力調達」を実施しています。	太陽光発電設備等取付等補助は、環境負荷の軽減と意識の向上を図ることを目的とした次の工事に要した費用の一部を補助しています。 ①太陽光発電設備取付 公称最大出力1キロワット当たり2.5万円に相当する額(1,000円未満切捨て、上限10万円) ②太陽熱利用機器取付 対象工事経費(消費税込)の10パーセントに相当する額(1,000円未満切捨て、上限10万円)	

削減方針の有無	自動販売機設置について工夫している点、導入している機能等	市立公園内への設置の有無	設置公園数	設置台数(合計)	市立公園への設置条件	市施設において、自動販売機を設置する条件等	温室効果ガス排出削減のための取組					
							事業名①	事業内容①	事業名②	事業内容②	事業名③	事業内容③
町田市	無	有	84	計84台 (都市公園11台、指定管理公園73台)	・設置する自販機は、災害発生時や緊急時に、市職員または施設管理者の判断によって在庫飲料を救援飲料として無償で提供できるものとする。 ・自販機の機種は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき経済産業大臣が定める「自動販売機の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等」により、省エネ対策を施したエネルギー消費効率のよい自販機であること。	無	町田市次世代エネルギー推進事業奨励金(2022年度から開始)	市内(町田市)に転入予定の方については、2023年度内に市内に住居登録を行う方)で2023年度内に家庭用燃料電池システム(エネファーム)を自宅に設置する方 補助額35,000円 定員150名(定員を超える応募があった場合は抽選)	電気自動車急速充電器設置(市民向け) (2022年6月から開始)	電気自動車等の低公害車の普及促進を図るため、急速充電器を設置しています。 場所:町田市バイオエネルギーセンター 電力:上記で発電した再生エネルギーを使用 *現在は実証実験中に付き無料で提供中		
小金井市	有	—	—	—	(案) 公園面積1ha以上かつ、地域防災計画で防災機能を有する公園のみ設置	(案) ・環境に配慮したゼロカーボン等の仕様することを努力義務としている。 ・防災に配慮した仕様を積極的に採用すること。	省エネチャレンジ事業(令和4年度から開始)	電力及びガスの消費量を削減することを目的として、各家庭や事業所がエネルギー消費の削減にチャレンジする取組 連続する2か月間で電気、ガスの使用削減に取り組んでいた場合、前年同月と比較したエネルギー削減量に応じたポイントを付与し、ポイントに応じた商品券を交付する。	次世代自動車普及促進補助事業(令和4年度から開始)	次世代自動車の普及促進及び地域の脱炭素社会の構築を図るため、次世代自動車を購入した市民、事業者に対して補助金を交付。 EV、PHV(10万円)、FCV(30万円) 令和4年度 当初予算320万円、補正予算170万円 合計490万円(決算額490万円) 令和5年度 当初予算490万円		
小平市	無	有	3	9	都市公園法第5条第2項に該当すると判断した場合	小平市社会福祉協議会から自動販売機設置についての行政財産使用許可申請が提出され、使用を許可している。地方自治法第238条の4、小平市公有財産規則第18条の2第4号、第22条を根拠に使用許可及び電気使用料を負担している。	省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター助成制度	業務部門・家庭部門でのエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、市民・事業者に対して、太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、断熱窓、照明のLED化、V2H(Vehicle to Home)の設置費用の一部を補助する。 令和5年度予算:1500万円(太陽光発電:10万円×75件、燃料電池:19,000円×100件、蓄電池:6万円×40件、断熱窓:5万円×20件、LED:5万円×20件、V2H:6万円×20件)	小平市省エネ家電等買換促進補助金	エネルギー消費性能が優れた家庭用電気機器等を買換えにより設置した者に対しその費用の一部(補助対象家電等の購入及び設置に要した費用の1/4(上限3万円))を補助する。 対象機器:エアコン、冷蔵庫、照明器具、給湯器 令和5年度予算:3000万円(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金国における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用)	小平市環境家計簿	家庭や事業所でのエネルギー使用量の見える化と二酸化炭素排出量の削減のため、Web・アプリ版小平市環境家計簿を配信している。家庭での電気・ガス等の使い方の見直しを図るため、10~12月を対象期間とした「チャレンジエネ」を開催し、昨年同月と比較して電気・ガス使用量の削減を達成した世帯にはブラックスンダーと省エネグッズを差し上げる。令和5年度予算:環境家計簿管理運営費370千円。

	削減方針の有無	自動販売機設置について工夫している点、導入している機能等	市立公園内への設置有無	設置公園数	設置台数(合計)	市立公園への設置条件	市施設において、自動販売機を設置する条件等	温室効果ガス排出削減のための取組							
								事業名①	事業内容①	事業名②	事業内容②	事業名③	事業内容③		
12	日野市	無	—	無	—	—	—								
13	東村山市	無	—	無	0	0	—	市が公募（公募型の見積合せ、入札、プロポーザル等）により選定した自動販売機の設置希望者に、市有施設を貸付ける（地方自治法第238条の第2項第4号による貸付）ことにより設置する	住宅用地球温暖化対策設備設置補助金	太陽光発電システム・蓄電池システム・家庭用燃料電池・断熱窓を設置した方に、設置費用の一部を補助	再生可能エネルギー電力切替支援事業	ご家庭で使用する電力を再生可能エネルギー由来電力に切り替えた市民を対象とした支援事業を実施			
14	国分寺市	無	市役所の本庁舎及び清掃センターにおいては、プラスチックごみ削減のため、水を除きペットボトル飲料の販売を行わないことを設置条件としている。	有	1	1	※設置公園は施設内に運動場があり、関係団体が自動販売機を設置している。	本庁舎においては、設問3回答のほか、環境対策として、ピークカット等対応の省エネに配慮した機種であることや、タイマー等により夜間の照明が制御できること、また災害対応（災害時の無償提供）等を設置条件としている。	住宅用太陽光発電機器等設置助成補助金	二酸化炭素の排出の削減に向けた行動を促進し、自立した電源を確保することを目的に住宅用太陽光発電機器若しくは家庭用燃料電池コージェネレーション機器又はその両方を、環境家計簿が所有する市内の住宅に設置した者又は住宅用太陽光発電機器等が設置された市内の住宅を購入した者に対し、その経費の一部を助成する。	環境家計簿	市民が家庭で使用するCO2排出量を把握することにより、省エネ意識の向上と省エネ行動の促進を図るため、電気・ガスの使用量から、CO2排出量を計算し、把握することのできる環境家計簿を配布（モニターを夏・冬期に募集）			
15	国立市	無	—	有	3	3	—	—	国立市地球温暖化対策実行計画策定事業（令和5年度）	2050年ゼロカーボン達成に向けて、事務事業編、区域施策編、気候変動適応計画をまとめた国立市地球温暖化対策実行計画を策定する。	中小企業者の省エネ改修等費用への補助事業（令和5年度より開始）	市内の事業者で省エネ診断に基づいて省エネ改修等を行う中小企業者に対して、費用の補助を行う。補助対象経費の3分の1、上限50万円。	市民向けの補助事業（平成25年度より順次制度開始）	・住宅用スマートエネルギー関連システム設置費の補助（太陽光発電：5万円、エネファーム・蓄電池・太陽熱利用：4万円） ・住宅省エネルギー化費用の補助（①窓の断熱改修：工事費用の20% ②屋根・屋上の高反射率塗料（遮熱塗料）塗装：補助対象面積×1千円。上限額：①、②の合計で10万円） ・省エネ家電への買い換え費用の補助（LED照明、冷蔵庫、1/2補助、上限5000円）	
16	福生市	無	・「省エネルギー、ノンフロン対応等の環境負荷を低減した機種とすること」、「すべての人に使いやすく開発されたユニバーサルデザイン機」の導入に努めること、 「市環境マネジメントシステムに基づいた環境配慮の取組に協力すること」等を管理運営上の遵守事項としている。 ・一部、大規模災害等の発生時において、市の要請に応じて自動販売機内の商品を無償提供できる機種を採用している。	有	3	0	総合公園とスポーツ施設を有する公園に設置（一部、電線等の都合により総合公園に近接の公園に設置しているケースあり）	・「省エネルギー、ノンフロン対応等の環境負荷を低減した機種とすること」、「すべての人に使いやすく開発されたユニバーサルデザイン機」の導入に努めること、「市環境マネジメントシステムに基づいた環境配慮の取組に協力すること」等を管理運営上の遵守事項としている。 ・一部、大規模災害等の発生時において、市の要請に応じて自動販売機内の商品を無償提供できる機種を採用している。	住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業	福生市商工会会員の福生市内の登録施工業者に依頼して福生市内の自ら居住している住宅に省エネ・バリアフリーのリフォーム工事や住宅リフォーム工事を行った福生市民に対して、改修工事後、費用の一部を助成する。 ※福生市商工会実施事業					

	削減方針の有無	自動販売機設置について工夫している点、導入している機能等	市立公園内への設置有無	設置公園数	設置台数(合計)	市立公園への設置条件	市施設において、自動販売機を設置する条件等	温室効果ガス排出削減のための取組						
								事業名①	事業内容①	事業名②	事業内容②	事業名③	事業内容③	
17	狛江市	無	協定に基づく無償設置等によりコスト削減に努めている。 有事に飲料・電力・電波の提供が可能な仕様とする等、付加価値も考慮している。	有	2	3	特になし	—	100%再生可能エネルギー電力の導入	ほぼすべての市公共施設に100%再生可能エネルギー電力を導入	地球温暖化対策用設備導入助成金交付事業	住宅や事業所への太陽光発電設備等の省エネ・再エネ設備の導入に対し、導入費用の一部を助成	狛江市家庭への再エネ電気導入促進事業	家庭の電気契約を再エネ電気プランに切り替えた方にノベルティを贈ることなどで切替を促進
18	東大和市	無	災害時に飲料を無償提供する自動販売機の設置に関し、災害ベンダーと協定を結び、設置している。	有	3	5	災害時に飲料を無償提供する自動販売機の設置に関し、災害ベンダーと協定を結び、設置している。	福祉団体、又は災害協定を結んでいる企業・団体のみ設置を許可。ただし原則として電気代は相手方が負担する。	温暖化対策実行計画(事務事業編)	施設照明のLED化や、車両のEV化、グリーン購入など日常業務でのエコアクションの推進。	公共建築物環境配慮整備方針	施設の新設・改修の際に、環境に配慮した設計・設備に最大限配慮することを定めている。		
19	清瀬市	無	自動販売機の設置業者との間で、災害時における自動販売機販売品の無償提供に関する協定を結んだ事例がある。	有	5	4	自動販売機の設置業者との間で、災害時における自動販売機販売品の無償提供に関する協定を結んだ事例がある。	「清瀬市自動販売機の設置に係る行政財産の貸付けに関する要領」による(添付資料参照)	清瀬市新エネルギー機器等設置補助金	市内の住宅に太陽光発電システム・エネファーム・蓄電池を設置した市民に対し、購入費の一部を補助する。				
20	東久留米市													
21	武蔵村山市	無	特になし	有	2	9	—	災害時に自動販売機内の商品の提供。	令和5年度ゼロカーボンシティ住居普及促進事業補助金	市民の各家庭における省エネルギーの推進及び再生エネルギーの普及促進宅における省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの利用促進を図るため、市内の住宅における断熱性塗装工事、断熱工事、太陽光発電システム設置工事及び家庭用蓄電池施設に要する費用の一部を補助する事業。				
22	多摩市													
23	稲城市	無	—	有	8	18	—	※市役所地下1階自販機(互助会設置分)における条件 ・常に商品の衛生管理の徹底と、自販機(内・外部)及び周辺の美化に努め、リサイクル社会の推進のため分別回収の徹底を図ること。 ・自販機内の適正な温度管理と省エネ対策の徹底を図ること。 ・夜間においては、節電等省エネ対策を講じること。 ・災害時等に、人的操作で自販機内の商品を搬出できること。 ・自然環境に配慮したボトル・容器などに努めること。						

意見等記入様式

- ・令和5年6月15日開催の第1回環境審議会におきまして、令和4年度の各種環境測定結果として報告資料として配布した資料4～10につきまして、ご質問等をごございましたら以下にご記入（入力）ください。
- ・いただいたご意見等への回答をとりまとめ、第2回環境審議会へ参考資料として提出いたします。

※ご提出期限：6月30日（金）

委員名

● 令和4年度各種環境測定結果報告資料へのご質問等

資料番号	ご質問欄